

六 塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Methylenum coeruleum

メチレン青

一 メチレン青ハ暗綠色青銅様ノ光澤ヲ有スル稜柱狀結晶或ハ暗綠色結晶性ノ粉末ニシテ水並アルコールニ藍色ヲ呈シテ溶解ス

二 本品約 0.01g ヲ稀硫酸 20cc ニ溶解シタルモノニ亞鉛末ヲ少許ツツ加ヘテ振盪シ脱色セシメタル後濾過シタル液ヲ空氣中ニ放置スレハ徐々ニ藍色ニ復ス

三 本品ヲ「アルコール」ニ溶解スルニ 1% 以上ノ不溶物ヲ残留スヘカラス又其残留物ヲ水ヲ以テ洗滌スルニ白色ニシテ「ヨード溶液」ニ由テ赤色乃至類褐色ヲ呈スヘカラス

四 本品 1g ヲ 100°ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト 18~20% ナルヘシ又之ヲ燃化スルニ 1% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス此残留物ヲ稀硫酸 10cc ニ溶解シ其濾液ニ「アンモニア水」ヲ過飽シタル後熱シテ沸騰スルニ至リ更ニ濾過シテ得タル液ニ硫化ソーダ溶液ヲ和スルニ沈澱ヲ生スヘカラス

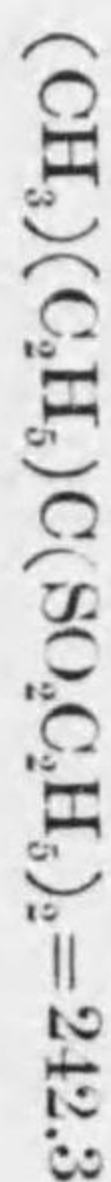
五 本品 1g ニ硝酸カリ 2g 及乾燥炭酸ソーダ 1.5g ヲ混和シ燃化シテ得タル白色ノ熔塊ヲ冷後稀硫酸 30cc ニ溶解シ

蒸發シ更ニ熱灼シテ硝酸ヲ驅除シ此残留物ヲ粉末トナシ塩酸 5cc ヲ加ヘテ濾過シタル後塩化第一錫溶液ニ倍容量ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス

六 塚中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Methylsulfonatum

メチルスルホナール



一 メチルスルホナールハ無色光輝アル葉狀ノ結晶ニシテ臭氣ナク 70°ニ於テ熔融シ三百二十分ノ水並約二十五分ノ熱湯ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴シ「アルコール並エーテル」ニ容易ニ溶解ス

二 本品ヲ木炭末ト共ニ試験管内ニ熱スレハ「メルカプタン」ノ臭氣ヲ放ツ

三 本品 0.5g ヲ熱湯 25cc ニ溶解スルニ毫モ臭氣ヲ發スヘカラス又冷後之ヲ濾過シテ得タル液ハ硝酸バリウム溶液並硝酸銀溶液ニ由テ變化スヘカラス又此水溶液 10cc ニ一滴ノ過マンガン酸カリ溶液ヲ和スルニ直チニ之ヲ脱色スヘカラス

四 本品 0.5g ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ残留スヘカラス

五 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.0g

一日ノ極量 2.0g

Migraeninum Antipyrino-coffeinum citricum

オミグレニン

クエン酸カフェインアンチピリン

一 ミグレニンハ

アンチピリン 九十分

カフェイン 九分

クエン酸 一分

蒸溜水 八分

ヲ取り重湯煎上ニ於テ溶解シ蒸發乾涸シ冷後粉末トナシ製スヘシ

二 本品ハ白色ノ粉末ニシテ苦味ヲ有シ 101°~110°ニ於テ熔融ス二分ノ水ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徴ス「アルコール並クロロホルム」ニ容易ニ溶解シ「エーテル」ニ溶解シ難シ  
三 本品 0.1g ヲ水 10cc ニ溶解シ之ニ稀硫酸一二滴ヲ添加シタル後亞硝酸ソーダ一小片ヲ加フレハ綠色ヲ呈ス又本品 0.1g ヲ水 5cc ニ溶解シ塩酸一滴及ホルマリオン 0.2cc ヲ和シ三十分間重湯煎中ニ熱シタル後アンモニア水ヲ以テ過飽

シ析出セル結晶性ノ沈澱ヲ濾別シ濾液ニ塩酸ヲ加ヘテ酸性トナシ「クロロホルム」ト共ニ振盪シ「クロロホルム」液ヲ分取シ重湯煎上ニ蒸發シ其残渣ニ過酸化水素水十滴及塩酸一滴ヲ注加シ乾燥スルニ黄赤色ノ残留物ヲ遺シ之ニ「アンモニア水」一滴ヲ滴加スレハ紫紅色ヲ呈ス又本品 0.4g ニ石灰水 5cc ヲ和シ煮沸スルトキハ白色絮狀ノ沈澱ヲ生スルモ液ヲ冷却スレハ再ヒ消失スヘシ

四 本品 0.2g ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ残留スヘカラス

五 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.0g

一日ノ極量 3.0g

Minium

鉛丹

一 鉛丹ハ赤色ノ重キ粉末ニシテ水ニ溶解セス

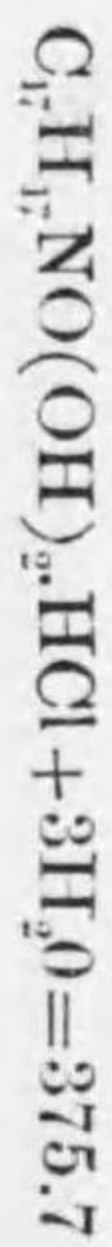
二 本品ニ塩酸ヲ加ヘテ熱スレハ塩素ヲ發シ白色結晶性ノ物質ヲ生ス

三 本品 3.5g 及蓆酸 0.5g ヲ研磨シテ之ヲ熱硝酸 10cc 中ニ投シ次テ熱湯 25cc ヲ徐々ニ注加スルニ澄明ノ溶液ヲ生セサルヘカラス或ハ不溶物アルモ 0.035g ニ過クヘカラス

四 注意シテ貯フヘシ

Morphinum hydrochloricum

○塩酸モルヒネ



- 一 塩酸モルヒネ「ハ絹絲様ノ光澤ヲ有スル白色針狀結晶ニシテ多クハ束針狀ニ集團シ或ハ白色骰子形ノ塊片ヲナシ二十五分ノ水ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴ス又五十分ノ「アルコール」ニ溶解シ「エーテル」ニ溶解セス
- 二 本品ノ冷飽和水溶液ニ塩酸ヲ和スレハ結晶ヲ析出ス又本品ノ水溶液ハ硝酸銀溶液ニ由テ稀硝酸ニ溶解セサル白色乾酪様ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品ノ水溶液(1+19)ニ塩化第二鉄溶液一滴ヲ加フレハ藍色ヲ呈シ又本品一小粒ヲ乾燥試験管中ニ取り之ニ硫酸五滴ヲ加ヘテ溶解シ此溶液ヲ十五分間重湯煎中ニ於テ温メ冷後痕跡ノ硝酸ヲ和スレハ血赤色ヲ呈ス
- 四 本品 0.01g 及白糖 0.04g ノ混和物ヲ硫酸ニ和スレハ赤色ヲ呈ス更ニ「ブロム水一滴ヲ點スレハ其赤色愈々著名ナリ又本品少許ヲ「ホルマリン硫酸」ニト共ニ研磨スレハ赤色ヲ呈シ暫時ニシテ紫色トナリ次テ藍色ニ變ス
- 五 本品ノ水溶液(1+19)ニ重炭酸ソーダ 0.1g 及ヨード溶液

液痕跡ヲ加ヘタル後「エーテル」ヲ和シテ振盪スルニ「エーテル層類紅色ヲ呈セス又下層ノ水溶液綠色ヲ呈スヘカラス

- 六 本品ノ水溶液(1+29)ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ變化スヘカラス
- 七 本品 0.1g ヲ硫酸 3g ト共ニ研磨スルニ無色ニ溶解スヘシ或ハ染色スルモ極メテ微ニ類赤色ヲ呈スルニ止マルヘシ
- 八 本品 0.2g 100° ヲニ於テ乾燥スルニ 0.029g 以上ノ重量ヲ減失スヘカラス其乾燥セルモノハ純白色ナルヘシ或ハ極メテ微ニ類黄色ヲ呈スルニ止マルヘシ又之ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 九 最モ注意シテ貯フヘシ
  - 一回ノ極量 0.03g
  - 一日ノ極量 0.10g

Mucilago Gummi arabici

アラビアゴム漿

- 一 アラビアゴム漿ハ
  - アラビアゴム 一分
  - ヲ取り蒸溜水ヲ以テ急速ニ洗滌シ之ニ
  - 蒸溜水 二分
  - ヲ注キ溶解セシメ漉過シ製スヘシ

- 二 本品ハ無色或ハ淡類黄色ノ粘稠液ナリ
- 三 本品ハ青色リトマス紙ヲ微ニ赤變ス
- 四 密閉シ冷處ニ貯フヘシ

Mucilago Salep

サレツプ漿

- 一 サレツプ漿ハ
  - サレツプ根中末 一分
  - ヲ取り
  - 蒸溜水 九分
  - ヲ注キ振盪シテ混和シ之ニ
  - 熱蒸溜水 九十分
  - ヲ加ヘ冷却スルニ至ル迄振盪シ漉過シ製スヘシ
- 二 用ニ臨ミテ製スヘシ

Mucilago Tragacanthae

トラガント漿

- 一 トラガント漿ハ
  - トラガント末 一分
  - ヲ取り
  - グリセリン 五分

微温蒸溜水 九十四分  
ノ混和液ヲ注キテ充分ニ溶解セシメ漉過シ製スヘシ

Myrrha

ミルラ

- 一 「ミルラ」ハ Commiphora 屬諸種植物ヨリ採集セル「ゴム樹脂ナリ
- 二 本品ハ顆粒狀或ハ不整ノ塊片ヲナシ類黄色・類赤色又ハ褐色ヲ呈シ内部ニハ屢々處々ニ類白色ヲ現ハシ小破碎片トナストキハ透映ナリ氣味ハ特異芳香性ニシテ苦ク苛辣ナリ咀嚼スレハ齒ニ附著ス
- 三 本品ヲ水ト共ニ研磨スレハ黄色ノ乳濁液ヲ生ス又本品ノ粉末 1g ニ「エーテル」3cc ヲ加ヘテ振盪シ漉過シテ得タル黄色ノ液ヲ揮散セシメ其残渣ニ發煙硝酸ノ蒸氣ヲ接觸セシムレハ紅紫色ヲ呈ス
- 四 本品ノ粉末 3g ニ熱アルコールヲ加ヘ充分ニ浸出シ其不溶物ヲ 100° ニ於テ乾燥スルニ其重量 1.5g 以上ナルヘカラス之ニ水ヲ加フレハ濁濁セル液ヲ生シ殆ト沈滓ヲ認ムヘカラス
- 五 本品ヲ灰化スルニ 6% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Naphthalinum

ナフタリン



- 一 ナフタリンハ光輝アル無色葉狀ノ結晶ニシテ竄透性ノ臭氣ヲ有シ味灼クカ如ク常温ニ於テ徐々ニ揮散シ $80^\circ$ ニ於テ熔融シ點火スレハ光輝アル煤煙多キ火焰ヲ放テ燃燒ス熱アルコール・エーテル・クロロホルム又ニ硫化炭素ニ容易ニ溶解シ水ニ溶解セス煮沸スレハ之ニ極メテ弱キ臭ヲ賦與ス
- 二 本品ハ「ナトロン滴液」ニ溶解セス又水ヲ和シテ煮沸スルニ其水ハ青色リトマス紙ヲ赤變スヘカラス又本品 $0.5g$ ヲ硫酸 $5cc$ ニ和シテ振盪シ五分間放置スルニ其硫酸染色スルコトアルモ淡類赤色ヲ呈スルニ止マルヘシ此混和物ヲ重湯煎上ニ五分間加温スルモ亦然リ
- 三 本品 $10g$ ニ「ナトロン滴液 $10cc$ 」及水 $40cc$ ヲ和シ煮沸シ冷後濾過シテ得タル液ヲ稀硫酸ヲ以テ酸性トナシタルモノハ「プロム水」ニ由テ濁濁又ハ沈澱ヲ生スヘカラス
- 四 本品ヲ燃化スルニ $0.1\%$ 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 五 光ヲ遮リ貯フヘシ

Natrium aceticum

醋酸ソーダ



- 一 醋酸ソーダハ無色無臭透明ノ結晶ニシテ乾燥氣中ニ於テ風化シ一分ノ水ニ溶解シ弱アルカリ性ノ反應ヲ徴シ二十三分ノ「アルコール」並一分ノ熱アルコールニ溶解ス熱スレハ先ツ其結晶水中ニ溶解シ次テ白色ノ乾燥塊トナリ更ニ強熱ヲ與フレハ熔融ス
- 二 本品ヲ熱灼スレハ「アセトン」ノ臭氣ヲ放テ分解シ茲ニ殘留スル固性物ハ無色ノ火焰ヲ黄色ニ染メ濕潤セル赤色リトマス紙ヲ強ク青變ス又本品ノ水溶液ハ塩化第二鉄溶液ニ由テ暗赤色ヲ呈ス
- 三 本品ノ水溶液 $(1+19)$ ハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴・硝酸バリウム溶液又醋酸アンモン溶液ニ由テ變化セス又同容量ノ水ヲ加ヘテ稀釋シタル後硝酸ヲ和シテ酸性トナシ之ニ硝酸銀溶液ヲ加フルニ蛋白石濁ヲ起スニ止マリ又其水溶液ハ塩酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル後黃血塩溶液 $0.5cc$ ニ由テ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス
- 四 塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium benzoicum

安息香酸ソーダ



- 一 安息香酸ソーダハ白色無晶形或ハ結晶性ノ粉末ニシテ二分ノ水並十分ノ「アルコール」ニ溶解ス熱スレハ熔融シ次テ炭化シ終ニ「アルカリ性」ノ殘留物ヲ遺ス此殘留物ハ無色ノ火焰ヲ黄色ニ染ム
- 二 本品ノ水溶液 $(1+19)$ ニ塩酸ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生ス此沈澱ヲ濾別シ洗滌シ乾燥スルニ約 $12g$ ニ於テ熔融ス又同上水溶液ハ塩化第二鉄溶液ニ由テ淡赤褐色ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品 $0.1g$ ヲ弱ク熱灼シ殘留物ヲ水 $30cc$ ニ溶解シ濾過シテ得タル液ハ硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス又本品 $0.1g$ ハ硫酸 $1cc$ ニ泡沸或ハ染色セスシテ溶解スヘシ
- 四 本品ノ水溶液 $(1+19)$ ハ中性ノ反應ヲ徴シ硫化ソーダ溶液三滴・硝酸バリウム溶液又醋酸アンモン溶液ニ由テ變化スヘカラス
- 五 本品ヲ $100^\circ$ ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト $1\%$ ニ過クヘカラス

Natrium bicarbonicum

重碳酸ソーダ



- 一 重碳酸ソーダハ白色ノ結晶塊或ハ結晶性粉末ニシテ氣中ニ於テ變化セス十二分ノ水ニ溶解シ弱アルカリ性ノ反應ヲ徴シ「アルコール」ニ溶解セス
- 二 本品ノ硫酸上ニ乾燥シタルモノハ $99\%$ 以上ノ純重碳酸ソーダヲ含有ス
- 三 本品ヲ熱灼スレハ炭酸ガスヲ放チ其殘留物ハ強アルカリ性ヲ徴シ無色ノ火焰ヲ黄色ニ染ム又之ニ酸類ヲ加フレハ泡沸ス
- 四 本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子」ヲ透シテ之ヲ窺フニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス
- 五 本品 $1cc$ ヲ試験管中ニ熱スルニ「アンモニア」ヲ發生スヘカラス
- 六 本品ノ水溶液 $(1+19)$ ニ醋酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ硫化ソーダ溶液三滴ニ由テ變化セス硝酸バリウム溶液ヲ和スルニ三分以内ニ變化スヘカラス
- 七 本品ノ水溶液 $(1+19)$ ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ澄明ニシテ之ニ硝酸銀溶液ヲ加フルニ蛋白石濁ヲ起ス

- ニ過キス又塩化第二鉄溶液ニ由テ赤色ヲ呈スヘカラス
- 八 本品 1g ヲ 15° ヲ超エサル温ニ於テ強ク振盪セシメテ水 20cc ニ溶解シ之ニ「フェノールフタレイン溶液三滴ヲ和スルニ直チニ紅色ヲ呈セス或ハ微ニ紅色ヲ呈スルコトアルモ十分定規塩酸 1.5cc ニ由テ消失セサルヘカラス
- 九 本品ノ硫酸上ニ乾燥シタルモノハ之ヲ熱灼スルニ 63.4% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

Natrium bromatum

〇ブロムナトリウム

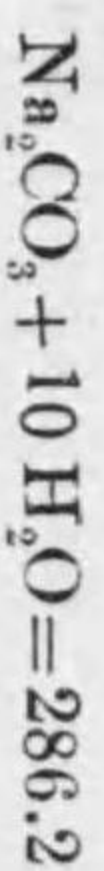


- 一 ブロムナトリウム」ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ引濕性ヲ有シ一・二分ノ水並十二分ノ「アルコール」ニ溶解ス
- 二 本品ノ 100° ニ於テ乾燥セルモノハ 99.1% 以上ノ純ブロムナトリウム」ヲ含有ス
- 三 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又本品ノ水溶液ニ少量ノ塩素水ヲ和シタル後クロホルム」ヲ加ヘテ振盪スレハ之ヲ赤褐色ニ染ム
- 四 本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス
- 五 本品ノ水溶液 (1+9) ハ稀硫酸ニ由テ變化セス又此酸性

- 水溶液ニ「クロホルム」ヲ添加シ善ク振盪スルニ「クロホルム層ヲ黄色ニ染ムヘカラス
- 六 本品ノ粉末ハ濕潤セル赤色リトマス紙ヲ直チニ青色ニ變スヘカラス
- 七 本品ノ水溶液 (1+19) 10cc ハ塩化第二鉄溶液三滴及澱粉溶液少量ニ由テ十分以内ニ藍色ヲ呈スヘカラス
- 八 本品ノ水溶液 (1+19) ハ硝酸バリウム溶液並醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴ニ由テ又アンモニア水ヲ加ヘタル後燐酸ソーダ溶液ニ由テ變化セス又塩酸二三滴ヲ加ヘタル後黃血塩溶液 0.5cc ニ由テ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス
- 九 本品ヲ 100° ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト 5% ニ過クヘカラス
- 一〇 本品ノ 100° ニ於テ乾燥セルモノ 3g ヲ水ニ溶解シ 100cc トナシタル液 10cc ニ「クロム酸カリ溶液一二滴ヲ加ヘ十分定規硝酸銀液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニハ該液ヲ費スコト 29.3cc ニ過クヘカラス
- 一一 壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium carbonicum

炭酸ソーダ



- 一 炭酸ソーダ」ハ無色透映ノ結晶ニシテ氣中ニ於テ風化シ一・六分ノ水並〇・二分ノ熱湯ニ溶解シ強アルカリ性ノ反應ヲ徴シ「アルコール」ニ溶解セス
- 二 本品ハ 37% 以上ノ純炭酸ソーダ (Na<sub>2</sub>CO<sub>3</sub> = 106.0) ヲ含有ス
- 三 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又之ニ酸類ヲ和スレハ泡沸シテ溶解ス
- 四 本品ノ水溶液 (1+19) ハ硫化ソーダ溶液三滴ニ由テ變化スヘカラス又硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸バリウム溶液ニ由テ變化セス又硝酸ノ過剰ヲ加ヘタル後硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス
- 五 本品ノ水溶液 (1+19) ヲ温ムルニ「アンモニア」ヲ發生スヘカラス
- 六 本品 1g ヲ水 50cc ニ溶解シタルモノヲ中和スルニハ少クモ 1.6cc ノ定規塩酸ヲ費ササルヘカラス(標示藥メチルオレンジ溶液)
- 七 壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

- リ 25° ヲ超エサル温ニ於テ全然風化セシメ次ニ 40° ~ 50° ニ於テ乾燥シ其重量ノ半ハヲ失フヲ度トシ篩過シ製スヘシ
- 二 本品ハ白色輕鬆ノ粉末ニシテ之ヲ壓迫スルモ集團セス
- 三 本品ハ 74% 以上ノ純炭酸ソーダ (Na<sub>2</sub>CO<sub>3</sub> = 106.0) ヲ含有ス
- 四 本品ノ試験ハ炭酸ソーダ」ノ條ニ掲ケル所ニ準據スヘシ
- 五 本品 1g ヲ水 50cc ニ溶解シタルモノヲ中和スルニハ少クモ 1.4cc ノ定規塩酸ヲ費ササルヘカラス(標示藥メチルオレンジ溶液)
- 六 壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium chloratum

〇食 塩



- 一 乾燥炭酸ソーダ」ハ炭酸ソーダ」ヲ粗末トナシ塵埃ヲ遮
- 二 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又本品ノ水溶液ニ硝酸銀溶液ヲ和スレハ「アンモニア水ニ溶解スヘキ白色乾酪様ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子ヲ透シテ之ヲ窺フ

Natrium carbonicum siccum

乾燥炭酸ソーダ

- 一 乾燥炭酸ソーダ」ハ炭酸ソーダ」ヲ粗末トナシ塵埃ヲ遮

ニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス  
 四 本品ノ水溶液(1+19)ハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴・硝酸バリウム溶液又稀硫酸ニ由テ又アンモニア水ヲ加ヘタル後磷酸アンモン溶液並磷酸ソーダ溶液ニ由テ變化セス又此水溶液ニ塩酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ黄血塩溶液0.5ccニ由テ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス

Natrium iodatum

ヨードナトリウム

NaI=149.9

一 ヨードナトリウムハ白色結晶性ノ粉末ニシテ引濕性ヲ有シ味ハ苦鹹ナリ〇・六分ノ水並三分ノ「アルコール」ニ溶解ス  
 二 本品ノ100°ニ於テ乾燥セルモノハ99.8%以上ノ純ヨードナトリウムヲ含有ス  
 三 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又本品ノ水溶液ニ塩素水少量ヲ和シタル後クロホルム」ヲ加ヘテ振盪スレハ之ヲ紫色ニ染ム  
 四 本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス  
 五 本品ノ粉末ハ濕潤セル赤色リトマス紙ヲ直チニ青色ニ變

スヘカラス

六 本品ノ水溶液(1+19)ハ硝酸バリウム溶液並醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴ニ由テ變化セス又アンモニア水ヲ加ヘタル後磷酸ソーダ溶液並磷酸アンモン溶液ニ由テ變化セス又塩酸二三滴ヲ加ヘタル後黄血塩溶液0.5ccニ由テ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス  
 七 本品一分ヲ新タニ煮沸シ冷却シタル水十九分ニ溶解シタルモノニ澱粉溶液及稀硫酸ヲ和スルニ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス  
 八 本品ノ水溶液(1+19)ニ硫酸鉄一小粒・塩化第二鉄溶液一滴及ナトロン滴液少量ヲ和シ微温ヲ與ヘ冷後塩酸ヲ以テ過飽スルニ藍色ヲ呈スヘカラス  
 九 本品「 $\text{Fe}^{2+}$ 」ニ「ナトロン滴液」・亞鉛及鉄粉各0.5ccヲ加ヘテ熱スルニ「アンモニア」ヲ發生スヘカラス  
 一〇 本品ノ100°ニ於テ乾燥セルモノ0.99%「アンモニア」水 $\text{O}_2$ ニ溶解シ振盪シツツ之ニ十分定規硝酸銀液「 $\text{AgNO}_3$ 」ヲ加ヘテ約一分間強ク振盪シタル後濾過シ其澄明ナル濾液ニ硝酸ヲ加ヘテ過飽スルニ暗色ヲ呈スヘカラス尙五分間ヲ經タル後生スル濁濁ハ百分定規塩酸「 $\text{HCl}$ 」水 $\text{O}_2$ 及硝酸「 $\text{HNO}_3$ 」混液ニ十分定規硝酸銀液「 $\text{AgNO}_3$ 」ヲ加ヘテ同一時間ヲ經タル後生スル濁濁ヨリ強カルヘカラス

一 本品ヲ100°ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト5%ニ過クヘカラス  
 二 塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium nitricum

硝酸ソーダ

$\text{NaNO}_3=85.0$

一 硝酸ソーダハ無色透映ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ引濕性ヲ有シ味ハ清凉ニシテ稍々苦シ一・三分ノ水ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴シ五分ノ「アルコール」ニ溶解ス  
 二 本品ノ水溶液ニ硫酸鉄溶液ヲ和シタル後硫酸ヲ加フレハ黒褐色ヲ呈ス又本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ之ヲ黄色ニ染ム  
 三 本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子ヲ透シテ之ヲ窺フニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス  
 四 本品ノ水溶液(1+19)ハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴ニ由テ變セス又アンモニア水ヲ和シタル後磷酸アンモン溶液並磷酸ソーダ溶液ニ由テ變化セス又硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液並硝酸バリウム溶液ニ由テ變化スヘカラス  
 五 本品ノ水溶液(1+19)5ccハ稀硫酸及ヨード亞鉛澱粉溶液ニ由テ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス又此水溶液ハ少量ノ塩

素水ヲ加ヘタル後クロホルム」ト共ニ振盪スルニ之ヲ紫色ニ染ムヘカラス  
 六 本品ノ水溶液(1+19)ニ塩酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ黄血塩溶液0.5ccニ由テ直チニ藍色ヲ呈スヘカラス  
 七 塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium nitrosum

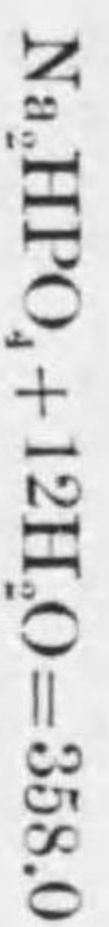
亞硝酸ソーダ

一 亞硝酸ソーダハ白色或ハ類黄白色ノ結晶塊又ハ小挺子或ハ粒狀ヲナシ氣中ニ於テ潮解シ約一・五分ノ水ニ溶解シ微ニ「アルカリ性」反應ヲ徴ス「アルコール」ニハ溶解シ難シ  
 二 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又本品ニ稀硫酸ヲ加フレハ黄褐色ノ蒸氣ヲ發生ス  
 三 本品ハ90.3%以上ノ純亞硝酸ソーダ「 $\text{NaNO}_2=69.0$ 」ヲ含有ス  
 四 本品ノ水溶液(1+9)ハ過剩ノ硝酸ヲ加ヘテ煮沸シタル後硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス又硝酸バリウム溶液ニ由テ三分以内ニ變化スヘカラス  
 五 本品「 $\text{Fe}^{2+}$ 」水 $\text{O}_2$ ニ溶解シ塩酸「 $\text{HCl}$ 」ヲ加ヘ煮沸シタル後重湯煎上ニ蒸發シ其殘留物ヲ水10ccニ溶解シタルモノハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴ニ由テ變化スヘカラス

- 六 本品ノ100。ニ於テ乾燥セルモノ1gヲ水ニ溶解シテ100ccトナシタル液10ccヲ十分定規過マンガン酸カリ液30cc・水300cc及稀硫酸25ccノ混液中ニ絶エス搖動シツツ滴加シタル後二十分間静置シ之ニ「ヨードカリ」ヲ加ヘテ遊離セル「ヨード」ヲ結合スルニハ十分定規チオ硫酸ソーダ液ヲ費スコト21ccニ過クヘカラス(標示薬澱粉溶液)
- 七 壘中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ
  - 一回ノ極量 0.3g
  - 一日ノ極量 1.0g

Natrium phosphoricum

磷酸ソーダ



- 一 磷酸ソーダハ無色透映ノ結晶ニシテ乾燥氣中ニ於テ風化シ約六分ノ水ニ溶解シ「アルカリ性」ノ反應ヲ徴シ約40。ニ於テ其結晶水中ニ溶解ス
- 二 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又本品ノ水溶液ニ硝酸銀溶液ヲ和スレハ硝酸遊アンモニア水ニ溶解スヘキ黄色ノ沈澱ヲ生ス此沈澱ハ之ヲ温ムルモ褐色ニ變セス
- 三 本品ヲ無色焰中ニ熱シ「コバルト硝子」ヲ透シテ之ヲ窺フ

- ニ永ク紫紅色ヲ現ハスヘカラス
- 四 本品ノ脫水研磨セルモノ1gニ塩化第一錫溶液3ccヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス
- 五 本品ノ水溶液(1+19)ハ硫化ソーダ溶液三滴ニ由テ變化スヘカラス又硝酸ヲ以テ酸性トナスニ洵沸セス次テ之ニ硝酸銀液ヲ加フルニ三分以内ニ蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ
- 六 前項ノ本品溶液ニ硝酸 $\text{HNO}_3$ ヲ加ヘタルモノハ硝酸バリウム溶液0.5ccニ由テ三分以内ニ變化スヘカラス又同水溶液ニ黃血塩溶液0.5ccヲ加フルニ變化スヘカラス
- 七 本品1gヲ熱灼スルニ白色ノ殘留物0.37~0.38gヲ遺ササルヘカラス
- 八 壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium salicylicum

○サリチル酸ソーダ



- 一 サリチル酸ソーダハ白色無臭鱗屑狀或ハ針狀結晶又ハ結晶性粉末ニシテ味ハ甘鹹ナリ一分ノ水竝六分ノ「アルコール」ニ溶解ス
- 二 本品ハ99.2%以上ノ純サリチル酸ソーダヲ含有ス
- 三 本品ヲ試験管中ニ熱スレハ白色ノ蒸氣ヲ發生シテ炭化ス

- 此炭化物ハ酸類ニ由テ泡沸シ無色ノ火焰ヲ黄色ニ染ム又本品ノ水溶液ハ塩酸ニ由テ「エーテル」ニ容易ニ溶解スヘキ白色ノ結晶ヲ析出シ又本品ノ極メテ稀薄ナル水溶液(1+399)ニ塩化第二鉄溶液ヲ和スレハ紫色ヲ呈ス
- 四 本品ノ水溶液(1+4)ハ無色或ハ微ニ類黄色ヲ呈シ酸性反應ヲ呈スルコトアルモ微弱ニ止マルヘシ又本品ノ水溶液(1+19)ハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴竝硝酸バリウム溶液ニ由テ變化セス又此水溶液ニ容量ニ「アルコール」三容量ヲ和シ之ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス
- 五 本品1gヲ注意シテ灰化シ其殘留物ヲ熱湯ニ溶解シタル液ハ之ニ二分定規塩酸ヲ加ヘテ中和スルニ至ルニハ少クモ該液12.4ccヲ費ササルヘカラス(標示薬メチルオレンジ溶液)
- 六 壘中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Natrium sulfophenolicum

フエノールスルホン酸ソーダ

スルホン石炭酸ソーダ



- 一 フエノールスルホン酸ソーダハ無色透映稜柱狀ノ結晶

- ニシテ全ク或ハ殆ト臭氣ナク味ハ清涼ニシテ稍々苦シ六分ノ水ニ溶解シ中性或ハ殆ト中性ノ反應ヲ徴シ百五十分ノ「アルコール」ニ溶解ス
- 二 本品ヲ熱スレハ石炭酸ノ臭氣ヲ放テ燃化シ固性物ヲ殘留ス此殘留物ヲ無色焰中ニ熱スレハ之ヲ黄色ニ染ム又本品ノ稀薄水溶液ハ塩化第二鉄溶液ニ由テ紫色ヲ呈ス
- 三 本品ノ水溶液(1+19)ハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴竝稀硫酸ニ由テ變化セス又硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過キス硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ變化スヘカラス
- 四 本品ヲ灰化スルニ約30%ノ固性物ヲ殘留スヘシ
- 五 本品ヲ125。ニ於テ乾燥スルニ約15%ノ重量ヲ減失スヘシ
- 六 壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium sulfuricum

芒硝 硫酸ソーダ



- 一 芒硝ハ無色ノ結晶ニシテ微ニ苦味ヲ帶フル清涼ノ鹹味ヲ有ス乾燥氣中ニ於テ風化シ冷水三分・33。ノ水〇・三分又熱湯〇・四分ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴シ「アルコール」ニ

- 溶解セス熱スレハ容易ニ熔融ス
- 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム又其水溶液ニ硝酸バリウム溶液ヲ和スレハ稀酸類ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生ス
  - 本品ノ脱水研磨セルモノニ塩化第一錫溶液 3ccヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス
  - 本品ノ水溶液 (1+19)ハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴ニ由テ變化セス又硝酸銀溶液ニ由テ五分以内ニ變化スヘカラス又塩酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル後黃血塩溶液 0.5ccニ由テ直チニ變化スヘカラス
  - 本品 1gニ「ナトロン」滴液 5ccヲ和シテ熱スルニ「アンモニア」ヲ發生スヘカラス又本品ノ水溶液 (1+19) 2ccニ硫酸同容量ヲ和シ冷後之ニ硫酸鉄溶液 1ccヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生スヘカラス
  - 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium sulfuricum siccum

乾燥芒硝 乾燥硫酸ソーダ

- 乾燥芒硝ハ芒硝ヲ取り搗碎シテ粗末トナシ 50°ヲ超エサル温ヲ與ヘテ充分風化スルニ至ル迄放置シタル後 40°ニ於テ乾燥シ其重量ノ半ハヲ失フヲ度トシ篩過シ製ス

Natrium thiosulfuricum

チオ硫酸ソーダ



- 本品ハ少クモ 88.6%ノ純硫酸ソーダヲ ( $Na_2SO_3 = 142.1$ ) ヲ含有ス
- 本品ハ白色鬆疎ノ粉末ニシテ壓力ヲ加フルモ塊團トナラス
- 本品ヲ弱ク熱灼スルニ其重量ヲ減失スルコト 11.4%ニ過クヘカラス其他ノ試験ハ芒硝ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ但シ其水溶液ハ (1+33)ノモノヲ用フヘシ
- 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ
- チオ硫酸ソーダハ無色透映無臭ノ結晶ニシテ約一分ノ水ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴ス約 50°ニ熱スレハ其結晶水中ニ溶解ス
- 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ之ヲ黄色ニ染ム
- 本品ノ水溶液ニ塩酸ヲ加フレハ亞硫酸ガスヲ發生シ其液暫時ノ後濁ス又其水溶液ニ塩化第二鉄溶液ヲ滴加スレハ暗紫色ヲ呈シ振盪スレハ其色漸次ニ消失ス
- 本品ノ水溶液 (1+19)ハ蓆酸アンモン溶液ニ由テ變化セ

- ス又硝酸銀溶液一滴ニ由テ褐色或ハ黒色ノ沈澱ヲ生スヘカラス又硝酸バリウム溶液五滴ニ由テ直チニ變化スヘカラス
- 本品ノ水溶液 (1+19)ニ「ヨード」溶液ヲ加ヘテ微ニ持續スル類黄色ヲ呈スルニ至リタルモノハ青色リトマス紙ヲ赤變スヘカラス
- 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium causticum

苛性ナトロン

- 苛性ナトロンハ白色乾燥ノ塊片或ハ小槌子ニシテ破碎面ハ結晶性ヲ現ハシ強キ腐蝕性ヲ有シ氣中ニ於テ潮解シ水ニ容易ニ溶解ス
- 本品ハ 90%以上ノ純水酸化ナトリウム ( $NaOH = 40.0$ ) ヲ含有ス
- 本品ヲ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム
- 本品ノ水溶液ニ過剰ノ酒石酸溶液ヲ和スルニ變化スヘカラス又本品 1gヲ水 2ccニ溶解シ之ニ「アルコール」 10ccヲ混和スルニ少時ノ後極メテ僅微ノ沈澱ヲ析出スルニ止マルヘシ又本品 1gヲ水 10ccニ溶解シ之ニ石灰水 20ccヲ注キ煮沸シタル後濾過シテ得タル液ヲ過剰ノ塩酸中ニ加フルニ泡沸スヘカラス又本品ノ稀硫酸溶液 (1+19) 5ccニ硫酸

- 「ヨード」和シ冷後硫酸鉄溶液 1ccヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生スヘカラス
- 本品ノ水溶液 (1+19)ニ硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ變化セス又硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス
- 本品 4gヲ水ニ溶解シ 100ccトナシタル液 10ccヲ中和スルニハ定規塩酸少クモ 9ccヲ費ササルヘカラス (標示薬メチルオレンジ溶液)
- 壺中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

Neo-Arsenbenzolium

ネオアルゼノベンゾール

- ネオアルゼノベンゾールハ「メタジアミノパラチオキシアルゼノベンゾール」メチレンスルホキシル酸ナトリウムニ安定劑ヲ加ヘタルモノニシテ酸素ヲ除去セル無色小壺中ニ熔閉シ分量・砒素含量及検査番號ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包装シタルモノナリ
- 本品ハ淡黄色ノ粉末ニシテ水ニ極メテ澄明ニ溶解シ「リトマス」紙ヲ變色セス或ハ微ニ赤色リトマス紙ヲ青變ス純アルコール並「エーテル」ニ溶解セス
- 本品ハ 17.5~19.5%ノ純砒素 ( $As = 74.96$ ) ヲ含有ス

- 四 本品ノ水溶液(1+49)ニ稀塩酸三滴ヲ加フレハ黄色ノ沈澱ヲ生シ加温スレハ「ヨード酸カリ澱粉紙ヲ藍變スル蒸氣ヲ發生ス
- 五 本品 0.2g ヲ水 10cc ニ溶解シ磷酸ヲ加ヘテ酸性トナシ蒸溜シテ其半容量ヲ取り石炭酸溶液(1+99)五滴ヲ加ヘタル後硫酸ヲ加ヘテ二液層トナセハ其接界ニ於テ紅色ノ輪帶ヲ生ス
- 六 本品 0.1g ヲ硝酸ソーダ 1g ト共ニ研和シ之ヲ加熱セル瓷製坩堝中ニ少許ツツ投入シ茲ニ得タル白色均等ノ熔塊ニ冷後硫酸二十滴ヲ加ヘ注意シテ加温シ褐色ノ蒸氣ヲ發生セサルニ至リ冷後塩化第一錫溶液 5cc ヲ和スレハ暫時ニシテ褐色ノ沈澱ヲ生ス
- 七 本品 0.15g ヲ取り「アルゼノベンゾール」ノ條第六項ニ掲クル方法ニ據テ試験スルニ二十分定規プロム酸カリ液ヲ費スコト 14.0~15.6cc ナラサルヘカラス
- 八 本品一分ヲ無菌生理食塩水百五十分ニ新タニ溶解セルモノヲ取り「アルゼノベンゾール」ノ條第七項ニ掲クル方法ニ據リ試験スルニ同一ノ成績ヲ示ササルヘカラス
- 九 本品一分ヲ無菌生理食塩水三百分ニ新タニ溶解セルモノヲ取り「アルゼノベンゾール」ノ條第八項ニ掲クル方法ニ據リ試験スルニ同一ノ成績ヲ示ササルヘカラス又本試験ニ

於テ再歸熱スピロヘータ」ニ代フルニ病原性トリパノゾールヲ以テスルコトヲ得此場合ニハ本品一分ヲ無菌生理食塩水八十分ニ新タニ溶解セルモノヲ用ヒ同様試験ヲ行フヘシ

一〇 冷暗處ニ最モ注意シテ貯フヘシ

**Neo-Arsenobenzolum fortius**

**強ネオアルゼノベンゾール**

- 一 強ネオアルゼノベンゾール」ハ「メタヂアミノパラヂオキシアルゼノベンゾールメチレンスルホキシル酸ナトリウム」ニ安定劑ヲ加ヘタルモノニシテ酸素ヲ除去セル無色小壘中ニ熔閉シ分量・砒素含量及検査番號ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包装シタルモノナリ
- 二 本品ハ淡黄色ノ粉末ニシテ水ニ極メテ澄明ニ溶解シ「リトマス紙ヲ變色セス或ハ微ニ赤色リトマス紙ヲ青變ス純アルコール竝エーテル」ニ溶解セス
- 三 本品ハ 24~26% ノ純砒素 (As = 74.96) ヲ含有ス
- 四 本品ノ水溶液(1+49)ニ稀塩酸三滴ヲ加フレハ黄色ノ沈澱ヲ生シ加温スレハ「ヨード酸カリ澱粉紙ヲ藍變スル蒸氣ヲ發生ス
- 五 本品 0.2g ヲ水 10cc ニ溶解シ磷酸ヲ加ヘテ酸性トナシ

蒸溜シテ其半容量ヲ取り石炭酸溶液(1+99)五滴ヲ加ヘタル後硫酸ヲ加ヘテ二液層トナセハ其接界ニ於テ紅色ノ輪帶ヲ生ス

- 六 本品 0.1g ヲ硝酸ソーダ 1g ト共ニ研和シ之ヲ加熱セル瓷製坩堝中ニ少許ツツ投入シ茲ニ得タル白色均等ノ熔塊ニ冷後硫酸二十滴ヲ加ヘ注意シテ加温シ褐色ノ蒸氣ヲ發生セサルニ至リ冷後塩化第一錫溶液 5cc ヲ和スレハ暫時ニシテ褐色ノ沈澱ヲ生ス
- 七 本品 0.1g ヲ取り「アルゼノベンゾール」ノ條第六項ニ掲クル方法ニ據テ試験スルニ二十分定規プロム酸カリ液ヲ費スコト 12.8~13.9cc ナラサルヘカラス
- 八 本品一分ヲ無菌生理食塩水二百分ニ新タニ溶解セルモノヲ取り「アルゼノベンゾール」ノ條第七項ニ掲クル方法ニ據リ試験スルニ同一ノ成績ヲ示ササルヘカラス
- 九 本品一分ヲ無菌生理食塩水四百分ニ新タニ溶解セルモノヲ取り「アルゼノベンゾール」ノ條第八項ニ掲クル方法ニ據リ試験スルニ同一ノ成績ヲ示ササルヘカラス又本試験ニ於テ再歸熱スピロヘータ」ニ代フルニ病原性トリパノゾールヲ以テスルコトヲ得此場合ニハ本品一分ヲ無菌生理食塩水一萬分ニ新タニ溶解セルモノヲ用ヒ同様試験ヲ行フヘシ

一〇 冷暗處ニ最モ注意シテ貯フヘシ

**Oleum Arachidis**

**落花生油**

- 一 落花生油ハ落花生 (*Arachis hypogaea Linne*) ノ種被ヲ除キ冷壓シテ得タル脂肪油ナリ
  - 二 本品ハ類黄色無臭ノ液ニシテ緩和ノ味ヲ有シ比重 0.916~0.921・ヨード數 83~100・鹼化數 188~197・酸度 7.5 以下・不鹼化物 1.5% 以下ナリ
  - 三 本品 5cc ヲ試験管ニ取り之ニ「フルフロール溶液 0.1cc 及發煙塩酸 10cc ヲ加ヘ少クモ半分間強ク振盪シ放置スルニ下層ニ分離セル水液紅色ヲ呈スルモ僅微ニ止マルヘシ
  - 四 本品 5cc ニ「アミルアルコール及硫黄ノ二硫化炭素溶液(1+99) 各 5cc ヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ十五分間重湯煎中ニ熱スルニ赤色ヲ呈スヘカラス更ニ該二硫化炭素溶液 5cc ヲ追加シテ尙十五分間熱スルモ亦然リ
- Oleum Armeniacae**
- 杏仁油**
- 一 杏仁油ハ杏仁ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ
  - 二 本品ハ黄色澄明ノ液ニシテ殆ト臭氣ナク味緩和ニシテ取



- 油性ナラス零下10°ニ於テ尙液状ニ止マリ比重 0.91~0.92・鹼化數 178~200・ヘード數 96~106 ナリ
- 本品 2cc ニ硝酸 10ccヲ加ヘ之ニ亞硝酸ソーダノ粉末 1gヲ少許ツツ加ヘ冷處ニ放置スルニ四乃至十時間ニシテ類黄色ノ凝塊ヲ生ス又本品 2cc ニ發煙硝酸及水各 1ccノ混液ヲ和シ強ク振盪スルニ橙赤色ヲ呈ス
- 本品 5cc ニ「アミルアルコール及硫黄ノ二硫化炭素溶液 (1+39) 各 5ccヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ十五分間重湯煎中ニ熱スルニ赤色ヲ呈スヘカラス更ニ該二硫化炭素溶液 5ccヲ追加シテ尙十五分間熱スルモ亦然リ
- 本品 5cc ニ「フルフロール溶液 0.1cc 及發煙塩酸 10ccヲ加ヘ強ク振盪スルニ十分以内ニ紅色ヲ呈スヘカラス

Oleum Aurantii Floris

橙花油

- 一 橙花油ハ Citrus 屬諸種植物ノ新鮮ナル花ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ黄色或ハ帶褐黄色稀薄ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ微シ佳快ノ香氣ヲ有ス「アルコール一乃至二分ニ澄明ニ混和ス比重 0.81~0.88・旋光度 +15°~+5° ナリ
- 三 本品ニ少量ノ「アルコール」ヲ加ヘテ二液層トナシ之ヲ

搖動スレハ美麗ナル紫色ノ螢石彩ヲ現ハス

- 四 本品ニ濃厚ナル重亞硫酸ソーダ溶液ヲ加ヘテ振盪スレハ紅色ヲ呈ス

Oleum Aurantii Pericarpii

オレンジ油

- 一 オレンジ油ハ Citrus 屬諸種植物ノ果被ヲ壓搾シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ類黄褐色稀薄ノ液ニシテ特異芳香性ノ氣味ヲ有シ味稍ク苦ク等分ノ「アルコール」ニ濁濁シテ溶解ス比重 0.85~0.86・旋光度 +80° 以上ナリ

Oleum Bergamotae

ベルガモット油

- 一 ベルガモット油ハ Citrus Bergamia Risso et Poiteau ノ新鮮ナル果被ヨリ壓搾シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ類綠色或ハ帶綠黄色稀薄ノ液ニシテ佳快ノ香氣及芳香性ノ苦味ヲ有シ中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ微ス氷醋酸ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重 0.860~0.896・旋光度 +8°~+24° ナリ
- 三 本品ニ容量ニ「アルコール」一容量ヲ和スルニ澄明ニ止マ

- リ更ニ「アルコール多量ヲ混和スルニ濁濁スヘカラス又本品 1cc ハ 20°ニ於テ「アルコール 3cc 及水 1cc」ノ混液 2ccニ溶解スヘシ或ハ濁濁スルコトアルモ油滴ヲ析出スヘカラス
- 四 本品 5gヲ重湯煎上ニ蒸發シ香氣ノ消失スルニ至ルニ綠色柔軟均等ノ物質ヲ殘留スヘシ其量 0.12gヲ超ユヘカラス
- 五 本品 2g ニ「アルコール性カリ滴液 10g」ヲ加ヘテ蒸發乾涸シ熱灼シタル後水ニ溶解シ稀硝酸ヲ以テ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液ニ由テ濁濁スヘカラス
- 六 本品 1cc ニ水 5cc 及醋酸五滴ヲ和シ振盪シテ得タル液ハ硫化ソーダ溶液三滴ニ由テ染色スルコトアルモ僅微ニ止マルヘシ
- 七 本品 2g ニ「アルコール性二分定規カリ液 20cc」ヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ重湯煎上ニ三十分間熱シタル後水 100ccヲ和シ二分定規塩酸ヲ用ヒテ過剩ノ「カリ液ヲ中和スルニハ該液ヲ費スコト 12.6cc」ニ過クヘカラス(標示藥フエノールフタレイン溶液)
- 八 壘中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ冷處ニ貯フヘシ

Oleum cacao

〇カカオ脂

カカオ脂・カヤプテ油

- 一 カカオ脂ハ Theobroma Cacao Linné ノ種子ヲ炒燒シ種被ヲ除キタルモノヲ壓搾シテ得タル脂肪ナリ
- 二 本品ハ淡類黄色ノ塊ニシテ微弱ナル特異ノ香氣及緩和ノ味ヲ有シ 15°ニ於テハ堅脆ニシテ 30°~34°ニ於テ熔融シ澄明ノ液トナル「ヨード數 34~38・酸度 5 以下ナリ
- 三 本品ハ敗油性ノ臭氣ヲ有スヘカラス又本品 1g ハ「ヘーテル 3cc」ニ殆ト澄明ニ溶解セサルヘカラス
- 四 密閉シ光ヲ遮リ冷處ニ貯フヘシ

Oleum Catepiti

カヤプテ油

- 一 カヤプテ油ハ Malalouca Leucandendron Linné ノ葉ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ淡黄色或ハ類綠色中性又ハ弱酸性稀薄ノ液ニシテ「カンフル」ニ類スル竄透性ノ香氣ヲ有シ「アルコール」ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重 0.91~0.93・旋光度 -4° 以下ナリ
- 三 本品ニ同容量ノ「ナトロン滴液ヲ和シテ振盪スルニ殆ト全ク溶解スヘカラス
- 四 本品 1cc ニ水 30cc・醋酸一滴ヲ加ヘテ振盪シ之ニ黃血塩溶液一滴ヲ和スルニ呈色スヘカラス

Oleum Camelliae  
椿油

- 一 椿油ハ *Camellia japonica* *Tinné* (ツバキ) ノ種被ヲ除去シ冷壓シテ得タル脂肪油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ帶微黃色澄明ノ液ニシテ殆ト臭氣ナク味緩和ニシテ敗油性ナラス零下 10°ニ於テ一部分凝固シ零下 15°ニ於テ全ク凝固ス比重約 0.916・ヨード數 80~85・鹼化數 189~192.6 ナリ
- 三 本品 2ccニ發煙硝酸・硫酸及水各等分ヨリ成レル冷混液 10ccヲ加ヘテ二液層トナスニ暫時ノ後其接界ニ於テ美麗ナル藍綠色ヲ呈ス
- 四 本品 5ccニ「フルフロール溶液 0.1cc 及發煙塩酸 10cc」ヲ加ヘ強ク振盪スルニ十分以内ニ紅色ヲ呈スヘカラス
- 五 本品 2ccニ硝酸 10ccヲ加ヘ之ニ亞硝酸ソーダ」ノ粉末 1ccヲ少許ツツ加ヘ冷處ニ放置スルニ二乃至六時間ニシテ殆ト白色ノ凝塊トナラサルヘカラス
- 六 本品 5ccニ「アミルアルコール及硫黃ノ二硫化炭素溶液 (1+99) 各 5cc」ヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ十五分間煮沸煎中ニ熱スルニ赤色ヲ呈スヘカラス更ニ該二硫化炭素溶液 5ccヲ追加シテ尙十五分間熱スルモ亦然リ

Oleum camphoratum  
カンフルオレフ油

- 一 カンフルオレフ油ハ  
カンフル 一分  
ヲ取り  
オレフ油 四分  
ニ溶解シ濾過シ製スヘシ
- 二 本品ハ淡類綠色或ハ黃色澄明ノ液ニシテ「カンフル」ノ香氣ヲ有ス

Oleum Caryophylli

丁子油 丁香油

- 一 丁子油ハ丁子ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ類黃色澄明稍々稠厚ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ水ニ僅微ニ・アルコール・エーテル又水醋酸ニ容易ニ溶解ス比重 1.044~1.070・旋光度 -1.3° 以下ナリ氣中ニ於テ漸次ニ褐色ニ變ス
- 三 本品ハ 80% 以上ノ純オイゲノール」ヲ含有ス
- 四 本品五滴ニ石灰水 10cc」ヲ和シ強ク振盪スレハ柔軟絮狀ノ結晶塊ト黃色ノ液トニ分離ス又本品二滴ヲ「アルコール

- 4ccニ溶解シ之ニ塩化第二鉄溶液ヲ加フレハ綠色ヲ呈ス
- 五 本品 1gニ熱湯 20cc」ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ中性ノ反應ヲ徴シ之ニ塩化第二鉄溶液一滴ヲ加フルニ帶灰綠色ヲ呈スルモ藍色ヲ呈スヘカラス
- 六 本品 1ccニ稀醋酸 5cc」ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ硫化ソーダ溶液三滴ニ由テ染色スルコトアルモ僅微ニ止マルヘシ
- 七 本品 1ccハ稀アルコール 2ccニ澄明ニ混和セサルヘカラス
- 八 本品 10ccヲ「カシア塚ニ取り水四倍量ヲ以テ稀釋セル「ナトロン滴液 70cc」ヲ加ヘ重湯煎上二十五分間加熱シタル後更ニ該ナトロン滴液ヲ加フルニ 1cc 以上ノ油分ヲ析出スヘカラス

Oleum Chenopodii

へノボヂ油

- 一 へノボヂ油ハ *Chenopodium ambrosioides* *Linne* var. *ant-helminicum* *A. Gray* (アメリカアリタサウ) ノ果實ヲ帶ヒタル新鮮ナル全草ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ淡黃色ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味苦ク灼クカ如シ比重 0.963~0.990・旋光度 -4°~-20° ナ

- 三 本品 1ccハ 70% アルコール 8ccニ澄明ニ溶解セサルヘカラス
- 四 本品 5ccニ水 5cc 及稀塩酸一滴ヲ和シ振盪シ之ニ硫化ソーダ溶液三滴ヲ加フルニ水液暗色ヲ呈ヘカラス
- 五 本品 10ccヲ「カシア塚ニ取り 60% 醋酸ヲ加ヘ振盪後靜置スルニ油分ヲ析出スルコト 3.5ccニ過クヘカラス
- 六 塚中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ冷處ニ注意シテ貯フヘシ  
一日ノ極量 1.0g

Oleum Chloroformii

クロロホルム油

- 一 クロロホルム油ハ  
クロロホルム 一分  
ヲ取り  
オレフ油 一分  
ヲ混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ黄色澄明ノ液ニシテ「クロロホルム」ニ類スル香氣ヲ有ス

Oleum Cinnamomi

桂皮油

- 一 桂皮油ハ桂皮ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ黄色或ハ類褐色澄明稍濃稠ノ液ニシテ特異ノ芳香ヲ有シ味灼クカ如クニシテ甘ク弱酸性ノ反應ヲ徴シ三倍容量ノ稀アルコールニ溶解シ「アルコール」ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重 1.055~1.070 ナリ
- 三 本品ハ 70% 以上ノ純桂アルデヒドヲ含有ス
- 四 本品四滴ヲ取り之ニ粗製硝酸四滴ヲ和シ振盪スレハ白ヲ超エサル温ニ於テ白色ノ結晶塊トナル
- 五 本品四滴ヲ「アルコール 10cc」ニ溶解シタルモノハ塩化第二鉄溶液數滴ニ由テ褐色ヲ呈スルニ止マリ綠色或ハ藍色ヲ呈スヘカラス
- 六 本品 1ccヲ稀アルコール 4~5ccニ溶解シタル液ハ澄明ニシテ之ニ新タニ製シタル醋酸鉛稀アルコール飽和溶液半容量ヲ和スルニ沈澱ヲ生スヘカラス
- 七 本品ヲ重湯煎上ニ揮散セシムルニ 20% 以上ノ殘留物ヲ遺スヘカラス
- 八 本品 5ccニ水 5cc及稀塩酸一滴ヲ和シ振盪シ之ニ硫化ソーダ溶液三滴ヲ加フルニ上層ノ水液暗色ヲ呈スヘカラス

九 本品 5ccヲ「カシア塚」ニ取り重亞硫酸ソーダ溶液約 20ccヲ加ヘ屢々振盪シツツ重湯煎上ニ加熱シ初メ生成シタル固形分全ク溶解スルニ至リ水ヲ加フルニ 1.5% 以上ノ油層ヲ分離スヘカラス

Oleum Citri Oleum Limonis

レモン油

- 一 レモン油ハ Citrus medica Limonéノ新鮮ナル果被ヨリ壓搾シテ得タル揮發油ナリ
  - 二 本品ハ淡黄色稀薄ノ液ニシテ特異芳香性ノ氣味ヲ有シ味稍苦シ約十二分ノ「アルコール」ニ澄明或ハ殆ト澄明ニ混和シ比重 0.851~0.861・旋光度 +5.8°~+6.5°ナリ
- Oleum Citronellae
- シトロネラ油
- 一 シトロネラ油ハ Cymbopogon Winterianus Jacq.ノ葉ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
  - 二 本品ハ類黄色澄明稀薄ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味灼クカ如シ比重 0.885~0.901・旋光度 -4.5°~+1.7°ナリ
  - 三 本品ハ 80% 以上ノ總ゲラニオール (C<sub>10</sub>H<sub>18</sub>O = 154.1)ヲ含有ス

四 本品 1ccハ純アルコール四分・水一分ノ混液 2ccニ澄明ニ溶解セサルヘカラス此澄明液ハ更ニ「アルコール混液 8cc」ヲ和スルニ蛋白濁ヲ呈スルニ止マルヘシ

- 五 本品 5ccニ水 5cc及稀塩酸一滴ヲ加ヘテ劇シク振盪シタル後其水液ニ硫化ソーダ溶液三滴ヲ加フルニ暗色ヲ呈スヘカラス
- 六 本品 5ccニ無水醋酸 5cc・熔製醋酸ソーダ 1ccヲ加ヘテ二時間煮沸シ冷後水 30ccヲ加ヘ屢々劇シク振盪シツツ約十五分間重湯煎上ニ加熱シ茲ニ析出スル油分ヲ取り水ヲ以テ洗滌シ青色リトマス紙ヲ殆ト赤變セサルニ至リ燒芒硝 15gヲ加ヘテ水分ヲ去リ乾燥濾紙ヲ用ヒテ濾過シ茲ニ得タル油分 1.5gニ「アルコール 5cc」及フェノールフタレイン溶液一二滴ヲ加ヘ「アルコール性二分定規カリ液ヲ滴加シテ淡紅色ヲ呈スルニ至リ更ニ該液 20ccヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ一時間重湯煎上ニ加熱シ冷後フェノールフタレイソ溶液 1ccヲ加ヘ二分定規塩酸ヲ用ヒテ剩餘ノ「カリ液ヲ中和スルニハ該液ヲ費スコト」ニ注意シ過クヘカラス

Oleum Crotonis

巴豆油

一 巴豆油ハ Croton Tiglium Linneノ種被ヲ除キタル種子ヲ

壓搾シテ得タル脂肪油ナリ

- 二 本品ハ帶褐色稍濃稠ノ液ニシテ特異不快ノ臭氣ヲ有シ酸性ノ反應ヲ徴シ比重 0.94~0.96ナリ
  - 三 本品一容量ニ純アルコール二容量ヲ加ヘテ温ムルニ澄明ニ溶解ス
  - 四 本品 2gニ硝酸 10ccヲ加ヘ之ニ亞硝酸ソーダノ粉末 1gヲ少許ツツ加ヘ冷所ニ放置スルニ四十八時間ヲ經ルモ全部或ハ一部分凝結スヘカラス
  - 五 本品ヲ以テ濡ホシタル捻紙ニ點火シテ後吹滅スルニ動物性脂肪ヲ燃燒スルカ如キ臭氣ヲ放ツヘカラス
  - 六 壘中ニ容レ密栓シ最モ注意シテ貯フヘシ
- 一回ノ極量 0.05g  
一日ノ極量 0.15g

Oleum Eucalypti

ユーカリ油

- 一 ユーカリ油ハ「ユーカリ葉」ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ淡黄色澄明稀薄ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ中性ノ反應ヲ徴シ「アルコール」ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重 0.90~0.93ナリ

- 三 本品一容量ハ 70% アルコール三容量ニ證明ニ溶解セサルヘカラス
- 四 本品 1cc ニ氷醋酸 2cc 及飽和亞硝酸ソーダ溶液 2cc ヲ和シ輕ク振盪スルニ結晶ヲ生スヘカラス
- 五 本品 1cc ニ磷酸(比重 1.75) 1cc ヲ和シ強ク振盪シタル後放置スルニ三十分以内ニ固結セサルヘカラス
- 六 本品ヲ蒸溜スルニ 170°~185°ニ於テ少クモ其半量ヲ溜出セサルヘカラス

**Oleum Foeniculi**

茴香油

- 一 茴香油ハ茴香ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ類黄色ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味微ニ甘ク後微苦カンフル様ナリ比重 0.935~0.960・旋光度 + 6° 以上ナリ
- 三 本品ハ零度ニ冷却スレハ白色ノ結晶ヲ析出ス此結晶ハ 5° 以上ノ温ニ於テ復タ全ク融解ス
- 四 本品ハ同容量ノ「アルコール」ニ證明ニ溶解シ更ニ十倍容量ノ「アルコール」ヲ和スルモ變化スヘカラス

**Oleum Hydnocarp**

大風子油

- 一 大風子油ハ *Hydnocarpus* 屬諸種植物ノ種被ヲ除キタル種子ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ
- 二 本品ハ類白色或ハ類黄色軟膏様ノ塊ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ特異脂肪様ニシテ苛辣ナラス 22°~23°ニ於テ大部分液化シ 25°~30°ニ於テ全ク熔融シ證明ノ液トナル「エー」ド數 20~30・鹼化數 195~215・酸度 12 以下ナリ
- 三 本品 5g ヲ純クロホルム「ニ溶解シ常温ニ於テ 100cc トナシタルモノハ旋光度約 +21° ナリ
- 四 本品ノ「クロホルム」溶液 (1+9) 5cc ニ硫酸一滴ヲ加ヘテ振盪スレハ暫時ニシテ鮮綠色ヲ呈ス
- 五 本品十滴ニ「トリクロル醋酸」及塩酸四滴ノ混液五滴ヲ和シ微温ヲ與フルニ深藍色ヲ呈セサルヘカラス
- 六 本品ニ純アルコール五倍容量ヲ加ヘテ温ムルニ證明ニ溶解シ常温ニ於テ白色結晶性ノ沈澱ヲ析出セサルヘカラス

**Oleum Jecoris**

〇肝油

- 一 肝油ハ (*Falco macrocephalus Tiliensis* (「タガラ」)・*Theragra chalcogramma* (Pallas) (「スケトウダラ」) 等タラ科魚類ノ肝臟ヨリ得タル脂肪油ヲ冷却シ析出セル固形分ヲ除去シ製シタ

ルモノナリ

- 二 本品ハ黄色或ハ金黄色證明ノ液ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味緩和ニシテ比重 0.923~0.931・「エー」ド數 140~175・鹼化數 174~195・不鹼化物 2% 以下・酸度 3 以下ナリ
- 三 本品一滴ヲ「クロホルム」二十滴ニ溶解シ之ニ硫酸一滴ヲ加ヘ振盪スルニ藍紫色乃至藍紅色ヲ呈シ次テ褐色ニ變ス又本品一滴ヲ「クロホルム」十滴ニ溶解シ之ニ三塩化アンチモンクロホルム溶液 1cc ヲ加フルニ藍色ヲ呈ス
- 四 本品ハ不快敗油性ノ氣味ヲ有スヘカラス又零度ニ於テ約三時間ヲ經ルモ證明ニ止マリ固形物ヲ析出スヘカラス
- 五 本品 2g ニ硝酸 10cc ヲ加ヘ之ニ亞硝酸ソーダ「ノ粉末」ヲ少許ツツ加ヘ冷處ニ放置スルニ十時間ヲ經ルモ證明液狀ニ止マルヘシ
- 六 本品ヲ加温スルニ不快ナル異臭ヲ發スヘカラス
- 七 塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Oleum Lavandulae**

ラベンデル油

- 一 ラベンデル油ハ *Lavandula vera* *De Candolle* ノ花ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ類黄色ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味稍

ラベンデル油・亞麻仁油

- 一 苦ク比重 0.862~0.900・旋光度 -3°~-10° ナリ
- 三 本品一分ハ 30°ニ於テ稀アルコール三分ニ殆ト證明ニ溶解シ此溶液ハ青色リトマス紙ヲ赤變スヘカラス
- 四 本品ハ 29.4% 以上ノ純醋酸リナロール ( $CH_3CO_2C_{10}H_{17}$  = 196.2) ヲ含有ス
- 五 本品 1g ニ「アルコール」性二分定規カリ液 10cc ヲ和シ還流冷却器ヲ附シ三十分間重湯煎中ニ熱シタル後水 100cc ヲ和シ二分定規塩酸ヲ用ヒテ過剩ノ「カリ液」ヲ中和スルニハ該液ヲ費スコト「cc」ニ過クヘカラス(標示薬フェノールフタレイン溶液)

**Oleum Lini**

亞麻仁油

- 一 亞麻仁油ハ亞麻仁ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ
- 二 本品ハ黄色證明ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ零下 16°ニ於テ尙液狀ニ止マリ薄ク塗布シテ放置スレハ乾涸ス比重 0.93~0.94・「エー」ド數 170~190・鹼化數 187~195・不鹼化物 2% 以下・酸度 6 以下ナリ
- 三 本品 10g ニ「カリ」溶液 15g 及アルコール 3g ヲ混和シ重湯煎上ニ温メ充分鹼化セシメタルモノハ水並アルコール「ニ殘滓ヲ止メスシテ溶解スヘシ

- 四 本品ヲ以テ濡ホシタル捻紙ニ點火シテ後吹滅スルニ動物性脂肪ヲ燃燒スルカ如キ臭氣ヲ放ツヘカラス
- 五 本品 2g ニ硝酸 10ccヲ加ヘ之ニ亞硝酸ソーダノ粉末 1gヲ少許ツツ加ヘ放置スルニ久シキヲ經ルモ澄明液狀ニ止マルヘシ
- 六 本品 5ccヲ試験管ニ取り硝酸銀 0.05gヲ「エーテル」  
cc・アルコール 12cc 及稀硝酸二滴ニ溶解シテ得タル液ヲ加ヘテ振盪シ之ヲ十五分間重湯煎中ニ熱スルニ褐色或ハ黑色ヲ呈スヘカラス
- 七 本品 1ccニ無水醋酸 1ccヲ和シ温メツツ振盪シ冷後之ニ硫酸及水各 1ccノ冷混液ヲ和スルニ紫紅色ヲ呈スヘカラス
- 八 本品 1ccニ稀醋酸 5ccヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ニ「アルコール」12ccヲ加ヘタル後硫化ソーダ溶液三滴ヲ和スルニ三時間ノ後沈澱ヲ生スヘカラス
- 九 本品ニ同容量ノ石灰水ヲ加ヘテ振盪スルニ直チニ永ク持續スル乳化液ヲ生セサルヘカラス

Oleum Menthae

薄荷油

一 薄荷油ハ薄荷葉ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シ寒冷ニ由リ固形分ヲ

- 除去シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ類黃色澄明稀薄ノ液ニシテ特異質透性ノ香氣ヲ有シ味初ノ灼クカ如ク後清涼ナリ「アルコール」ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和ス比重 0.897~0.910・旋光度  $-20^{\circ}$  ~  $-33^{\circ}$  ナリ
- 三 本品ハ 51% 以上ノ總メントール (C<sub>10</sub>H<sub>18</sub>OH = 156.2)ヲ含有ス
- 四 本品 1ccハ約 15%ニ於テ水 20.5cc 及アルコール 100ccヨリ成レル混液 3.5cc 以内ニ澄明ニ混和シ尙之ニ 5~10ccヲ和スルモ蛋白石濁ヲ起スニ過クヘカラス
- 五 本品 5ccヲ壘ニ取り無水醋酸 5cc 及熔製醋酸ソーダ 1ccヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ一時間煮沸シ冷後水 20ccヲ加ヘ重湯煎上ニ屢々振盪シツツ十五分間温メタル後水液ヲ除去シ次テ油分ヲ數回水ヲ以テ洗滌シ洗液既ニ青色リトマス紙ヲ赤變セサルニ至リ之ニ燒芒硝 1.5gヲ加ヘ善ク混和シ乾燥濾紙ヲ用ヒテ濾過シ茲ニ得タル油分 1.5gヲ壘ニ秤取シテ之ニ「アルコール」3cc 及フェノールフタレイン溶液二滴ヲ加ヘ「アルコール」性二分定規カリ液ヲ滴加シ微紅色ヲ呈スルニ至リ同液 20ccヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ一時間重湯煎上ニ加熱シ冷後フェノールフタレイン溶液 1ccヲ添加シ二分定規塩酸ヲ用ヒテ過剩ノ「カリ液」ヲ中和スルニハ

該液ヲ費スコト 11.5ccニ過クヘカラス

Oleum Olivae

オリーブ油

- 一 オリーブ油ハ *Olea europaea Linné* ノ果實ヲ冷壓シテ得タル脂肪油ナリ
- 二 本品ハ淡類綠色或ハ黄色ノ液ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ緩和ニシテ敗油性ナラス比重 0.915~0.920・エーテル數 80~88・鹼化數 189~199・酸度 8.1 以下・不鹼化物 1.5% 以下ナリ
- 三 本品ハ約 10%ニ於テ溷濁シテ結晶性ノ析出物ヲ生シ零度ニ至リテ軟膏様ノ塊トナル
- 四 本品 2ccニ硝酸 10ccヲ加ヘ之ニ亞硝酸ソーダノ粉末 1gヲ少許ツツ加ヘ冷處ニ放置スルニ四乃至十時間ニシテ殆ト白色固形ノ凝塊トナラサルヘカラス又本品 2ccヲ發煙硝酸及水各 1ccノ混液ニ和シ 10%ニ於テ強ク振盪スルニ類綠白色ノ混和物ヲ生シ赤色或ハ褐色ヲ呈スヘカラス
- 五 本品 5ccニ「アミルアルコール」及硫酸 1ccニ硫化炭素溶液 (1+99) 各 5ccヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ十五分間重湯煎中ニ熱スルニ赤色ヲ呈スヘカラス更ニ該二硫化炭素溶液 5ccヲ追加シテ尙十五分間熱スルモ亦然リ

オリーブ油・ヒマシ油

- 六 本品 5ccヲ試験管ニ取り硝酸銀 0.05gヲ「エーテル」  
cc・アルコール 12cc 及稀硝酸二滴ニ溶解シテ得タル液ヲ加ヘテ振盪シ之ヲ十五分間重湯煎中ニ熱スルニ褐色或ハ黑色ヲ呈スヘカラス
- 七 本品 5ccニ「フルフォル」溶液 0.1cc 及發煙塩酸 10ccヲ加ヘ強ク振盪スルニ十分以内ニ紅色ヲ呈スヘカラス

Oleum Ricini

蓖麻油

- 一 *Ricinus communis Linné* (タウゴマ) ノ種被ヲ除キタル種子ヲ冷壓シテ得タル脂肪油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ類黄色澄明濃稠ノ液ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ初メ緩和ニシテ後稍々苛辣ナリ零度ニ於テ益々濃稠トナリ或ハ同時ニ溷濁ヲ伴ヒ強キ寒冷ニ遇ヘハ牛酪様ニ凝結ス純アルコール並水醋酸ニハ隨意ノ比例ニ於テ溶解ス比重 0.95~0.97 ナリ
- 三 本品 1gハ「アルコール」4ccニ澄明ニ溶解シ更ニ之ニ「アルコール」15ccヲ和スルニ溷濁スヘカラス
- 四 本品及二硫化炭素各 3cc 及硫酸 1ccノ混和物ハ三分間振盪スルニ黒褐色ヲ呈スヘカラス

Oleum Rosae

ローズ油 薔薇油

- 一 ローズ油ハ Rose 屬諸種植物ノ花ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ淡類黄色ノ液ニシテ特異佳快ノ香氣ヲ有シ約百分ノ「アルコール」ニ澄明シ 18°~20°ニ於テ針狀ノ結晶ヲ析出シ較々高度ノ温ニ於テ熔融ス

Oleum Rosmarini

ロスマリン油 迷迭香油

- 一 ロスマリン油ハ Rosmarinus officinalis Linné (ヤンネノウ)ノ新鮮ナル葉及枝尖ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ無色或ハ淡黄色稀薄ノ液ニシテ「カンフル」ニ類スル竄透芳香性ノ氣味ヲ有シ同容量ノ二硫化炭素竝半容量ノ「アルコール」ニ澄明ニ混和ス比重 0.895~0.920・旋光度 -2°~+15°ナリ

Oleum Santali

白檀油 サンタル油

- 一 白檀油ハ白檀ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ
- 二 本品ハ淡類黄色或ハ黄色濃稠ノ液ニシテ白檀ノ氣味ヲ有シ中性或ハ微ニ酸性ノ反應ヲ徴ス比重 0.975~0.982・旋光度 -17°~ -21°ナリ
- 三 本品ハ 90% 以上ノ純サンタロール (C<sub>11</sub>H<sub>16</sub>OH = 220.2)ヲ含有ス
- 四 本品 1g ハ 25°ニ於テ稀アルコール 6g (比重 0.83)ニ澄明ニ溶解シ 20°ニ於テ更ニ稀アルコール 14gヲ和スルニ澄明ニ止マルヘシ
- 五 本品二滴ニ水醋酸 3g 及塩酸 1gノ混液 7.5gヲ和スルニ十分以内ニ紅色或ハ紫色ヲ呈スヘカラス
- 六 本品 5gヲ塚ニ取り無水醋酸 5g 及熔製醋酸ソーダ 2gヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ一時間煮沸シ冷後 20gノ水ヲ加ヘ重湯煎上ニ屢々振盪シツツ十五分間温メタル後水層ヲ除去シ其油分ニ水ヲ加ヘテ數回洗滌シ青色リトマス紙ヲ殆ト赤變セサルニ至リ之ニ燒芒硝ヲ加ヘテ水分ヲ去リ乾燥濾紙ヲ用ヒテ濾過シ茲ニ得タル油分 1.5gヲ塚ニ秤取シ之ニ「アルコール 5g」ヲ加ヘ「フェノールフタレイン溶液一二滴ヲ添加シ「アルコール性二分定規カリ液ヲ滴加シテ淡紅色ヲ呈スルニ至リ更ニ「アルコール性二分定規カリ液 20g」ヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シテ一時間重湯煎上ニ熱シ之ニ水

- 100ccヲ加ヘ「フェノールフタレイン溶液 1cc」ヲ添加シ二分定規塩酸ヲ用ヒテ剩餘ノ「カリ液」中和スルニハ其酸液ヲ費スコト 0.5ccニ過クヘカラス
- 七 塚中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ冷處ニ貯ヘシ

Oleum Sesami

胡麻油

- 一 胡麻油ハ Sesamum indicum Linné (ヒト)ノ種子ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ
- 二 本品ハ類黄色或ハ金黄色ノ液ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ緩和ニシテ敗油性ナラス零下 5°ニ於テハ凝結シテ帶黄白色軟膏様ノ塊トナル比重 0.915~0.925・ヨード數 103~111・鹼化數 185~193・酸度 8以下・不鹼化物 1.5%以下ナリ
- 三 本品一滴ニ「フルフオール溶液三滴ヲ和シ之ニ發煙塩酸 3cc」ヲ加ヘ振盪スルニ紅色ヲ呈ス
- 四 本品 5ccニ「アミルアルコール及硫黄ノ二硫化炭素溶液 (1+39)各 5cc」ヲ和シ還流冷却器ヲ附シテ重湯煎中ニ十五分間熱スルニ其混液赤色ヲ呈スヘカラス更ニ該二硫化炭素溶液 5ccヲ追加シテ尙十五分間熱スルモ亦然リ

Oleum Sinapis aethereum

揮發芥子油

- 一 揮發芥子油ハ無色或ハ類黄色澄明稀薄ノ液ニシテ極メテ強烈ナル刺戟臭ヲ有シ半容以上ノ「アルコール」竝隨意量ノ二硫化炭素ニ澄明ニ溶解シ 118°~156°ニ於テ沸騰ス比重 1.020~1.025ナリ
- 二 本品ハ 97% 以上ノ純イソ硫シアンアリル (C<sub>4</sub>H<sub>9</sub>NCS = 99.1)ヲ含有ス
- 三 本品ヲ水ニ滴加スレハ澄明ノ油滴トナリテ器底ニ沈降シ其油滴ハ一分以内ニ類白色ヲ呈スヘカラス又本品 3gニ善ク冷却シツツ徐々ニ硫酸 6gヲ和シ振盪スルニ「ガス」ヲ發シ黄色澄明ノ液ヲ生シ次テ濃稠トナリ稀ニハ凝結シテ結晶性トナリ揮發芥子油ノ劇臭ヲ失フ又本品一容量ニ「アルコール」五容量ヲ和シテ稀釋シタルモノハ塩化第二鉄溶液少量ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス
- 四 本品 1gヲ内容 50ccノ測容塚ニ取り「アルコール」ヲ加ヘテ 50ccトナシ其 5ccヲ更ニ内容 100ccノ測容塚ニ取り之ニ「アンモニア水 10cc」及十分定規硝酸銀液 50ccヲ注加シ塚口ニ小漏斗ヲ架シ重湯煎上ニ一時間加熱シタル後冷却シ水ヲ加テヘ 100ccトナシ濾過シ其濾液 50ccニ硝酸

500cc 及鉄明礬溶液 500ccヲ和シ十分定規ロダンアンモン液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト 15.21ccニ過クヘカラス

Oleum Sojae

大豆油

一 大豆油ハ (Glycine Soja Benhnum (ダイズ))ノ種子ヲ壓搾シテ得タル脂肪油ナリ  
二 本品ハ帶褐黄色澄明ノ液ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味緩和ニシテ「エーテル・クロロホルム又石油エーテル」ニ容易ニ溶解シ零下 10°~17°ニ於テ凝固ス比重 0.922~0.928・鹼化數 190~195・エーテル數 130~137・酸度 2以下ナリ

Oleum Terebinthinae

テレピン油

一 テレピン油ハ「テレピンチーナ」ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ  
二 本品ハ無色或ハ淡黄色稀薄ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味辛辣ナリ五乃至十二分ノ「アルコール」ニ溶解シ 155°以下ナリ

163°ニ於テ其大半ヲ溜出ス比重 0.860~0.877ナリ

三 本品ハ焦臭ヲ有スヘカラス又其 5%ニ「カリ鹼液同容量ヲ加ヘテ振盪スルニ其カリ鹼液黄褐色又ハ暗褐色ヲ呈スヘカラス又本品 5%ニ塩酸同容量ヲ加ヘテ振盪シ少時靜置スルニ其塩酸褐色或ハ暗褐色ヲ呈スヘカラス  
四 本品 500ccニ冷却シツツ徐々ニ發煙硫酸 250ccヲ注加シ反應熄ムニ至リ冷後硝子圓筒ニ移シ硫酸ヲ以テ容器ヲ洗滌シタル洗液ヲ合シテ靜置スルニ殆ト油層ヲ析出スヘカラス  
五 塚中ニ殆ト全滿シ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Oleum Terebinthinae rectificatum

精製テレピン油

一 精製テレピン油ハ  
テレピン油 一分  
石灰水 六分  
ヲ取り混和振盪シ之ヲ蒸溜シテ其油ノ約四分ノ三ヲ得ルニ至リ溜液ヨリ油分ヲ分取シ乾燥セル濾紙ヲ以テ濾過シ製スヘシ  
二 本品ハ 155°~162°ニ於テ殆ト全ク蒸溜シ比重 0.86~0.87ナリ  
三 本品ハ無色澄明ニシテ中性ノ反應ヲ徴セサルヘカラス又

本品 100ccハ「アルコール」700ccニ溶解ニ溶解セサルヘカラス

四 本品 200ccヲ重湯煎上ニ於テ二時間蒸發スルニ 0.005g以上ノ殘溜物ヲ遺スヘカラス  
五 塚中ニ殆ト全滿シ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Oleum Thymi

チミアン油

一 チミアン油ハ Thymus vulgaris Linné (タチジャコウサウ)ノ葉及枝ヲ水蒸氣蒸溜ニ附シテ得タル揮發油ナリ  
二 本品ハ無色或ハ帶黄色或ハ帶微赤色澄明ノ液ニシテ強芳香性ノ氣味ヲ有シ比重 0.9以上ナリ  
三 本品ハ「チモール」及「カルバクロール」總量 20%以上ヲ含有ス  
四 本品 100ccハ純アルコール 400cc及水 100ccノ混液 200ccニ澄明ニ溶解セサルヘカラス  
五 本品 500ccヲ「カシア塚」ニ取り之ニ「ナトロン滴液 35cc及水 700cc」ノ混液ヲ加ヘ振盪後靜置スルニ油分ヲ析出スルコト 400ccニ過クヘカラス

Oleum Zinci

亞鉛華オレフ油

一 亞鉛華オレフ油ハ  
亞鉛華 }  
オレフ油 } 各等分  
ヲ取り研和シ製スヘシ  
二 本品ハ白色ナリ

Opium pulveratum

〇阿片末

一 阿片末ハ Papaver somniferum Linné (ケシ)ノ未熟果殼ヨリ得タル乳液ノ乾涸セルモノヲ 60°ヲ超エサル温ヲ以テ乾燥シ粉末トナシ下ニ掲クル方法ニ據リ「モルヒネ」ノ含量ヲ檢定シ其含量超過スルモノハ適量ノ「モルヒネ含量寡少」ノ阿片末若クハ澱粉ヲ均等ニ混和シ規定ノ含量トナシ製スヘシ  
二 本品ハ褐色ノ粉末ニシテ麻醉性ノ臭氣及苛烈ノ苦味ヲ有ス  
三 本品ハ 10~11%ノ純ヤルコネ (C<sub>17</sub>H<sub>19</sub>NO<sub>2</sub> = 285.2)ヲ含有ス

四 本品 10g ニ消石灰 2g ヲ和シ水 100cc ヲ加ヘ屢々強ク振盪シツツ冷浸スルコト二時間ノ後濾紙上ニ置キタル布片内ニ傾瀉シ之ヲ絞搾シテ濾過シ其濾液 50cc ニ「アルコール 5cc」ヲ混和シ振盪シ一時間靜置シ更ニ濾過シ其濾液 40cc ニ「エーテル 20cc」及塩化アンモン 0.5g ヲ混和シ三十分間強ク振盪シ二十四時間放置シタル後茲ニ析出セル結晶ヲ濾紙上ニ集メ「エーテル」ヲ飽和シタル水 15cc ヲ以テ洗滌シ 65°ヲ超ヘサル温ニ於テ乾燥シ冷後純エーテル 10cc ヲ以テ濾紙上ノ結晶ヲ洗滌シ初メ微温次ニ 30°ノ 100°ニ於テ乾燥シタル後更ニ此結晶ヲ十分定規塩酸 25ccニ溶解シ之ニ「メチルロート」溶液三滴ヲ和シ十分定規カリ液ヲ滴加シ中和スルニハ該液ヲ費スコト 9.4~10.8cc ナラサルヘカラス又此中和液ニ塩化第二鉄溶液ヲ和スルニ藍綠色ヲ呈セサルヘカラス

五 本品ヲ 100°ニ於テ乾燥スルニ 80% 以上ノ重量ヲ減失スヘカラス

六 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量	0.15g
一日ノ極量	0.50g

Oxygenium compressum  
壓縮酸素  
O = 16.00

一 壓縮酸素ハ無色無臭ノ「ガス」ニシテ約三十二容ノ水竝約三・五容ノ「アルコール」ニ溶解ス

二 本品ノ氣流ニ木片ノ餘燼ヲ接觸セシムレハ直チニ燃燒ス

三 本品ハ 93% 以上ノ純酸素ヲ含有ス

四 本品ハ每分約 60cc ノ速度ヲ以テ之ヲ「バリット」水 100cc 中ニ通スルコト 2~ニ至ルニ溷濁ヲ生スルモ其程度ハ重炭酸ソーダ 0.2g ヲ新タニ煮沸シ冷却セル蒸溜水 100cc ニ溶解シテ製シタル溶液ノ 1cc ヲ「バリット」水 100cc ニ加ヘテ生スル溷濁ヨリ強カルヘカラス

五 本品ハ前項同様ノ速度ヲ以テ之ヲ硝酸銀溶液 1cc・水 100cc ノ混液中ニ通スルコト 2~ニ至ルニ其液變化スヘカラス又同様ニ之ヲ數滴ノ「リトマス」溶液ヲ添加セル水 100cc 竝澱粉溶液ヲ添加セル「ヨード」カリ溶液 100cc 中ニ通スルニ其液變化スヘカラス

六 本品 50cc ヲ「ガスビュレット」ニ取り「ピロガロール」溶液約 10cc ト共ニ五分間振盪スルニ殘留スル氣容 1cc ニ過クヘカラス

七 金屬性容器中ニ壓縮充填シテ冷處ニ貯フヘシ

Pancreatinum

パンクレアチン

一 「パンクレアチン」ハ溫血動物ノ脾中ニ存在スル酵素ノ混合物ニシテ通常ハ豚ノ新鮮ナル脾ヨリ製シタルモノナリ

二 本品ハ類黃白色或ハ帶黃白色或ハ類白色ノ粉末ニシテ微ニ不快ナラサル特異ノ臭氣竝肉ニ類スル味ヲ有シ水竝アル「コール」ニ一部溶解ス

三 本品ハ蛋白質ヲ消化シ澱粉ヲ糖化ス永ク礦酸類ニ觸ルレハ其力減少ス

四 本品 1g ニ水 30cc ヲ和シテ煮沸シ其濾液ニ冷後ヨード溶液ヲ滴加スルニ藍色或ハ紫紅色ヲ呈スヘカラス

五 本品 2g ニ「エーテル」 20cc ヲ和シ屢振盪シツツ三十分間冷浸シタル後濾過シテ得タル液 10cc ヲ蒸發シ殘留物ヲ 100°ニ於テ乾燥シ秤量スルニ其重量 0.05g ニ過クヘカラス

六 豫メ硫酸上ニ乾燥セル「カゼイン」末 0.1g ヲ内容 50cc ノ測容壺ニ取り水 30cc ヲ加ヘ振盪シテ均等ニ浮游セシメタル後十分定規カリ液 1cc ヲ和シ 40°ノ温ニ於テ全ク溶解セシメ冷後水ヲ追加シテ全量ヲ 50cc トナシタル溶液 5cc

パンクレアチン・流動パラフィン

一 本品 0.1g ニ水 500cc ヲ和シテ善ク振盪シタル溶液 2cc 及水 3cc ヲ和シ同温度ニ於テ一時間放置シ之ニ水醋酸 1cc・水 9cc 及アルコール 10cc ノ混和液三滴ヲ加フルニ微蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ

七 100°ニ於テ二時間乾燥シタル澱粉 5g・食塩 0.05g 及水 30cc ノ混和物ニ攪拌シツツ熱湯 70cc ヲ注加シ更ニ三十分間重湯煎中ニ熱シタル後 40°ニ冷却シタル糊液ニ本品 0.05g ヲ和シ同温度ニ於テ屢振盪シツツ一時間放置シタル後直チニ其溶液 10cc ヲ沸騰フェーリング溶液 10cc ニ加フルニ之ヲ脱色セサルヘカラス

八 本品ヲ 100°ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト 4% 以上ニ過クヘカラス

九 本品ヲ灰化スルニ 10% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

一〇 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Paraffinum liquidum

流動パラフィン

一 流動パラフィン」ハ石油ヨリ得タル無色澄明油様ノ液ニシテ臭味ナク螢石彩ヲ現ハサス水ニ全ク「アルコール」ニ殆ト溶解セシ「エーテル」・クロロホルム又ニ二硫化炭素ニ容易ニ溶解ス比重 0.815 以上ナリ



- 二 本品 100ccヲ内容約 200ccノ蒸溜水ニ取り十五分間 300°ニ熱スルニ溜出分アルヘカラス
- 三 本品ハ 10°ニ冷却スルニ蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ
- 四 本品 3ccヲ試験管ニ取り硫酸 3ccヲ加ヘ屢々振盪シツツ十分間重湯煎中ニ熱スルニ變色セス其硫酸ハ褐色ヲ呈スルコトアルモ僅微ニ止マルヘシ
- 五 本品 3ccニ「アルコール 15ccヲ加ヘ一分間振盪シ濾過シテ得タル」アルコール液ヲ蒸散セシムルニ黄色ノ針狀結晶ヲ殘留スヘカラス
- 六 本品 5ccニ「ナトロン滴液 3cc及水 20ccヲ加ヘ振盪シツツ煮沸シ冷後其水液ヲ取り之ニ塩酸ヲ加ヘテ過飽スルニ油狀物ヲ分離スヘカラス
- 七 本品 5ccニ「酸化鉛一分ヲ「ナトロン滴液四分ニ溶解シテ得タル液二滴及純アルコール 2ccヲ和シ十分間 70°ニ温ムルニ冷後暗色ヲ呈スヘカラス
- 八 本品五分ニ温湯二十五分ヲ加ヘ一分間劇シク振盪シ冷後濾過シテ得タル水液ハ硝酸バリウム溶液竝硝酸銀溶液ニ由テ變化スヘカラス又其 20ccニ「フェノールフタレイン溶液二滴ヲ加フルニ無色ニ止マリ更ニ十分定規カリ液 0.1ccヲ和スルニ紅色ヲ呈セサルヘカラス
- 九 本品 10gニ過マンガン酸カリ溶液 0.5ccヲ加ヘ攪拌シ

ツツ重湯煎上ニ熱スルニ五分以内ニ其紅色消失スヘカラス  
**Paraffinum solidum**

パラフィン 固形パラフィン

- 一 「パラフィン」ハ白色細微結晶性ノ塊ニシテ臭氣ナク 25°〜75°ニ於テ熔融シ無色澄明ノ液トナル
- 二 本品 3gヲ試験管ニ取り硫酸 3ccヲ加ヘ屢々振盪シツツ十五分間重湯煎中ニ熱スルニ變色スヘカラス其硫酸ハ褐色ヲ呈スルコトアルモ僅微ニ止マルヘシ
- 三 本品 1gニ「アルコール 3cc及フェノールフタレイン溶液二滴ヲ加ヘテ熱スルニ混液無色ニ止マリ之ニ十分定規カリ液 0.1ccヲ和スルニ紅色ヲ呈セサルヘカラス
- 四 本品ノ熔融セルモノ 15gニ約 80°ノ水 25ccヲ加ヘ一分間劇シク振盪シ冷後濾過シテ得タル水液ハ硝酸バリウム溶液竝硝酸銀溶液ニ由テ變化スヘカラス
- 五 本品 10gニ過マンガン酸カリ溶液 0.5ccヲ加ヘ振盪シツツ重湯煎上ニ熱スルニ五分以内ニ其紅色消失スヘカラス

**Pastae**

パスタ劑

- 一 パスタ劑ハ粘稠軟膏狀或ハ糊泥狀ノ稠度ヲ有スル外用劑

ナリ

- 二 本劑ハ藥品ニ澱粉・油類・脂肪・蠟・パラフィン・ワセリン・水等ヲ親密ニ研和シ製スヘシ

**Pasta Sulfuris cum Piceliquidida**

タールパスタ 參硫膏

- 一 タールパスタ「ハ
- 木タール 一分
- 亞鉛華 一分
- 硫黃華 一分
- 豚脂 一分
- 牛脂 二分

ヲ取り研和シ製スヘシ

- 二 本品ハ帶褐灰色ナリ
- 三 密閉シ冷處ニ貯フヘシ

**Pepsinum saccharatum**

含糖ペプシン

- 一 含糖ペプシン「ハ豚或ハ牛ノ胃粘膜ヨリ得タル「ペプシン」ニ乳糖ヲ混和シタルモノナリ
- 二 本品ハ殆ト白色細微ノ粉末ヲナシ稍々潮解性ニシテ微ニ

タールパスタ・含糖ペプシン・橙皮

特異ノ臭氣ヲ有シ味微甘ニシテ僅ニ苦味ヲ遺ス百分ノ水ニ微濁シテ溶解シ微弱酸性ノ反應ヲ徴シ「アルコール」ニ殆ト溶解セス

- 三 本品ハ不快若クハ「アンモニア性ノ臭氣ヲ有スヘカラス
- 四 本品 0.5gヲ取り水 50ccニ溶解シ「フェノールフタレイン溶液二三滴ヲ添加シ之ニ十分定規カリ液ヲ滴加シ紅色ヲ呈スルニハ該液ヲ費スコト 0.5ccニ過クヘカラス
- 五 新鮮ナル鶏卵ヲ八分間熱湯中ニ煮熱シ次テ直チニ冷水中ニ冷却シタル後其卵白ヲ取り薄片トナシ第五號篩ヲ用ヒ壓ヲ加ヘテ二回篩過シタルモノ 10gニ 50°ノ温ヲ有スル水 100cc及塩酸 0.5ccヲ和シ之ニ本品 0.1gヲ加ヘ 50°ニ於テ屢々振盪スルニ二時間以内ニ其卵白殆ト全ク溶解スヘシ
- 六 本品ヲ 100°ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト 0.5%ニ過クヘカラス又之ヲ燃化スルニ 0.5%以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 七 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Pericarpium Aurantii**

橙皮

- 一 橙皮ハ「Citrus Aurantium Limb (ダイダイ)」ノ稔熟セル果實ノ皮ヲ剝離シ縦切シ乾燥セルモノナリ

- 二 本品ハ兩端鋭尖ナル楕圓形ヲナシ外面ハ類褐色粗糲ニシテ無數ノ窩點ヲ現ハシ内面ハ類白色緻密ナリ
- 三 本品ハ氣味芳香性ニシテ甚タ苦シ
- 四 本品ヲ灰化スルニ4%以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Phenacetinum

○フェナセチン



- 一 フェナセチンハ光輝アル無色ノ結晶或ハ結晶性粉末ニシテ臭味ナク水ニ溶解シ難ク約七十分ノ熱湯ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴ス又十六分ノ「アルコール」ニ溶解シ134°ニ於テ熔融ス
- 二 本品0.1gニ硝酸5ccヲ和シテ振盪スルニ一部溶解シテ黄色ヲ呈シ尙持續シテ振盪スレハ暫時ニシテ黄色絮狀ノ沈澱ヲ析出ス
- 三 本品0.1gヲ塩酸1ccト共ニ一分間煮沸シ水20ccヲ以テ稀釋シ冷後濾過シテ得タル液ニ重クロム酸カリ溶液五滴ヲ加フレハ紅色ヲ呈ス
- 四 本品ノ細末トナシタルモノ0.5gニ水5ccヲ和シ一分間振盪シ濾過シテ得タル液ハ「ブロム水1.0~1.5ccヲ和スルニ濁濁スヘカラス又本品0.3gニ「アルコール1cc・水3cc

- 及ヨード溶液一滴ヲ加ヘテ煮沸シ溶解スルニ至ルニ其溶液微ニ黄色ヲ帶フルニ止マリ紅色ヲ呈スヘカラス又之ヲ速ニ冷却スルニ析出スル結晶ハ無色ナルヘシ
- 五 本品0.1gハ硫酸1ccニ殆ト染色セスシテ溶解スヘシ
- 六 本品0.2gヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 七 注意シテ貯フヘシ
  - 一回ノ極量 1.0g
  - 一日ノ極量 3.0g

Phenazolinum tannicum

Phenylidihydrochinazolinum tannicum

タンニン酸フェナゾリン

- 一 タンニン酸フェナゾリンハ白色或ハ帶黃白色ノ粉末ニシテ殆ト臭味ナク水ニ僅微ニ・塩酸性水ニ容易ニ又五十分ノ「アルコール」ニ溶解ス
- 二 本品0.5gニ「アルコール2ccヲ注キ之ニ稀薄ナル塩酸(1+19)8ccヲ加ヘテ得タル溶液ハ昇汞溶液ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生シ「クロム酸カリ溶液ニ由テ暗色ノ濁濁ヲ呈ス
- 三 前項ノ本品溶液ニ「ナトロン滴液ヲ和スレハ黃白色ノ沈澱ヲ生ス

- 一 生ス之ニ「エーテル」ヲ添加シテ振盪シ其エーテル層ヲ分取シ之ヲ蒸發シテ得タル殘渣ハ約95°ニ於テ熔融シ又アルコール竝ク「ホルム」ニ溶解ス
- 四 本品ニ亞鉛末ヲ和シテ暫時加熱スレハ「イソニトリル」ノ臭氣ヲ發シ之ニ塩酸性水ヲ加ヘ濾過シテ得タル液ハ「晒粉溶液ニ由テ藍色ヲ呈ス
- 五 本品ヲ塩酸性水ニ溶解シ之ニ塩化第二鉄溶液ヲ和スレハ藍色ヲ呈ス
- 六 本品0.2gヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス

Phenobarbitalum

Acidum Phenylacetylbarbituricum

フェノバルビタール

フェニルエチルバルビツール酸



- 一 フェノバルビタールハ白色結晶性ノ粉末ニシテ微ニ苦味ヲ有シ水ニ溶解シ難ク四十分ノ熱湯・約十分ノ「アルコール」又約十五分ノ「エーテル」ニ溶解シ173°~174°ニ於テ熔融ス

- 二 本品0.2gニ苛性カリ約3gヲ加ヘテ熔融スレハ「アンモニア」ヲ發生シ冷後其熔融物ヲ水ニ溶解シ稀硫酸ヲ以テ酸性トナセハ洶沸シテ芳香ヲ放ツ
- 三 本品0.03gニ十分定規カリ液1cc及水5ccヲ和シテ三分間振盪シ濾過シテ得タル液1ccニ硝酸銀溶液三滴又昇汞溶液一滴ヲ加フレハ「アンモニア水ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生ス
- 四 本品0.1gハ炭酸ソーダ溶液(1+9)1.5ccニ全ク溶解シ稀硫酸ヲ以テ過飽スレハ再ヒ析出ス
- 五 本品0.1gニ水10ccヲ和シテ煮沸シ冷後濾過シテ得タル液ハ青色リトマス紙ヲ微ニ赤變セサルヘカラス又其液2ccハ硝酸銀溶液一滴又硝酸バリウム溶液一滴ニ由テ變化スヘカラス
- 六 本品0.1gハ硫酸1ccニ染色セスシテ溶解スヘシ
- 七 本品0.2gヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 八 密閉シ注意シテ貯フヘシ
  - 一回ノ極量 0.25g
  - 一日ノ極量 0.50g

Phenobarbitalum soluble

Natrium Phenylacetylbarbituricum

溶性フェノバルビタール

フェニルエチルバルビツール酸ソーダ



- 一 溶性フェノバルビタールハ白色結晶性ノ粉末ニシテ味苦ク一・二分ノ水ニ溶解シ熱アルコールニ溶解シ難ク水溶液ハ赤色リトマス紙ヲ青變ス
- 二 本品ノ水溶液ハ永ク貯藏シ又ハ之ヲ煮沸スレハ一部分分解シテ白色ノ結晶ヲ析出シ之ヲ稀アルコールヲ用ヒテ再結晶スレハ 147°ニ於テ熔融ス
- 三 本品 0.2gニ苛性カリ約 3gヲ加ヘテ熔融スレハ「アンモニア」ヲ發生シ冷後其熔融物ヲ水ニ溶解シ稀硫酸ヲ以テ酸性トナセハ泡沸シテ芳香ヲ放ツ
- 四 本品 0.1gヲ熱灼シテ得タル固性物ヲ少許ノ塩酸ヲ以テ濡ホシ無色焰中ニ熱スレハ其火焰ヲ黄色ニ染ム
- 五 本品ノ水溶液(1+99)ニ稀硫酸ヲ加フレハ白色結晶性ノ沈澱ヲ析出ス之ヲ濾別シ少量ノ水ヲ以テ洗滌シ硫酸上ニ乾燥シタルモノハ 173°~174°ニ於テ熔融ス又同水上水溶液 1ccニ硝酸銀溶液三滴又昇汞溶液一滴ヲ加フレハ「アンモ

ニア水ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生ス

- 六 本品ノ水溶液(1+99)2ccニ硝酸二滴ヲ添加シ濾過シテ得タル液 1ccハ硝酸銀溶液一滴並硝酸バリウム溶液一滴ニ由テ變化スヘカラス
- 七 本品 0.1gハ硫酸 1ccニ染色セスシテ溶解スヘシ
- 八 本品 0.2gヲ水 100ccニ溶解シ「メチルオレンジ」溶液五六滴ヲ添加シタルモノハ黄色ニシテ十分定規塩酸 1.5ccヲ加フルニ變色セス更ニ之ニ該液 0.4ccヲ滴加スルニ赤色ヲ呈セサルヘカラス
- 九 壘中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ
  - 一回ノ極量 0.25g
  - 一日ノ極量 0.50g

Phenolphthaleinum

フェノールフタレイン



- 一 フェノールフタレインハ白色或ハ類黄白色結晶性或ハ無晶形ノ粉末ニシテ臭味ナク水ニ殆ト溶解セス十二分ノ「アルコール」ニ溶解ス熔融點 255°~258°ナリ
- 二 本品ハ「ナトロン」滴液ニ紅色ヲ呈シテ溶解シ過剰ノ酸ヲ加フレハ脱色ス

- 三 本品 0.5gハ「アルコール」20ccニ染色セスシテ溶解セサルヘカラス
- 四 本品 0.5gハ「ナトロン」滴液 1cc及水 50ccノ混液ニ全溶スヘシ
- 五 本品 0.2gヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 六 注意シテ貯フヘシ

Phenolum

石炭酸 フェノール



- 一 石炭酸ハ無色針狀結晶或ハ白色結晶性ノ塊ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ十五分ノ水ニ溶解シテ澄明ノ液トナル「アルコール・エーテル・クロロフォルム・グリセリン」又ニ硫化炭素ニ容易ニ溶解ス凝固點 39°~41° 沸騰點 178°~182°ナリ
- 二 本品 2gヲ「アルコール」1ccニ溶解シタルモノハ塩化第二鉄溶液二滴ニ由テ汚綠色ヲ呈シ水 100ccヲ以テ之ヲ稀釋スレハ稍々持續スル美麗ナル紫色ニ變ス又本品 0.1gヲ水 1ccニ溶解シタルモノ 10ccニ「ブロム」水ヲ滴加シ消

失セサル黄色ヲ呈スルニ至レハ殆ト白色絮狀ノ沈澱ヲ生ス

石炭酸・液狀石炭酸

- 三 本品ノ熔融セルモノ 1ccハ 4ccノ「ナトロン」滴液ニ染色セスシテ澄明ニ溶解スヘシ
- 四 本品十分ニ水一分ヲ混和スレハ澄明ノ液トナリ更ニ水多量ヲ加フレハ濁濁シ百五十分ニ至レハ全ク溶解シテ復タ澄明ノ液トナル
- 五 本品ヲ重湯煎上ニ蒸發スルニ 0.1%以上ノ殘留物ヲ遺スヘカラス
- 六 密閉シ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ
  - 一回ノ極量 0.1g
  - 一日ノ極量 0.3g

Phenolum liqnefactum

液狀石炭酸 液狀フェノール

- 一 液狀石炭酸ハ
  - 石炭酸 十分
  - ヲ取り微温ヲ與ヘテ熔融セシメ之ニ
  - 蒸溜水 一分
  - ヲ混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ無色或ハ微ニ紅色ヲ帶フル澄明ノ液ニシテ石炭酸ノ臭氣ヲ有シ比重 1.068~1.071ナリ
- 三 本品 10ccニ 15°ニ於テ水 2.3ccヲ加フルニ澄明ニ止

マリ更ニ水 0.5ccヲ加フレハ濁濁スヘシ又其濁濁液ニ 1cc  
 ~ 140ccノ水ヲ加フルニ再ヒ澄明ノ液トナラサルヘカラス  
 四 光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

Phenolum pro desinfectione

○防疫用石炭酸

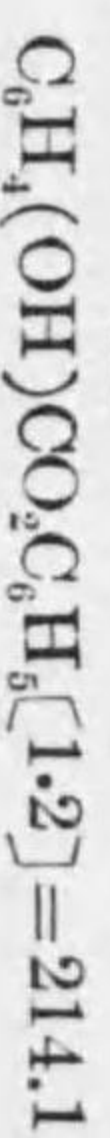
防疫用フェニール

一 防疫用石炭酸ハ無色或ハ殆ト白色或ハ微ニ紅色ヲ帶フル  
 針狀ノ結晶又ハ結晶性ノ塊ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ「アル  
 コール・エーテル・クロロホルム又グリセリン」ニ溶解ス  
 凝固點 34° 以上・沸騰點約 177° ナリ  
 二 本品 2gヲ「アルコール 1cc」ニ溶解シタルモノハ塩化  
 第二鉄溶液二滴ニ由テ汚綠色ヲ呈シ水 100ccヲ以テ稀釋  
 スレハ稍々持續スル美麗ナル紫色ニ變ス又本品 0.1gヲ水  
 1ccニ溶解シタルモノ 1ccニ「プロム水ヲ滴加シ消失セサ  
 ル黄色ヲ呈スルニ至レハ殆ト白色絮狀ノ沈澱ヲ生ス  
 三 本品ノ熔融セルモノ 1gハ 4ccノ「ナトロン滴液」ニ殆  
 ト澄明ニ溶解スヘシ  
 四 本品十分ニ水一分ヲ混和スレハ澄明ノ液トナリ更ニ水多  
 量ヲ加フレハ濁濁シ百五十分ニ至レハ復タ溶解シテ殆ト澄  
 明ノ液トナル

五 本品ヲ重湯煎上ニ蒸發スルニ 0.1% 以上ノ殘留物ヲ遺ス  
 ヘカラス  
 六 光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

Phenylum salicylicum

サリチル酸フェニル



一 サリチル酸フェニルハ白色結晶性ノ粉末ニシテ弱キ芳  
 香性ノ氣味ヲ有シ約 43°ニ於テ熔融シ水ニ殆ト溶解セス  
 「エーテル並ククロホルム」ニ容易ニ又十五分ノ「アルコー  
 ル」ニ溶解ス  
 二 本品ノ「アルコール溶液」ニ稀塩化第二鉄溶液ヲ和スレハ  
 紫色ヲ呈ス又本品 0.2gニ「ナトロン滴液 5cc」ヲ加ヘ重湯  
 煎中ニ於テ振盪シツツ溶解シ冷後塩酸ヲ以テ過飽スレハ石  
 炭酸ノ臭氣ヲ發シ白色ノ沈澱ヲ生ス  
 三 本品ハ水ヲ以テ濡ホシタル青色リトマス紙ヲ赤變スヘカ  
 ラス又本品一分ヲ五十分ノ水ト共ニ一分間振盪シ濾過シテ  
 得タル液ハ稀塩化第二鉄溶液・硝酸バリウム溶液又硝酸銀  
 溶液ニ由テ變化スヘカラス  
 四 本品 0.2gヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘ  
 カラス

Phosphorus

黃 磷

P = 31.02

一 黃磷ハ白色或ハ類黄色透映蠟燭ノ塊ニシテ多クハ圓柱形  
 ヲナシ 44°ノ水中ニ熔融シ氣中ニ於テハ特異ノ臭氣ヲ放  
 チ白霧ヲ生シ發火シ易ク暗處ニ置ケハ光ヲ現ハシ久シク貯  
 藏スレハ赤色又時トシテハ黑色トナル水ニ溶解セス二硫化  
 炭素ニ容易ニ溶解シ脂肪油並揮發油ニ較々溶解シ難ク「ア  
 ルコール並エーテル」ニ僅ニ溶解ス  
 二 水ヲ滿タセル壺中ニ沈メ硝子栓ヲ以テ密閉シ鐵葉器中ニ  
 納メ最モ注意シテ貯フヘシ  
 一回ノ極量 0.001g  
 一日ノ極量 0.003g

Pilocarpinum hydrochloricum

塩酸ピロカルピン



一 塩酸ピロカルピンハ白色ノ結晶ニシテ微ニ苦味ヲ有シ  
 氣中ニ於テ潮解ス水並アルコールニ容易ニ溶解シ弱酸性  
 ノ反應ヲ微シ「エーテル並ククロホルム」ニ僅微ニ溶解ス

熔融點約 190° ナリ

二 本品少許ヲ時計硝子ニ取り之ニ「ナトロン滴液」ヲ滴加ス  
 レハ油球ヲ析出シ之ヲ熱スレハ溶解シテ澄明ノ液トナリ尙  
 久シク熱スレハ「トリメチルアミン」ノ臭氣ヲ放ツ又本品  
 ノ水溶液ニ硝酸銀溶液ヲ和スレハ稀硝酸ニ溶解セサル白色  
 ノ沈澱ヲ生ス  
 三 本品 0.01gヲ水 5ccニ溶解シ之ニ稀硫酸一滴・過酸化  
 水素水 1cc・ベンゾール 1cc 及重クロム酸カリ溶液一滴  
 ヲ加ヘ強ク振盪スレハ「ベンゾール層」藍色ヲ呈ス  
 四 本品ノ水溶液 (1+99)ハ「ヨード溶液・プロム水」又昇汞  
 溶液ニ由テ沈澱ヲ生シ「アンモニア水」並重クロム酸カリ溶  
 液ニ由テ濁濁スヘカラス  
 五 本品 0.01gハ硫酸 1ccニ染色セスシテ溶解スヘシ  
 六 本品 0.2gヲ 100°ニ於テ乾燥スルニ殆ト其重量ヲ減失  
 スヘカラス又之ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留ス  
 ヘカラス  
 七 壺中ニ容レ密栓シ最モ注意シテ貯フヘシ  
 一回ノ極量 0.02g  
 一日ノ極量 0.04g

Pilulae 丸劑

- 一 丸劑ハ球形稀ニハ卵形ヲ有シ通例甘草末・甘草羔末・酵母或ハ甘草エキス・酵母エキス」ヲ賦形藥トシテ調製シタル藥劑ニシテ内用ニ供スルモノナリ
- 二 本劑ヲ製スルニハ其諸成分ヲ親密ニ混和シ賦形藥ヲ加ヘ捏合シテ可塑性ノ塊トナシ前項ノ形狀トナスヘシ
- 三 丸子ハ其大サ均等ナルヲ要シ一丸ノ重量ハ特別ニ記載スルモノノ外約 0.1g ナルヘシ
- 四 有機質ニ觸レ容易ニ分解スル物質ヲ含有スル場合ニハ賦形藥トシテ通例白陶土或ハ精製タルク及グリセリン」ヲ用ヒ又多量ノ「バルサム・揮發油或ハ脂肪ヲ含有スル場合ニハ通例蜜蠟ヲ用フ
- 五 丸衣ニハ通例石松子又ハ甘草細末ヲ用フ

Pilulae Acidi arsenicosi

亞砒酸丸

- 一 亞砒酸丸ハ 一分
- 甘草細末 三十分

桂皮細末 三十分  
ヲ取り研和シタル後  
グリセリン 適宜量

- ヲ加ヘテ復タ研和シ丸子トナシ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中亞砒酸 0.001g ヲ含有ス
- 三 最モ注意シテ貯フヘシ

Pilulae Aloes

ロカイ丸

- 一 ロカイ丸ハ
- ロカイ中末 } 各等分
- 藥用石鹼 } 各等分

ヲ取り水ヲ加ヘテ研和シ丸子トナシ製スヘシ

Pilulae Aloes et Ferri

ロカイ鉄丸

- 一 ロカイ鉄丸ハ
- 乾燥硫酸鉄 } 各等分
- ロカイ中末 } 各等分
- ヲ取り「アルコール」ヲ加ヘテ研和シ丸子トナシ製スヘシ

Pilulae Aloes et Jalapae

ロカイヤラツパ丸

- 一 ロカイヤラツパ丸ハ
- ロカイ中末 } 各等分
- ヤラツパ石鹼 } 各等分
- 甘草細末 } 各等分
- ヲ取り「アルコール」ヲ加ヘテ研和シ約 0.15g ノ重量ヲ有スル丸子トナシ製スヘシ

Pilulae Creosoti

クレオソート丸

- 一 クレオソート丸ハ
- クレオソート 十分
- 甘草細末 十九分
- グリセリン 一分
- ヲ取り研和シ丸劑塊ヲ得ルニ至リ約 0.15g ノ重量ヲ有スル丸子トナシ桂皮末ヲ衣トナシ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中クレオソート 0.05g ヲ含有ス

Pilulae Creosoti carbonici

炭酸クレオソート丸

- 一 炭酸クレオソート丸ハ
- 炭酸クレオソート 五分
- グリセリン 三分
- 甘草細末 十分
- ヲ取り研和シ約 0.18g ノ重量ヲ有スル丸子トナシ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中炭酸クレオソート 0.05g ヲ含有ス

Pilulae Ferri et Chinini

規鉄丸

- 一 規鉄丸ハ
- 塩酸キニーネ 五分
- 還元鉄 五分
- 龍膽エキス 適宜量
- ヲ取り研和シ約 0.15g ノ重量ヲ有スル丸子トナシ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中塩酸キニーネ及還元鉄各 0.05g ヲ含有ス

Pilulae Guajacoli carbonici

炭酸グアヤコール丸

- 一 炭酸グアヤコール丸ハ

炭酸グアヤコール細末五分  
甘草細末 二分  
龍膽エキス 適宜量

ヲ取り研和シ丸子トナシ製スヘシ

二 本品ハ一箇中炭酸グアヤコール 0.05g ヲ含有ス

*Pilulae Rhei compositae*

複方大黃丸

一 複方大黃丸ハ

大黃エキス

六分

ロカイエキス

二分

ヤラッパ脂或ハ牽牛子脂

一分

藥用石鹼

四分

ヲ取り水ヲ加ヘテ研和シ丸子トナシ大黃細末ヲ衣トナシ製スヘシ

*Pix liquida*

木タール

一 木タール「*Tinus*」ハ *Tinus* 屬ノ諸種植物ノ木材ヲ乾溜シテ得タル「タール」ナリ

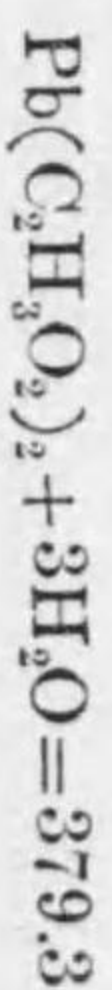
二 本品ハ帶黒褐色半透明濃稠ノ液ニシテ少シク顆粒狀ヲ呈

シ特異ノ臭氣ヲ有シ水中ニ注ケハ沈下シ純アルコールニ全ク「エーテル」ニ全ク或ハ殆ト全ク溶解シ「デレピン油」ニ一部分帶褐黄色ヲ呈シテ溶解ス顯微鏡下ニ檢スレハ細微ノ結晶ヲ認ム

三 本品一分ニ水十分ヲ和シ振盪シテ得タル液ハ類黄色ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ酸性ノ反應ヲ徴シ其 10cc = 水 20cc 及塩化第二鉄溶液二滴ヲ加フルニ帶綠褐色ヲ呈シ又其液及石灰水各同容量ヨリ成レル混液ハ暗褐色ヲ呈セサルヘカラス

*Plumbum aceticum*

醋酸鉛 鉛糖



一 醋酸鉛ハ無色透映ノ結晶或ハ白色結晶性ノ塊ニシテ微ニ醋酸ノ臭氣ヲ有シ氣中ニ於テ漸次ニ風化シ約三分ノ水並ニ十分ノ「アルコール」ニ溶解ス本品ノ冷飽和水溶液ハ「アルカリ性」ノ反應ヲ徴シ水ヲ以テ稀釋スレハ弱酸性ノ反應ヲ呈ス味微ニ甘ク後收斂性ナリ

二 本品ノ水溶液ハ「ヨード」カリ溶液ニ由テ黄色ノ沈澱・硫化ソーダ溶液ニ由テ黒色ノ沈澱・硫酸ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生シ又塩化第二鉄溶液ヲ和スレハ白色ノ沈澱ヲ生シ其上清液

ハ赤色ヲ呈ス

三 本品一分ヲ新タニ煮沸シ冷却シタル水九分ニ溶解シタルモノハ澄明或ハ蛋白濁ヲ呈スルニ止マルヘシ又之ニ過剰ノ稀硫酸ヲ加ヘテ生シタル沈澱ヲ濾別シ其濾液ニ「アンモニア」水ヲ加ヘテ過飽スルニ藍色ヲ呈セス又赤褐色ノ沈澱ヲ生スヘカラス

四 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 0.1g

一日ノ極量 0.3g

*Plumbum oxydatum Tiffaugyrum*

一酸化鉛 密陀僧



一 一酸化鉛ハ類黄色或ハ類赤黄色微細ノ重キ粉末ニシテ熱スレハ熔融シテ暗色ヲ呈ス水並アルコールニ溶解セス稀硝酸ニ溶解ス

二 本品ノ稀硝酸溶液ハ硫化ソーダ溶液ニ由テ黒色ノ沈澱又稀硫酸ニ由テ「ナトロン」滴液ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生ス

三 本品一分ニ稀硝酸十分ヲ和スルニ全ク或ハ殆ト澄明ニ溶解シテ無色ノ液トナリ其際ガスヲ發スルコトアルモ僅微

ニ止マルヘシ此溶液ニ過剰ノ稀硫酸ヲ加ヘテ生シタル沈澱ヲ濾過シテ得タル液ニ「アンモニア」水ヲ加ヘテ過飽スルニ微ニ類藍色ヲ呈スルニ過キス又帶赤褐色ノ沈澱ヲ生スルトアルモ僅微ニ止マルヘシ

四 本品 5g = 水 5cc ヲ加ヘテ振盪シ之ニ醋酸 20cc ヲ注キテ二三分間煮沸スルニ殆ト全ク溶解シ或ハ不溶物ヲ殘留スルコトアルモ 0.05g = 過クヘカラス

五 本品ヲ熱灼スルニ其重量ヲ減失スルコト 10% = 過クヘカラス

六 注意シテ貯フヘシ

*Plumbum subcarbonicum*

鉛 白 次炭酸鉛

一 鉛白ハ白色ノ重キ粉末ニシテ水並アルコールニ溶解セス

二 本品ハ醋酸ニ泡沸シテ溶解ス此溶液ハ「ヨード」カリ溶液ニ由テ黄色ノ沈澱・稀硫酸ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生ス

三 本品 3g = 水 20cc ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル澄明液ハ硫化ソーダ溶液三滴ニ由テ微ニ褐色ヲ呈スルニ止マルヘシ此澄明液 5cc ヲ蒸發乾燥スルニ秤定シ得ヘキ殘留物ヲ遺スヘカラス

- 四 本品ノ醋酸溶液(1+9)ニ「ナトロン」滴液ヲ加ヘテ生シタル沈澱ハ過剰ノ試薬ニ溶解セサルヘカラス又此アルカリ性溶液ニ過剰ノ稀硫酸ヲ加ヘ濾過シテ得タル液ハ黄血塩溶液0.5ccニ由テ直チニ變化スヘカラス
- 五 本品ヲ熱灼スルニ85%以上ノ酸化鉛ヲ遺ササルヘカラス

**Procainum hydrochloricum**

*Para-Aminobenzoylthiethylaminocellulosum hydrochloricum*

**塩酸プロカイン 塩酸バラアミノベンゾイル**

ルヂエチルアミノエタノール



- 一 塩酸プロカイン「ハ」無色無臭ノ小針狀或ハ小葉狀結晶ニシテ微ニ苦味ヲ有シ之ヲ舌上ニ致セハ鈍麻ノ感ヲ與フ一分ノ水ニ溶解シ中性或ハ殆ト中性ノ反應ヲ徴ス又八分ノ「アルコール」ニ溶解シ156°ニ於テ熔融ス
- 二 本品ノ水溶液(1+9)ハ「カリ」滴液ニ由テ暫時ノ後凝固シテ結晶性ニ變スル無色ノ油滴ヲ析出シ昇汞溶液ニ由テ白色ノ沈澱・ヨード溶液ニ由テ褐色ノ沈澱又硝酸ヲ以テ酸性ト

- ナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品及甘汞各等分ヨリ成レル混和物ニ稀アルコール「ヲ」和シテ濕潤スレハ黒變ス

- 四 本品0.1gヲ塩酸二滴ヲ和シタル水5ccニ溶解シ之ニ亞硝酸ソーダ溶液二滴ヲ和シタルモノヲ「ベタナフトール」0.2g・ナトロン滴液1cc及水3ccヨリ成レル混液中ニ注加スレハ猩紅色ノ沈澱ヲ生ス

- 五 本品0.1gハ硫酸1cc 砒酸1ccニ無色ニ溶解スヘシ
- 六 本品ノ水溶液(1+9)ハ醋酸砒硫化ソーダ溶液各三滴ニ由テ變化スヘカラス

- 七 本品0.2gヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 八 本品ヲ100°ニ於テ乾燥スルニ殆ト其重量ヲ減失スヘカラス

- 九 注意シテ貯フヘシ

**Pulpa Tamarindi**

**タマリンド**

- 一 「タマリンド」ハ「Tamarindus indica Linné」ノ果肉ヲ採集セルモノナリ
- 二 本品ハ黒褐色稍々粘靱性柔軟ノ塊ニシテ強キ純酸味ヲ有

シ少量ノ種子・羊皮紙様ノ果房壁・脈管束・果被ノ碎片等ヲ夾雜ス

- 三 本品20gニ水19gヲ注加シ振盪シ充分ニ浸出シ濾過シテ得タル液10gヲ蒸發乾燥スルニ少クモ5gノ殘留物ヲ遺ササルヘカラス

**Pulpa Tamarindi depurata**

**精製タマリンド**

- 一 精製タマリンド「ハ」「タマリンド」ニ熱湯ヲ加ヘ平等ニ軟化シ第四號篩ヲ用ヒ壓ヲ加ヘテ磁器中ニ篩過シ重湯煎上ニ蒸發シテ稠厚エキス「ノ」稠度トナシタル後其未タ冷却セサル

果泥 五分

白糖末 一分

ヲ混和シ製スヘシ

- 二 本品ハ黒褐色ニシテ佳快ノ酸味ヲ有セサルヘカラス

- 三 本品ヲ100°ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト40%ニ過クヘカラス

- 四 本品2gニ熱湯50ccヲ加ヘ振盪シ冷後濾過シテ得タル液5ccヲ中和スルニハ十分定規カリ液少クモ12ccヲ費サ

サルヘカラス

- 五 本品1gヲ灰化シ其殘留物ヲ稀塩酸5ccニ温ヲ與ヘテ溶解シ濾過シ「アンモニア」水3.5ccヲ加ヘ更ニ醋酸ヲ加ヘテ微酸性ヲ徴スルニ至ラシメ硫化ソーダ溶液三滴ヲ加フルニ暗色ヲ呈スヘカラス

**Pulveres compositi**

**散劑**

- 一 散劑ハ二種以上ノ藥品ヲ研磨シ均等ノ粉末トナシ製シタルモノナリ

**Pulvis aërophorus**

**沸騰散**

- 一 沸騰散ハ

重炭酸ソーダ中末 2.0g

酒石酸中末 1.5g

ヲ取り重炭酸ソーダ「ヲ」著色紙・酒石酸ヲ白紙ニ包ムヘシ

**Pulvis aromaticus**

**芳香散**

- 一 芳香散ハ

桂皮中末  
小豆蔻中末  
生薑中末  
各等分

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ  
二 本品ハ灰褐色ノ粉末ニシテ芳香性ノ氣味ヲ有ス

*Pulvis Doveri*

ドーフル散

一 ドーフル散ハ  
阿片末 一分  
吐根細末 一分  
硫酸カリ細末 八分

ヲ取り親密ニ混和シ製スヘシ

二 本品ハ淡褐色ノ粉末ニシテ強キ阿片臭ヲ有ス

三 本品ハ 1.0~1.1%ノ純モルヒネ(C<sub>17</sub>H<sub>19</sub>NO<sub>2</sub>=235.2)ヲ含有ス

四 本品 1gニ塩酸 10ccヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ニ  
晒粉少量ヲ和スレハ橙赤色ヲ呈ス又本品 0.5gニ稀硫酸二  
三滴ヲ和シタル水 10ccヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液  
ハ塩化第二鉄溶液一滴ニ由テ赤色ヲ呈ス

五 本品 60gニ稀アルコール 300ccヲ和シ屢々振盪シツツ

十二時間冷浸シ濾過シテ得シタル液 250ccヲ取り重湯煎  
上ニ蒸發シ殆ト乾燥スルニ至リ其殘留物ニ消石灰 1gヲ和  
シ水 50ccヲ加ヘ屢々強ク振盪シツツ冷浸スルコト二時間  
ノ後濾紙上ニ置キタル布片内ニ傾瀉シ之ヲ絞搾シテ濾過シ  
其濾液 25ccニ「アルコール 25ccヲ混和シ振盪シ一時間  
靜置シ更ニ濾過シ其濾液 22ccニ「ヘーテル 10cc及塩化  
アンモン 0.25gヲ混和シ三十分間強ク振盪シ二十四時間  
放置シタル後茲ニ析出セル結晶ヲ濾紙上ニ集メ「ヘーテル」  
ヲ過飽シタル水 15ccヲ以テ洗滌シ 60°ヲ超エサル温ニ於  
テ乾燥シ冷後純ヘーテル 10ccヲ以テ濾紙上ノ結晶ヲ洗滌  
シ初メ微温次ニ 95°~100°ニ於テ乾燥シタル後更ニ此結晶  
ヲ十分定規塩酸 15ccニ溶解シ之ニ「メチルロート溶液三  
滴ヲ和シ十分定規カリ液ヲ滴加シテ中和スルニハ該液ヲ費  
スコト 1.2~1.9ccナラサルヘカラス又此中和液ノ試験ハ  
阿片末ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

六 壺中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.0g  
一日ノ極量 3.0g

*Pulvis gummosus*

ゴム散

一 ゴム散ハ

アラビアゴム細末 五分  
甘草細末 三分  
白糖中末 二分

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ

二 本品ハ黄白色ノ粉末ナリ

*Pulvis Liguritiæ compositus*

複方甘草散

一 複方甘草散ハ  
甘草細末 三分  
センナ葉細末 三分  
茴香中末 二分  
精製硫黄 二分  
白糖中末 十分

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ

二 本品ハ帶綠黄色ノ乾燥粉末ナリ

*Pulvis Magnesiæ cum Rheo*

小兒散 苦土大黃散

一 小兒散ハ

炭酸マグネシア細末 十分

大黃細末 三分

茴香油糖 七分

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ

二 本品ハ類白色乃至類赤白色ノ粉末ニシテ茴香ノ香氣ヲ有  
ス

三 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

*Pulvis Rhei compositus*

複方大黃散

一 複方大黃散ハ  
大黃細末 二分  
マグネシア 六分  
生薑細末 一分

ヲ取り善ク混和シ製スヘシ

二 本品ハ黄白色乃至赤白色ノ粉末ナリ

三 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

*Pulvis salicylicus cum Talco*

サリチルタルク散

一 サリチルタルク散ハ



- サリチル酸細末 三分
- 澱粉 十分
- タルク 八十七分
- ヲ取り善ク混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ白色若クハ微ニ類紅色ヲ帶フル粉末ナリ

*Pulvis stomachicus*

健胃散

- 一 健胃散ハ
  - 重炭酸ソーダ細末 二十五分
  - 當藥細末 一分
- ヲ取り製スヘシ
- 二 本品ハ帶褐灰色ノ粉末ナリ

*Pulvis Zinci cum Amylo*

亞鉛華澱粉

- 一 亞鉛華澱粉ハ
  - 亞鉛華 各等分
  - 澱粉 各等分
- ヲ取り善ク研和シ製スヘシ
- 二 本品ハ乾燥セル白色ノ粉末ナリ

*Pyocyaninum coeruleum*

ピオクタニン青

- 一 ピオクタニン青ハ暗綠色結晶性ノ粉末ニシテ水竝アルコールニ紫色ヲ呈シテ溶解ス
- 二 本品ノ水溶液(1+99)ニ塩酸ヲ滴加スレハ藍色次テ綠色ニ變移シ水ヲ加ヘテ稀釋スレハ復タ藍色トナル
- 三 本品ノ水溶液(1+999)ニ「アルコール性ナトロン滴液ヲ加ヘテ温ムレハ脱色ス
- 四 本品ヲ「アルコール」ニ溶解スルニ1%以上ノ不溶物ヲ殘留スヘカラス又此殘留物ヲ水ヲ以テ洗滌スルニ白色ニシテ「ヨード溶液」ニ由テ赤色乃至褐色ヲ呈スヘカラス
- 五 本品ヲ燃化スルニ1%以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス此殘留物ヲ稀塩酸10ccニ溶解シ其濾液ニ「アンモニア水」ヲ過飽シタル後熱シテ沸騰スルニ至リ更ニ濾過シテ得タル液ニ硫化ソーダ溶液ヲ和スルニ沈壺ヲ生スヘカラス
- 六 本品1gニ硝石3g及乾燥炭酸ソーダ1.5gヲ混和シ燃化シテ得タル白色ノ熔塊ヲ冷後稀硫酸30ccニ溶解シ蒸發シ更ニ熱灼シテ硝酸ヲ驅除シ此殘留物ヲ粉末トナシ塩酸5ccヲ加ヘテ濾過シタル後塩化第一錫溶液二倍容量ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス

- 七 壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

*Pyrogallolum Acidum pyrogallicum*

ピロガロール 焦性没食子酸



- 一 「ピロガロール」ハ白色ノ光輝アル輕キ鱗片狀或ハ針狀結晶ニシテ臭氣ナク苦味ヲ有シ一・七分ノ水ニ無色澄明ニ溶解シ微ニ酸性ノ反應ヲ徴ス此溶液ハ氣中ニ於テ漸次褐色ニ變ス又本品ハ一・五分ノ「アルコール」竝一・五分ノ「エーテル」ニ溶解ス熱スレハ約120°ニ於テ熔融シ次テ分解セスシテ昇華ス
- 二 本品ヲ石灰水ト共ニ振盪スレハ初メ紫色ヲ呈シ次テ濁濁シ終ニ褐色乃至黑色ニ變ス又本品ノ新タニ製シタル水溶液(1+99)ハ氣中ニ於テ振盪シタル硫酸鉄溶液(1+9)1ccニ由テ藍色又塩化第二鉄溶液ニ由テ褐赤色ヲ呈ス又本品ノ水溶液ニ硝酸銀溶液ヲ和スレハ銀ヲ析出ス
- 三 本品0.2gヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 四 光ヲ遮リ貯フヘシ

*Quinophenem Acidum phenylalanin-carbonicum*

キノフェン

フェニルヒノリンカルボン酸



- 一 キノフェンハ帶黄白色ノ粉末ニシテ苦味ヲ有シ水ニ溶解セス熱アルコール・熱アセトン又熱醋酸エチル各三十分ニ溶解シ「ベンゾール」・クロロホルム又エーテル」ニ溶解シ難シ熔融點203°~213°ナリ
- 二 本品0.2gニ水5cc及ナトロン滴液十滴ヲ和スレハ溶解ス又本品0.1gハ硫酸2ccニ黄色ヲ呈シテ溶解ス又本品0.1gハ塩酸5ccヲ加ヘ温ムレハ鮮黄色ヲ呈シテ溶解シ「プロム水」同容量ヲ和スレハ橙黄色ノ沈壺ヲ生ス
- 三 本品0.6gニ水12ccヲ加ヘ半分間振盪シ濾過シテ得タル液ハ中性ノ反應ヲ徴シ之ニ硝酸五滴ヲ和シタルモノ5ccハ硝酸銀溶液一滴ニ由テ一分以内ニ微蛋白石濁ヲ起スニ過キス又硝酸バリウム溶液ニ由テ變化スヘカラス
- 四 本品0.2gヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス

*Radix Colombo*

ロンボ根

- 一 コロンボ根ハ *Jatropha Columna Miers* ノ根ヲ採集シ横切シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ノ切片ハ黄色ニシテ直徑約 3~6cm・枳層ハ帯灰褐色ニシテ皺紋ヲ帶フル暗色ナル新生組織ハ枳層ヨリ約 1/3ミ隔リテ存在ス
- 三 本品ノ組織ハ主トシテ澱粉粒ヲ包藏セル柔細胞ヨリ成リ其澱粉粒ハ偏心性ノ層ヲ現ハシ長サ 30ミヲ超エス皮部ノ組織中ニハ木化セル厚膜細胞散在シ其厚膜細胞ノ一部ハ尿酸塩結晶ヲ包裹ス木部ノ横断面ニハ黄色短節性網紋脈管不整ナル半徑線列ヲナシテ排置シ其列間ニ柔組織存在ス
- 四 本品ハ味苦ク微ニ粘性性ナリ
- 五 本品ヲ灰化スルニ 9% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

Radix Gentianae

ゲンチアナ根

- 一 ゲンチアナ根ハ *Gentiana lutea Linné*、*Gentiana pannonica Scopoli*、*Gentiana purpurea Linné* 又ハ *Gentiana punctata Linné* ノ根及根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ類赤褐色乃至暗褐色ヲ呈シ根莖ノ部位ハ輪節ヲ有シ根部ハ縦皺ヲ現ハス破折面ハ平坦ニシテ水ヲ以テ濡ホセハ柔軟トナル

- 三 本品ノ横断面ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ新生組織ノ附近ニ於テノミ略々放線狀ヲ呈シ全組織中ニハ厚膜細胞ヲ缺如ス脈管ハ通常單獨ニ存シ又ハ小數ノ群ヲナス篩管ハ皮部ノミナラス木部中ニモ存在ス柔細胞ハ極メテ細微ナル尿酸塩ノ結晶ヲ含有シ澱粉粒ハ甚タ稀ナリ柔細胞ノ皮膜ハ水ニ逢フトキハ膨脹ス
- 四 本品ハ味甚タ苦シ
- 五 本品ヲ灰化スルニ 5% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス
- 六 本品ハ龍膽ニ代用スルコトヲ得

Radix Gentianae scabrae

龍膽

- 一 龍膽ハ *Gentiana scabra Punge var. Buergeri Maximowicz* (リンドウ) ノ副根ヲ根莖ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ノ根莖ハ長サ約 1dm・太サ 5mm ニ至リ暗灰褐色ニシテ不整ノ輪節ヲ有シ上端ニハ莖痕ヲ帶ヒ間々殘莖ヲ附著シ兩側及下端ニハ多數ノ副根ヲ簇生ス
- 三 本品ノ横断面ハ暗褐色ニシテ其木心中ニハ錯亂セル脈管束ヲ現ハス副根ハ帶褐黄色ニシテ長サ約 2cm・太サ 3mm ニ至リ縦皺ヲ有シ横断面ハ褐色ヲ呈シ木部ハ暗褐色ヲ有シ其邊緣ニハ略々放線狀ニ排列セル脈管ヲ現ハス本品ハ厚膜細胞ヲ含有セス又其柔細胞中ニハ多數ノ尿酸塩結晶ヲ包藏シ澱粉粒ヲ含有セス

胞ヲ有セス又其柔細胞中ニハ多數ノ尿酸塩結晶ヲ包藏シ澱粉粒ヲ含有セス

- 四 本品ハ味甚タ苦シ
- 五 本品ヲ灰化スルニ 5% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス
- 六 本品ハ「ゲンチアナ根」ニ代用スルコトヲ得

Radix Hibisci

黃蜀葵根

- 一 黃蜀葵根ハ *Hibiscus Manihot Linné* (トロロアフリ) ノ主根ヲ採集シ枳層ヲ剝除シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ長サ 1dm ヲ超ヘ太サ 0.5~1cm ニシテ類白色ヲ呈シ澱粉粒ニ富ミ横断面ハ類白色ヲ呈シ皮部ハ觸線列ニ排置セル纖維束ヲ有シ中心ニ細小ノ髓ヲ存ス
- 三 本品一分ニ水十分ヲ加フルニ類黄色ヲ帶フル粘漿ヲ生スヘシ其粘漿ハ味淡白ニシテ酸性又ハ「アンモニア」性ノ臭氣ヲ有スヘカラス
- 四 本品ヲ灰化スルニ 7% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

Radix Ipecacuanhae

吐根

- 一 吐根ハ *Uragoga Ipecacuanha Bailton* ノ肥厚ナル根ヲ採

集シ乾燥セルモノナリ

- 二 本品ハ太サ 5mm ニ過キス外面ハ暗灰褐色ニシテ膨起セル輪節ヲ有ス皮部ノ横断面ハ類白色ヲ呈シ褐色ノ枳層ヲ被リ其組織ハ篩脈管ノ外柔細胞ノミヨリ成リ其細胞中ニハ多數ハ複性澱粉粒ト束針狀ノ尿酸塩結晶トヲ含有ス
- 三 本品ノ木部ハ其質堅ク淡黄色ヲ有シ主軸ノ方向ニ延長セル厚壁性ノ木化補充纖維ト脈管及擬脈管トヨリ成リ其補充纖維ハ斜ニ排置セル裂孔形ノ孔紋ヲ有シ澱粉粒ヲ包藏ス脈管ハ補充スル纖維ニ類スレトモ量輪狀ノ孔紋ヲ有シ多クハ兩端ノ邊緣ニ存スル圓孔ニ由リテ互ニ聯結ス
- 四 本品ハ 1.39% 以上ノ「アルカロイド」(ヘメチン  $C_{21}H_{16}N_2O_4$ ) ヲ含有ス
- 五 本品中ニ含有スル最大ノ澱粉粒ハ其直徑 12ミヲ超ユヘカラス
- 六 本品ノ細末 3g ニ「エーテル」 45cc ヲ加ヘ劇シク振盪セテ後アンモニア水 2cc ヲ加ヘ屢々強ク振盪シツツ三十分間放置シ次ニ水 20cc ヲ加ヘ強ク振盪シテ「エーテル」層ノ澄明トナルニ至リ脱脂綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液 30cc ヲ蒸溜シテ「エーテル」ヲ去リ殘渣ニ「アルコール」 1cc ヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ十分定規塩酸 5cc・水 5cc 及メチルロート溶液二滴ヲ加ヘタル後十分定規カリ液ヲ滴加シ

- テ中和スルニハ該液ヲ費スコト 3.40cc ニ過クヘカラス又此中和液 5cc ニ塩素酸カリノ小片二三箇ヲ加ヘ注意シテ温ムルニ橙黄色ヲ呈セサルヘカラス
- 七 本品ヲ灰化スルニ 5% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス
- 八 注意シテ貯フヘシ

Radix Liquiritiae

○甘草

- 一 甘草ハ *Glycyrrhiza glabra* Linné var. *glaberrima* Regel et Herder (カンザウ) ノ根及走根ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ圓柱狀ヲナシ暗赤褐色ノ袍層ヲ被リ不規則ナル縦皺及著大ナル横形ノ皮孔ヲ有ス内部ハ帶黄色ニシテ縦割シ易ク破折面ハ纖維性ナリ
- 三 本品ノ袍層ヲ除去シタルモノハ帶黄色圓柱狀ヲナシ表面纖維性ヲ呈シ縦割シ易シ
- 四 本品ノ横断面ハ木部ニ於テ直線性放線狀ヲ呈シ皮部ニ於テハ各放射線ハ稍々屈曲セリ内皮部竝木部中ニ存在スル多數ノ纖維束ハ結晶房纖維ニ包圍セラレ篩管ハ概ネ壞敗シ脈管ハ巨大ニシテ黄色ヲ呈シ「ルーベ」ヲ以テ容易ニ之ヲ認ムルコトヲ得柔組織ノ細胞ハ澱粉粒ヲ包藏ス

- 五 本品ハ特異ノ甘味ヲ有ス
- 六 本品ヲ灰化スルニ 5% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス
- 七 本品ノ粉末ヲ製スルニハ袍層ヲ除去シタルモノヲ用フヘシ

Radix Platycodi

桔梗根

- 一 桔梗根ハ *Platycodon glaucum* Nakai (キキヤウ) ノ根ヲ採集シ袍層ヲ剝除シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ不規則ナル紡錘形ヲナシ太サ 0.5~2.0cm ナリ白色又ハ淡褐色ニシテ深キ縦皺ヲ有ス
- 三 本品ノ横断面ハ白色ニシテ新生組織ニ沿ヒテ淡褐色ノ圈輪ヲ現ハシ皮部ト木部ハ略々同厚ナリ之ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ皮部ハ殆ト全ク柔細胞ヨリ成リ處々ニ裂隙ヲ有ス澱粉又ハ尿酸塩結晶ヲ含有セス第二期皮部ニ於テ乳脈管ハ篩管ト交錯シ同心性圈輪ヲナス木部ニ於テ脈管ハ概ネ單列ヲナス
- 四 本品ノ粗末 0.5g ニ水 10cc ヲ加ヘ少時煮沸後冷却シ強ク振盪スルニ微細ナル持續性ノ泡沫ヲ生ス
- 五 本品ハ味微ニ苦シ
- 六 本品ヲ灰化スルニ 4% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

Radix Polygalae

遠志

- 一 遠志ハ *Polygala tenuifolia* Willdenow (イトヒメハギ) ノ根ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ淡灰褐色ノ圓柱狀ヲナシ屈曲シ頂部ニ於テ往々分岐シ副根ノ癭痕ヲ存シ太サ 5mm ニ至リ皮部ハ深キ横皺ヲ現ハシ多少結節狀ニ絞扼ス
- 三 本品ノ木部ヲ除去シタルモノハ管狀又ハ種狀ヲナス
- 四 本品ノ横断面ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ袍層ハ善ク發育シ皮部ノ細胞ハ殆ト全ク柔細胞ヨリ成リ澱粉粒ヲ含有セスシテ往々油滴竝尿酸塩ノ簇晶及單晶ヲ含有ス木部ノ髓線ハ一乃至三細胞列ヨリ成リ往々壞裂セルモノアリ
- 五 本品ノ粗末 0.5g ニ水 10cc ヲ加ヘ強ク振盪スルニ微細ナル持續性ノ泡沫ヲ生ス
- 六 本品ハ臭氣ナク味苛烈ナリ
- 七 本品ハ殘莖ヲ附着スルモ僅少ニ止マルヘシ
- 八 本品ヲ灰化スルニ 6% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

Radix Sarsaparillae

サルサ根

遠志・サルサ根・セネガ根

- 一 サルサ根ハ中央アメリカニ産スル *Smilax* 屬諸種植物ノ根ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ帶褐灰色ニシテ圓柱形ヲナシ太サ 4mm 間々僅ニ縱溝ヲ有ス横断面ハ褐色ノ内輪ヲ現ハシ白色ノ皮部柔組織ヲ圍繞ス
- 三 本品ハ味粘滑ニシテ後苛辣ナリ
- 四 本品ノ柔組織中ニハ糊化セル澱粉粒ヲ包藏スヘカラス
- 五 本品ヲ灰化スルニ 8% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

Radix Senegae

セネガ根

- 一 セネガ根ハ *Polygala Senega* Linné ノ根ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ帶灰黄色ヲ有シ其根頭ハ屢々塊狀ニ膨張シ多數ノ殘莖及類赤色ノ苞ヲ帶フル萌芽ヲ附着ス主根ハ太サ 1.5cm ヲ超エス分岐シ振轉ス又其扁平ナル側面ニハ屢々隆起セル稜線ヲ有ス
- 三 本品ヲ横斷シテ檢視スルニ木部圓形ヲ呈シ又屢々中心ニ向テ扇形ニ缺裂シ柔組織ヨリ成ル部分アリ篩管ハ常ニ正常ニ發育セル木部ノ外邊ニノミ存ス
- 四 本品ハ髓ヲ有セス又尿酸塩結晶竝澱粉粒ヲ含マス皮部ノ

- 細胞中ニハ油滴ヲ含有ス
- 五 本品ノ粗末 0.5g ニ水 10cc ヲ加ヘ強ク振盪スルニ微細ナル持続性ノ泡沫ヲ生ス
- 六 本品ハ味粘滑ニシテ後苛辣臭氣ハ特異ニシテ微弱ナリ
- 七 本品ヲ灰化スルニ 5% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

Resina Cryptomeriae

杉脂

- 一 杉脂ハ Cryptomeria japonica D. Don (スギ) ノ幹ヨリ滲出セル樹脂ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ赤褐色ノ小塊片ニシテ外面ニ類白色ノ粉塵ヲ帶ヒ固有ノ香氣ヲ有シ破碎シ易ク其破砕面ハ僅ニ貝殻狀ヲ現ハシ硝子様ノ光澤ヲ帶ヒ邊緣ハ透明ナリ咀嚼スレハ味苦クシテ齒間ニ粘著セス約等分ノ熱アルコール・クロロホルム又ペンゾールニ溶解シ石油エーテルニ溶解シ難ク約十分ノ熱テレピン油ニ溶解シ冷後其一部ヲ析出ス又等分ノ「エーテル」ニ溶解シ更ニ多量ノ「エーテル」ヲ加ヘテ稀釋スレハ絮狀ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品ヲ等分ノ熱アルコールニ溶解スルニ少許ノ不溶物ヲ遺スニ過クヘカラス
- 四 本品ヲ燃化スルニ殆ト固性物ヲ残留スヘカラス

Resina Guaiaci

グアヤク脂 瘡瘡木脂

- 一 グアヤク脂ハ瘡瘡木ヨリ得タル樹脂ナリ
- 二 本品ハ帶緑褐色或ハ帶赤褐色ノ塊ヲナシ破砕面ハ硝子様ニシテ小碎片ハ透映ナリ其粉末ハ氣中ニ於テ暗綠色ニ變ス熱スレハ熔融シテ微ニ安息香ニ類スル香氣ヲ放ツ
- 三 本品ハ「アルコール」並カリ滴液ニ溶解シテ僅微ノ夾雜物ヲ遺スニ止マルヘシ其アルコール溶液ニ塩化第二鉄溶液ヲ加フレハ藍色ヲ呈セサルヘカラス
- 四 本品ノ粉末 5g ニ石油ベンジン 15cc ヲ和シ屢々強ク振盪シツツ三十分間放置シ濾過シテ得タル無色ノ液 10cc ニ醋酸銅溶液同容量ヲ加ヘ輕ク搖動スルニ其上層液綠色ヲ呈スヘカラス

Resina Jalapae

ヤラツパ脂

- 一 ヤラツパ脂ハ
- ヤラツパ根粗末 一分
- ヲ取り之ニ
- アルコール 四分

Resina Pharbitidis

牽牛子脂

- ヲ注キ屢々振盪シツツ二十四時間温浸シ壓漉シ其殘滓ニ
- アルコール 二分
- ヲ加ヘ上法ノ如ク温浸壓漉シ漉液ヲ合シテ濾過シ蒸溜シテ「アルコール」ヲ去リ殘留セル樹脂ヲ温湯ニテ反覆洗滌シ其洗液ノ無色トナルヲ度トシ重湯煎上ニ攪拌シツツ乾燥シ製スヘシ
- 二 本品ハ褐色ノ塊ニシテ破碎シ易ク其破砕面ハ光澤ヲ帶ヒ邊緣ハ透映ナリ「アルコール」ニ容易ニ溶解シニ硫化炭素ニ溶解セス
- 三 本品ノ粉末 1g ニ純クロロホルム 10g ヲ加ヘテ温浸シ濾過シテ得タル液ヲ蒸溜スルニ 0.2g 以上ノ殘留物ヲ遺スヘカラス
- 四 本品ノ細末 0.2g ニ「エーテル」5cc ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液ヲ以テ濡ホセル紙片ハ「エーテル」蒸散後稀塩化第二鉄溶液一滴ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス
- 五 本品一分ヲ水十分ト共ニ研シ濾過シテ得タル液ハ殆ト無色ナラサルヘカラス
- 六 本品ヲ灰化スルニ 1% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス
- 七 注意シテ貯フヘシ
- 一回ノ極量 0.5g
- 一日ノ極量 1.5g

- ヘカラス
- 四 本品一分ヲ水十分ト共ニ研和シ濾過シテ得タル液ハ殆ト無色ナラサルヘカラス
  - 五 注意シテ貯フヘシ

- 一回ノ極量 0.5g
- 一日ノ極量 1.5g

Resina Pini

松 脂

- 一 松脂ハ Pinus 屬諸種植物ノ幹ヨリ滲出セル「テレピンチ」ナリノ乾燥ニ由テ生シタル樹脂ナリ
- 二 本品ハ黄色或ハ帯褐黄色ノ塊ヲナシ微ニ「テレピンチ」ナリニ類スル香氣ヲ有シ多少透映ニシテ破砕シ易ク破砕面ハ貝殻狀ヲ呈シ重湯煎上ニ熱スレハ熔融シ「アルコール」竝アルカリ滴液ニ溶解ス
- 三 本品ヲ「アルコール」ニ溶解スルニ僅ニ不溶性夾雜物ヲ遺スニ止マルヘシ

Resorcinum

レゾルシン



- 一 「レゾルシン」ハ無色或ハ微ニ紅色ヲ帶フル結晶ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ味ハ苛辣性ニシテ微ニ甘シ 110°~111°ニ於テ熔融ス約一分ノ水竝約一分ノ「アルコール」ニ溶解シ又エーテル竝グリセリンニ容易ニ溶解シ「クロロホルム」竝ニ硫化炭素ニ溶解シ難シ
- 二 本品ノ水溶液ハ次醋酸鉛溶液ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品 0.05g ヲ酒石酸 0.1g 及硫酸十滴ト共ニ注意シテ温ムレハ暗猩紅色ノ液ヲ生ス
- 四 本品ノ水溶液(1+19)ハ無色ニシテ青色リトマス紙ヲ微ニ赤變スルニ過キス又温ムルモ石炭酸ノ臭氣ヲ發スヘカラス
- 五 本品ヲ燃化スルニ 0.1% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス
- 六 光ヲ遮リ貯フヘシ

Rhizoma Coptidis

黄 連

- 一 黄連ハ *Coptis japonica Makino* (ワウレン)ノ根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ直径約 1~5mm・長サ 4cm ニ至リ多クハ彎曲シ細ナル多數ノ副根ヲ著ケ處々ニ疣狀ノ隆起アリ上端ニハ屢々葉柄ノ殘餘ヲ帶フ外面ハ帶黄灰色ヲ呈シ破折面ハ尖

- 一 綿馬根ハ秋季ニ於テ *Dryopteris crassirhizoma Nakai* (ヲシダ) 又ハ *Dryopteris Filix mas Schell* ノ根莖ヲ長サ約 3cm ノ葉基ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ成ルヘク根及鱗葉ヲ除去シ其皮ヲ剝離スヘカラス葉基ハ褐色ニシテ稜アリ直径約 1cm ニ至ル横折面ハ類線色ニシテ六乃至十箇ノ脈管束ヲ現ハス
- 三 本品ハ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ味微ニ甘ク少シク收斂性ニシテ稍々苛辣ナリ
- 四 本品ヲ灰化スルニ 4% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス
- 五 注意シテ貯フヘシ

Rhizoma Filicis

綿 馬 根

- 一 ヒドラスチス根ハ *Hydrastis canadensis Linné* ノ根莖ヲ根ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ暗褐灰色ニシテ直径 5~8mm・長サ 5cm ニ至リ横折面ハ帶緑黄色ヲ呈ス根莖ノ周圍ニハ直径 1mm ニ過キサル根ヲ帶フ根ノ横断面ハ黄色ヲ有ス
- 三 本品ヲ顯微鏡下ニ檢スレハ根莖ノ横断面ハ菲薄ナル胞層ヲ被リ主トシテ柔組織ヨリ成リ其細胞中ニハ直径 3~20 $\mu$  ノ澱粉粒ヲ包藏ス髓ハ巨大ニシテ其周圍ニ十乃至二十箇多クハ十四箇ノ脈管束ヲ認ム
- 四 本品ハ 2.5% 以上ノ純ヒドラスチン ( $C_{14}H_{12}NO_6 = 383.2$ ) ヲ含有ス
- 五 本品一分ニ水百分ヲ加ヘ冷浸シテ得タル液ハ黄色ニシテ苦味ヲ有シ其浸液ノ 2cc ヲ硫酸 1cc 中ニ注加シ冷後之ニ塩素水ヲ加ヘテ二液層トナスニ其境界ニ於テ暗赤色ヲ早ス
- 六 本品ハ香氣微弱ニシテ味苦シ
- 七 本品ノ中末 4g ニ「エーテル」60cc ヲ加ヘ善ク振盪シ次ニ「アンモニア水」4cc ヲ加ヘ屢々劇シク振盪シツツ三十分間放置シ次ニ石油ベンジン 40cc ヲ加ヘテ三分間振盪シ靜置シタル後脱脂綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ漏斗上ノ根末ハ壓シテ充分ニ「エーテル」石油ベンジン液ヲ滴下セシメ次ニ水 3cc ヲ加ヘテ劇シク振盪シ清澄ナル上層液ヲ乾燥濾紙ヲ用ヒテ

Rhizoma Hydrastidis

ヒドラスチス根

濾過シ其濾液 15ccヲ蒸溜シテ殘液約 5ccトナルニ至リ十分定規塩酸 5cc 及水 5ccヲ加ヘ重湯煎上ニ「エーテル臭ノ消失スルニ至ル迄加熱シ冷後メチルオレンジ溶液二滴ヲ加ヘ十分定規カリ液ヲ滴加シテ中和スルニハ該液ヲ費スコト 3.04ccニ過クヘカラス又此中和液ニ稀硫酸 1cc 及過マンガン酸カリ溶液 5ccヲ加ヘテ振盪シ脱色スルニ至レハ藍色ノ螢石彩ヲ呈シ水ヲ以テ約 20ccニ稀釋スレハ益々著シ本品ヲ灰化スルニ 5%以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Rhizoma Iridis

イリス根

- 一 イリス根ハ *Iris germanica* Linné, *Iris pallida* Lamouré 又ハ *Iris florentina* Linné ノ根莖ヲ採集シ其袍層ヲ除去シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ白色ニシテ直径 4cmニ至リ上面ハ稍々扁平ニシテ葉ノ脈管束ニ基因スル横列細微ナル斑點ヲ現ハシ下面ニハ類褐色ノ根癭ヲ存ス
- 三 本品ノ組織ハ澱粉粒ニ富ミ袍化セル蓚酸塩細胞ヲ有シ其細胞ハ概ネ單一ノ稜柱狀結晶ヲ包藏ス其結晶ハ長サ 250 $\mu$ ニ至リ粘液ニヨリ圍繞セラル本品ハ厚膜細胞ヲ缺如ス
- 四 本品ハ特異ノ香氣ヲ有シ味微ニ芳香性ニシテ少シク苛辣

ナリ

五 本品ヲ灰化スルニ 5%以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Rhizoma Pinelliae

半夏

- 一 半夏ハ *Pinellia termita* Tenore (カラスビシヤク)ノ根莖ヲ採集シ外皮ヲ剝除シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ白色ニシテ扁壓セラレタル球狀ヲナシ直径 1cm内外ナリ頂端ニ於テ莖ノ附著セル跡ハ凹窩ヲナシ其周圍ニハ多數ノ小凹點アリ横斷面ハ純白色ニシテ粉末性ナリ
- 三 本品ノ横斷面ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ主トシテ柔組織ヨリ成リ處々ニ脈管束ヲ散在ス柔細胞中ニハ無數ノ澱粉粒並間々束針狀ノ蓚酸塩結晶ヲ包藏ス澱粉粒ハ圓形ニシテ直径 3~20 $\mu$ 多クハ 10~15 $\mu$ ナリ
- 四 本品ヲ灰化スルニ 3%以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Rhizoma Rhei

大黃

- 一 大黃ハ *Rheum palmatum* Linné var. *tanguticum* Maxim. *ovoides* ノ根莖ヲ採集シ殆ト皮部ヲ去リ往々縦割シ乾燥セルモノナリ

二 本品ハ種々ノ形狀ヲ有スル類黄色ノ塊片ニシテ往々孔穴ヲ有ス其質緻密ニシテ重ク破折面ハ顆粒狀ヲナシ白色ノ實質中ニ黄褐色ノ斑點或ハ線條ヲ交錯シ大理石様ノ紋理ヲ呈ス

三 本品ノ横斷面ハ新生組織ノ附近ニ於テノミ放線狀ヲ呈シ其内側ヨリ髓部ニ至ル迄多數ノ星狀ヲナセル褐色ノ放線圈ヲ現ハス放線圈ハ一箇ノ開放脈管束ニシテ圈輪狀ノ新生組織ヲ有シ内部ニ篩部ヲ外部ニ脈管ヲ有ス本品ノ組織ヲ構成スルモノハ主トシテ柔細胞ニシテ澱粉粒・蓚酸塩簇晶及黄色ノ物質ヲ包藏ス

四 本品ノ粉末ハ深橙黄色ヲ有シ澱粉粒・柔細胞及網紋脈管ノ破片・蓚酸塩ノ巨大ナル簇晶及其破片ノ外厚膜性組織ヲ夾雜スヘカラス澱粉粒ハ圓形ニシテ直径 3~10 $\mu$  又往々 30 $\mu$ ニ至リ蓚酸塩簇晶ハ直径往々 100 $\mu$ ヲ超ユ

- 五 本品ハ「ナトロン」滴液ニ由リ深赤黄色ヲ呈ス
- 六 本品ハ特異ノ香氣ヲ有シ之ヲ嚙メハ砂鳴ヲ發シ弱苦味ヲ有ス
- 七 本品ヲ灰化スルニ 13%以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Rhizoma Scopoliae

ロート根

- 一 ロート根 *Scopolia japonica* Maximowicz (ハシリドコロ)ノ根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ外面帯灰褐色ヲ呈シ著シク皺縮シ長サ約 1.5dm・直径 3cmニ至リ多少彎曲シ處々絞扼セラレテ輪狀ニ分節シ末端ニハ往々殘莖ヲ存シ各節ノ上面ニハ莖痕ヲ帶ヒ兩側及下面ニハ剪除セル副根ノ殘基アリ破折面ハ顆粒狀ニシテ横斷面ハ類白色或ハ灰褐色ヲ呈シ間々槩疎ニシテ海綿様ヲナシ皮部ハ其色稍々淡明ニシテ木部ノ外邊ニ於テハ略々半徑線ノ方向ニ排列セル脈管著大ノ髓心ヲ圍繞ス
- 三 本品ハ臭氣不快ニシテ味微ニ苦ク少シク苛辣ナリ
- 四 本品ハ 0.35%以上ノ「アルカロイド」(ヒヨスチアミン  $C_{17}H_{23}NO_5 = 289.2$  トシテ)ヲ含有ス
- 五 本品ノ粗末 12gニ「エーテル」120ccヲ加ヘ十分間屢々振盪シ次ニ「アンモニア」水 10ccヲ和シ屢々強ク振盪シツツ一時間放置シタル後脱脂綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ脱脂綿上ノ根末ハ壓シテ充分ニ「エーテル」液ヲ滴下セシメ濾液ニ水 5ccヲ加ヘテ劇シク振盪シ「エーテル」液ノ澄明トナリタル後トラガント細末 1.5gヲ加ヘテ三分間振盪シ澄明ノ「エー

テル液ヲ脱脂縮ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液(60°C)ヲ(60°C)ノ重湯煎上ニ蒸溜シテ「エーテル」ヲ去リ残渣ニ「アルコール」ヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ冷後十分定規塩酸HCl・水H<sub>2</sub>O及メチルアルコール溶液二滴ヲ加ヘ十分定規カリ液ヲ滴加シ中和スルニハ該液ヲ費スコト4.25ccニ過クヘカラス又此中和液ニ稀塩酸ヲ加ヘテ弱酸性トナシ分液漏斗ニ取り「エーテル」ヲ加ヘテ振盪シ下層ノ酸性液ヲ分取シ必要アラハ更ニ「エーテル」ヲ加ヘテ同様ニ處理シ酸性液ノ殆ト無色トナルニ至リ之ニ「アンモニア水」ヲ加ヘテ弱アルカリ性トナシ分液漏斗ニ取り「エーテル」ヲ加ヘテ振盪シ「エーテル」層ヲ磁皿ニ分取シ「エーテル」ヲ揮散セシメタル後残渣ニ發煙硝酸五滴ヲ加ヘ重湯煎上ニ蒸發シ冷後残渣ニ「アルコール」性カリ滴液ヲ滴加スルニ紫色ヲ呈セサルヘカラス

- 六 本品ヲ灰化スルニ「%」以上ノ固形物ヲ殘留スヘカラス
- 七 注意シテ貯フヘシ
- 一回ノ極量 0.1g
- 一日ノ極量 0.3g

Rhizoma *Todaivo*

唐大黃

- 一 唐大黃ハ支那ニ産スル *Rheum* 屬諸種植物ノ根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ暗褐色ニシテ圓柱形ヲナシ往々縦割セラレ直径1cmヲ超ユルモノアリ外面ニハ粗大ノ皺襞ヲ有スル袍層ヲ被リ横断面ハ帶線褐色或ハ帶黃褐色ヲ呈シ粉塵ヲ帶フ其質甚タ輕鬆ニシテ脆ク全組織ハ海綿様ナリ
- 三 本品ノ粉末ハ網紋或ハ階紋脈管ノ破片・黃色或ハ褐色ノ内容物ヲ包有スル柔細胞・澱粉粒及尿酸塩ノ簇晶又ハ其破片ノ外厚膜性組織ヲ夾雜スヘカラス澱粉粒ハ殆ト圓形ニシテ直径往々30 $\mu$ ニ至リ尿酸塩簇晶ハ太サ通常75~80 $\mu$ 稀ニ150 $\mu$ ニ至ル
- 四 本品ノ粉末ハ「ナトロン」滴液ニ由テ深赤黃色ヲ呈ス
- 五 本品ヲ灰化スルニ「%」以上ノ固形物ヲ殘留スヘカラス

Rhizoma *Valerianae*

吉草根

- 一 吉草根ハ *Valeriana officinalis* Linné var. *latifolia* Miguel (カノコサウ)ノ根莖ヲ根ト共ニ採集シ乾燥セルモノナリ

- 二 本品ハ灰褐色ヲ呈シ根莖ハ長サ約1.5cm・直径1cmニ至リ上端ニハ萌芽或ハ殘莖ヲ存シ側面ニハ走根ノ分枝或ハ其殘基及多數ノ根ヲ帶フ根ハ直径3mm長サ2dmニ至ル
- 三 根莖ノ断面ハ角質ヲ呈シ淡明ナル石核細胞群ヨリ成ル斑點ヲ有シ髓部ニ空洞ヲ有スルコトアリ走根ノ横断面ハ新生組織及之ニ近接セル暗色ノ線ニ由テ皮部及木部ノ顯著ナル境界ヲ現ハシ此線ニ沿ウテ數箇ノ脈管束散在ス髓ニハ特異ノ石核細胞群アリ根ノ横断面ハ暗褐色ニシテ木部ハ皮部ニ比シ甚タ狭シ之ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ上皮細胞ハ往々延長シテ根毛トナリ下上皮細胞ハ揮發油ヲ含有ス木部ハ一層ノ内木鞘ニ由テ皮部ト分タレ皮部ノ柔細胞ハ直径20 $\mu$ ニ至ル澱粉粒ヲ充滿ス
- 四 本品ハ氣味特異芳香性ニシテ微ニ苦シ
- 五 本品ヲ灰化スルニ「%」以上ノ固形物ヲ殘留スヘカラス

Rhizoma *Zedoariae*

莪 述

- 一 莪述 *Curcuma Zedoaria* *Roscoe* (ガジツ)ノ球根狀ノ根莖ヲ採集シ多クハ横徑ニ或ハ縦徑ニ切斷シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ直径2.5~4cmナリ外面ハ灰色ニシテ多數ノ根癭

莪述・生薑・純スカレット

- ヲ著ケ切断面ハ灰色ニシテ厚サ約2~5mmノ皮ヲ帶ヒ圓板形ヲナセルモノハ概シテ陷窩セル脈管束筒ヲ現ハス
- 三 本品ノ柔組織中ニハ巨大扁平ニシテ偏心性ノ層紋ヲ呈スル澱粉粒ヲ包藏ス
- 四 本品ハ氣味カンフル様ニシテ苦味ヲ帶フ
- 五 本品ヲ灰化スルニ「%」以上ノ固形物ヲ殘留スヘカラス

Rhizoma *Zingiberis*

生 薑

- 一 生薑ハ *Zingiber officinale* *Roscoe* (セウガ)ノ根莖ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ扁平ニシテ不規則ニ分岐シ灰色ノ袍層ヲ被リ又間々一部ノ袍層ヲ剝除セルモノアリ破折面ハ類白色或ハ淡灰白色ニシテ顆粒狀ヲ呈シ澱粉粒ニ富ミ脈管束ヲ出タシ中央圓柱ハ甚タ太クシテ厚サ1mmニ過キサレ皮部ヨリ圍繞セラレ分泌物貯藏器ハ全組織中ニ平等ニ散在ス
- 三 本品ハ氣味特異芳香性ニシテ苛烈灼クカ如シ
- 四 本品ヲ灰化スルニ「%」以上ノ固形物ヲ殘留スヘカラス

Rubrum *scarlatinum purum*

純スカレット シャルラハロート

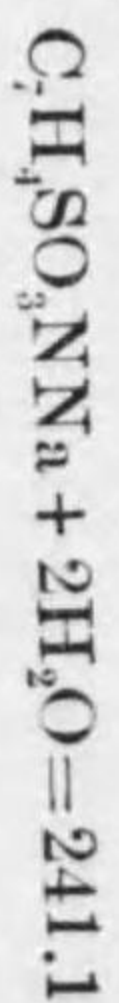
C<sub>21</sub>H<sub>20</sub>N<sub>4</sub>O=380.1

- 一 純スカレット」ハ暗赤褐色ノ粉末ニシテ水ニ溶解セス十  
五分ノ「クロロホルム」ニ溶解シ脂肪竝脂肪油ニ較々溶解シ  
易ク「アルコール竝エーテル」ニ較々溶解シ難シ本品ヲ熱ス  
レハ約175°ニ於テ軟化シ約194°~196°ニ於テ熔融ス
- 二 本品0.1gニ「アルコール 5cc」及「ナトロン滴液」二滴ヲ加  
ヘ少時加熱スレハ溶解シテ紫紅色ヲ呈シ之ニ水醋酸二三滴  
ヲ點加スレハ深赤色ニ變ス
- 三 本品0.002gハ硫酸2ccニ藍綠色ヲ呈シテ溶解シ之ニ  
注意シテ水ヲ滴加スレハ藍色ヲ呈シ更ニ深赤色ニ變ス
- 四 本品0.1gニ水醋酸6ccヲ加ヘテ加熱溶解セル液ニ亞鉛  
末少量ツツヲ徐々ニ加フレハ其液ヲ漸次紫紅色ヨリ淡黃色  
ニ移行ス又其濾液ハ空氣ニ觸レテ紫紅色ニ變ス
- 五 本品1gヲ「クロロホルム 15cc」ニ溶解スルニ0.01g以  
上ノ不溶物ヲ残留スヘカラス
- 六 本品1gニ硝石2g及乾燥炭酸ソーダ1.5gヲ混和シ熔  
融シテ得タル白色ノ熔塊ヲ冷後稀硫酸30ccニ溶解シ蒸發  
シ更ニ熱灼シテ硝酸ヲ驅除シ此殘留物ヲ粉末トナシ塩酸  
5ccヲ加ヘテ濾過シタル後塩化第一錫溶液二倍容量ヲ和ス  
ルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス
- 七 本品ヲ100°ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト  
25%ニ過クヘカラス又之ヲ燃化スルニ1%以上ノ固性物

ヲ残留スヘカラス

Saccharinum solubile

溶性サツカリ

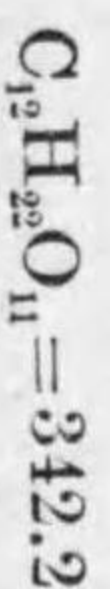


- 一 溶性サツカリ」ハ白色結晶性ノ粉末或ハ無色透映ノ結  
晶ニシテ氣中ニ於テ微ニ風化ス水ニ容易ニ溶解シ殆ト中性  
ノ反應ヲ徵ス其味極メテ甘ク其一萬倍ノ水溶液モ尙甘味ヲ  
有シ「アルコール」ニ溶解シ難シ
- 二 本品ヲ苛性カリ」ト共ニ注意シテ熔融シ其水溶液ニ塩酸  
ヲ加ヘテ弱酸性トナシタル後稀塩化第二鉄溶液ヲ滴加スレ  
ハ紫色ヲ呈ス又本品ヲ熱灼シテ得タル固性物ヲ無色ノ火焰  
中ニ熱スレハ之ヲ黃色ニ染ム
- 三 本品0.5gヲ水25ccニ溶解シ稀塩酸1ccヲ和シ二三  
時間放置シテ析出シタルモノヲ濾紙上ニ集メ水ヲ以テ洗滌  
シ100°ニ於テ乾燥シタルモノハ219°~224°ニ於テ熔融セ  
サルヘカラス
- 四 本品ノ水溶液(1+19)ハ「フェニールフタレイン溶液」  
一滴ニ由テ紅色ヲ呈スヘカラス
- 五 前項ノ本品水溶液ハ「ナトロン滴液」1ccヲ加ヘテ加温ス  
ルニ「アンモニア」ヲ發生セス又醋酸ニ由テ一時間以内ニ變

- 化セス又醋酸三滴及塩化第二鉄溶液一滴ニ由テ黃赤色ノ沈  
淀ヲ生スヘカラス或ハ紫色ヲ呈スヘカラス
- 六 本品ノ水溶液(1+9)ニ硝酸ヲ和シテ生スル沈澱ヲ濾別  
シテ得タル液ハ硝酸バリウム溶液ヲ加フルニ變化セス又硝  
酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ
- 七 本品0.1gヲ硫酸5ccニ和シ約50°ノ温ニ於テ十分間  
放置スルニ微ニ褐色ヲ呈スルニ止マルヘシ
- 八 本品0.5gヲ熱灼スルニ0.14~0.17gノ固性物ヲ残留セ  
サルヘカラス
- 九 壘中ニ容レテ密栓シ貯フヘシ

Saccharum

白糖



- 一 白糖ハ無色透映ノ乾燥結晶或ハ純白色乾燥結晶性ノ塊片  
或ハ粉末ニシテ臭氣ナク味甚タ甘シ〇五分ノ水ニ溶解ス
- 二 本品2gニ水1ccヲ和スルニ無色澄明ニ溶解スヘシ此  
液ハ「リトマス紙」ヲ變色セス又之ニ「アルコール 5cc」ヲ加  
フルニ澄明ニ混和セサルヘカラス
- 三 本品ノ水溶液(1+19)ハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴ヲ  
加フルニ變化セス又醋酸アンモン溶液竝硝酸バリウム溶液

ニ由テ直チニ變化セス硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ  
止マルヘシ

四 本品ノ水溶液(1+19)6ccニ「フェニールフタレイン溶液 5cc」  
ヲ和シ熱シテ煮沸スルニ至ルニ直チニ黃色或ハ類赤色ノ沈  
澱ヲ析出スヘカラス

五 本品ヲ燃化スルニ0.1%以上ノ固性物ヲ残留スヘカラ  
ス

Saccharum Lactis

乳糖



- 一 乳糖ハ類白色ノ結晶塊或ハ白色ノ粉末ニシテ臭氣ナク甘  
味ヲ有シ一分ノ熱湯竝約九分ノ水ニ溶解ス
- 二 本品ノ水溶液ニ炭酸ソーダ溶液ヲ和シテ熱スレハ黃色ヲ  
呈シ之ニ次硝酸蒼鉛ヲ加ヘテ二三分間煮沸スレハ黑色ヲ呈  
ス
- 三 本品ノ熱水溶液(1+1)ハ無色ナルヘシ或ハ微ニ類黃色  
ヲ呈スルニ止マルヘシ
- 四 本品ノ水溶液(1+19)ハ「リトマス紙」ヲ殆ト變色セス又  
硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ過キス硝酸バリウム溶  
液ニ由テ直チニ又醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴ニ由テ變化



- スヘカラス
- 五 本品ノ水溶液 (1+9) 5cc ハ「ナトホン」滴液 1cc ヲ加ヘタル後硫酸銅溶液一滴ニ由テ紫色ヲ呈スヘカラス又其溶液 10cc ハ「アンソルシン」0.1g 及塩酸 1cc ヲ加ヘ五分間重湯煎中ニ熱スルニ黄色ヲ帶フルニ止マリ紅色ヲ呈スヘカラス
- 六 本品 1g ニ水 30cc ヲ和シ煮沸シ冷後之ニ「ヨード」溶液一滴ヲ和スルニ藍色或ハ紫紅色ヲ呈スヘカラス
- 七 本品ヲ燃化スルニ 0.2% 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

Sal Carolinum factitium

○人工カルルス塩

- 一 人工カルルス塩ハ
  - 乾燥芒硝 二十二分
  - 硫酸カリ 一分
  - 食塩 九分
  - 重炭酸ソーダ 十八分
- ヲ取り中末トナシ混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ白色ノ乾燥粉末ニシテ水ニ溶解シ酸類ヲ加フレハ劇シク泡沸ス
- 三 本品 CaCl<sub>2</sub> ヲ水 1cc ニ溶解スレハ「カルルス泉」ニ類スル液ヲ得

Sandaraca

サンダラック

- 一 「サンダラック」ハ Callitris quadrivalvis Vent ノ幹ヨリ得タル樹脂ナリ
- 二 本品ハ淡黄色透映ノ顆粒ニシテ味微ニ苦ク之ヲ熱スレハ佳快ノ香氣ヲ放チ熔融シテ終ニ燃化ス
- 三 本品ハ冷アルコールニ一部溶解シ熱アルコール並ニテレピン油ニ全溶ス

Santonium

○サントニン



- 一 「サントニン」ハ無色ノ光澤アル小葉狀結晶ニシテ光ニ觸ルレハ漸次黄色トナリ水ニ溶解シ難ク四十四分ノ「アルコール」並四分ノ「クロロホルム」ニ溶解シ「アルコール」溶液ハ水ヲ以テ濕潤セル「リトマス」紙ヲ變化セス熔融點約 170° ナリ
- 二 本品ノ細末トナシタルモノ 0.1g ヲ硫酸及水各 1cc ノ混液ニ煮沸シツツ溶解シ塩化第二鉄溶液少許ヲ和スレハ紫色ヲ呈ス

- 三 本品ニ硝酸或ハ零度ニ冷却シタル硫酸ヲ加ヘテ濕潤スルニ直チニ染色スヘカラス

- 四 本品 0.2g ニ水 2cc 及稀硫酸一滴ヲ加ヘ屢々振盪シツツ五分間放置シ濾過シタル液ハ苦味ヲ呈セス螢石彩ヲ現ハサス又マイエル試薬ニ由テ濁濁スヘカラス

- 五 本品ノ細末トナシタルモノ 1g ヲ「クロロホルム」3cc ニ溶解シ常溫ニ於テ揮散セシメ結晶ノ著シク析出スルニ至リ「クロロホルム」ヲ以テ再ヒ原容ニ復スルニ結晶ハ全ク之ニ溶解セサルヘカラス

- 六 本品 0.2g ニ水 10cc ヲ和シ煮沸シ冷後濾過シテ得タル液ニ「ブロム水」ヲ加ヘテ黄色ヲ呈スルニ至ルニ濁濁スヘカラス

- 七 本品 0.2g ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ残留スヘカラス
- 八 光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

- 一回ノ極量 0.1g
- 一日ノ極重 0.3g

Sapo jalapinus

ヤラッパ石鹼

- 一 ヤラッパ石鹼ハ

ヤラッパ石鹼・カリ石鹼

ヤラッパ脂細末 } 各等分  
藥用石鹼

- 一 取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ類黄灰色ノ粉末ナリ

Sapo kalinus

カリ石鹼

- 一 カリ石鹼ハ
  - 大豆油 四十三分
  - カリ鹼 五十八分
  - アルコール 五分

- ヲ混和シ溫ヲ與ヘテ透明ノ石鹼膠トナルニ至リ其一部分ヲ「アルコール」ニ溶解スルニ澄明ノ溶液ヲ生スルニ至ラハ更ニ蒸發シ若クハ溫蒸溜水ヲ加ヘテ全量ヲ百分トナシ製スヘシ
- 二 本品ハ黄褐色透映粘滑ノ軟塊ヲナシ不快ナラサル微臭ヲ帶ヒ水二分並アルコールニ澄明ニ或ハ殆ト澄明ニ溶解ス
- 三 本品ハ 40% 以上ノ脂肪酸ヲ含有ス
- 四 本品 10g ニ「アルコール」30cc ヲ加ヘテ溶解シタルモノハ定規塩酸 0.5cc ニ由テ濁濁セス更ニ「フェノール」フタ

レイン溶液一滴ヲ加フルニ紅色ヲ呈スヘカラス  
 五 本品 5g ヲ塚ニ取り熱湯 100cc ニ溶解シ稀硫酸 15cc  
 ヲ和シ重湯煎上ニ温メ水液上ニ澄明油狀ノ液浮游スルニ至  
 リ冷後之ニ石油エーテル 50cc ヲ注キ栓塞シテ搖動シ其  
 25cc ヲ硝子器ニ取り微温ヲ與ヘテ石油エーテルヲ揮散セ  
 シメ残留物ヲ 15cc ヲ超エサル温ニ於テ乾燥スルニ其重量少  
 クモ 1g ナラサルヘカラス

Sapo medicatus

藥用石鹼

一 藥用石鹼ハ

ナトロン滴液(比重 1.17) 百二十分  
 アルコール 十二分

ヲ取り之ニ

豚脂 五十分  
 オレフ油 五十分

ノ溶和物ヲ加ヘテ重湯煎上ニ温メ「アルコール」ヲ揮散ヲ防  
 キツツ攪拌シテ全質均等トナリ其一部分ヲ取りテ熱湯ヲ加  
 フルニ脂肪ヲ析出セス澄明ノ溶液ヲ得ルニ至リ三十分間温  
 メタル後  
 蒸溜水 二百分

ヲ和シテ加熱シ尙必要アルトキハ少量ノ「ナトロン滴液」ヲ  
 加ヘテ澄明ノ石鹼膠トナシ之ニ

粗製食塩 二十五分  
 炭酸ソーダ 三分  
 蒸溜水 八十分

ヨリ成レル溶液ノ濾過セルモノヲ加ヘ攪拌シツツ尙加熱シ  
 テ石鹼ノ全ク析出スルニ至リ冷後其母液ヨリ分離シ少量ノ  
 蒸溜水ヲ以テ反復洗滌シテ過剩ノ「アルカリ」ヲ除去シ強ク  
 壓搾シ切テ小片トナシ温處ニ乾燥シ粉末トナシ製スヘシ

二 本品ハ白色ノ粉末ニシテ敗油臭ヲ有セス水並アルコ  
 ルニ溶解ス

三 本品「 $\text{Na}_2\text{CO}_3$ 」ニ「アルコール 5cc」ヲ加ヘ温ヲ與ヘテ溶解シ  
 タルモノハ「フェノールフタレイン溶液一滴ニ由テ紅色ヲ  
 呈スヘカラス又此液ハ醋酸及硫化ソーダ溶液各三滴ニ由テ  
 變化スヘカラス

四 塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Sapo viridis

綠石鹼

一 綠石鹼ハ類綠色或ハ黃褐色透映粘滑ノ軟塊ニシテ二分ノ  
 水ニ全ク或ハ殆ト澄明ニ溶解ス

二 本品ハ 40% 以上ノ脂肪酸ヲ含有ス

三 本品 5g ヲ熱湯 10cc ニ溶解シ冷後之ニ「アルコール同  
 容量ヲ和スルニ其液濁セス之ニ塩酸二滴ヲ加フルモ絮狀  
 ノ沈澱ヲ生スヘカラス

四 本品 5g ヲ塚中ニ取り熱湯 100cc ニ溶解シ稀硫酸 15cc ヲ  
 和シ重湯煎上ニ温メ水液上ニ澄明油狀ノ液浮游スルニ至リ  
 冷後之ニ石油エーテル 50cc ヲ注キ栓塞シテ搖動シ其 25cc  
 ヲ硝子器ニ取り微温ヲ與ヘテ石油エーテルヲ揮散セシメ  
 残留物ヲ 15cc ヲ超エサル温ニ於テ乾燥スルニ其重量少クモ  
 1g ナラサルヘカラス

Saturations

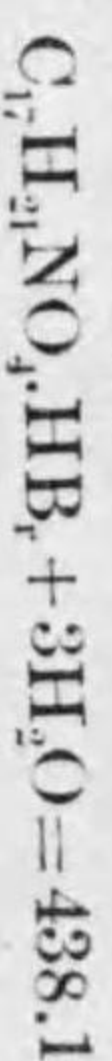
飽和劑

- 一 飽和劑ハ酸ノ溶液ニ炭酸アルカリ」ヲ加ヘ調製シタル炭  
 酸含有ノ合劑ナリ
- 二 處方中藥品及分量ヲ記載セサルトキハ左記ニ據リ調製ス  
 ヘシ
  - クエン酸 三・八分
  - 重炭酸ソーダ 五分
  - 水 百九十分
- 三 用ニ臨ミテ製スヘシ

飽和劑・プロム水素酸スコポラミン

Scopolaminum hydrobromicum

プロム水素酸スコポラミン



一 プロム水素酸スコポラミン」ハ無色稜柱狀ノ結晶或ハ白  
 色結晶性ノ粉末ニシテ臭氣ナク味苦ク且苛辣ナリ水並アル  
 コール」ニ溶解シテ無色ノ液ヲ生シ水溶液ハ青色リトマス  
 紙ヲ赤變ス「エーテル並クロロホルム」ニ僅微ニ溶解シ硫酸  
 上ニ乾燥セルモノハ熔融點約 190° ナリ

二 本品ノ無水物 0.5g ニ相當スル結晶ヲ取り水ニ溶解シ  
 10cc トナシタルモノハ旋光度 -12° ナリ

三 本品ノ水溶液 (1+19) 各 1cc ハ硝酸銀溶液ニ由テ類黃  
 色ノ沈澱ヲ生シ「ナトロン滴液ニ由テ類白色ノ濁濁ヲ生シ  
 暫時ニシテ消失ス又アンモニア水ニ由テ變化セス

四 本品約 0.01g ヲ磁皿ニ取り發煙硝酸五滴ヲ和シ重湯煎  
 上ニ蒸發シテ得タル残留物ハ極メテ微ニ類黃色ヲ有シ冷後  
 之ニ「アルコール」性カリ滴液ヲ滴加スレハ紫色ヲ呈ス

五 本品 0.05g ヲ水 5cc ニ溶解シタルモノニ過マンガン酸  
 カリ溶液一滴ヲ和セルニ五分以内ニ其紅色消失スヘカラス

六 本品 0.2g ヲ 100° ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スル  
 ロト 0.025g ニ過クヘカラス又之ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘ

キ固性物ヲ殘留スヘカラス

七 最モ注意シテ貯フヘシ

- 一回ノ極量 0.0005g
- 一日ノ極量 0.0015g

Sebum bovinum

牛 脂

- 一 牛脂ハ牛ノ脂肪組織ニ水ヲ和シ加熱シテ熔出シ水ヲ以テ洗滌シタル後水分ヲ除去シテ得タル脂肪ナリ
- 二 本品ハ白色或ハ殆ト白色ニシテ柔軟均等又ハ顆粒狀ノ塊ヲナシ臭氣ハ微弱特異ニシテ敗油性ナラス 45°~50°ニ於テ熔融シ澄明ノ液トナル「ヨード數 33~53・鹼化數 193~200・酸度 2 以下ナリ

Secale cornutum

麥 角

- 一 麥角ハ *Secale cereale* *Linne* (ライムギ)ニ發生セル (*Triticeps purpurea* *Tulasne* ノ保續菌體ヲ採集シ微温ヲ施シテ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ通常鈍キ三稜ヲ有シ多クハ稍々彎曲シ長サ 10~30 mm・直徑 2.5~5 mm・兩端少シク狹細トナリ多クハ縱溝

及横裂ヲ有シ外面ハ暗紫色乃至黑色ニシテ破折面ハ紫黑色

ノ外層ト灰白色或ハ淡紫紅色ノ内層ヲ現ハシ顯微鏡下ニ檢スレハ菌絲ハ柔組織様ニ結合シ油滴ヲ含有スルヲ見ル

- 三 本品ハ味淡泊ニシテ其一分ニ十分ノ熱湯ヲ注加スレハ特異ノ臭氣ヲ發シ「アンモニア様又ハ敗油性ノ臭氣ヲ發スヘカラス
- 四 本品ハ粉末トナシテ貯フヘカラス
- 五 除濕器内ニ於テ乾燥シ器中ニ密閉シ注意シテ貯フヘシ

- 一回ノ極量 1.0g
- 一日ノ極量 5.0g

Semen Amygdali dulce

甘 扁 桃

- 一 甘扁桃ハ *Prunus Amygdalus* *Stokes* var. *dulcis* *Baillon* ノ種子ナリ
- 二 本品ハ相對性ノ卵形ヲナシ壓扁セラレ長サ平均 22.5 mm・幅 15 mm 乃至リ一端ハ尖銳ニシテ他ノ一端ハ圓形ヲナシ此部位ニ於テハ厚サ 10 mmヲ超ユルコトアリ其種被ハ褐色ニシテ外面ハ脱落シ易キ厚壁性ノ上皮細胞ニ由テ粉末狀ヲ呈シ内部ニハ電點ヨリ出ツル多數ノ脈管束通走ス
- 三 本品ヲ熱湯中ニ軟化セシムレハ薄キ胚乳ノ殘片ト共ニ種

被ヲ剝離スルコトヲ得子葉ハ純白色ナリ

- 四 本品ノ味ハ緩和油樣粘性ニシテ微ニ甘ク敗油性ナラス又水ヲ注キテ搗碎スルニ「ベンズアルデヒド」ノ香氣ヲ放ツヘカラス

Semen Armeniacae

杏 仁

- 一 杏仁ハ *Prunus Armeniaca* *Linne* var. *anzu* *Morinowicz* (アンズ)ノ種子ナリ
- 二 本品ハ略々心臟形ヲナシ壓扁セラレ長サ約 15 mm・幅 12 mm・厚サ 7 mm 乃至リ一端ハ尖銳ニシテ他端ハ圓形ヲナシ此部位ニ電點ヲ具ヘ種被ハ褐色ニシテ外面ハ脱落シ易キ厚壁性ノ上皮細胞ニ由テ粉末狀ヲ呈シ内部ニハ電點ヨリ出ツル多數ノ脈管束通走ス
- 三 本品ヲ熱湯中ニ投シ軟化セシムレハ種被ハ薄キ胚乳ト共ニ容易ニ剝離シ純白ノ子葉ヲ露出ス
- 四 本品ハ苦味ヲ有シ敗油性ナラス又水ヲ注キテ搗碎スレハ「ベンズアルデヒド」ノ香氣ヲ放ツ

Semen Lini

亞 麻 仁

杏仁・亞麻仁・肉豆蔻・牽牛子

- 一 亞麻仁ハ *Linum usitatissimum* *Linne* (アマ)ノ種子ナリ
- 二 本品ハ扁平卵形ヲナシ長サ 4~6 mm・類黃色乃至褐色ヲ有シ光澤ヲ帶フ種被ノ上皮ハ粘液細胞ヨリ成リ菲薄ナル胚乳並胚ハ脂肪ヲ含有シ澱粉粒ヲ缺如ス
- 三 本品ハ味緩和油樣粘滑ニシテ敗油性ナラス
- 四 本品ヲ灰化スルニ 5% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Semen Myristicae

肉 豆 蔻

- 一 肉豆蔻ハ *Myristica fragrans* *Houttuyn* 種子ニシテ種被ヲ除去シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ短卵形ヲナシ長サ約 30 mm・幅 20 mm 乃至リ外面ハ褐色ノ石灰粉ヲ被リ縱徑ニ通走セル廣キ淺溝ト緻密ノ網紋ヲナセル狹溝トヲ現ハス横斷面ニハ脂肪及澱粉粒ヲ包裹セル内胚乳中ニ芳香性ノ分泌物ヲ含有スル褐色ノ外胚乳線條トナリテ侵入セルヲ認ム
- 三 本品ハ氣味芳香性ニシテ辛苦ナリ
- 四 本品ヲ灰化スルニ 30% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Semen Pharbitidis

牽 牛 子

- 一 牽牛子ハ *Pharbitis Nil (Clouisy)* (アサガホ)ノ種子ヲ採集シ乾燥セルモノナリ
- 二 本品ハ球ヲ六等分セル形状ヲナシ堅硬ニシテ長サ  $3 \sim 8$  mm。淡黄褐色又ハ黒色ニシテ表面平滑ナリ其中軸ヲナセル稜線ノ一端ニ臍點ヲ有ス
- 三 本品ノ横断面ハ緻密ニシテ淡黄褐色若クハ淡緑褐色ヲ呈シ種被ハ薄ク内部ニ肥厚シ且褶曲セル子葉ヲ藏ス
- 四 本品ハ無臭ニシテ味油様ナリ
- 五 本品ヲ  $100^{\circ}$ ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト  $12\%$ ニ過キス又之ヲ灰化スルニ固性物ヲ殘留スルコト  $5\%$ ニ過クヘカラス

Semen Sinapis

芥子

- 一 芥子ハ *Brassica cerema Forbes et Hemsey* (カラシナ)ノ種子ナリ
- 二 本品ハ略、球形ヲナシ直径  $1.5$  mmニ至リ帶黄褐色或ハ暗褐色ニシテ「ルーベ」ヲ以テ檢スレハ極メテ細小ノ凹窩ヲ現ハス子葉ハ帶緑黄色ニシテ鞍狀ニ重疊ス
- 三 本品ノ横断面ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ上皮ハ扁平ナル粘液細胞ヨリ成リ水ヲ點スレハ著シク膨脹ス上皮下ニハ一層ノ

- 空細胞ニ次テ半徑方向ニ延長セル柵狀細胞ノ一層アリ其細胞ノ膜壁ハ外方ノ一面ヲ除クノ他著シク厚化セリ其内方ニ油滴ヲ含有スル方形ノ細胞層及子葉ヲ有ス
- 四 本品ハ味初メ油様ニシテ後辛烈ナリ本品ヲ粉碎シ水ヲ加ヘテ攪拌スレハ暫時ノ後揮發芥子油ノ刺戟臭ヲ發ス
- 五 本品ハ  $0.5\%$ 以上ノ純イソ硫シアンアリル ( $C_4H_9NS_2$ ニ  $59.1$ )ヲ含有ス
- 六 本品ノ粉末ハ之ヲ顯微鏡下ニ檢スルニ尿酸塩結晶及澱粉粒ヲ認ムヘカラス
- 七 本品ノ粗末  $5g$ ヲ内容約  $300cc$ ノ壘ニ取り  $20^{\circ} \sim 25^{\circ}$ ノ水  $100cc$ ヲ注キ栓塞シ反復搖動シツツ二時間放置シタル後徐々ニ加熱シテ蒸溜シ善ク冷却シツツ初溜液  $40 \sim 50cc$ ヲ豫メ「アンモニア水  $10cc$ 及アルコール  $10cc$ ヲ盛リタル内容  $100cc$ ノ測容壘中ニ溜取シ十分定規硝酸銀液  $20cc$ ヲ加ヘ壘口ニ小漏斗ヲ架シ重湯煎上ニ一時間加熱シタル後之ヲ冷却シ水ヲ加ヘテ  $100cc$ トナシ濾過シ其濾液  $50cc$ ニ硝酸  $5cc$ 及鉄明礬溶液  $5cc$ ヲ和シタル後十分定規ロダンアンモン液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト  $0.9cc$ ニ過クヘカラス
- 八 本品ヲ灰化スルニ  $5\%$ 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Semen Sinapis exoleatum

脱脂芥子

- 一 脱脂芥子ハ芥子ヲ粉碎シ冷壓脱脂シタル後乾燥シ細末トナシタルモノナリ
- 二 本品ハ純黄色ノ粉末ニシテ微ニ特異ノ臭氣ヲ有シ水ヲ加ヘテ振盪スレハ暫時ノ後揮發芥子油ノ刺戟臭ヲ發ス
- 三 本品ハ  $0.8\%$ 以上ノ純イソ硫シアンアリル ( $C_4H_9NS_2$ ニ  $59.1$ )ヲ含有ス
- 四 本品  $5g$ ニ「エーテル  $50cc$ ヲ加ヘ時々振盪シツツ三時間放置シタル後乾燥濾紙ヲ用ヒテ豫メ秤量セル壘中ニ濾過シ前ノ容器ヲ「エーテル各  $50cc$ ヲ用ヒテ三回洗滌シ同一濾紙ヲ用ヒテ濾過シ全濾液ヲ蒸溜シテ「エーテル」ヲ去リ殘留物ヲ  $100^{\circ}$ ニ於テ乾燥スルニ其重量  $1g$ ニ過クヘカラス
- 五 本品  $5g$ ヲ取り芥子ノ條ニ規定スル方法ニ據リ「イソ硫シアンアリル」ヲ定量スルニ十分定規ロダンアンモン液ヲ費スコト  $5.9cc$ ニ過クヘカラス
- 六 本品ヲ  $100^{\circ}$ ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト  $5\%$ ニ過クヘカラス
- 七 本品ヲ灰化スルニ  $1\%$ 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 八 壘中ニ入レ密栓シ貯フヘシ

Semen Strophanthi

ストロファンツ子

- 一 ストロファンツ子ハ *Strophanthus Kombe Oliver*ノ種子ヨリ芒ヲ除去セルモノナリ
- 二 本品ハ鉞針形ヲナシ壓扁セラレ一端ニ尖嘴ヲ有ス長サ  $9 \sim 15$  mm。稀ニ  $22$  mmニ達スルモノアリ幅  $5$  mm。厚サ  $3$  mmニ至リ密ニ毛茸ヲ帯ヒ灰綠色或ハ灰色ヲ呈ス種縫ハ尖端ノ直下ニ在ル臍點ヨリ發シ扁平ナル面ノ中央ヲ縱走シテ殆ト底部ニ達ス
- 三 本品ヲ水中ニ軟化シテ分割スレハ胚乳ハ種被ニ附着ンテ剝離シ扁平ナル二枚ノ子葉及短小ナル幼根ヲ具フル胚ヲ露出ス
- 四 本品ノ種被ハ菲薄ニシテ上皮ハ巨大ナル細胞ヨリ成リ其各細胞ハ中央部延長シテ種子ノ尖端ニ向テ偃伏スル毛茸トナル胚乳ノ細胞ハ油滴及蛋白質顆粒ヲ包藏シ又屢々太サ  $8 \mu$ ヲ超エサル澱粉粒ヲ有ス子葉及幼根ノ細胞中ニ在ル蛋白質顆粒ハ更ニ小ニシテ稀ニ澱粉粒ヲ見ル
- 五 本品ハ味苦シ
- 六 本品ノ横断面ニ硫酸一滴ヲ點スレハ胚乳或ハ少クモ子葉ノ外側ハ藍綠色或ハ綠色ヲ呈シ漸次紅色ニ變遷ス

- 七 本品ヲ灰化スルニ「%」以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 八 注意シテ貯フヘシ

Semen Strychni

ホミカ 番木鱉

- 一 ホミカ「Strychnos Nux vomica Linné」ノ種子ナリ
- 二 本品ハ圓板形ヲナシ多クハ彎曲シ直徑 20~25 mm・厚サ 3~5 mm ニシテ帶灰黄色ヲ有シ兩面ニハ中央ヨリ周邊ニ向テ偃伏セル絹絲様ノ光澤アル毛茸密生ス胚乳ハ其實堅ク角質様ニシテ長サ約 1 mm ノ胚ヲ包藏ス胚ハ種子ノ邊緣ニ向テ縱直ノ子根ヲ出タシ其部位少シク隆起ス種被ノ外層ヲ形成セル一層ノ細胞ハ厚キ有孔性ノ皮膜ヲ有シ中央ヨリ屈曲シテ毛茸トナル胚乳ノ細胞ハ皮壁厚ク「ヨード溶液ニ浸漬スレハ連絡孔道ヲ現ハシ澱粉粒ヲ含有セス又胚乳ノ切片ハ發煙硝酸ニ由テ橙黄色ヲ呈ス
- 三 本品ハ味甚タ苦シ
- 四 本品ハ 2.5% 以上ノ「アルカロイド」(ストリキニーネ  $C_{21}H_{22}N_2O_2$  及「ブリン」  $C_{21}H_{22}N_2O_1$  ノ平均分子量 364.2 トシテ)ヲ含有ス
- 五 本品ノ中末 2.5% ニ「エーテル」 20cc 及「クロロホルム」 5cc ヲ加ヘ善ク振盪シ次ニ炭酸ソーダ溶液 10cc ヲ加ヘ屢ク

劇シク振盪シツツ十分放置シタル後水 5cc ヲ加ヘ三分間劇シク振盪シ液ノ澄明トナルニ至リ小乾燥濾紙ヲ布キタル漏斗ヲ用ヒ善ク蓋覆シテ濾過シ其濾液 15cc ヲ取り「エーテル」クロホルム約三分ノ二ヲ蒸溜シ去リ冷後殘液ヲ分液漏斗ニ移シ容器ヲ「クロホルム」 5cc ヲ以テ一回「エーテル」各 5cc ヲ以テ二回洗滌シ各洗液ヲ分液漏斗内ノ主液ニ合シ次ニ十分定規塩酸 5cc・水 5cc 及「エーテル」適宜量ヲ加ヘ「エーテル」クロホルム液ノ酸性液上ニ浮游スルニ至リ復タ二分間強ク振盪シ下層ノ澄明酸性液ヲ分取シ更ニ「エーテル」クロホルム液ニ逐次三回水各 5cc ヲ加ヘ振盪シ前ノ酸性液ニ合シ之ニ「メチルロート」溶液二滴ヲ加ヘ十分定規カリ液ヲ滴加シテ中和スルニハ該液ヲ費スコト 3.0cc 〇ニ過クヘカラス此中和液 2cc ニ稀ブロム水 0.5cc ヲ和スレハ瞬時赤色ヲ呈シ更ニ稀ブロム水 0.5cc ヲ和スレハ類黃白色ノ濁濁液ヲ生ス此濁濁液ニ略々同容量ノ硫酸ヲ加ヘテ二液層トナスニ其境界ニ於テ紅紫色ノ輪帶ヲ現ササルヘカラス

- 六 本品ヲ灰化スルニ「%」以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 七 注意シテ貯フヘシ
  - 一回ノ極量 0.1g
  - 一日ノ極量 0.2g

Serum antidiphthericum

〇デフテリア血清

- 一 デフテリア血清ハ「デフテリア」毒素ヲ以テ免疫シタル馬ノ血清ニシテ政府ノ檢定ヲ經・壘ニ容レ封緘ヲ施シ製造所名・檢定年月日・1cc 若クハ 1g 中ノ免疫單位數・一壘中ノ容量若クハ重量及免疫單位數・番號ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包装シタルモノナリ

(甲)液體デフテリア血清

Serum antidiphthericum liquidum

- 一 本品ハ類黄色澄明或ハ微ニ濁濁セル液ニシテ貯藏ノ目的ニ添加セル防腐劑ノ臭氣ヲ有ス
- 二 本品 1cc 中ニハ五百國際免疫單位以上ヲ有セサルヘカラス
- 三 本品ヲ寒天培養基ニ好氣性及嫌氣性培養法ヲ行フニ無菌ナラサルヘカラス
- 四 本品 0.5cc ヲ體重 15g 以上ノ「シロハツカネヅミ」ノ皮下ニ・及其 10cc ヲ約 250g ノ體重ヲ有スル「モルモツト」ノ皮下ニ注射スルニ之ヲ致死セシムヘカラス
- 五 本品ノ蛋白質含有量ハ「キールダール」法ニ據リ 10% 以下ナラサルヘカラス

デフテリア血清・破傷風血清

- 七 本品ノ著シク濁濁シ又ハ多量ノ涎滓ヲ含ムモノハ供用スヘカラス
- 八 冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ但一年ヲ超ユヘカラス

(乙)乾燥デフテリア血清

Serum antidiphthericum siccum

- 九 本品ハ乾燥シタル「デフテリア」血清ニシテ黄色透映ノ小葉片或ハ帶黃白色ノ粉末ナリ
- 一〇 本品 1cc ハ少クモ五千國際免疫單位ヲ有シ防腐劑及其他ノ添加物ヲ含有スヘカラス
- 一一 本品一分ヲ水十分ニ溶解シタルモノハ液體デフテリア血清ト同一ノ外觀ヲ呈スヘシ
- 一二 本品一分ヲ石炭酸水 (1+199) 十分ニ溶解シタルモノノ試験ハ液體デフテリア血清ノ條ニ據クル所ニ準據スヘシ
- 一三 本品ハ用ニ臨ミテ石炭酸水 (1+199) 又ハ滅菌水ニ溶解スヘシ
- 一四 冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ

Serum antitetanicum

破傷風血清

- 一 破傷風血清ハ破傷風毒素ヲ以テ免疫シタル馬ノ血清ニシテ政府ノ檢定ヲ經・壘ニ容レ封緘ヲ施シ製造所名・檢定年

月日1cc若クハ1cc中ノ免疫單位數・一罇中ノ容量若クハ重量及免疫單位數・番號ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包裝シタルモノナリ

(甲) 液體破傷風血清

Serum antitetanicum liquidum

- 二 本品ハ類黄色澄明或ハ微ニ濁セル液ニシテ貯藏ノ目的ニ添加セル防腐劑ノ臭氣ヲ有ス
- 三 本品1cc中ニハ六百國際免疫單位以上ヲ有セサルヘカラス
- 四 本品ヲ寒天培養基ニ好氣性及嫌氣性培養法ヲ行フニ無菌ナラサルヘカラス
- 五 本品0.5ccヲ體重15g以上ノ「シロハツカネズミ」ノ皮下ニ注射スルニ之ヲ致死セシムヘカラス
- 六 本品ノ蛋白質含有量ハ「キールダール法」ニ據リ10%以下ナラサルヘカラス
- 七 本品ノ著シク濁濁シ又ハ多量ノ歪滓ヲ含ムモノハ供用スヘカラス
- 八 冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ但一年ヲ超ユヘカラス

(乙) 乾燥破傷風血清

Serum antitetanicum siccum

- 九 本品ハ乾燥シタル破傷風血清ニシテ透映ノ小葉片或ハ帶黄白色ノ粉末ナリ
- 一〇 本品1ccハ少クモ六千國際免疫單位ヲ有シ防腐劑及其他ノ添加物ヲ含有スヘカラス
- 一一 本品一分ヲ水十分ニ溶解シタルモノハ液體破傷風血清ト同一ノ外觀ヲ呈スヘシ
- 一二 本品一分ヲ石炭酸水(1+100)十分ニ溶解シタルモノノ試験ハ夜體破傷風血清ノ條ニ據クル所ニ準據スヘシ
- 一三 本品ハ用ニ臨ミテ石炭酸水(1+100)又ハ滅菌水ニ溶解スヘシ
- 一四 冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ

Sirupi

シロップ劑 舍利別劑

- 一 シロップ劑ハ白糖ヲ水ニ溶解シ又ハ藥品ノ水性若クハ「アルコール性浸出液或ハ溶液又ハ一定ノ果實汁ニ白糖或ハ「シロップ」ヲ溶和シテ製シタルモノナリ
- 二 本劑ヲ製スルニハ特別ニ記載スルモノノ外各適當ノ比例ニ於テ所用ノ藥液ニ白糖又ハ「シロップ」ヲ溶和シ一回煮沸シ温ニ乘シ濾過スヘシ
- 三 本劑ハ特ニ記載スルモノノ外澄明ナラサルヘカラス又沈

滓ヲ有スルモノ或ハ醱酵セルモノハ供用スヘカラス  
四 本劑ハ善ク乾燥セル罇中ニ容レ殆ト全滿シ冷處ニ貯フヘシ

Sirupus Aurantii

橙皮シロップ 橙皮舍利別

- 一 橙皮シロップ「ハ」ハ 十五分
- 橙皮チンキ
- シロップ 八十五分
- ヲ取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ帶黄褐色ニシテ芳香ヲ有スル液ナリ

Sirupus Cinnamomi

桂皮シロップ 桂皮舍利別

- 一 桂皮シロップ「ハ」ハ 二分
- 桂皮又ハ肉桂粗末
- ヲ取り之ニ
- アルコール 一分
- 水 十分
- ノ混液ヲ注キ蓋覆セル容器中ニ屢々振盪シツツ二日間冷浸シ濾過シ

其濾液 八分

橙皮シロップ・桂皮シロップ・ヨード鉄シロップ

ニ

白糖 十二分

ヲ溶解シ製スヘシ

二 本品ハ類赤褐色ノ液ナリ

Sirupus Ferri Iodati

ヨード鉄シロップ

- ヨード鉄舍利別
- 一 ヨード鉄シロップ「ハ」ハ 十二分
- 鉄粉
- 蒸溜水 五十分
- ヲ取り絶ヘス攪拌シツツ之ニ
- ヨード 四十一分
- ヲ徐々ニ加ヘテ得タル類綠色ノ液ヲ小濾器ヲ用ヒテ豫メクエン酸 一分
- ヲ溶和セル常温ノ
- シロップ 八百五十分
- 中ニ濾入シ更ニ
- 蒸溜水 適宜量
- ヲ注キテ濾器ヲ洗滌シ全量ヲ千分トナシ製スヘシ
- 二 本品ハ殆ト無色・微綠色或ハ微黄色澄明ノ液ナリ

- 三 本品ハ約 5% ノ純ニード鉄 (Fe<sub>2</sub>S<sub>3</sub> = 309.7) ヲ含有ス
- 四 本品 1cc ヲ取り水約 50cc ヲ以テ稀釋シ稀硝酸ヲ以テ酸性トナシ稍々過剰ノ硝酸銀溶液ヲ加ヘテ生シタル沈澱ヲ注意シテ洗滌シ之ニ「アンモニア水 5cc」ヲ注キテ濾過シ此濾液ニ硝酸ヲ加ヘテ過飽スルニ類白色ノ微濁ヲ起スニ止マルヘシ
- 五 本品 2cc ニ水 50cc ヲ加ヘテ稀釋シタルモノハ之ニ十分定規硝酸銀液 30cc・硝酸及鉄明礬溶液各 1cc ヲ注加シタル後十分定規ロダンアンモン液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液 13.3~13.6cc ヲ費ササルヘカラス
- 六 無色塊ニ容レ鉄線ヲ投シ密栓シ明處ニ貯フヘシ

*Sirupus Fragariae*

イチゴシロップ イチゴ舍利別

- 一 イチゴシロップ「ハ」*Fragaria grandiflora Ehrhart* (オランダイチゴ)ノ新鮮ナル擬果ヲ取り搗碎シ蓋覆シ約 30°ニ於テ屢々攪拌シツツ放置シ試ニ其少量ヲ取り濾過シ其濾液ニ半容量ノ「アルコール」ヲ加フルニ濁濁ヲ呈セサルニ至リ壓搾シ濾過シ
- 其濾液 七分
- 白糖 十三分

- 白糖 十三分
- ヲ溶解シ製スヘシ
- 二 本品ハ赤色ノ液ナリ
- 三 本品 10cc ニ水 10cc ヲ加ヘテ稀釋シ重硫酸カリ溶液 5cc ヲ和シ之ニ脱脂セル毛絲二三條ヲ投シ十分間煮沸シタル後其毛絲ヲ取り善ク洗滌スルニ紅染スヘカラス

*Sirupus Hibisci*

黄蜀葵シロップ 黄蜀葵舍利別

- 一 黄蜀葵シロップ「ハ」
- 粗剉切黄蜀葵根 二分
- ヲ取り蒸溜水ヲ以テ洗滌シ
- アルコール 一分
- 蒸溜水 五十分
- ヲ注キ三時間攪拌セスシテ冷浸シ絨布ヲ以テ濾過シ
- 其濾液 三十七分
- 白糖 六十三分
- ヲ溶解シ製スヘシ
- 二 本品ハ微黄色粘滑ノ液ナリ

*Sirupus Ipecacuanhae*

吐根シロップ 吐根舍利別

- 一 吐根シロップ「ハ」
- 吐根チンキ 一分
- シロップ 九分
- ヲ取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ類黄色ノ液ナリ

*Sirupus Menthae*

薄荷シロップ 薄荷舍利別

- 一 薄荷シロップ「ハ」
- 薄荷葉粗末 二分
- ヲ取り
- アルコール 一分
- ヲ以テ濡ホシ
- 蒸溜水 十分
- ヲ注キ屢々攪拌シツツ二十四時間冷浸シ壓搾シ濾過シ
- 其濾液 七分
- 白糖 十三分

ヲ溶解シ製スヘシ

- 二 本品ハ類緑褐色ノ液ナリ

*Sirupus Polygalae*

遠志シロップ 遠志舍利別

- 一 遠志シロップ「ハ」
- 中剉切遠志 一分
- ヲ取り
- 蒸溜水 九分
- アルコール 一分
- ヲ注キ二日間冷浸シ壓搾シ濾過シ
- 其濾液 八分
- 白糖 十二分
- ヲ溶解シ製スヘシ
- 二 本品ハ類黄色ノ液ナリ

*Sirupus Rhei*

大黄シロップ 大黄舍利別

- 一 大黄シロップ「ハ」
- 粗剉切大黄 十分

炭酸カリ	一分	其濾液	八分
硼砂	一分	白糖	十二分
ヲ取り		ヲ溶解シ製スヘシ	
蒸溜水	八十分	二 本品ハ類黄色ノ液ニシテ塩化第二鉄溶液ニ由テ帯褐綠色ヲ呈ス	
ヲ加ヘテ十二時間冷浸シ濾過シ濾液ヲ煮沸シ濾過シ		<b>Sirupus Sennae</b>	
其濾液	六十分	センナシロップ	センナ舍利別
桂皮水	二十分	一 センナシロップ「ハ	
ヲ混和シ之ニ		中割切センナ葉	十分
白糖	百二十分	搗碎セル茴香	一分
ヲ溶解シ製スヘシ		ヲ取り	
二 本品ハ褐赤色ノ液ナリ		アルコール	五分
<b>Sirupus Senegae</b>		ヲ注キテ濡ホシ	
セネガシロップ	セネガ舍利別	蒸溜水	六十分
一 セネガシロップ「ハ		ヲ注キ十二時間冷浸シ壓ヲ加ヘスシテ濾過シ濾液ヲ煮沸シ濾過シ冷後	
中割切セネガ根	一分	其濾液	三十五分
ヲ取り		白糖	六十五分
蒸溜水	九分		
アルコール	一分		
ヲ注キ二日間冷浸シ壓搾シ濾過シ			

ヲ溶解シ製スヘシ		<b>Sirupus Zingiberis</b>	生薑舍利別
二 本品ハ褐色ノ液ナリ		一 生薑シロップ「ハ	
<b>Sirupus simplex</b>		生薑チンキ	一分
○シロップ	単舍利別	シロップ	九分
一 シロップ「ハ		ヲ取り混和シ製スヘシ	
白糖	六十五分	二 本品ハ微黄色微濁ノ液ナリ	
ヲ取り		<b>Species</b>	
熱蒸溜水	三十五分	茶	劑
ニ溶解シ製スヘシ		一 茶劑ハ割切シ又ハ割切セサル生藥若クハ其數種ノ混和物	
二 本品ハ無色無臭澄明ノ液ニシテ比重 1.32 ナリ		或ハ之ニ他ノ藥品ヲ加ヘ稀ニハ他ノ藥品ノ溶液ヲ以テ濡ホシ後乾燥シ製シタルモノナリ	
三 本品 50cc ニ水同容量ヲ和シ稀硫酸ヲ以テ酸性トナシタル後エーテル 50cc ヲ加ヘテ振盪シ其エーテル液ヲ取り蒸發スルニ甘味ヲ有スル結晶性ノ残渣ヲ遺スヘカラス又此残渣ハ稀塩化第二鉄溶液ニ由テ紫色ヲ呈スヘカラス		二 浸劑又ハ煎劑ニ用フル茶劑ニ在テハ生藥ハ粗割切又ハ中割切トナシ振出ニ用フルモノニ在テハ細割切。罨法ニ用フルモノニ在テハ粗末トナスヘシ	
四 本品ニ「アルコール同容量ヲ混和スルニ溷濁スヘカラス		<b>Spirituosa medicata</b>	
五 本品 0.5g ニ水 5cc 及フエーリング溶液 5cc ヲ混和シ熱シテ煮沸スルニ至ルニ直チニ黄色乃至類赤色ノ沈澱ヲ生スヘカラス		酒精劑	
		一 酒精劑ハ「アルコール」ニ藥品ヲ溶解シ又ハ混和シ若クハ	



其混和物ヲ蒸溜シテ製シタルモノナリ

- 二 本劑ハ「メチルアルコール竝アセトン」ヲ含有スヘカラス其檢出ハ一般試驗法ニ據クル所ニ準據スヘシ但フクシン亞硫酸溶液添加前ニ加フル硫酸ノ量ヲ $200$ トナシ同溶液添加後一時間放置スヘシ

*Spiritus aethereus Liguor Hoffmanni*

エーテル精 ホフマン液

- 一 エーテル精ハ 一分
- エーテル 一分
- アルコール 三分

ヲ取り混和シ製スヘシ

- 二 本品ハ無色澄明揮發性ノ液ニシテ中性ノ反應ヲ徴シ比重 $0.805 \sim 0.809$ ナリ

- 三 本品 $500$ ニ濃塩化カルシウム溶液 $100$ ヲ和シテ振盪スルニ $1.3 \sim 1.400$ ノ「エーテル液ヲ分離スヘシ

- 四 本品ヲ濾紙上ニ點滴シテ揮散セシムルニ異臭ヲ遺スヘカラス

- 五 本品中メチルアルコール竝アセトン」ヲ檢スルニハ酒精劑ノ條ニ據クル方法ニ準據スヘシ但初溜液 $100$ ヲ廢棄スヘシ

六 壺中ニ容レ密栓シ冷處ニ貯フヘシ

*Spiritus Aetheris nitrosi*

甘硝石精 亞硝酸エチル精

- 一 甘硝石精ハ 三分
- 硝酸 五分
- アルコール 五分

ヲ取り注意シテ二液層トナシ二日間靜置シタル後重湯煎上ニ於テ蒸溜シ其溜液ヲ豫メ

ヲ容レタル受器中ニ捕集スヘシ此際黄色蒸氣ヲ認ムルニ至ラハ直チニ蒸溜ヲ停止スヘシ茲ニ得タル溜液ニ「マグネシア」ヲ加ヘテ中和シ二十四時間ノ後更ニ重湯煎上ニ於テ最初ハ極メテ微温ヲ以テ蒸溜シ其溜液ヲ

アルコール 二分

ヲ容レタル受器中ニ捕集シ溜液ノ全量ヲ八分トナシ製スヘシ

- 二 本品ハ無色乃至微黄色澄明揮發性ノ液ニシテ佳快エーテル様ノ香氣ヲ有シ味微ニ甘クシテ均クカ如水ニ隨意ノ比例ニ於テ澄明ニ混和シ中性或ハ弱酸性ノ反應ヲ徴ス比重 $0.84 \sim 0.85$ ナリ

三 本品 $1000$ ヲ硫酸鉄溶液及硫酸各 $100$ ノ熱混和液上ニ注意シテ層積スルニ兩液ノ接界ニ褐色ノ輪帶ヲ生スヘシ

四 本品 $1000$ ニ定規カリ液 $0.200$ ヲ加ヘタルモノハ水ヲ以テ濡ホシタル青色リトマス紙ヲ赤變スヘカラス

五 本品 $1000$ ヲ重湯煎上ニ揮散セシムルニ秤定シ得ヘキ殘留物ヲ遺スヘカラス

六 本品ハ酒精劑ノ條ニ據クル「メチルアルコール竝アセトン」ノ試驗法ヲ適用セス

七 小壺中ニ容レ密栓シ冷暗處ニ貯フヘシ

**Spiritus Ammoniae aromaticus**

**芳香アンモニア精**

- 一 芳香アンモニア精ハ
  - 炭酸アンモン 四十分
  - アンモニア水 百分
  - レモン油 八分
  - 丁子油 一分
  - ラベンデル油 一分
  - アルコール 六百五十分
  - 蒸溜水 二百分

ヲ取り先ツ蒸溜水ニ「アンモニア水ヲ和シ之ニ炭酸アンモン

---

「」ヲ溶解シ別ニ揮發油類ヲ「アルコール」ニ溶解シ此兩液ヲ混和シ濾過シ製スヘシ

二 本品ハ微黄色或ハ黄色澄明ノ液ニシテ芳香及アンモニア臭ヲ有ス

三 壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯フヘシ

**Spiritus Ammoniae foeniculatus**

**アンモニア茴香精**

- 一 アンモニア茴香精ハ
  - 茴香油 三分
  - ヲ取り
  - アルコール 八十分
  - ニ溶解シ之ニ
  - アンモニア水 十七分
- 二 本品ハ微黄色或ハ黄色澄明ノ液ニシテ約 $17\%$ ノ純アンモニア ( $NH_3 = 17.0$ )ヲ含有ス
- 三 壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密栓シ貯フヘシ

**Spiritus aromaticus**

**芳香精**

一 芳香精ハ  
 丁子 十五分  
 桂皮 十五分  
 肉豆蔻 三十分  
 小豆蔻 三十分  
 ヲ取り搗碎蒸溜器中ニ容レ之ニ  
 アルコール 八百分  
 レモン油 一分  
 薄荷油 二分  
 常水 千二百分  
 ヲ注キ約千分ヲ溜取シ製スヘシ  
 二 本品ハ澄明ノ液ニシテ芳香性ノ氣味ヲ有ス  
 三 本品中メチルアルコール並アセトン「ヲ檢スルニハ本品  
 10ccヲ取り炭酸マグネシア 0.1g 及水 10ccヲ加ヘテ蒸  
 溜シ以下酒精劑ノ條ニ掲クル方法ニ準據スヘシ  
 四 罎中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Spiritus camphoratus**  
 カンフル精 カンフルチンキ  
 一 カンフル精ハ 一分  
 カンフル 一分

ヲ取り  
 アルコール 七分  
 ニ溶解シ  
 蒸溜水 二分  
 ヲ加ヘ製スヘシ  
 二 本品ハ無色澄明ノ液ニシテ比重 0.865~0.869。旋光度  
 +3.3°~+3.5°ナリ  
 三 本品 10gニ1.5ニ於テ漸次ニ水ヲ加ヘ復タ溶解セサル  
 「カンフル」ヲ析出スルニ至ルニハ其 4.5~5.0ccヲ費ササ  
 ルヘカラス  
 四 罎中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Spiritus Chloroformii**  
 クロロホルム精  
 一 クロロホルム精ハ 一分  
 クロロホルム 一分  
 アルコール 十九分

ヲ取り混和シ製スヘシ  
 二 本品ハ無色澄明ノ液ニシテ比重約 0.817ナリ  
 三 罎中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Spiritus Cinnamomi**  
 桂皮精  
 一 桂皮精ハ 一分  
 桂皮油 一分  
 アルコール 四十九分  
 ヲ取り混和シ製スヘシ  
 二 本品ハ澄明ノ液ナリ  
 三 罎中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Spiritus Citri**  
 レモン精  
 一 レモン精ハ 一分  
 レモン油 一分  
 アルコール 九分  
 ヲ取り混和シ製スヘシ  
 二 本品ハ無色澄明ノ液ナリ  
 三 罎中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Spiritus Foeniculi**  
 茴香精

一 茴香精ハ 一分  
 茴香油 一分  
 アルコール 十九分  
 ヲ取り混和シ製スヘシ  
 二 本品ハ無色澄明ノ液ナリ  
 三 罎中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Spiritus Jodi**  
 ヲヨードチンキ ヲヨード精  
 一 ヲヨードチンキ「ハ 六・五分  
 ヲヨード 二・五分  
 ヲヨードカリ 九十一分  
 アルコール 九十一分  
 ヲ取り常温ニ於テ溶解シ製スヘシ  
 二 本品ハ暗赤褐色ノ液ニシテ「ヨード」ノ臭氣ヲ有ス  
 三 本品ハ約 64%ノ純ヨード (J=19693)ヲ含有ス  
 四 本品 10ccヲ取り亞鉛末 0.5g 及水 5ccヲ加ヘ「アルコ  
 ール」數ヲ測定スルニ 9.1 以上ナラサルヘカラス  
 五 本品中メチルアルコール並アセトン「ヲ檢出スルハ本品  
 10ccヲ取り亞鉛末 0.5g 及水 10ccヲ加ヘ蒸溜シ酒精劑ノ  
 條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

- 六 本品 10g ヲ磁皿ニ取り重湯煎上ニ蒸發シ其殘留物ニ水ヲ加ヘテ濡ホシ蒸發シ數回此操作ヲ反復シ全ク白色トナルニ至ルニ其重量約 0.25g ナラサルヘカラス
- 七 本品 2g =「ヨードカリ 0.5g 及水 25cc」ヲ混和セルモノヲ脱色スルニハ十分定規チオ硫酸ソーダ液 10.0~10.2 ccヲ費ササヘカラス (標示藥澱粉溶液)
- 八 壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ注意シテ貯フヘシ
  - 一回ノ極量 0.2g
  - 一日ノ極量 0.6g

*Spiritus Jodi dilutus*

稀ヨードチンキ 稀ヨード精

- 一 稀ヨードチンキ「ハ
- ヨードチンキ
- アルコール
- 各等分
- ヲ混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ赤褐色ノ液ニシテ「ヨード」ノ臭氣ヲ有ス
- 三 本品ハ約 32%ノ純ヨード (J=126.93) ヲ含有ス
- 四 本品ノ「アルコール數ヲ「ヨードチンキ」ノ條ニ掲クル方法ニ據リ測定スルニ 92 以上ナラサルヘカラス
- 五 本品中メチルアルコール竝アセトン」ヲ檢出スルニハ「ヨ

- 一 稀ヨードチンキ」ノ條ニ掲クル方法ニ據ルヘシ
- 六 本品 10g ヲ磁皿ニ取り重湯煎上ニ蒸發シ其殘留物ニ水ヲ加ヘテ濡ホシ蒸發シ數回此操作ヲ反復シ全ク白色トナルニ至ルニ其重量約 0.125g ナラサルヘカラス
- 七 本品 4g =「ヨードカリ 0.5g 及水 25cc」ヲ混和セルモノヲ脱色スルニハ十分定規チオ硫酸ソーダ液 10.0~10.2 ccヲ費ササルヘカラス (標示藥澱粉溶液)
- 八 壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉シ貯フヘシ

*Spiritus Lavandulae*

ラベンデル精

- 一 ラベンデル精ハ
- ラベンデル油 三分
- アルコール 九十七分
- ヲ取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ無色澄明ノ液ナリ
- 三 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

*Spiritus Menthae*

薄荷精

薄荷精ハ

薄荷油

アルコール

一分 九分

- ヲ取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ無色澄明ノ液ナリ
- 三 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

*Spiritus Rosmarini*

ロスマリン精 迷迭香精

- 一 ロスマリン精ハ
- ロスマリン油 一分
- アルコール 九分
- ヲ取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ殆ト無色澄明ノ液ナリ
- 三 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

*Spiritus saponatus*

石鹼精

- 一 石鹼精ハ
- カリ石鹼 二十分
- ヲ取り
- アルコール 四十三分

ロスマリン精・石鹼精・芥子精

蒸溜水

二十三分

- ニ溶解シ濾過シ製スヘシ
- 二 本品ハ類黄色澄明ノ液ニシテ「アルカリ性ノ反應ヲ徴ス比重 0.925~0.935 ナリ
- 三 本品ニ水ヲ和シテ振盪スルニ甚シク泡沫ヲ生スヘシ
- 四 本品中メチルアルコール竝アセトン」ヲ檢スルニハ酒精劑ノ條ニ掲クル方法ニ準據スヘシ但水ヲ加ヘスシテ蒸溜スヘシ
- 五 壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

*Spiritus Sinapis*

芥子精

- 一 芥子精ハ
- 揮發芥子油 一分
- アルコール 四十九分
- ヲ取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ 1.9% 以上ノ純イソ硫シアンアリル (C<sub>4</sub>H<sub>9</sub>NO<sub>2</sub> = 99.1) ヲ含有ス
- 三 本品ハ無色澄明揮發芥子油ノ臭氣ヲ有スル液ニシテ比重 0.833~0.837 ナリ
- 四 本品中メチルアルコール竝アセトン」ヲ檢スルニハ本品

10ccヲ取り「アンモニア水 3cc 及水 1cc」ヲ和シ硝子管ヲ附シ十分間弱ク沸騰セシメタル後強ク熱シテ蒸溜シ酒精劑ノ條ニ掲ケル方法ニ準據スヘシ

五 本品 5g ヲ内容 100cc ノ測容壺ニ取り之ニ「アンモニア水 10cc 及十分定規硝酸銀液 50cc」ヲ注加シ壺口ニ小漏斗ヲ架シ重湯煎上ニ一時間加熱シタル後冷却シ水ヲ加ヘテ 100cc トナシ濾過シ其濾液 50cc ニ硝酸 6cc 及鉄明礬溶液 5cc ヲ和シ十分定規ロタンアンモン液ヲ滴加シテ赤色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト 15.2cc ニ過クヘカラス

吐酒石  
Sibio-Kalium tartaricum



一 吐酒石ハ細小透映ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ氣中ニ於テ漸次ニ風化シ七分ノ水並三分ノ熱湯ニ溶解シ弱酸性ノ反應ヲ徴シ「アルコール」ニ殆ト溶解セス

二 本品ハ 99.5% 以上ノ純吐酒石ヲ含有ス

三 本品ヲ熱灼スレハ砂糖ヲ燒クカ如キ臭氣ヲ放テ終ニ「アルカリ性」物質ヲ殘留ス又本品ノ水溶液ハ石灰水ニ由テ醋酸ニ容易ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生シ又塩酸ヲ以テ酸性

トナシタル後硫化ソーダ溶液ニ由テ橙赤色ノ沈澱ヲ生ス

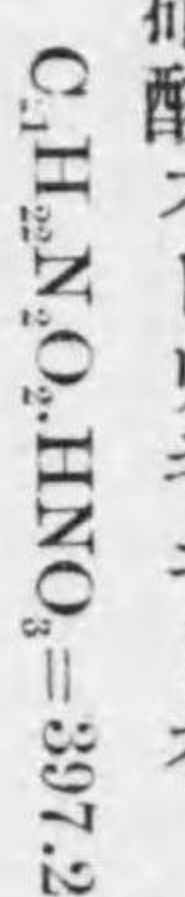
四 本品ノ粉末 1g ニ塩化第一錫溶液 3cc ヲ和スルニ一時間以內ニ暗色ヲ呈スヘカラス

五 本品ノ水溶液 (1+30) ニ酒石酸少量ヲ和シタルモノハ硝酸バリウム溶液・硝酸銀溶液又修酸アンモン溶液ニ由テ變化セス又黃血塩溶液ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス

六 本品及酒石酸各 0.5g ヲ水 100cc ニ溶解シ之ニ重炭酸ソーダ 5g 及澱粉溶液 3cc ヲ和シタル後十分定規ヨード液ヲ滴加シテ藍色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スコト少クモ 39.8cc ナラサルヘカラス

七 注意シテ貯フヘシ

硝酸ストリキニーネ  
Strychnium nitricum



一 硝酸ストリキニーネハ無色ノ針狀結晶ニシテ味甚タ苦ク十分ノ水ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徴シ三分ノ熱湯並十分ノ熱アルコールニ溶解シ「エーテル・クロロホルム」又ニ硫化炭素ニ殆ト溶解セス

二 本品ノ水溶液ニ過剰ノ塩酸ヲ加ヘテ熱スレハ赤色ヲ呈シ

又重クロム酸カリ溶液ヲ加フレハ赤黄色結晶性ノ沈澱ヲ析出ス之ヲ濾別シ水ヲ以テ洗滌シタル後之ニ硫酸ヲ滴加スレハ持續セサル藍紫色ヲ呈ス又硫酸鉄溶液ヲ和シ硫酸ヲ加フレハ黒褐色ヲ呈ス

三 本品 0.01g ハ硫酸 1cc ニ殆ト無色ニ溶解スヘシ又本品ニ硝酸ヲ加ヘテ研和スルニ赤色ヲ呈スヘカラス

四 本品ノ水溶液 (1+30) ニ稀硝酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ硝酸銀溶液並硝酸バリウム溶液ニ由テ變化スヘカラス

五 本品 0.2g ヲ 100° ニ於テ乾燥スルニ殆ト其重量ヲ減失スヘカラス又之ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物質ヲ殘留スヘカラス

六 最モ注意シテ貯フヘシ

流動蘇合香  
Syrax liquidus

一 流動蘇合香ハ *Liquidambar orientalis Miller* ノ内皮ヲ煎出シ壓搾シテ得タル「バルサム」ナリ

二 本品ハ灰色粘稠ノ液ニシテ佳香ヲ有シ水中ニ投スレハ沈

下シ水面ニハ極メテ僅ニ無色ノ油滴ヲ浮遊ス

三 本品一分ニ「アルコール」十分ヲ和スレハ帶灰褐色ノ溷濁液ヲ生シ之ヲ濾過シテ得タル酸性澄明ノ液ヲ蒸發スレハ薄層ニ於テハ透明ナル褐色半流動性ノ物質 65% 以上ヲ殘留ス此殘留物ハ「エーテル・二硫化炭素」又「ベンゾール」ニ溶解シ石油ベンジン」ニ一部溶解ス

四 本品ニ熱アルコール」ヲ加ヘ充分ニ浸出シ其不溶物ヲ 100° ニ於テ乾燥スルニ其重量 2.5% ニ過クヘカラス

精製流動蘇合香  
Syrax liquidus depuratus

一 精製流動蘇合香ハ流動蘇合香ヲ取り重湯煎上ニ溫メ附着セル水分ノ大半ヲ除去シ等分ノ「アルコール」ニ溶解シ濾過シ蒸發シ稠厚エキスを「稠度」トナシ製スヘシ

二 本品ハ褐色粘稠ノ物質ニシテ薄層ニ於テハ透明ナリ等分ノ「アルコール」ニ澄明ニ溶解シ其多量ヲ加フレハ溷濁ス「エーテル・二硫化炭素」又「ベンゾール」ニ僅ニ絮狀ノ物質ヲ遺シテ溶解ス

三 本品ヲ 100° ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト 10% ニ過クヘカラス

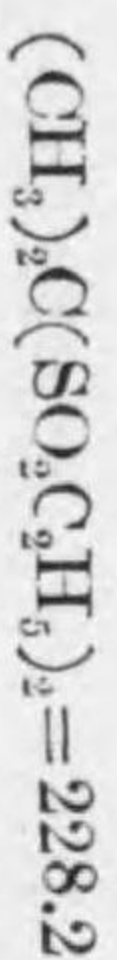
Succus Liquiritiae

甘草羔

- 一 甘草羔ハ甘草ニ水ヲ和シテ煮沸シ壓漉シ其煎汁ヲ蒸發シテ得タル「エキス」ナリ
- 二 本品ハ光澤ヲ帶フル黒色ノ塊ニシテ破折面ハ貝殻様ヲナシ味甚タ甘シ
- 三 本品ヲ水ニ溶解スルニ 40% 以上ノ残滓ヲ遺スヘカラス又顯微鏡ヲ以テ檢スルニ澱粉粒ヲ認ムヘカラス
- 四 本品ヲ灰化スルニ 8% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Sulfonalum

スルホナール



- 一 スルホナールハ無色稜柱狀ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ臭味ナク十分ノ熱湯・八十分ノ「アルコール」又百分ノ「エーテル」ニ溶解シ水溶液ハ中性ノ反應ヲ徵ス熔融點 125°~126° ナリ
- 二 本品ヲ木炭末ト共ニ試験管内ニ熱スレハ「メルカプタン」ノ臭氣ヲ放ツ
- 三 本品一分ヲ熱湯五十分ニ溶解スルニ毫モ臭氣ヲ發スヘカラス

ラス冷後濾過シテ得タル液ハ硝酸バリウム溶液並硝酸銀溶液ニ由テ變化スヘカラス又此水溶液 10cc ニ過マンガン酸カリ溶液一滴ヲ和スルニ直チニ之ヲ脱色スヘカラス

- 四 本品ヲ燃化スルニ 0.1% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 五 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.0g  
一日ノ極量 2.0g

Sulfur depuratum

精製硫黄

S = 32.06

- 一 精製硫黄ハ
  - 硫黄華 十分
  - ヲ取り之ニ
    - 蒸溜水 七分
    - アンモニア水 一分
- ノ混液ヲ研和シツツ加ヘ屢々攪拌シテ二十四時間放置シ更ニ
  - 蒸溜水 十分
- ヲ加ヘテ濾過シ尙蒸溜水ヲ以テ充分ニ洗滌シ 30°ヲ超ヘサル温ヲ與ヘテ乾燥シ篩過シ製スヘシ

二 本品ハ黄色乾燥微細ノ粉末ニシテ臭味ナク熱スレハ熔融シ燃燒スレハ藍色ノ火焰ヲ放チ亞硫酸ノ臭氣ヲ發ス

三 本品 1g ハ「ナトロン」滴液 30cc 及アルコール 2cc ノ混液ト共ニ煮沸スルニ殆ト全ク溶解スヘシ又水ヲ以テ濡ホシタル「リトマス」紙ヲ變色スヘカラス

四 本品 1g ニ「アンモニア」水 30cc ヲ加ヘ反復振盪シツツ 35°~40°ニ於テ一時間放置シ濾過シテ得タル液ハ塩酸ヲ以テ酸性トナスニ黄色ヲ呈スヘカラス之ニ硫化ソーダ溶液ヲ和スルモ亦然リ

五 本品ヲ燃化スルニ 0.25% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Sulfur praecipitatum

沈降硫黄

- 一 沈降硫黄ハ帶黄白色無晶形ノ極メテ微細ナル粉末ニシテ熱スレハ熔融シ燃燒スレハ藍色ノ火焰ヲ放チ亞硫酸ノ臭氣ヲ發ス水並アルコールニ溶解セス二硫化炭素ニ容易ニ溶解シ又熱ナトロン滴液ニ溶解ス
- 二 本品ハ水ヲ以テ濡ホシタル「リトマス」紙ヲ變色スヘカラス又本品 1g ニ 40°~50°ノ水 10cc ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液ハ醋酸鉛溶液ニ由テ變化セス又硝酸銀溶液ニ

由テ蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ

三 本品 1g ニ「アンモニア」水 30cc ヲ加ヘ反復振盪シツツ 35°~40°ニ於テ一時間放置シ濾過シテ得タル液ハ塩酸ヲ以テ酸性トナスニ黄色ヲ呈スヘカラス之ニ硫化ソーダ溶液ヲ和スルモ亦然リ

Sulfur sublimatum

硫黄華 昇華硫黄

- 一 硫黄華ハ黄色微細ノ粉末ニシテ熱スレハ熔融シ燃燒スレハ藍色ノ火焰ヲ放チ亞硫酸ノ臭氣ヲ發ス
- 二 本品ハ「ナトロン」滴液ト共ニ煮沸スルニ殆ト全ク溶解スヘシ
- 三 本品ヲ燃化スルニ 0.25% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Suppositoria

坐劑

- 一 坐劑ハ通例圓柱形・圓錐形或ハ球形ノ製劑ナリ
- 二 本劑ヲ製スルニハ藥品ヲ其儘或ハ溶液トナシ又ハ適宜ノ液體ニ研和シテ基礎藥ニ混和スヘシ

- 三 基礎藥ハ特別ニ記載スルモノノ外カカオ脂ヲ用フヘシ
- 四 肛門坐劑ハ通例其長サ 3~4cm ニシテ 2~3g ノ重量ヲ有シ又腔坐劑ハ通例 4~5g ノ重量ヲ有ス

Suppositoria Glycerini

グリセリン坐劑

- 一 グリセリン坐劑ハ  
重炭酸ソーダ 一分
- ニ 溶解シ之ヲ  
グリセリン 六十分
- ニ 混和シ重湯煎上ニ温メツツ  
ステアリン酸 四分
- ヲ 熔和シ炭酸ガスノ發生熄ムニ至リ其澄明ノ溶液ヲ坐劑トナシ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中グリセリン約 0.5g ヲ含有ス

Suppositoria Opii

阿片坐劑

- 一 阿片坐劑ハ

阿片末 ○・三分  
適宜量

- カカオ脂
- ヲ 取り先ツ阿片末ヲ「カカオ脂ノ一部分ト親密ニ研和シ之ニ自餘ノ「カカオ脂ヲ熔融シテ混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中阿片末約 0.03g ヲ含有ス

Suppositoria Scopoliae

ロート坐劑

- 一 ロート坐劑ハ  
ロートエキス ○・五分  
カカオ脂 適宜量
- ヲ 取り阿片坐劑ノ條ニ掲クル方法ニ據リ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中ロートエキス約 0.05g ヲ含有ス

Tablettae

錠劑

- 一 錠劑ハ藥品ノ細末ヲ單味ニテ壓縮シ或ハ之ニ乳糖・澱粉其他ノ適當ナル賦形藥ヲ混和シ水或ハ稀アルコールヲ以テ濡ホシテ顆粒狀トナシ微温ヲ以テ乾燥シタル後必要アラハ尙之ニ成ルヘク少量ノ精製タルクヲ混和シテ壓縮シ錠子トナシ製シタルモノナリ

- 二 本劑ハ之ヲ水中ニ投シ時々搖動シツツ放置スルニ二十分以内ニ全ク崩壊セサルヘカラス
- 三 密閉シ貯フヘシ

Tablettae Aminopyrini

Tablettae Dimethylaminopyrini

アミノピリン錠

ヂメチルアミノアンチピリン錠

- 一 アミノピリン錠ハ  
アミノピリン 各等分  
澱粉 各等分
- ヲ 取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中アミノピリン 0.1g ヲ含有ス

Tablettae Antipyrici

アンチピリン錠

- 一 アンチピリン錠ハ  
アンチピリン 各等分  
澱粉 各等分
- ヲ 取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中アンチピリン 0.25g ヲ含有ス

Tablettae Aspirini

アスピリン錠 アセチルサリチル酸錠

- 一 アスピリン錠ハ  
アスピリン 五十分  
澱粉 七分  
精製タルク 適宜量
- ヲ 取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中アスピリン 0.5g ヲ含有ス

Tablettae Bismuti subnitrici

次硝酸蒼鉛錠

- 一 次硝酸蒼鉛錠ハ  
次硝酸蒼鉛 各等分  
乳糖 各等分
- ヲ 取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中次硝酸蒼鉛 0.25g ヲ含有ス

Tablettae Chinini hydrochlorici

塩酸キニーネ錠

- 一 塩酸キニーネ錠ハ

塩酸キニーネ 十分  
澱粉 五分  
乳糖 三分  
精製タルク 適宜量

ヲ取り混和シ製スヘシ

二 本品ハ一箇中塩酸キニーネ 0.1g ヲ含有ス

*Tabulettae Cocaini hydrochlorici*

塩酸コカイン錠

一 塩酸コカイン錠ハ

塩酸コカイン 一分

乳糖 四十九分

ヲ取り混和シ製スヘシ

二 本品ハ一箇中塩酸コカイン 0.005g ヲ含有ス

三 密閉シ注意シテ貯フヘシ

*Tabulettae Hydrargyri bichlorati*

昇汞錠

一 昇汞錠ハ

昇 汞 各等分

塩化カリ 各等分

ヲ取り混和シ「スカレット」又ハ「フクシン」Sヲ以テ著色シ製スヘシ

二 本品ハ一箇中昇汞 0.5g ヲ含有ス

三 塚中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

*Tabulettae Hydrargyri chlorati*

甘汞錠

一 甘汞錠ハ

甘汞 二十五分

乳糖 十五分

澱粉 九分

精製タルク 適宜量

ヲ取り混和シ製スヘシ

二 本品ハ一箇中甘汞 0.25g ヲ含有ス

三 光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

*Tabulettae Hydrargyri oxycyanati*

オキシシアン水銀錠

一 オキシシアン水銀錠ハ

オキシシアン水銀

ヲ取り細末トナシ「ゲンチアナ紫」ヲ以テ著色シ製スヘシ

二 本品ハ一箇中オキシシアン水銀 0.5g ヲ含有ス  
三 塚中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ最モ注意シテ貯フヘシ

*Tabulettae Ipecacuanhae*

吐根錠

一 吐根錠ハ

吐根細末 一分

乳糖 四分

澱粉 五分

ヲ取り混和シ製スヘシ

二 本品ハ一箇中吐根 0.05g ヲ含有ス

*Tabulettae Kali iodati*

ヨードカリ錠

一 ヨードカリ錠ハ「ヨードカリ」ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ一箇中ヨードカリ 0.25g ヲ含有ス

三 塚中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

*Tabulettae Morphini hydrochlorici*

塩酸モルヒネ錠

一 塩酸モルヒネ錠ハ

塩酸モルヒネ 一分  
乳糖 四十九分

ヲ取り混和シ製スヘシ

二 本品ハ一箇中塩酸モルヒネ 0.005g ヲ含有ス

三 密閉シ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

*Tabulettae Natrii salicylicae*

サリチル酸ソーダ錠

一 サリチル酸ソーダ錠ハ

サリチル酸ソーダ 各等分

澱粉 各等分

ヲ取り混和シ製スヘシ

二 本品ハ一箇中サリチル酸ソーダ 0.25g ヲ含有ス

*Tabulettae Opii et Ipecacuanhae*

阿片吐根錠

一 阿片吐根錠ハ

阿片末 一分

吐根細末 一分

乳糖 七分

澱粉 一分

- 一 取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中阿片末及吐根各 0.05g ヲ含有ス
- 三 密閉シ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

**Tabulettae Santonini**

**サントニン錠**

- 一 サントニン錠ハ 二分
- サントニン 二分
- 乳糖 二十二分
- 精製タルク 適宜量
- ヲ取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中サントニン 0.02g ヲ含有ス
- 三 光ヲ遮リ貯フヘシ

**Tabulettae stomachicae**

**健胃錠**

- 一 健胃錠ハ 二十五分
- 重炭酸ソーダ細末 一分
- 當藥細末 一分
- ヲ取り混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ一箇中重炭酸ソーダ 0.25g 及當藥 0.01g ヲ含有ス

**Talcum**

**タルク滑石**

- 一 タルクハ細微ノ粉末ニシテ主トシテ珪酸マグネシアヨリ成リ白色或ハ類白色ノ粉末ナリ之ヲ熱灼スレハ淡灰色乃至帶黄灰色ヲ呈ス又之ヲ指間ニ磨スレハ脂肪様ノ感覺ヲ與フ水竝アルコールニ溶解セス

**Talcum depuratum**

**精製タルク**

- 一 精製タルクハ 二十分
- タルク 百分
- 熱湯 百分
- 塩酸 二分
- ヲ混和シ攪拌シツツ十五分間煮沸シ靜置スルコト十五分間ニシテ其上液ヲ傾瀉シ次ニ蒸溜水ヲ以テ洗滌シ其濾液硝酸銀溶液ニ由テ變化セサルニ至リ乾燥シ製スヘシ
- 二 本品ハ白色細微ノ粉末ニシテ臭味ナシ
- 三 本品 5g ニ水 50cc ヲ和シ五分間煮沸シ濾過シテ得タル液ハ中性ノ反應ヲ徴シ其 10cc ヲ蒸發シ 100° ニ於テ乾燥スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス又其 10cc ハ

- 塩酸ヲ以テ酸性トナシタル後黄血塩溶液 0.5cc ニ由テ藍色ヲ呈スヘカラス
- 四 本品ヲ熱灼スルニ其重量ヲ減失スルコト 5% ニ過クヘカラス

**Tannalbumin Albuminum tanninum**

**タンナルビン タンニン酸アルブミン**

- 一 タンナルビンハ類褐色ノ粉末ニシテ殆ト臭味ナク水竝アルコールニ僅微ニ溶解ス
- 二 本品 0.1g ニ水 10cc ヲ加ヘテ振盪シ濾過シタル液ニ稀塩化第二鉄溶液一滴ヲ和スレハ藍色ヲ呈ス
- 三 本品 1g ヲ取り之ニ含糖ペプシン 0.25g ヲ水 100cc ニ溶解シタルモノ及稀塩酸 1cc ヲ和シ三時間 40° ノ温ニ於テ靜置シタル後濾過シ濾紙上ノ殘渣ヲ逐次三回水各 10cc ヲ以テ洗滌シ 100° ニ於テ乾燥スルニ其重量 0.50~0.53g ナラサルヘカラス
- 四 本品 2g ニ石油ベンジン 20cc ヲ和シ十五分間屢々強ク振盪シタル後濾過シテ得タル液 10cc ヲ蒸發スルニ 0.05g 以上ノ殘留物ヲ遺スヘカラス
- 五 本品 2g ヲ灰化シ之ニ稀塩酸 5cc ヲ注加シ温ヲ與ヘテ溶解シ濾過シテ得タル液ハ硫化ソーダ溶液三滴ニ由テ變化

- セス或ハ染色スルコトアルモ僅微ニ止マルヘシ
- 六 本品ヲ 100° ニ於テ乾燥スルニ 5% 以上ノ重量ヲ減失スヘカラス
- 七 本品ヲ燃化スルニ 1% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 八 塚中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

**Tanninum acetylicum**

**アセチルタンニン**

- 一 アセチルタンニンハ類黄白色或ハ灰白色ノ粉末ニシテ殆ト臭味ナク水竝エーテルニ溶解シ難ク「アルコール竝炭酸ソーダ溶液ニ容易ニ溶解ス
- 二 本品ニ「アンモニア水ヲ和シ五分間煮沸シ水ヲ以テ稀釋シタルモノハ塩化第二鉄溶液ニ由テ藍黑色ノ沈壺ヲ生ス又本品ニ「アルコール及硫酸ヲ和シ温ムレハ醋酸エチル」ノ香氣ヲ發ス
- 三 本品 0.5g ニ水 50cc ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル澄明ノ液ハ塩化第二鉄溶液一滴ニ由テ微ニ類綠色ヲ呈スルモ藍色ヲ呈スヘカラス
- 四 本品 1g ニ水 20cc 及硝酸 1cc ヲ和シ一分間振盪シ濾過シテ得タル液ハ硫化ソーダ溶液三滴・硝酸銀溶液又硝酸バリウム溶液ニ由テ變化スヘカラス



- 五 本品ヲ燃化スルニ0.1%以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 六 塚中ニ全滿シ密栓シ貯フヘシ

Tela Acidi borici

硼酸ガーゼ

- 一 硼酸ガーゼ「ハ 百二十分
- 硼酸 六十分
- グリセリン
- ヲ取り
- 熱蒸溜水 千二百五十分
- ニ溶解シ之ニ 千分
- ガーゼ
- ヲ浸漬シ均等ニ吸收セシメタル後壓搾シテ乾燥シ製スヘシ
- 二 本品ハ約10%ノ硼酸ヲ含有ス
- 三 密閉シ貯フヘシ

Tela depurata

ガーゼ

- 一 ガーゼ「ハ精良ノ綿絲ヲ以テ織成シタル紗布ナリ
- 二 本品ハ純白色無臭ノ紗布ニシテ通例幅約30cmナリ・長さ1mノ重量ハ10~11gヲ有シ其1cm<sup>2</sup>ハ經緯絲各少ク

- モ十二條ヲ有セサルヘカラス
- 三 本品ハ之ニ手指ヲ觸ルルニ濕潤様ナラス又之ヲ水中ニ投入スルニ直チニ沈降セサルヘカラス
- 四 本品ニ「ヨード溶液ヲ滴下スルニ藍色ヲ呈スヘカラス
- 五 本品一分ニ水十分ヲ加ヘテ煮沸シ濾過シテ得タル液ハ中性ノ反應ヲ徴シ硝酸銀溶液並硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ變化スヘカラス又同溶液ニ稀硫酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノハ「ヨード亞鉛澱粉溶液ニ由テ變化スヘカラス
- 六 本品一分ニ水十分及塩酸二三滴ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液ニ「アンモニア水ヲ加ヘテ「アルカリ性トナシタルモノハ塩化カルシウム溶液並修酸アンモン溶液ニ由テ直チニ變化スヘカラス

Tela Hydrargyri bichlorati

昇汞ガーゼ

- 一 昇汞ガーゼ「ハ 二・二分
- 昇汞 二・二分
- 塩化カリ
- ヲ取り
- 蒸溜水 千三百分
- ニ溶解シ「スカレット又ハ「フクシンSヲ以テ微ニ著色シ之

ニ

ガーゼ 千分

- ヲ浸漬シ均等ニ吸收セシメタル後壓搾シ暗處ニ於テ乾燥シ製スヘシ
- 二 本品ハ約0.2%ノ昇汞ヲ含有ス
- 三 密閉シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Tela iodoformiata

ヨードホルムガーゼ

- 一 ヨードホルムガーゼ「ハ 五十五分
- ヨードホルム 三分
- 流動パラフィン
- ヲ取り
- アルコール 四百分
- エーテル 千分
- ヨリ成ル混和液ニ溶解シ之ニ
- ガーゼ 千分
- ヲ浸漬シ全質均等ノ黄色ヲ呈スルニ至リ暗處ニ於テ乾燥シ製スヘシ
- 二 本品ハ約5%ノ「ヨードホルム」ヲ含有ス
- 三 密閉シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Tela salicylata

サリチル酸ガーゼ

- 一 サリチル酸ガーゼ「ハ 五十五分
- サリチル酸
- ヲ取り
- グリセリン 百分
- アルコール 六百分
- 蒸溜水 六百分
- ヨリ成ル混和液ニ溶解シ之ニ
- ガーゼ 千分
- ヲ浸漬シ暗處ニ於テ乾燥シ製スヘシ
- 二 本品ハ約5%ノ「サリチル酸」ヲ含有ス
- 三 密閉シ貯フヘシ

Terebinthina

テレピンチーナ

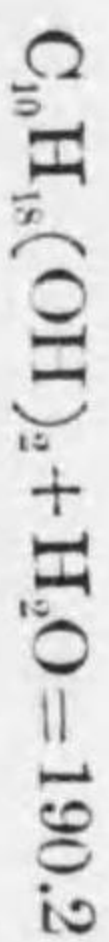
- 一 テレピンチーナ「ハ Pinus 屬ノ諸種植物ヨリ得タル「パルサム」ナリ
- 二 本品ハ類黄色乃至淡黄褐色濃稠ノ液ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味苦ク70~85%ノ樹脂及15~30%ノ「テレピン油

ヲ含有ス。  
 三 本品ハ通例結晶性ノ沈滓ヲ含有スルモ重湯煎上ニ熱スレハ溶解シテ帶黃褐色殆ト澄明ノ液トナリ冷却スレハ復タ濁ス

四 本品一分ニ「アルコール五分ヲ和スレハ澄明ノ液ヲ生シ其液ハ水ヲ以テ濡ホセル青色リトマス紙ヲ赤變ス

*Terpinum hydratum*

抱水テルペン



一 抱水テルペンハ無色ノ光輝アル稜柱狀結晶ニシテ殆ト臭氣ナク味ハ微ニ芳香性ニシテ稍ク苦ク熱スレハ昇華シテ細針狀ノ結晶トナル  $113^{\circ} \sim 117^{\circ}$ ニ於テ熔融シテ結晶水ヲ失フ其無水物ハ  $102^{\circ} \sim 105^{\circ}$ ニ於テ熔融ス氣中ニ於テ熱スレハ光輝アル火焰ヲ放テ燃燒ス約二百五十分ノ水・三十二分ノ熱湯・十分ノ「アルコール」二分ノ熱アルコール・百分ノ「エーテル」二分ノ「クロロホルム」又一分ノ熱水醋酸ニ溶解ス

二 本品ハ硫酸ニ溶解シテ橙黃色ヲ呈ス又本品ノ熱湯溶液ニ硫酸二三滴ヲ點加スレハ濁濁シ強キ芳香ヲ發ス

三 本品ハ殆ト「テレピンチーナ」様ノ臭氣ヲ有スヘカラス又

其熱湯溶液ハ「リトマス紙ヲ變色スヘカラス

四 本品ヲ燃化スルニ  $0.1g$  以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

*Theophyllinum*

テオフィリン



一 テオフィリンハ無色無臭ノ細針狀結晶ニシテ水並アルコールニ僅微ニ熱湯並熱アルコールニ容易ニ溶解シ其水溶液ハ中性ノ反應ヲ徵ス熔融點  $271^{\circ} \sim 275^{\circ}$ ナリ

二 本品ハ「アンモニア水一分及水九分ノ混液ニ染色セスシテ容易ニ溶解シ其溶液ハ硝酸銀溶液ニ由テ凝膠狀ノ沈澱ヲ生シ之ニ過剩ノ硝酸ヲ注加スレハ復タ溶解ス

三 本品  $0.01g$ ニ過酸化水素水十滴及塩酸一滴ヲ加ヘテ蒸發スルニ黃赤色ノ殘留物ヲ生ス之ニ「アンモニア水一滴ヲ和スレハ紫紅色ヲ呈ス

四 本品ノ水溶液 ( $1+200$ ) 各  $1cc$  ハ「ブロム水・ヨード溶液・硫化ソーダ溶液又硝酸バリウム溶液ニ由テ變化スヘカラス

五 前項ノ本品水溶液  $1cc$  ハ「タンニン酸溶液  $0.5cc$ ニ由テ著シク沈澱ヲ生シ更ニ同試薬  $5cc$ ヲ追加スルニ溶解ス

ヘシ

六 本品  $0.1g$ ハ硫酸  $1cc$  並硝酸  $1cc$ ニ染色セスシテ溶解スヘシ

七 本品  $0.2g$ ヲ  $100^{\circ}$ ニ於テ乾燥スルニ其重量ヲ減失スルコト  $0.02g$ ニ過クヘカラス又之ヲ熱灼スルニ炭化セスシテ燃化シ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス

八 光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ  
 一回ノ極量  $0.5g$   
 一日ノ極量  $1.5g$

*Thymolum*

チモール



一 チモールハ無色透映ノ結晶ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ味微ニ灼クカ如シ  $50^{\circ} \sim 51^{\circ}$ ニ於テ熔融シ重湯煎上ニ於テ全ク揮散ス水中ニ投スレハ沈降シ之ヲ熱スレハ熔融シテ無色澄明油狀ノ液トナリ水面ニ浮游ス水ニ僅微ニアルコール・エーテル・クロロホルム又二分ノ「ナトロン」滴液ニ容易ニ溶解シ等分ノ「カンフル」薄荷腦或ハ抱水クロラールト研和スレハ液化ス

二 本品一分ヲ硫酸四分ニ溶解シ微温ヲ與フレハ血赤色ヲ呈

シ又本品ノ結晶一碎片ヲ取り水醋酸  $1cc$ ニ溶解シ硫酸六滴ヲ和シ更ニ硝酸一滴ヲ點加スレハ藍綠色ヲ呈ス

三 本品  $0.5g$ ニ水  $10cc$ ヲ和シテ煮沸シ冷後濾過シタルモノハ中性ノ反應ヲ徵シ之ニ「ブロム水ヲ和スレハ乳狀ノ濁ヲ生スルニ止マリ結晶性ノ沈澱ヲ生セス又塩化第二鉄溶液ニ由テ紫色ヲ呈スヘカラス

四 本品  $1g$ ニ「ナトロン」滴液  $5cc$ ヲ加ヘテ溶解スルニ無色澄明ノ液トナリ著色スルコトアルモ僅微ニ止マルヘシ

五 本品  $0.2g$ ヲ重湯煎上ニ熱スルニ秤定シ得ヘキ殘留物ヲ遺スヘカラス

*Tincturae*

チンキ劑

一 チンキ劑ハ通例生薬ヲ「アルコール・稀アルコール」若クハ水ヲ以テ浸出シ或ハ溶解シテ製シタルモノナリ

二 本劑ヲ製スルニハ特別ニ記載スルモノノ外粗末若クハ細剉切ノ生薬ヲ適當ノ器中ニ容レ浸出藥ヲ注キ密閉シ陰處ニ於テ屢ク振盪シツツ七日間冷浸シ漉過シ必要アラハ壓漉シ漉液ヲ陰處ニ靜置シ漉滓ノ沈底スルヲ俟テ浸出液ノ蒸散ヲ防キ漉過シ製スヘシ

三 本劑ハ「メチルアルコール並アセトン」ヲ含有スヘカラス

其檢出ニハ本劑 10ccニ炭酸マグネシア 0.5g及水 10ccヲ加ヘテ蒸溜シ一般試驗法ニ據クル方法ニ據ルヘシ但フクシソニ亞硫酸溶液添加前ニ加フル硫酸ノ量ヲ 1ccトシ同溶液添加後ノ放置時間ヲ一時間トス

四 本劑ハ壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

*Tinctura Aloes composita*

複方ロカイチンキ

- 一 複方ロカイチンキ<sup>レ</sup>ハ 六分
  - ロカイ粗末 一分
  - 大黃粗末 一分
  - 龍膽粗末 一分
  - 莪朮粗末 一分
  - サフラン 一分
  - 稀アルコール 二百分
- ヲ取り製スヘシ
- 二 本品ハ赤褐色芳香性ノ液ニシテ味甚タ苦シ
  - 三 本品 1ccハ水 500ccヲ著明ニ黄染ス

*Tinctura amara*

○苦味チンキ

- 一 苦味チンキ<sup>レ</sup>ハ 五分
  - 橙皮粗末 五分
  - 龍膽粗末 五分
  - 小豆蔻粗末 二分
  - 稀アルコール 百分
- ヲ取り製スヘシ
- 二 本品ハ黄褐色芳香性ノ液ニシテ味苦シ「アルコール數 6.7以上ナリ

*Tinctura aromatica*

芳香チンキ

- 一 芳香チンキ<sup>レ</sup>ハ 二分
  - 丁子粗末 二分
  - 桂皮粗末 十分
  - 小豆粗末 二分
  - 生薑粗末 五分
  - 稀アルコール 百分
- ヲ取り製スヘシ
- 二 本品ハ赤褐色ノ液ニシテ芳香性ノ氣味ヲ有ス「アルコール數 6.9以上ナリ

*Tinctura Asae foetidae*

アギチンキ

- 一 アギチンキ<sup>レ</sup>ハ 一分
  - アギ粗末 一分
  - アルコール 五分
- ヲ取り製スヘシ
- 二 本品ハ帶赤黄色乃至帶黄褐赤色ノ液ニシテ「アルコール數 8.5以上ナリ

*Tinctura Aurantii*

橙皮チンキ

- 一 橙皮チンキ<sup>レ</sup>ハ 一分
  - 橙皮粗末 一分
  - 稀アルコール 五分
- ヲ取り製スヘシ
- 二 本品ハ類褐色ノ液ニシテ「アルコール數 6.6以上ナリ

*Tinctura Benzoes*

安息香チンキ

- 一 安息香チンキ<sup>レ</sup>ハ

アギチンキ・橙皮チンキ・安息香チンキ・印度大麻チンキ・カンタリスチンキ

安息香粗末

アルコール

一分 五分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ帶黄赤褐色ノ液ニシテ之ヲ水ニ和スレハ乳濁シ酸性ノ反應ヲ徴ス「アルコール數 8.5以上ナリ

*Tinctura Cannabis indicae*

印度大麻チンキ

- 一 印度大麻チンキ<sup>レ</sup>ハ 一分
  - 印度大麻エキス 一分
  - アルコール 二十分
- ヲ取り溶解シ濾過シ製スヘシ
- 二 本品ハ暗綠色ノ液ニシテ特異ノ臭氣ヲ有シ味稍々苦シ
  - 三 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.0g

一日ノ極量 3.0g

*Tinctura Cantharidis*

カンタリスチンキ

- 一 カンタリスチンキ<sup>レ</sup>ハ 一分
- カンタリス粗末 一分

アルコール 十分  
ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ黄褐色ノ液ニシテ之ニ同容量ノ水ヲ和スレハ乳濁ス「アルコール數 9.1 以上ナリ

三 本品ハ 0.2% 以上ノ純カンタリヂン ( $C_{10}H_{12}O_4 = 196.1$ )ヲ含有ス

四 本品 50g ヲ重湯煎上ニ蒸發シテ「アルコール」ヲ去リ其残留物約 2g トナルニ至リ之ニ「クロロホルム」15cc 及塩酸 1cc ヲ加ヘテ振盪シ更ニ「エーテル」50cc 及燒芒「硝子」ヲ加ヘ三十分間放置シ次テ濾過シ其濾液 50cc ヲ豫メ乾燥シ秤量セル壘ニ取り蒸溜シテ「クロロホルムエーテル」ヲ去リ残渣ニ石油エーテル 15cc 及純アルコール 1cc ノ混液 5cc ヲ注キ密栓シ時々搖動シツツ放置スルコト約十二時間ノ後脱脂綿ヲ用ヒテ濾過シ茲ニ残留スル結晶ヲ石油エーテルアルコール混液毎回 5cc ヲ以テ四回洗滌シ洗液無色トナルニ至リ「クロロホルム」約 5cc ヲ注キテ結晶ヲ溶解シ前ノ壘中ニ取り微温ヲ與ヘテ「クロロホルム」ヲ揮散セシメタル後除濕器中ニ約十二時間放置シ秤量スルニ其結晶ノ重量少クモ 0.08g ナラサルヘカラス

五 注意シテ貯フヘシ  
一回ノ極量 0.2g

一日ノ極量 0.6g

**Tinctura Capsici**  
蕃椒チンキ

一 蕃椒チンキ「ハ  
中割切蕃椒 一分  
アルコール 十分  
ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ帶赤黄色ノ液ニシテ味灼クカ如ク辛烈ナリ「アルコール數 9.1 以上ナリ

**Tinctura Catechu**  
阿仙藥チンキ

一 阿仙藥チンキ「ハ  
阿仙藥粗末 一分  
稀アルコール 五分  
ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ暗褐色ノ液ニシテ味收斂性ナリ「アルコール數 6.4 以上ナリ

三 本品五滴ヲ水 10cc ニ和シ之ニ塩化第二鉄溶液五滴ヲ加フレハ綠黑色ヲ呈ス

**Tinctura Chinae**  
キナチンキ

一 キナチンキ「ハ  
キナ皮粗末 一分  
稀アルコール 五分  
ヲ取り十日間冷浸シ壓搾シ製スヘシ

二 本品ハ赤褐色ノ液ニシテ強苦味ヲ有ス「アルコール數 6.5 以上ナリ

三 本品ハ 0.85% 以上ノ「アルカロイド」(キニーネ  $C_{20}H_{21}N_3O_2$  及シンロニーネ  $C_{15}H_{23}N_2O$  ノ平均分子量 309.2 トシテ)ヲ含有ス

四 本品 50g ヲ取り蒸發シテ約 15cc トナシ之ニ「アルコール」3cc 及稀塩酸 1cc ヲ和シ「エーテル」80cc 及クロロホルム 20cc ヲ加ヘテ振盪シ次ニ「ナトロン」滴液 5cc ヲ和シ十分間屢々強ク振盪シ更ニ「トラガント細末」3g ヲ加ヘ復タ劇シク振盪シ五分間靜置シタル後澄明ノ「クロロホルムエーテル」液ヲ脱脂綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液 80cc ヲ蒸溜シテ「クロロホルムエーテル」ヲ去リ残渣ニ「アルコール」10cc ヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ水 10cc 及メチルロート溶液二滴ヲ和シ輕ク搖動シツツ十分定規塩酸ヲ滴加

シテ中和スルニハ少クモ其 11cc ヲ費ササルヘカラス又此中和液 5cc ニ稀プロム水 1cc ヲ和シ之ニ「アンモニア」水ヲ加フルニ美麗ナル綠色ヲ呈セサルヘカラス

**Tinctura Chinae composita**  
複方キナチンキ

一 複方キナチンキ「ハ  
キナ皮粗末 六分  
橙皮粗末 二分  
龍膽粗末 二分  
桂皮粗末 一分  
稀アルコール 五十分  
ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ赤褐色ノ液ニシテ芳香ヲ有シ味甚タ苦シ「アルコール數 6.6 以上ナリ

三 本品ハ 0.5% 以上ノ「アルカロイド」(キニーネ  $C_{20}H_{21}N_3O_2$  及シンロニーネ  $C_{15}H_{23}N_2O$  ノ平均分子量 309.2 トシテ)ヲ含有ス

四 本品 50g ヲ取り「キナチンキ」ノ條ニ掲クル方法ニ據テ試験スルニ十分定規塩酸ノ消費量少クモ 6.6cc ナラサルヘカラス又此中和液ノ試験ハ「キナチンキ」ノ條ニ掲クル所ニ

同シ

*Tinctura Cinnamomi*

桂皮チンキ

一 桂皮チンキ<sup>レ</sup>ハ

桂皮粗末又ハ肉桂粗末 一分

稀アルコール 五分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ赤褐色ノ液ニシテ「アルコール數 66 以上ナリ

*Tinctura Colombo*

コロンボチンキ

一 コロンボチンキ<sup>レ</sup>ハ

コロンボ根粗末 一分

稀アルコール 十分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ黄褐色ノ液ニシテ味苦シ「アルコール數 69 以上ナリ

*Tinctura Croci*

サフランチンキ

一 サフランチンキ<sup>レ</sup>ハ

中割切サフラン 一分

稀アルコール 十分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ暗橙黄色ノ液ニシテ「アルコール數 66 以上ナリ

三 本品 1ccニ水 100ccヲ加ヘテ稀釋シタル液 1ccニ水 9ccヲ加ヘタルモノハ純黄色ニシテ重クロム酸カリ<sup>ノ</sup> 0.05%溶液ト同等以上ノ色度ヲ呈セサルヘカラス

*Tinctura Digitalis*

ヂギタリスチンキ

一 ヂギタリスチンキ<sup>レ</sup>ハ

ヂギタリス葉粗末 一分

稀アルコール 十分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ暗綠色乃至帶褐暗綠色ノ液ニシテ「ヂギタリス葉ノ臭氣ヲ有シ味苦シ「アルコール數 67 以上ナリ

三 本品 10ccニ水同容量チ混和シ重湯煎上ニ蒸發シテ約 10ccトナルニ至リ之ニ次醋酸鉛溶液ヲ加ヘテ充分ニ沈澱セシメタル後液ヲ分液漏斗中ニ濾入シ之ニ「クロロホルム 10ccヲ注キ振盪シ靜置シ澄明ノ「クロロホルム液ヲ分取シ

蒸發シテ得タル殘留物ヲ水醋酸 66ニ溶解シ之ニ稀塩化

第二鉄溶液一滴ヲ添加シ硫酸ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接

界ニ於テ褐赤色ノ輪帶ヲ生シ其上部ニ藍綠色ノ層ヲ現ハサ

サルヘカラス

四 本品 10gヲ取り 60°ヲ超エサル温度ニ於テ蒸發シ殘留

物ヲ初メ 10cc次ニ三回熱純アルコール各 5ccヲ以テ浸出

シ毎回同一ノ小濾紙ヲ用ヒテ濾過シ前後ノ濾液ヲ合シ 60°

ヲ超エサル温ニ於テ蒸發シ「アルコール」ヲ去リ殘渣ヲ温

湯ニ溶解シ脱脂綿ヲ用ヒテ濾過シ水ヲ以テ洗滌シ全量ヲ

10ccトナシタル潤濁液ニ就キ「トノサマガヘル」ヲ用ヒ

「フオッケ法」ニ從ヒ檢定スルニ效價四乃至六單位ヲ有セサ

ルヘカラス

五 壺中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.5g

一日ノ極量 5.0g

*Tinctura Ferri pomati*

リンゴ鉄チンキ

一 リンゴ鉄チンキ<sup>レ</sup>ハ

リンゴ鉄エキス 一分

ヲ取り

アルコール 二分

桂皮水 七分

ノ混液ニ溶解シ濾過シ製スヘシ

二 本品ハ暗褐色ノ液ニシテ桂皮ノ香氣及緩和ナル鉄味ヲ有ス

*Tinctura Gallae*

五倍子チンキ

一 五倍子チンキ<sup>レ</sup>ハ

五倍子粗末 一分

稀アルコール 五分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ帶黄褐色ノ液ニシテ之ヲ水ニ混和シ塩化第二鉄溶

液ヲ滴加スレハ藍黑色ノ沈澱ヲ生ス「アルコール數 60 以

上ナリ

*Tinctura Gentianae*

ゲンチアナチンキ

一 ゲンチアナチンキ<sup>レ</sup>ハ

龍膽粗末又ハ「ゲンチアナ根粗末 一分

稀アルコール 五分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ帶黄赤褐色ノ液ニシテ強苦味ヲ有ス「アルコール數 0.5 以上ナリ

*Tinctura Guajaci*

グアヤクチンキ 瘡瘡木チンキ

一 グアヤクチンキ」ハ

瘡瘡木粗末

一分

アルコール

五分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ暗赤褐色ノ液ニシテ芳香ヲ有ス「アルコール數 0.1 以上ナリ

*Tinctura Ipecacuanhae*

○吐根チンキ

一 吐根チンキ」ハ

吐根粗末

一分

稀アルコール

十分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ淡褐色ノ液ニシテ「アルコール數 0.3 以上ナリ

三 本品ハ 0.186% 以上ノ「アルカロイド」(エメチン  $C_{22}H_{34}N_2$ )

0.1480.3 トシテ)ヲ含有ス

四 本品 25g ヲ塚中ニ取り稀塩酸 100cc ヲ和シ重湯煎上ニ蒸發シテ約 50cc トナシ冷後エーテル 50cc ヲ加ヘテ善ク振盪シ次ニ「アンモニア水 20cc」ヲ和シ五分間強ク振盪シ更ニ「トラガント末 1.5g」ヲ加ヘ復タ劇シク振盪シ五分間靜置シタル後澄明ノ「エーテル液」ヲ脱脂綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液 40cc ヲ取り蒸溜シテ「エーテル」ヲ去リ残渣ニ「アルコール 50cc」ヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ十分定規塩酸 50cc、水 50cc 及メチルロート溶液二滴ヲ加ヘ輕ク搖動シツツ十分定規カリ液ヲ滴加シテ中和スルニハ該液ヲ費スコト 3.5cc ニ過クヘカラス又此中和液 50cc ニ塩素酸カリ」ノ小片一二箇ヲ加ヘ注意シテ温ムルニ橙黄色ヲ呈セサルヘカラス

五 注意シテ貯フヘシ

*Tinctura Myrrhae*

ミルラチンキ

一 ミルラチンキ」ハ

ミルラ細末

一分

アルコール

五分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ帶褐赤黄色ノ液ナリ氣味芳香性ニシテ苦シ「アル

コール數 0.5 以上ナリ

三 本品 100cc ニ水同容量ヲ和シ重湯煎上ニ蒸發シテ約 100cc トナルニ至リ冷後エーテル 50cc ヲ加ヘテ振盪シ其エーテル液ヲ濾過シタル後之ニ「プロム蒸氣」ヲ觸レシムレハ紫紅色ヲ呈ス

*Tinctura Opii*

○阿片チンキ

一 阿片チンキ」ハ

阿片末

十分

稀アルコール

四十七分

蒸溜水

四十七分

ヲ取り「チンキ」トナシ下ニ掲クル方法ニ據リ「モルヒネ含量ヲ檢定シ其含量超過シタルモノハ稀アルコール及蒸溜水各等分ノ混液適量ヲ加ヘ規定ノ含量トナシ製スヘシ

二 本品ハ赤褐色ノ液ニシテ味苦シ「アルコール數 0.5 以上ナリ

三 本品ハ 1.0~1.1% ノ純ナルヒネ ( $C_{17}H_{19}NO_2 = 275.2$ ) ヲ含有ス

四 本品 50g ヲ重湯煎上ニ蒸發シテ殆ト乾燥スルニ至リ其残留物ニ消石灰 1g ヲ和シ「ドーフル散」ノ條ニ掲クル方法

ニ據テ試験スルニ十分定規カリ液ノ消費量 7.2~7.9cc ナラサルヘカラス又此中和液ノ試験ハ阿片末ノ條ニ掲クル所ニ同シ

五 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.5g

一日ノ極量 5.0g

*Tinctura Opii benzoica*

阿片安息香チンキ

一 阿片安息香チンキ」ハ

阿片末

一分

安息香酸

四分

カンフル

二分

茴香油

一分

稀アルコール 百九十二分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ淡褐黄色ノ液ニシテ「カンフル及茴香油」ノ氣味ヲ有ス「アルコール數 0.5 以上ナリ

三 本品ニ百分中ニハ阿片末一分中ノ可溶成分ヲ含有ス

四 注意シテ貯フヘシ

Tinctura Picrasmae

苦木チンキ カシアチンキ

一 苦木チンキ「ハ

苦木粗末

一分

稀アルコール

五分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ黄色ノ液ニシテ味甚タ苦シ「アルコール數5.5以上ナリ

Tinctura Rhei

大黃チンキ

一 大黃チンキ「ハ

粗剉切大黃

十分

桂皮粗末

一分

粗剉切小豆蔻

一分

アルコール

五十分

蒸溜水

五十分

ヲ取り製スヘシ

二 本品ハ帶褐黄色ノ液ニシテ芳香性ノ氣味ヲ有ス「アルコール數4.5以上ナリ

三 本品ニ「ナトロン滴液ヲ加フレハ赤褐色ニ變ス

Tinctura Rhei aquosa

水性大黃チンキ

一 水性大黃チンキ「ハ

粗剉切大黃

十分

炭酸カリ

一分

硼砂

一分

ヲ取り之ニ

熱蒸溜水

九十分

ヲ注キ十五分間放置シ

アルコール

九分

ヲ加ヘ更ニ一時間ヲ經タル後輕ク壓搾シテ濾過シ

其濾液

八十五分

桂皮水

十五分

ヲ混和シ製スヘシ

二 本品ハ褐赤色ノ液ニシテ大黃ノ氣味ヲ有シ水ニ濁濁セスシテ混和ス

三 本品中メチルアルコール竝アセトン」ヲ檢出スルニハ本品20.0gヲ取り稀硫酸三滴ヲ加ヘ蒸溜シ「チンキ劑ノ條ニ

掲クル所ニ準據スヘシ

Tinctura Scopoliae

ロートチンキ

一 ロートチンキ「ハ

ロート根中末

一分

稀アルコール

五分

ヲ取り「チンキ」トナシ下ニ掲クル方法ニ據リ「アルコール含量ヲ檢定シ其含量超過シタルモノハ適量ノ稀アルコール」ヲ混和シ規定ノ含量トナシ製スヘシ

二 本品ハ帶黄褐色ノ液ニシテ「アルコール數5.5以上ナリ

三 本品ハ0.032~0.036%ノ「アルカロイド(ヒヨスチアミ

ン C<sub>17</sub>H<sub>21</sub>NO<sub>2</sub>=289.2 トシテ)ヲ含有ス

四 本品 60gヲ重湯煎上ニ蒸發シテ約5.0ccトナシ冷後エーテル 60ccヲ加ヘ善ク振盪シ次ニ「アンモニア水 5.0ccヲ和シ屢々振盪シツツ十五分間放置シ「トラガント細末 1.5gヲ加ヘ復タ善ク振盪シタル後靜置シ澄明ニ分離シタル「エーテル液ヲ脱脂綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液 40ccヲ取り蒸溜シテ「エーテル」ヲ去リ残渣ヲ「アルコール 1.0ccニ溶解シ十分定規塩酸 5.0cc・水 5.0cc及メチルロート溶液一滴ヲ加ヘタル後十分定規カリ液ヲ滴加シテ過剩ノ酸液ヲ中和スルニハ其 4.50~4.55ccヲ費ササルヘカラス又此中和液ヲ稀

塩酸ヲ以テ弱酸性トナシ分液漏斗ニ移シ「エーテル」ヲ加ヘテ振盪シ下層ノ酸性液ヲ分取シ必要アラハ更ニ「エーテル」ヲ加ヘテ同様ニ處理シ酸性液ノ殆ト無色トナルニ至リ「アンモニア水」ヲ以テ弱アルカリ性トナシ分液漏斗ニ移シ「エーテル」ヲ加ヘテ振盪シ「エーテル」層ヲ分取シ「エーテル」ヲ揮散セシメタル後残渣ニ發煙硝酸五滴ヲ加ヘ重湯煎上ニ蒸發シ冷後残渣ニ「アルコール」性カリ滴液ヲ滴加スルニ紫色ヲ呈セサルヘカラス

五 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.0g

一日ノ極量 3.0g

Tinctura Strophanthi

○ストロファンツスチンキ

一 ストロファンツスチンキ「ハ

ストロファンツス中末三分

ヲ取り

エーテル

二分

ヲ撒注シ充分ニ混和シ密閉シ二十四時間放置シタル後壓搾シテ成ルヘク「エーテル液」ヲ去リ更ニ

エーテル

一分

ヲ撒注シ操作ヲ反復スルコト前ノ如クシ次テ氣中ニ乾燥シタル後

稀アルコール 三十分

ヲ注キ常法ニ從ヒ製スヘシ

二 本品ハ帶褐黄色澄明ノ液ニシテ苦味ヲ有ス「アルコール數 6.9 以上ナリ

三 本品十滴ヲ重湯煎上ニ蒸發シ稀硫酸十滴ヲ加ヘテ温メ其澄明液ヲ取り之ニ硫酸十滴ヲ和スレハ綠色ヲ呈ス又本品十滴ヲ磁皿ニ取り之ニ塩化第二鉄溶液一滴ヲ加ヘタル後硫酸一二滴ヲ注ケハ赤紫色ヲ呈シ忽チ綠色ニ變ス

四 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 0.5g

一日ノ極量 1.5g

*Tinctura Strychni*

○ホミカチンキ

一 ホミカチンキ「ハ

ホミカ粗末 一分

稀アルコール 十分

ヲ取り「チンキ」トナシ下ニ掲クル方法ニ據リ「アルカロイド含量ヲ檢定シ其含量超過シタルモノハ適量ノ稀アルコール

ル」ヲ混和シ規定ノ含量トナシ製スヘシ

二 本品ハ黄色ノ液ニシテ甚シキ苦味ヲ有ス「アルコール數 6.8 以上ナリ

三 本品ハ  $0.246 \sim 0.255 g$  ノ「アルカロイド」(ストリキニーネ  $C_{21}H_{23}NO_2$  及 プルシン  $C_{21}H_{25}NO_4$  ノ平均分子量  $364.2$  トシテ)ヲ含有ス

四 本品  $50g$  ニ稀塩酸  $2cc$  ヲ和シ重湯煎上ニ蒸發シテ約  $10cc$  トナシ冷後水  $10cc$  ヲ加ヘ濾過シ洗滌シ其濾液及洗液ヲ合シ之ニ「エーテル」 $30cc$  及「クロロホルム」 $35cc$  ヲ加ヘ劇シク振盪シ次ニ「ナトロ」 $5cc$  ヲ和シ五分間屢々強ク振盪シ十五分間靜置シタル後澄明ノ「エーテル」 $100cc$  ヲ取ホルム液ヲ脱脂綿ヲ用ヒテ速ニ濾過シ其濾液  $100cc$  ヲ取リ蒸溜シテ「エーテル」 $100cc$  ヲ去リ冷後殘渣ニ純アルコール  $5cc$  ヲ加ヘ微温ヲ與ヘテ溶解セシメ之ニ十分定規塩酸  $10cc$  及水  $10cc$  ヲ注加シ善ク混和シ次ニ「メチルロート」溶液二滴ヲ添加シ十分定規カリ液ヲ滴加シテ中和スルニハ該液ヲ費スコト  $7.2 \sim 7.3cc$  ナラサルヘカラス又此中和液  $2cc$  ニ稀プロム水  $0.5cc$  ヲ和スレハ瞬時赤色ヲ呈シ更ニ稀プロム水  $0.5cc$  ヲ和スレハ類黄白色ノ濁濁液ヲ生ス此濁濁液ニ略々同容量ノ硫酸ヲ加ヘテ二液層トナスニ其接界ニ於テ紅紫色ノ輪帶ヲ現ササルヘカラス

五 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 1.0g

一日ノ極量 2.0g

*Tinctura Valerianae*

○吉草チンキ

一 吉草チンキ「ハ

吉草根粗末 一分

稀アルコール 十分

ヲ取り製スヘシ  
二 本品ハ褐色ノ液ニシテ特異ノ氣味ヲ有ス「アルコール數 6.5 以上ナリ

*Tinctura Valerianae aetherea*

エーテル性吉草チンキ

一 エーテル性吉草チンキ「ハ

吉草根粗末 一分

エーテル精 五分

ヲ取り製スヘシ  
二 本品ハ黄色ノ液ニシテ特異ノ氣味ヲ有シ時ヲ經レハ暗色トナル

三 本品中メチルアルコール並アセトン」ヲ檢出スルニハ「チンキ劑」ノ條ニ掲クル所ニ據ル但初溜液  $1.5cc$  ヲ廢棄スヘシ

*Tinctura Zingiberis*

生薑チンキ

一 生薑チンキ「ハ

生薑粗末 一分

稀アルコール 五分

ヲ取り製スヘシ  
二 本品ハ帶黄褐色ノ液ニシテ其味苛烈ナリ「アルコール數 6.7 以上ナリ

*Tragacantha*

トラガント

一 「トラガント」ハ小アジア」ニ産スル *Astragalus* 屬諸種植物ノ幹ヨリ滲出セル粘液ノ固結セルモノナリ

二 本品ハ葉狀或ハ帶狀或ハ鎌狀ノ條片ヲナシ白色透映厚サ約  $1 \sim 3mm$ ・幅少クモ  $5mm$  ニシテ條紋ヲ現ハシ水ニ浸セハ膨脹ス

三 本品ノ粉末一分ニ水五十分ヲ加フレハ味淡泊ニシテ濁濁セル無臭ノ粘漿ヲ生シ之ニ「ナトロ」 $5cc$  滴液ヲ加ヘテ重湯煎



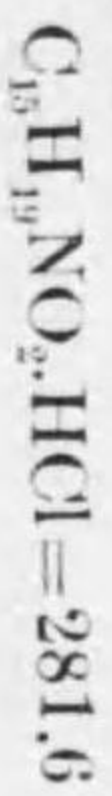
上ニ温ムレハ黄色トナリ又其粘漿ニ水ヲ加ヘテ稀釋シ濾過シテ得タル殘滓ハ「ヨード溶液ニ由テ暗藍色ヲ呈シ濾液ハ呈色セス」

四 本品ノ粉末ハ白色ニシテ「ヨード溶液及アルコール」ノ同量ノ混液ヲ以テ顯微鏡下ニ裝シ檢スルニ粘液細胞膜ノ碎片ノ外直徑 3~10μ 往々 20μ 至ル散在或ハ集團セル澱粉粒ヲ認ムルニ止マルヘク糊化セル澱粉粒又ハ褐色粒ヲ認ムヘカラス

五 本品ヲ灰化スルニ 4% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

Tropacocainum hydrochloricum

塩酸トロバコカイン



- 一 塩酸トロバコカインハ無色ノ結晶或ハ白色結晶性ノ粉末ニシテ之ヲ舌上ニ致セハ苦味ヲ呈シ同時ニ鈍麻ノ感ヲ與フ水竝アルコールニ容易ニ溶解シ中性ノ反應ヲ徵ス
- 二 本品ノ水溶液 (1+99) ハ「ヨード溶液ニ由テ褐色ノ沈澱・塩酸ヲ加ヘテ酸性トナシタル後重クロム酸カリ溶液ニ由テ淡橙黄色ノ沈澱又硝酸ヲ以テ酸性トナシタル後硝酸銀溶液ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品 0.1g ヲ水 2cc ニ溶解シ之ニ炭酸ソーダ溶液 3cc

ヲ注加スレハ乳濁ヲ生シ之ニ「エーテル 10cc」ヲ加ヘテ振盪スレハ復タ溶解ス其エーテル層ヲ分取シ重湯煎上ニ蒸發スレハ無色油狀ノ物質ヲ殘留ス之ヲ除濕器中ニ放置スレハ暫時ニシテ結晶ニ變シ其結晶ハ約 50% 於テ熔融ス其アルコール溶液ハ濕潤セル赤色リトマス紙ヲ青變ス

四 本品 0.1g ヲ水 1cc ニ溶解シ之ニ硝酸二滴ヲ加ヘテ振盪スレハ直チニ白色結晶性ノ沈澱ヲ生ス

五 本品ノ水溶液 (1+99) 1cc ニ稀硫酸一滴ヲ和シタルモノハ過マンガン酸カリ溶液一滴ニ由テ紫色ヲ呈シ三十分以内ニ殆ト變色スヘカラス更ニ之ニ過マンガン酸カリ溶液 1cc ヲ注加スルニ一乃至二時間ノ後紫色ノ針狀結晶ヲ析出スヘシ

六 本品 0.01g ハ硫酸 1cc ニ染色セスシテ溶解スヘシ

七 本品 0.3g ヲ燃化スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス

八 注意シテ貯フヘシ

一回ノ極量 0.1g  
一日ノ極量 0.3g

Tuber Jalapae

ヤラツバ根

一 ヤラツバ根ハ Ipomoea Purga Hayne ノ球狀ニ肥大セル副根ヲ採集シ枝根及根尖ヲ除去シ乾燥セルモノナリ

二 本品ハ外面暗褐色ニシテ横徑ニ配置セル短キ皮孔ヲ帶ヒ枝根ノ癭痕ヲ存ス横折面ハ澱粉粒ノ糊化セサルモノニ在テハ暗類白色・高度ノ温ニ於テ乾燥セルモノニ在テハ樹脂性ニシテ暗褐色ヲ呈シ異常ノ新生組織ニ基因スル同心性或不整ニ分散セル多數ノ暗色輪線ヲ現ハス其新生組織ハ内方ニ脈管條・外方ニ篩脈管條及分泌細胞ヲ分出ス

三 本品ハ味苛辣ナリ

四 本品ハ 90% 以上ノ樹脂ヲ含有ス

五 本品ノ細末 10g ニ「アルコール 100cc」ヲ注キ還流冷却器ヲ附シ屢々搖動シツツ二時間温浸シ冷後蒸散セル「アルコール」ヲ補充シ濾過シテ得タル液 50cc ヲ蒸溜シテ「アルコール」ヲ去リ殘留セル樹脂ヲ温湯ヲ用ヒテ反復洗滌シ其洗液ノ無色トナルニ至リ 100% 於テ乾燥スルニ其重量 0.15g 以上ナラサルヘカラス

六 本品ヲ灰化スルニ 0.6% 以上ノ固性物ヲ殘留スヘカラス

七 注意シテ貯フヘシ

Tuber Salep

サレツバ根

一 サレツバ根ハ Orchis 屬・Anacamptis 屬・Crematris 屬等ノ蘭科諸種植物ノ球根又ハ塊莖ヲ花時ニ採集シ暫時熱湯ニ投シ後乾燥セルモノナリ

二 本品ハ灰色或ハ類黄色ヲ呈シ蕪善形或ハ類卵形ニシテ上端ニ萌芽又ハ其癭痕ヲ有シ直徑 0.5~2cm・長サ 4cm 至リ或ハ淡黄褐色乃至汚褐色ヲ呈シ不整ナル圓錐體或ハ洋梨子形ヲナシ往々上下ヨリ壓縮セラレタル如キモノアリ其嘴端ニハ莖ノ痕跡ヲ有シ又之ニ近接セル部位ニ花軸ノ跡ヲ存ス外面ニハ三四條ノ圈輪ヲ有シ直徑 2.5cm・長サ 4.5cm 至ル

三 本品ノ断面ハ平等ノ光澤ヲ現ハシ角質様ナラサルヘカラス

四 本品ノ組織ハ主トシテ纖弱ナル脈管束ニ由テ貫通セラルル柔細胞ヨリ成リ多數ノ粘液細胞ヲ有シ其内部ニハ屢々蓆酸塩ノ束針晶ヲ見ル

五 本品ノ粉末ニ二百倍ノ水ヲ以テ稀釋セル「ヨード溶液」ヲ注キ顯微鏡下ニ檢スルニ粘液細胞ハ膨脹シテ黄褐色ヲ呈シ糊化セル澱粉粒ハ藍色ヲ呈ス

六 本品ノ粉末一分ニ水百分ヲ加ヘ煮沸シテ得タル液ハ冷後味淡泊ナル濃稠ノ粘漿トナリ不溶分アルモ僅微ニ止マルヘシ

七 本品ヲ灰化スルニ $300^{\circ}\text{C}$ 以上ノ固性物ヲ残留スヘカラス

**Tuberculinum**

ツベルクリン

- 一 ツベルクリン」ハ結核菌ノ「グリセリンブイヨン培養ヲ蒸發シ十分一容量ニ濃縮シ濾過シタル液ニシテ壘ニ容レ封緘ヲ施シ製造所名・試験番號・試験年月日ヲ表記シ光線ニ觸レサル様包装シタルモノナリ
- 二 本品ハ褐色澄明ニシテ特異ノ香氣ヲ有シ水ニ容易ニ混和シ有效成分ノ外約 $10\%$ ノ「グリセリン並ブイヨン」ノ成分ヲ含有ス
- 三 本品 $0.15\sim 0.25\text{g}$ ヲ豫メ七乃至九週間ニ致死セシムル量ノ結核菌培養ヲ皮下ニ接種シテ三週間ヲ經タル體重約 $300\text{g}$ ノ「モルモット」ノ皮下ニ注射スルニ二十四時間内ニ致死セシメサルヘカラス又其モルモット」ハ剖檢上ツベルクリン」ニ特異ノ變狀ヲ呈シ其他ノ疾患ヲ認ムヘカラス
- 四 本品 $0.2\text{g}$ ヲ健康ナル「モルモット」ノ皮下ニ注射スルニ之ヲ致死セシムヘカラス
- 五 本品ヲ「ブイヨン並寒天培養基ニ好氣性及嫌氣性培養法ヲ行フニ無菌ナラサルヘカラス
- 六 本品ハ用ニ臨ミテ石炭酸水(1+100)又ハ滅菌水ヲ以テ

稀釋スヘシ

七 冷暗處ニ注意シテ貯フヘシ但一年ヲ超ユヘカラス

**Unguenta**

軟膏劑

- 一 軟膏劑ハ通例脂肪・脂肪油・ラノリン・ワセリン・グリセリン・蠟・樹脂・硬膏劑及類似ノ物質或ハ其混和物ヲ基礎藥トシテ製シタル外用劑ニシテ半酪樣稠度ヲ有スルモノナリ
- 二 本劑ヲ製スルニハ特ニ記載スルモノノ外・固形藥品ハ細末トナシ之ニ少量ノ基礎藥ヲ加ヘテ善ク混和シ細末ヲ認メサルニ至リ殘餘ノ基礎藥ヲ混和シ又難溶性基礎劑ハ先ツ之ヲ熔融シ次ニ易溶性基礎藥ヲ混和シ其半ハ冷却セルモノニ藥品ヲ親密ニ混和シ全質均等トナルニ至ルヘシ
- 三 本劑ハ久シク貯フヘカラス速ニ分解スルモノハ用ニ臨ミテ製スヘシ
- 四 貯藏中自然ニ凝固セルモノ若クハ成分ヲ分離セルモノハ用ニ臨ミテ混和スヘシ收油性トナリタルモノハ供用スヘカラス
- 五 密閉シ貯フヘシ

**Unguentum Acidi boricæ**

硼酸軟膏

- 一 硼酸軟膏ハ  
硼酸細末 一分
- グリセリン 一分
- 單軟膏 八分
- ヲ取り研和シ製スヘシ
- 二 本品ハ淡黄色ナリ

**Unguentum Ammonii sulfocichthylicæ**

イヒチオールスルホン酸

アンモン軟膏

- 一 イヒチオールスルホン酸アンモン軟膏ハ  
イヒチオールスルホン酸アンモン 一分
- 單軟膏 九分
- ヲ取り研和シ製スヘシ
- 二 本品ハ類黄褐色ナリ

**Unguentum Argenti colloidalis**

コロイド銀軟膏 クレーデ軟膏

- 一 コロイド銀軟膏ハ  
コロイド銀 二分
- 脫水ラノリン 九分
- 黄色ワセリン 九分
- ヲ取り親密ニ研和シ製スヘシ
- 二 本品ハ類緑黑色ナリ
- 三 光ヲ遮リ貯フヘシ

**Unguentum basilicæ**

バジリ軟膏

- 一 バジリ軟膏ハ  
落花生油 九分
- 蜜蠟 三分
- コロホニウム 三分
- 脫水ラノリン 三分
- テレピンチーナ 二分
- ヲ取り製スヘシ
- 二 本品ハ黄褐色ナリ

**Unguentum camphoratum**

カンフル軟膏

硼酸軟膏・イヒチオールスルホン酸アンモン軟膏・コロイド銀軟膏・バジリ軟膏・カンフル軟膏

一 カンフル軟膏ハ

カンフル 一分

ヲ取り

胡麻油 十四分

ニ溶解シ之ヲ豫メ熔融セル

半脂 三十五分

中ニ加ヘテ研和シ製スヘシ

二 本品ハ白色ニシテ「カンフル」ノ香氣ヲ有ス

Unguentum Glycerini

グリセリン軟膏

一 グリセリン軟膏ハ

グリセリン 九十分

小麥澱粉 十分

蒸溜水 十五分

ヲ取り先ツ小麥澱粉ヲ善ク蒸溜水ニ攪和シ之ニ「グリセリン」ヲ和シタル後重湯煎上ニ於テ全質均等ニシテ其重量百分トナルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ

二 本品ハ透映凝膠狀ノ軟膏ナリ

Unguentum Hebrae

ヘブラ軟膏

一 ヘブラ軟膏ハ

單鉛硬膏

落花生油

各等分

ヲ取り重湯煎上ニ熔和シテ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ

二 本品ハ類灰白色乃至類黄色ナリ

Unguentum Hydrargyri album

白降汞軟膏

一 白降汞軟膏ハ

白降汞 十分

ヲ取り

脫水ラノリン 二十五分

ヲ研和シ之ニ

黄色ワセリン 六十五分

ヲ親密ニ研和シ製スヘシ

二 本品ハ帶黄白色ナリ

三 用ニ臨ミテ製スヘシ

Unguentum Hydrargyri cinereum

○水銀軟膏

一 水銀軟膏ハ

水銀 三十分

脫水ラノリン 七分

安息香豚脂 十六分

牛脂 三十七分

ヲ取り先ツ水銀ト脫水ラノリントヲ善ク研和シ「ルーベ」ヲ以テ水銀球ヲ認メサルニ至リ之ニ安息香豚脂ト牛脂トノ熔和物ヲ加ヘ最モ親密ニ研和シ製スヘシ本品ノ暖地ニ於テ使用スルモノニ在テハ牛脂ヲ以テ安息香豚脂ニ代用スルコトヲ得

二 本品ハ灰色乃至灰黑色ノ軟膏ニシテ「ルーベ」ヲ以テ水銀球ヲ認ムヘカラス

三 本品ハ約 33.3%ノ純水銀 (Hg = 200.61)ヲ含有ス

四 本品 2.5gヲ小壘ニ取り硝酸 20ccヲ加ヘ還流冷却器ヲ附シ重湯煎上ニ十分間熱シ水銀球ヲ認メサルニ至リ水 25ccヲ以テ冷却器ヲ洗シツツ更ニ熱シテ脂肪層ノ澄明ニ分離スルニ至リ冷後脱脂綿ヲ用ヒテ内容 100ccノ測容壘中ニ濾入シ脂肪及壘ヲ逐次五回水各約 5ccヲ以テ洗滌シ其洗

液ヲ前ノ濾液ニ合シ之ニ過マンガン酸カリ溶液 (1+99)ヲ加ヘテ持續スル紅色ヲ呈セシメ又ハ褐色ノ沈澱ヲ分離スルニ至リ次テ硫酸鉄溶液ヲ加ヘテ脱色セシメ又ハ澄明トナラシメタル後水ヲ加ヘテ全量 100ccトナシ濾過シ其濾液 25ccニ鉄明礬溶液 2ccヲ和シ十分定規ロダンアンモン液ヲ滴加シテ赤褐色ヲ呈スルニ至ルニハ該液ヲ費スロト 15.5ccナラサルヘカラス

Unguentum Hydrargyri flavum

黄降汞軟膏

一 黄降汞軟膏ハ

黄降汞ノ條ニ掲クル所ニ據リ新タニ製シ濾紙間ニ壓シテ脫

水シタル

黄降汞 五分

ヲ取り

脫水ラノリン 二十五分

ヲ研和シ之ニ

黄色ワセリン 七十分

ヲ親密ニ研和シ製スヘシ

二 本品ハ黄色ナリ

三 用ニ臨ミテ製スヘシ

Unguentum Hydrargyri rubrum

赤降汞軟膏

- 一 赤降汞軟膏ハ 一分
- 赤降汞 一分
- 黄色ワセリン 九分
- ヲ取り研和シ製スヘシ
- 二 本品ハ赤色ナリ
- 三 用ニ臨ミテ製スヘシ

Unguentum Kaliodati

ヨードカリ軟膏

- 一 ヨードカリ軟膏ハ 二十分
- ヨードカリ 二十分
- チオ硫酸ソーダ 〇・二五分
- ヲ取り研和シツツ之ニ
- 蒸溜水 十五分
- ヲ加ヘテ溶解シ
- 豚脂 百六十五分
- ヲ混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ白色ナリ

三 本品ト共ニ「ヨード」ヲ處方セルトキハ「チオ硫酸ソーダ」ヲ除キテ製スヘシ

Unguentum Picis liquidae

木タール軟膏

- 一 木タール軟膏ハ 十分
- 木タール 十分
- 蜜蠟 四分
- ヲ取り微温ヲ與ヘテ熔和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ
- 二 本品ハ暗褐色ナリ

Unguentum Scopoliae

ロート軟膏

- 一 ロート軟膏ハ 一分
- ロートエキス 一分
- ヲ取り少量ノ蒸溜水ニ研和シテ稀薄エキス」ノ稠度トナシ之ニ
- 安息香豚脂 九分
- ヲ研和シ製スヘシ
- 二 本品ハ褐色ナリ

三 用ニ臨ミテ製スヘシ

Unguentum simplex

〇單軟膏

- 一 單軟膏ハ 一分
- 蜜蠟 一分
- 胡麻油 二分
- ヲ取り重湯煎上ニ熔和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ
- 二 本品ハ黄色ナリ

Unguentum vesicans fortius

強發泡膏

- 一 強發泡膏ハ 四分
- カンタリス中末 四分
- ヲ取り之ニ 三十分
- クロロホルム 一分
- 塩酸 一分
- ヲ加ヘ屢々振盪シツツ二十四時間ノ後壓搾濾過シ其澄明液ヲ蒸溜シ約二分ノ「クロロホルム」液ヲ残留スルニ至リ冷後空氣ヲ導入シテ「クロロホルム」ヲ去リテ得タル殘留物ニ
- 落花生油 九分

蜜蠟

七分

テレビンチーナ

三分

ヲ熔和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ

二 本品ハ類綠黄色ナリ

三 注意シテ貯フヘシ

Unguentum vesicans mitius

弱發泡膏

- 一 弱發泡膏ハ 四分
- カンタリス中末 四分
- ヲ取り之ニ 三十分
- クロロホルム 一分
- 塩酸 一分
- ヲ加ヘ屢々振盪シツツ二十四時間ノ後壓搾濾過シ其澄明液ヲ蒸溜シ約二分ノ「クロロホルム」液ヲ残留スルニ至リ冷後空氣ヲ導入シ「クロロホルム」ヲ去リテ得タル殘留物ニ
- 落花生油 五十六分
- ヲ加ヘ重湯煎上ニ温メテ溶解シ之ニ
- 豫メ熔融セル蜜蠟 百分
- ヲ混和シ冷却スルニ至ル迄攪拌シ製スヘシ
- 二 本品ハ黄色ナリ

Unguentum Wilkinsoni

ウイルクソン軟膏

- 一 ウイルクソン軟膏ハ 一分
- 木タール 一分
- 硫黃華 一分
- カリ石鹼 二分
- 安息香豚脂 二分
- ヲ取り研和シ之ニ 〇・五分
- 精製タルク
- ヲ混和シ製スヘシ
- 二 本品ハ灰褐色ナリ

Unguentum Wilsoni

ウイルクソン軟膏 強亞鉛華軟膏

- 一 ウイルクソン軟膏ハ 一分
- 亞鉛華 四分
- 安息香豚脂
- ヲ取り研和シ製スヘシ
- 二 本品ハ白色ナリ

Unguentum Zinci

〇亞鉛華軟膏

- 一 亞鉛華軟膏ハ 一分
- 亞鉛華 九分
- 安息香豚脂
- ヲ取り研和シ製スヘシ
- 二 本品ハ白色ナリ

Vaselinum album

白色ワセリン

- 一 白色ワセリンハ黄色ワセリンヲ晒白セルモノナリ
- 二 本品ハ白色或ハ類白色透映全質均等軟膏様ノ塊ニシテ臭味ナク顯微鏡下ニ檢スルニ顆粒狀又ハ結晶性ナラス温ムレハ無色或ハ殆ト無色無臭ニシテ藍色ノ螢石彩ヲ呈スル澄明ノ液トナル水ニ溶解セス「アルコール」ニ僅微ニ・温エーテル竝温クロロホルムニ容易ニ溶解ス熔融點 38°~50°ナリ
- 三 本品 10g ヲ熱湯 20cc ヲ加ヘ振盪シテ得タル液ハ「フェノールフタレイン」溶液ニ滴ヲ和スルニ無色ニ止マリ更ニ十分定規カリ液 0.1cc ヲ加フルニ赤色ヲ呈セサルヘカラス

分定規カリ液 0.1cc ヲ加フルニ赤色ヲ呈セサルヘカラス  
又其振盪液ハ硝酸銀溶液竝硝酸バリウム溶液ニ由テ變化スヘカラス

- 四 本品 5g ヲ「ナトロン」滴液 3cc 及水 20cc ノ混液ニ和シ振盪シツツ熱シテ沸騰セシメタル後充分放冷シ濾過シテ得タル液ハ稀硫酸ヲ以テ過飽スルニ沈澱又ハ油狀ノ物質ヲ析出スヘカラス
- 五 本品 10g ヲ蒸溜水五分及硫酸十五分ヨリ成レル混液 5cc ニ和シ重湯煎中ニ攪拌シツツ温ムルニ十五分以内ニ褐色ヲ呈スヘカラス
- 六 本品 10g ニ過マンガン酸カリ溶液十滴ヲ混和シ攪拌シツツ約 50°ニ於テ五分間温ムルニ其紅色消失スヘカラス
- 七 光ヲ遮リ貯フヘシ

Vaselinum flavum

〇黄色ワセリン

- 一 黄色ワセリンハ石油蒸溜ノ殘滓ヨリ得タル礦脂ヲ精製セルモノナリ
- 二 本品ハ黄色透映全質均等軟膏様ノ塊ニシテ臭味ナク顯微鏡下ニ檢スルニ顆粒狀又ハ結晶性ナラス温ムレハ黄色澄明ニシテ殆ト臭氣ナク藍色ノ螢石彩ヲ呈スル液トナル水ニ溶

解セス「アルコール」ニ僅微ニ・温エーテル竝温クロロホルムニ容易ニ溶解ス熔融點 38°~50°ナリ

- 三 本品 5g ニ熱湯 20cc ヲ加ヘ振盪シテ得タル液ハ「フェノールフタレイン」溶液ニ滴ヲ和スルニ無色ニ止マリ更ニ十分定規カリ液 0.1cc ヲ加フルニ赤色ヲ呈セサルヘカラス
- 四 本品 5g ヲ「ナトロン」滴液 3cc 及水 20cc ノ混液ニ和シ振盪シツツ熱シテ沸騰セシメタル後充分放冷シ濾過シテ得タル液ハ稀硫酸ヲ以テ過飽スルニ沈澱又ハ油狀ノ物質ヲ析出スヘカラス
- 五 本品 10g ヲ蒸溜水五分及硫酸十五分ヨリ成レル混液 5cc ニ和シ重湯煎中ニ攪拌シツツ温ムルニ十五分以内ニ褐色ヲ呈スヘカラス
- 六 本品 10g ニ過マンガン酸カリ溶液十滴ヲ混和シ攪拌シツツ約 50°ニ於テ五分間温ムルニ其紅色消失スヘカラス

Vina medicata

酒劑

- 一 酒劑ハ藥品ヲ「セリ」酒又ハ其他ノ葡萄酒ニ混和シ若クハ溶解シテ製シタルモノナリ
- 二 本劑ノ製法及貯法ハ「チンキ劑」ノ條ニ掲クル所ニ準據スヘシ

Vinum

葡萄酒

- 一 葡萄酒ハ葡萄酒汁ノ「アルコール醱酵ニ由リ製シタルモノナリ
- 二 本品ノ判定及試験ハ別ニ定ムル所ノ葡萄酒判定標準及試験方法ニ準據スヘシ

Vinum Chinae

キナ酒

- 一 キナ酒ハ
  - キナ流動エキス 五分
  - セリ酒 八十分
  - 白糖末 十四分
  - 橙皮チンキ 一分
- ヲ取り混和シ二十四時間以上静置シタル後濾過シ製スヘシ
- 二 本品ハ赤褐色ノ液ニシテ佳快ノ苦味ヲ有ス

Vinum Condurango

コンヅランゴ酒

- 一 コンヅランゴ酒ハ

- コンヅランゴ流動エキス 十分
- セリ酒 八十分
- 白糖末 九分
- 橙皮チンキ 一分

- ヲ取り混和シ七日間静置シタル後濾過シ製スヘシ
- 二 本品ハ「コンヅランゴ皮固有ノ香氣ヲ有シ帶褐黄色澄明或ハ殆ト澄明ノ液ナリ

Vinum Ferri

鉄酒

- 一 鉄酒ハ
  - クエン酸鉄アンモン 一分
  - ヲ取り
  - 白葡萄酒 四十九分
- ニ溶解シ濾過シ製スヘシ
- 二 本品ハ黄褐色澄明ノ液ナリ

Vinum Pepsini

ペブシン酒

- 一 ペブシン酒ハ
  - 含糖ペブシン 二十分

グリセリン

十分

蒸溜水

十分

ヲ取り研和シテ稀粥狀トナシ之ニ

塩酸

一分

白葡萄酒

三百六十分

ヲ混和シ屢々振盪シテ七日間放置シ濾過シ製スヘシ

二 本品ハ類黄色或ハ類赤色澄明ノ液ナリ

三 本品 2g、水 98cc 及 塩酸 0.5cc ノ混液ニ新鮮ナル鶏卵ヲ約八分間熱湯中ニ煮熟シ冷後其卵白ヲ取り第五號篩ヲ用ヒ壓ヲ加ヘテ二回篩過シタルモノ 10g ヲ加ヘ 50°ニ於テ屢々振盪スルニ二時間以内ニ其卵白殆ト全ク溶解スヘシ

Xerofornum Bismutum tribromphenylicum

キセロホルム トリブロム石炭酸蒼鉛

- 一 キセロホルム「ハ黄色ノ粉末ニシテ臭味ナク水竝アルコール」ニ溶解セス
- 二 本品ニ稀薄ノ「ナトロン滴液ヲ加ヘテ熱スレハ黄色ノ酸化蒼鉛ヲ遺シテ溶解シ冷後濾過シテ得タル液ニ塩酸ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品 1g ニ硝酸ヲ加ヘテ蒸發シ熱灼スルニ少クモ酸化蒼鉛 0.5g ヲ遺ササルヘカラス此残留物ヲ成ルヘク塩酸少量

ニ溶解シ之ニ塩化第一錫溶液ニ倍容量ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス

四 本品 0.5g ニ「アルコール 5cc ヲ加ヘテ振盪シ濾過シテ得タル液 1cc ニ水 15cc ヲ和スルニ絮狀ノ析出物ヲ生スヘカラス

五 本品 1g ニ「ナトロン滴液 10cc ヲ加ヘテ振盪スルニ其液染色スヘカラス

Zincum chloratum

塩化亞鉛

ZnCl<sub>2</sub> = 136.3

- 一 塩化亞鉛ハ白色ノ結晶性粉末或ハ棒狀ヲナシ氣中ニ於テ潮解シ水竝アルコール」ニ容易ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ微ス熱スレハ熔融シ白霧ヲ放テ分解シ黄色ノ物質ヲ殘留ス此殘留物ハ冷後白色ニ變ス
- 二 本品ノ水溶液ハ「アンモニア水ニ由テ其過剩ニ溶解セザキ白色ノ沈澱ヲ生シ又硝酸銀溶液ニ由テ稀硝酸ニ溶解セザル白色ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品 1g ヲ新タニ煮沸シ冷却シタル水 1cc ニ溶解シタルモノハ澄明ナルヘシ或ハ蛋白濁ヲ起スニ止マルヘシ又其水溶液 1cc ニ「アルコール 3cc ヲ加ヘテ生シタル絮狀

- ノ沈澱ハ稀塩酸一滴ニ由テ再ヒ溶解セサルヘカラス
- 四 本品ノ水溶液 (1+9) = 塩酸ヲ滴加シテ得タル澄清液ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ變化セス又其水溶液 10cc ハ「アンモニア水 10cc」ヲ加フルニ無色澄清ナルヘシ之ニ磷酸ソーダ溶液ヲ和スルニ變化セス又硫化ソーダ溶液ニ由テ純白色ノ沈澱ヲ生シ之ニ醋酸ヲ加ヘテ酸性トナスニ其沈澱染色ヘカラス
- 五 壘中ニ容レ密栓シ注意シテ貯フヘシ

Zincum oxydatum Flores Zinci

○亞鉛華 酸化亞鉛



- 一 亞鉛華ハ白色或ハ微ニ類黄色ヲ帶フル無晶形ノ粉末ニシテ臭味ナク水ニ溶解セス醋酸ニ容易ニ溶解ス
- 二 本品ヲ熱灼スレハ黄色ヲ呈シ冷ユレハ原色ニ復ス又本品ノ醋酸溶液ハ「ナトロン滴液少量ニ由テ其過剩ニ溶解スヘキ白色ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品「アンモニア」ヲ少量ニ溶解シ之ニ塩化第一錫溶液二倍容量ヲ和スルニ一時間以内ニ暗色ヲ呈スヘカラス又本品「アンモニア」ニ水 20cc」ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ハ硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ變化スヘカラス又硝酸銀溶液ニ由テ蛋白

石濁ヲ起スニ止マルヘシ

- 四 本品 2g ハ水 15cc ト共ニ振盪シタル後醋酸 15cc」ヲ和スルニ泡沸セスシテ全ク溶解スヘシ此溶液ハ「醋酸アンモン」溶液並稀硫酸ニ由テ變化スヘカラス
- 五 前項ノ本品溶液ハ過剩ノ「アンモニア水」ヲ注加スルニ無色澄清ニ止マルヘシ又硫化ソーダ溶液一滴ニ由テ純白色ノ沈澱ヲ生セサルヘカラス其溶液ニ「アンモニア水 10cc」及磷酸ソーダ溶液 10cc」ヲ加フルニ十分間ヲ經ルモ變化スヘカラス

Zincum sulfuricum

○硫酸亞鉛 皓礬



- 一 硫酸亞鉛ハ無色ノ結晶ニシテ乾燥氣中ニ於テ徐々ニ風化ス○・八分ノ水ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ微シ「アルコール」ニ殆ト溶解セス
- 二 本品ノ水溶液 (1+9) ハ「ナトロン滴液ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生シ其過剩ニ溶解シテ無色澄清ノ液トナリ之ニ硫化ソーダ溶液ヲ加フレハ白色ノ沈澱ヲ生ス又硝酸バリウム溶液ニ由テ稀硝酸ニ溶解セサル白色ノ沈澱ヲ生ス
- 三 本品 0.5g ハ水 10cc」及「アンモニア水 5cc」ノ混液ニ無

色澄清ニ溶解セサルヘカラス

- 四 本品 1g = 「ナトロン滴液 5cc」ヲ加ヘテ熱スルニ「アンモニア」ヲ發生スヘカラス
- 五 本品ノ水溶液 (1+9) 2cc = 硫酸 2cc」ヲ和シ冷後之ニ硫酸鉄溶液 1cc」ヲ加ヘテ二液層トナスニ其境界ニ於テ類褐色ノ輪帶ヲ生スヘカラス
- 六 本品ノ水溶液 (1+19) ハ硝酸銀溶液ニ由テ變化スヘカラス又メチルオレンジ溶液ニ由テ赤色ヲ呈スヘカラス
- 七 注意シテ貯フヘシ  
一回ノ極量 1.0g

Zincum valerianicum

吉草酸亞鉛



- 一 吉草酸亞鉛ハ眞珠様ノ光澤アル白色ノ板狀結晶或ハ結晶性粉末ニシテ吉草酸ノ臭氣及微ニ甘キ收斂性ノ味ヲ有シ約百分ノ水竝約四十分ノ「アルコール」ニ溶解シ酸性ノ反應ヲ徴ス
- 二 本品ノ冷飽水溶液ハ温ムレハ濁濁シ冷ユレハ復タ澄明トナル
- 三 本品ノ水溶液ハ硫化アンモン」ニ由テ白色ノ沈澱ヲ生シ

又本品ヲ水ヲ以テ濡ホシ之ニ塩酸ヲ和スレハ吉草酸ノ臭氣ヲ有スル油滴ヲ分離ス

- 四 本品 0.5g」ヲ塩酸 1cc」及水 4cc」ノ混液ニ溶解シ分離セル油狀物ヲ濾過シテ得タル澄清液ニ硫化ソーダ溶液三滴ヲ和スルニ變化スヘカラス
- 五 本品 1g」ハ「アンモニア水 10cc」ニ全ク溶解スヘシ此溶液 5cc」ニ硫化アンモン」ヲ和スルニ純白色ノ沈澱ヲ生スヘシ之ヲ濾過シテ得タル液ハ蒸發ノ後熱灼スルニ秤定シ得ヘキ固性物ヲ殘留スヘカラス
- 六 本品 0.5g」ニ水 2cc」及塩化第二鉄溶液四滴ヲ和シ生シタル赤褐色ノ沈澱ヲ濾過シテ得タル液ハ赤色ヲ呈スヘカラス
- 七 本品ノ冷飽和水溶液ハ濃厚ノ醋酸銅溶液ニ由テ濁濁スヘカラス
- 八 本品 1g」ニ水 20cc」ヲ和シ振盪シ濾過シテ得タル液ニ硝酸二三滴ヲ和シタルモノハ硝酸バリウム溶液ニ由テ直チニ變化セス硝酸銀溶液ニ由テ蛋白石濁ヲ起スニ止マルヘシ
- 九 本品 1g」ヲ硝酸ヲ以テ濡ホシ重湯煎上ニ蒸發セシメ此操作ヲ反復シ乾燥セシメタル後熱灼スルニ 0.25 ~ 0.27g」ノ固性物ヲ殘留セサルヘカラス
- 十 注意シテ貯フヘシ

Reagentia 試薬

Acetonum アセトン  
 正條ノ「アセトン」ヲ用フヘシ  
 Acidum aceticum 醋酸  
 正條ノ醋酸ヲ用フヘシ  
 Acidum aceticum anhydricum 無水醋酸  $C_2H_2O_2$   
 無色澄明ノ液ニシテ刺激性ノ臭氣ヲ有ス比重 1.03・沸騰點 135°~139° ナリ  
 Acidum aceticum dilutum 稀醋酸  
 正條ノ稀醋酸ヲ用フヘシ  
 Acidum aceticum glaciale 氷醋酸  
 正條ノ氷醋酸ヲ用フヘシ  
 Acidum hydrochloricum 塩酸  
 正條ノ塩酸ヲ用フヘシ  
 Acidum hydrochloricum dilutum 稀塩酸  
 正條ノ稀塩酸ヲ用フヘシ  
 Acidum hydrochloricum fumans 發煙塩酸  
 無色發煙性ノ液ニシテ比重 1.19 ナリ純塩化水素 (HCl) 35.5%ヲ含有ス

Acidum nitricum 硝酸  
 正條ノ硝酸ヲ用フヘシ  
 Acidum nitricum concentratum 強硝酸  
 無色或ハ無色澄明ノ液ニシテ比重 1.315 ナリ純硝酸 (HN O<sub>3</sub>) 50%ヲ含有ス  
 Acidum nitricum crudum 粗製硝酸  
 無色澄明或ハ淡黄色ノ液ニシテ氣中ニ於テ赤霧ヲ發シ比重 1.33~1.40 ナリ純硝酸 (HNO<sub>3</sub>) 33.0) 61~65%ヲ含有ス  
 Acidum nitricum dilutum 稀硝酸  
 正條ノ稀硝酸ヲ用フヘシ  
 Acidum nitricum fumans 發煙硝酸  
 正條ノ發煙硝酸ヲ用フヘシ  
 Acidum oxalicum 蓆酸  $C_2H_2O_4 + 2H_2O = 126.0$   
 無色稜柱狀ノ結晶ナリ乾燥氣中ニ於テ風化ス熱スルニ固性物ヲ殘留セスシテ揮散スヘシ  
 Acidum phosphoricum 磷酸  
 正條ノ磷酸ヲ用フヘシ  
 Acidum sulfuricum 硫酸  
 正條ノ硫酸ヲ用フヘシ  
 Acidum sulfuricum dilutum 稀硫酸  
 正條ノ稀硫酸ヲ用フヘシ

Acidum sulfuricum formalinum ホルマリン硫酸  
 用ニ臨ミテ「ホルマリン」二滴ヲ硫酸 3ccニ混和スヘシ  
 Acidum sulfuricum fumans 發煙硫酸  
 無色或ハ類褐色澄明發煙性ノ濃稠液ニシテ比重約 1.85 ナリ  
 Acidum trichloroaceticum トリクロル醋酸  
 正條ノ「トリクロル醋酸」ヲ用フヘシ  
 Aether エーテル  
 正條ノ「エーテル」ヲ用フヘシ  
 Aether absolutus 純エーテル  
 無色澄明揮散シ易キ液ニシテ比重 0.72 ナリ  
 強ク熱灼シ冷却セシメタル炭酸カリ」ヲ盛リタル壺中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ冷暗處ニ貯フヘシ  
 Aether aceticus 醋酸エーテル  
 正條ノ醋酸エーテル」ヲ用フヘシ  
 Aether Petrolei 石油エーテル  
 40°~60°ニ於テ沸騰スルモノナリ  
 Alcohol アルコール  
 正條ノ「アルコール」ヲ用フヘシ  
 Alcohol absolutus 純アルコール  
 正條ノ純アルコール」ヲ用フヘシ

Alcohol amylicus アミルアルコール  
 無色澄明揮發性ノ液ニシテ比重 0.814・沸騰點 129°~131°ナリ  
 Alcohol dilutus 稀アルコール  
 正條ノ稀アルコール」ヲ用フヘシ  
 Ammonium sulfuratum 硫化アンモン  
 アンモニア水三分ニ硫化水素ヲ飽和シ更ニ「アンモニア水二分ヲ混和シタルモノナリ  
 Amylum 澱粉  
 正條ノ馬鈴薯澱粉ヲ用フヘシ  
 Amylum solubile 溶性澱粉  
 馬鈴薯澱粉 100gニ硫酸 5g及水」ノ混液ヲ和シ二三分間煮沸シ較ク搖動シ易キ液トナルニ至リ之ニ炭酸バリウム」ヲ加ヘテ中和シ濾過シテ得タル液ヲ蒸發シテ濃縮セシメタル後之ニ「アルコール」二三倍容量ヲ注加シ沈澱ヲ濾器上ニ集メ微温ニ於テ乾燥シタルモノナリ其水溶液ハ「リトマス紙」ヲ變色スヘカラス  
 Anilinum アニリン  
 無色或ハ類黄色澄明ノ液ニシテ比重 1.026~1.027・沸騰點 182°~183° ナリ  
 Aqua Ammoniac アンモニア水



正條ノ「アンモニア水」ヲ用フヘシ

Aqua Barytae バリット水

水酸化バリウム一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Aqua bromata ブロム水

「ブロム」ノ飽和水溶液ナリ

Aqua bromata diluta 稀ブロム水

ブロム水一分ニ水四分ヲ混和スヘシ

Aqua Calcariae 石灰水

正條ノ石灰水ヲ用フヘシ

Aqua chlorata 塩素水

塩素ノ飽和水溶液ナリ

Aqua regia 王水

用ニ臨ミテ硝酸一分ニ塩酸三分ヲ混和スヘシ

Argentum nitricum 硝酸銀

正條ノ硝酸銀ヲ用フヘシ

Baryta hydrata 水酸化バリウム  $Ba(OH)_2 \cdot SH_2O$

無色稜柱状ノ結晶ナリ

Benzidinum ベンジジン  $[14]NH_2 \cdot C_6H_4 \cdot C_6H_4 \cdot NH_2 [14]$

白色或ハ微ニ紅色ヲ帶フル結晶性粉末ニシテ 128°ニ於テ

熔融ス

Benzinum Petrolei 石油ベンジン

正條ノ石油ベンジン」ヲ用フヘシ

Benzolum ベンゾール

正條ノ「ベンゾール」ヲ用フヘシ

Beta-Naphtholum ベタナフトール

正條ノ「ベタナフトール」ヲ用フヘシ

Bismutum subnitricum 次硝酸蒼鉛

正條ノ次硝酸蒼鉛ヲ用フヘシ

Borax 硼砂

正條ノ硼砂ヲ用フヘシ

Bromum ブロム

正條ノ「ブロム」ヲ用フヘシ

Calcaria chlorata 晒粉

正條ノ晒粉ヲ用フヘシ

Calcaria hydrata 消石灰(水化石灰)  $Ca(OH)_2$

正條ノ生石灰二分ニ水一分ヲ和シ新タニ製出セル微細ノ粉

末ナリ

Calcaria usta e Marmore parva 焼大理石大理石ヲ焼灼シテ

製シタルモノナリ

Calcium carbonicum 炭酸石灰

塩素ヲ含有セサルモノナリ

Carbo Ligni pulveratus 木炭末

Carbonum sulfuratum 二硫化炭素  $CS_2$

無色澄明ノ液ニシテ強ク光線ヲ屈折ス比重 1.272・沸騰點

46°ナリ

Caseinum カゼイン

正條ノ「カゼイン」ヲ用フヘシ

Charta exploratoria coerulea 青色リトマス紙

リトマス溶液ニ良質ノ濾紙ヲ浸シ光ヲ遮リ常温ニ於テ乾燥

シタルモノナリ十分定規塩酸 1cc 及水 99cc ノ混液一滴

ニ由テ直チニ赤色ニ變セサルヘカラス

光ヲ遮リ貯フヘシ

Charta exploratoria lutea クルクマ紙

クルクマチンキ一分ニ「アルコール三分及水四分ヲ加ヘテ

稀釋シタル液ニ良質ノ濾紙ヲ浸シ光ヲ遮リ常温ニ於テ乾燥

シタルモノナリ十分定規カリ液 1cc 及水 99cc ノ混液一

滴ニ由テ直チニ褐色ニ變セサルヘカラス

光ヲ遮リ貯フヘシ

Charta exploratoria rubra 赤色リトマス紙

リトマス溶液ニ稀硫酸ヲ滴加シ時々其一分ヲ取り水約百分

ヲ加ヘ稀釋スルニ淡赤色ヲ呈スルニ至リタルモノニ良質ノ

濾紙ヲ浸シ光ヲ遮リ常温ニ於テ乾燥シタルモノナリ十分定

規カリ液 1cc 及水 99cc ノ混液一滴ニ由テ直チニ青色ニ

變セサルヘカラス

光ヲ遮リ貯フヘシ

Charta Kali Jodici cum Amylo

ヨード酸カリ澱粉紙

ヨード酸カリ  $(KIO_3) \cdot O$  一分及溶性澱粉一分ヲ水百分ニ溶

解シテ得タル液ニ良質ノ濾紙ヲ浸シ光ヲ遮リ常温ニ於テ乾

燥シタルモノナリ

光ヲ遮リ貯フヘシ

Charta Zinci Jodati cum Amylo ヨード亜鉛澱粉紙

ヨード亜鉛澱粉溶液ニ良質ノ濾紙ヲ浸シ光ヲ遮リ常温ニ於

テ乾燥シタルモノナリ

光ヲ遮リ貯フヘシ

Chloroformium クロロホルム

正條ノ「クロロホルム」ヲ用フヘシ

Chloroformium absolutum 純クロロホルム

無色澄明ノ液ニシテ比重 1.502 ナリ

褐色小壘中ニ殆ト全滿シ密栓シ冷暗處ニ貯フヘシ

Colloidium コロデオ

正條ノ「コロデオ」ヲ用フヘシ

Cuprum raspatum 銅屑

Dimethylaminazoobenzolum デメチルアミノアゾベンゾール



橙黄色ノ葉狀結晶ニシテ 115°ニ於テ熔融シ其 0.01gハ純  
アルコール 10ccニ橙黄色ヲ呈シテ溶解スヘシ

Ferrum pulveratum 鉄粉

正條ノ鉄粉ヲ用フヘシ

Ferrum sulfuricum 硫酸鉄

正條ノ硫酸鉄ヲ用フヘシ

Fornalinum ホルマリン

正條ノ「ホルマリン」ヲ用フヘシ

Glucosum 葡萄糖

正條ノ葡萄糖ヲ用フヘシ

Glycerinum グリセリン

正條ノ「グリセリン」ヲ用フヘシ

Haematoxylinum ヘマトキシリン

無色針狀ノ結晶ニシテ水ニ僅微ニ熱湯・アルコール又エー  
テルニ容易ニ溶解ス本品ノ水溶液ニ「ナトロン」滴液並炭酸  
ソーダ溶液ヲ加ヘテ振盪スレハ藍紫色ヲ呈ス

Hydrargyrum aceticum oxydatum 醋酸第二水銀  $(CH_3CO_2)_2Hg$

光輝アル無色板狀ノ結晶ナリ

Hydrargyrum oxydatum flavum 黄降汞

正條ノ黄降汞ヲ用フヘシ

Hydrogenium sulfuratum 硫化水素

洗滌セル硫化水素ガス」ヲ用フヘシ

Iodum ヨード

正條ノ「ヨード」ヲ用フヘシ

Kali causticum 苛性カリ

正條ノ苛性カリ」ヲ用フヘシ

Kalium bicarbonicum purum 純重炭酸カリ

正條ノ重炭酸カリ一分ヲ水四・五分ニ溶解シ濾過シ濾液ニ  
「アルコール」二分ヲ加ヘ放置シ析出セル結晶ヲ濾取シ硫酸  
壘中ニ密閉シ貯フヘシ

Kalium bichromicum 重クロム酸カリ  $K_2Cr_2O_7$

帶黄赤色ノ結晶ナリ

Kalium bichromicum purum 純重クロム酸カリ

重クロム酸カリ」ヲ熱湯約三倍量ニ溶解シ濾過シ濾液ヲ攪  
拌シツツ冷却シ析出セル結晶ヲ濾取シ更ニ之ヲ前ト同様ニ  
熱湯ニ溶解シ濾液ヲ冷却シテ結晶ヲ取り約 130°ノ温ニ於  
テ乾燥シタルモノナリ

壘中ニ密閉シ貯フヘシ

Kalium chloricum 塩素酸カリ

正條ノ塩素酸カリ」ヲ用フヘシ

Kalium cyanatum シアンカリ KCN 無色ノ結晶ナリ

Kalium Jodatun ヨードカリ

正條ノ「ヨードカリ」ヲ用フヘシ

Kalium-Natrium tartaricum 酒石酸カリソーダ

正條ノ酒石酸カリソーダ」ヲ用フヘシ

Kalium nitricum 硝酸カリ

正條ノ硝石ヲ用フヘシ

Lae Calcariae 石灰乳

消石灰ニ水ヲ混和シタルモノナリ

Liquor Hydrogenii peroxylati 過酸化水素水

正條ノ過酸化水素水ヲ用フヘシ

Liquor Kali caustici カリ滴液

正條ノ「カリ滴液」ヲ用フヘシ

Liquor Kali caustici spirituosus アルコール性カリ滴液

用ニ臨ミテ苛性カリ一分ヲ「アルコール」九分ニ溶解スヘシ

Liquor Natri caustici ナトロン滴液

苛性ナトロン一分ヲ水五分ニ溶解シタルモノニシテ比重約  
1.17ナリ純水酸化ナトリウム(NaOH)15%ヲ含有ス

Liquor Natri caustici spirituosus アルコール性ナトロン滴液

苛性ナトロン一分ヲ「アルコール」九分ニ溶解スヘシ

Liquor Plumbi subacetici 次醋酸鉛溶液正條ノ次醋酸鉛液ヲ

用フヘシ

Manganum hyperoxydatum nativum 二酸化マンガ

純二酸化マンガ

Mixtura Magnesia マグネシア混液

塩化マグネシア  $(MgCl_2 + 6H_2O)$  一分及正條ノ塩化アンモ  
ン・四分ヲ「アンモニア」水七分・水十五分ノ混液ニ溶解シ  
數日間放置シタル後濾過スヘシ

Natrium aceticum fusum 熔製醋酸ソーダ  $CH_3CO_2Na$

正條ノ醋酸ソーダ」ヲ攪拌シツツ熱シテ白色粉末トナルニ  
至リ更ニ加熱シテ熔融セシメ温ニ乗シテ豫メ温メタル乾燥  
小壘中ニ容レ密栓シ貯フヘシ

Natrium bisulfurosum 重亜硫酸ソーダ  $NaHSO_3$

白色結晶性ノ粉末ニシテ亜硫酸ノ臭氣ヲ有ス

壘中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ

Natrium carbonicum siccum 乾燥炭酸ソーダ

正條ノ乾燥炭酸ソーダ」ヲ用フヘシ

Natrium chloratum 食塩

正條ノ食塩ヲ用フヘシ

Natrium chloratum purum 純食塩

正條ノ食塩ヲ水ニ飽和溶解シ濾過シ濾液ニ塩酸約二倍容量  
ヲ加ヘ析出セル結晶ヲ取り塩酸少量ヲ以テ洗滌シ重湯煎上

<p>ニ乾燥シタル後更ニ直火ヲ以テ弱ク熱灼シタルモノナリ        壺中ニ密閉シ貯フヘシ        Natrium nitro-ferricyanatum ニトロプルシッドソーダ  <math>\text{Na}_2\text{Fe}(\text{CN})_6 \cdot 2\text{H}_2\text{O}</math>        暗赤色透明ノ結晶ナリ        Natrium nitrosum 亜硝酸ソーダ <math>\text{NaNO}_2</math>        正條ノ亞硝酸ソーダヲ用フヘシ        Natrium sulfuricum 硫酸ソーダ        正條ノ芒硝ヲ用フヘシ        Natrium sulfuricum dehydratum 燒芒硝        乾燥硫酸ソーダヲ弱ク熱灼シタルモノナリ        壺中ニ密閉シ貯フヘシ        Natrium sulfurosum crystallatum 結晶亞硫酸ソーダ <math>\text{Na}_2\text{SO}_3 \cdot 7\text{H}_2\text{O}</math>        無色稜柱狀ノ結晶ナリ氣中ニ於テ風化ス        壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ        Natrium causticum 苛性ナトロン        正條ノ苛性ナトロンヲ用フヘシ        Oleum Terebinthinae テレピン油        正條ノ「テレピン油」ヲ用フヘシ        Pepsinum saccharatum 含糖ペプシン</p>	<p>正條ノ含糖ペプシン」ヲ用フヘシ        Phenylhydrazinum hydrochloricum 塩酸フェニルヒドラチン  <math>\text{C}_6\text{H}_5\text{NHNH}_2 \cdot \text{HCl}</math>        殆ト無色ノ光輝アル結晶ナリ        壺中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ貯フヘシ        Reagens Mayeri マイヘル試薬        正條ノ昇汞 <math>13.5\text{g}</math> 及ヨードカリ <math>49.81\text{g}</math> ヲ水ニ溶解シ        1/10トナシタルモノナリ        Reagens Neesleri ネスレル試薬        エードカリ <math>5\text{g}</math> ヲ熱湯 <math>5\text{cc}</math> ニ溶解シ之ニ正條ノ昇汞 <math>2.5\text{g}</math>        ヲ熱湯 <math>10\text{cc}</math> ニ溶解シタル液ヲ少量ツツ和シテ振盪シ茲ニ        生シタル沈澱ノ一部溶解セスシテ存スル程度ニ至リ冷後之        ニ苛性カリ <math>15\text{g}</math> 及水 <math>30\text{cc}</math> ヲ以テ製シタル溶液ヲ和シ水        ヲ加ヘテ <math>100\text{cc}</math> トナシ更ニ之ニ昇汞溶液 <math>0.5\text{cc}</math> ヲ加ヘテ        静置シタル後傾瀉シテ得タル澄明ノ液ナリ        褐色壺中ニ容レ密栓シ貯フヘシ        Resorcinum レゾルシン        正條ノ「レゾルシン」ヲ用フヘシ        Saccharum 白糖        正條ノ白糖ヲ用フヘシ        Saccharum Lactis 乳糖</p>
--	---

<p>正條ノ乳糖ヲ用フヘシ        Solutio Acidi chromici クロム酸溶液        正條ノ無水クロム酸三分ヲ水九十七分ニ溶解スヘシ        Solutio Acidi picrici ピクリン酸溶液        正條ノ「ピクリン酸」一分ヲ水九十九分ニ溶解スヘシ        Solutio Acidi sulfosmithii フクシン亞硫酸溶液        結晶フクシン」ノ粉末トナセルモノ約 <math>0.1\text{g}</math> ヲ重亞硫酸ソ        ーダ <math>0.7\text{g}</math> ト共ニ水 <math>88\text{cc}</math> ニ溶解シ一時間ノ後之ニ塩酸ニ        十五滴ヲ加ヘテ得タル無色或ハ微黄色ノ液ナリ        本液 <math>5\text{cc}</math> ヲ試験管ニ取り之ニ稀釋ホルマリン (<math>1+100000</math>)  <math>5\text{cc}</math> 及硫酸 <math>1\text{cc}</math> ヲ加ヘテ栓塞シ輕ク搖動シ一時間放置ス        ルニ紫紅色ヲ呈セサルヘカラス        壺中ニ容レ密栓シ光ヲ遮リ冷處ニ貯フヘシ        Solutio Acidi sulfurici 亞硫酸溶液        用ニ臨ミテ新タニ溶解セル結晶亞硫酸ソーダ」ノ溶液 (<math>1+9</math>)        ニ稀硫酸ヲ加ヘテ酸性トナシタルモノナリ        Solutio Acidi tannici タンニン酸溶液        用ニ臨ミテ正條ノ「タンニン酸」一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ        Solutio Acidi tartarici 酒石酸溶液        用ニ臨ミテ正條ノ酒石酸一分ヲ水四分ニ溶解スヘシ        Solutio Albuminis 蛋白溶液</p>	<p>用ニ臨ミテ卵白一分ヲ水九分ニ溶解シテ濾過スヘシ        Solutio Ammonii carbonici 炭酸アンモン溶液        正條ノ炭酸アンモン一分ヲ水三分及アンモニア水一分ノ混        液ニ溶解スヘシ        Solutio Ammonii chlorati 塩化アンモン溶液        正條ノ塩化アンモン一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ        Solutio Ammonii molybdenici モリブデン酸アンモン溶液        モリブデン酸アンモン <math>[(\text{NH}_4)_2\text{MoO}_4 \cdot 4\text{H}_2\text{O}]</math> <math>7.5\text{g}</math> 「ア        ンモニア水 <math>10\text{cc}</math> 及水 <math>40\text{cc}</math> ヲ和シ <math>50^\circ</math> ヲ超ヘサル温ヲ以        テ溶解シ冷後濾過セル液ヲ硝酸 (比重 <math>1.2</math>) <math>50\text{cc}</math> 中ニ攪拌        シツツ混和シ製スヘシ        Solutio Ammonii oxalici 蓆酸アンモン溶液        蓆酸アンモン <math>[(\text{NH}_4)_2\text{C}_2\text{O}_4 \cdot \text{H}_2\text{O}]</math> 一分ヲ水二十四分ニ溶解        スヘシ        Solutio Amyli 澱粉溶液        澱粉一分ニ水九十九分ヲ和シテ煮沸溶解シ濾過セル液ニ冷        後少許ノ赤色ヨード汞ヲ加ヘ製スヘシ本液 <math>3\text{cc}</math> 及水 <math>100</math>  <math>\text{cc}</math> ノ混液ハ十分定規ヨード液一滴ニ由テ藍色ヲ呈セサル        ヘカラス        Solutio Argentiniici 硝酸銀溶液        硝酸銀一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ</p>
--	--

Solutio Barii chlorati 塩化バリウム溶液  
 塩化バリウム (BaCl<sub>2</sub> + 2H<sub>2</sub>O) 一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Barii nitrici 硝酸バリウム溶液  
 硝酸バリウム [Ba(NO<sub>3</sub>)<sub>2</sub>] 一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Prom-jodi プロムヨード溶液  
 ヨード 13.2g ヲ氷醋酸 1 中ニ少シク温メテ溶解シ冷後  
 其 30cc ヲ取り十分定規チオ硫酸ソーダ液ヲ用ヒテ其效價  
 ヲ檢定シ溶液中ニ含有スル「ヨード量ニ對シ當量ノ比ニ」ブ  
 ロム」ヲ加ヘタルモノナリ

Solutio Calcariae chloratae 晒粉溶液  
 用ニ臨ミテ晒粉一分ニ水九分ヲ和シ研磨シ濾過スヘシ

Solutio Calcii chlorati 塩化カルシウム溶液  
 濃塩化カルシウム溶液一分ニ水四分ヲ混和スヘシ

Solutio Calcii chlorati concentrata 濃塩化カルシウム溶液  
 正條ノ塩化カルシウム液ヲ用フヘシ

Solutio Calcii sulfurici 硫酸カルシウム溶液  
 硫酸カルシウム (CaSO<sub>4</sub> + 2H<sub>2</sub>O) ノ飽和水溶液ナリ

Solutio Cupri acetici 醋酸銅溶液  
 用ニ臨ミテ醋酸銅 [(CH<sub>3</sub>COO)<sub>2</sub>Cu + H<sub>2</sub>O] 一分ヲ水十分ニ溶  
 解スヘシ

Solutio Cupri sulfurici 硫酸銅溶液  
 正條ノ硫酸銅一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Fehlingi フェーリング溶液  
 正條ノ硫酸銅 (99.315g) ヲ水ニ溶解シテ「トナシタルモ  
 ノ竝酒石酸カリソーダ 346g 及苛性ナトロン 100g ヲ水  
 ニ溶解シテ「トナシ石綿ヲ用ヒテ濾過シタルモノヲ各別  
 ニ貯藏シ用ニ臨ミテ其同容量ヲ混和スヘシ

Solutio Ferri sesquichlorati 塩化第二鉄溶液  
 正條ノ塩化第二鉄一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Ferri sesquichlorati diluta 稀塩化第二鉄溶液  
 正條ノ塩化第二鉄一分ヲ水百九十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Ferri sulfurici 硫酸鉄溶液  
 用ニ臨ミテ硫酸鉄一分ヲ水一分及稀硫酸一分ノ混液ニ溶解  
 スヘシ

Solutio Ferri sulfurici oxydati ammoniaci 鉄明礬溶液  
 用ニ臨ミテ鉄明礬 [(NH<sub>4</sub>)<sub>2</sub>Fe<sub>2</sub>(SO<sub>4</sub>)<sub>6</sub> + 24H<sub>2</sub>O] 一分ヲ水八  
 分及稀硫酸一分ノ混液ニ溶解スヘシ

Solutio Furfuruli フルフロール溶液  
 新タニ蒸溜セル「フルフロール (C<sub>4</sub>H<sub>2</sub>O•CHO) 二分ヲ「アル  
 コール九十八分ニ溶解スヘシ

Solutio Gelatinae ゼラチン溶液

用ニ臨ミテ正條ノ「ゼラチン一分ニ水九十九分ヲ和シ 30.  
 ~40° ノ温ヲ與ヘテ溶解シタル温溶液ヲ用フヘシ

Solutio Haematoylini くマトキシリン溶液  
 くマトキシリン 1g ヲ純アルコール 12cc ニ溶解シタルモ  
 ノト正條ノ明礬 20g ヲ温湯 200cc ニ溶解シ冷後濾過シタ  
 ルモノトヲ製シ二十四時間後兩液ヲ合シ廣口壺ニ容レ栓塞  
 セスシテ八日間放置シタル後濾過スヘシ

Solutio Hydrargyri bichlorati 昇汞溶液  
 正條ノ昇汞一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Hydrogenii peroxysati diluta 稀過酸化水素水  
 用ニ臨ミテ正條ノ過酸化水素水三容量ニ水九十七容量ヲ混  
 和スヘシ

Solutio Jodi ヨード溶液  
 十分定規液ヲ用フヘシ

Solutio Jodi benzinata ヨードベンジン溶液  
 ヨード 0.1g ヲ石油ベンジン 100cc ニ溶解シタルモノナリ

Solutio Kali acetici 醋酸カリ溶液  
 正條ノ醋酸カリ液ヲ用フヘシ

Solutio Kali bichromici 重クロム酸カリ溶液  
 重クロム酸カリ一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Kali bisulfurici 重硫酸カリ溶液

重硫酸カリ (KHSO<sub>4</sub>) 一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Kali carbonici 炭酸カリ溶液  
 正條ノ炭酸カリ十一分ヲ水二十分ニ溶解シタルモノニシテ  
 比重 1.330~1.334 ナリ

Solutio Kali chromici クロム酸カリ溶液  
 クロム酸カリ (K<sub>2</sub>CrO<sub>4</sub>) 一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Kali ferricyanati 赤血塩溶液  
 用ニ臨ミテ水ヲ以テ洗滌セル赤血塩 [K<sub>3</sub>Fe(CN)<sub>6</sub>] 一分ヲ水  
 十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Kali ferrocyanati 黄血塩溶液  
 黄血塩 [K<sub>4</sub>Fe(CN)<sub>6</sub> + 3H<sub>2</sub>O] 一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Kali jodati ヨードカリ溶液  
 用ニ臨ミテ「ヨードカリ一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Kali permanganici 過マンガン酸カリ溶液  
 正條ノ過マンガン酸カリ一分ヲ水十分ニ溶解スヘシ

Solutio Kali sulfocyanati ロダンカリ溶液  
 ロダンカリ (KCNS) 一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Laccae masticae リトマス溶液  
 リトマス」ヲ粉末トナシ熱湯ヲ以テ數回浸出シ濾過シテ得  
 タル液ニ醋酸ヲ加ヘ微ニ酸性ヲ呈スルニ至リ重湯煎上ニ蒸  
 發シ稠厚エキス」トナシ之ニ「アルコール」ヲ注キ研磨シ大

ナル塚中ニ移シ更ニ「アルコール多量ヲ加ヘ數時間放置シタル後濾過シ濾紙上ノ沈澱ヲ數回アルコール」ヲ以テ洗滌シ微温ニ於テ乾燥シ其一分ヲ水十分ニ溶解シ濾過シテ得タル液ヲ煮沸シツツ之ニ硫酸性水(水 100 cc ニ稀硫酸一滴ヲ加ヘタルモノ)ヲ滴加シ製スヘシ

本液ハ其一分ヲ取り水約百分ヲ加ヘ稀釋スルニ紫藍色ヲ呈セサルヘカラス

塚中ニ容レ綿栓ヲ施シ貯フヘシ

Solutio Magnesi sulfurici 硫酸マグネシア溶液

正條ノ硫酸マグネシア一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Methylis aurantii メチルオレンジ溶液

ヂメチルアミノアゾベンゾールスルホン酸ソーダ [14] ( $\text{CH}_2)_2\text{N}_2\text{C}_6\text{H}_4\text{N}_2\text{N}_2\text{C}_6\text{H}_4\text{SO}_2\text{Na}$  [14]) 〇・五分ヲ水十分ニ溶解スヘシ

本液二滴ヲ水 100 cc ニ和シタルモノハ二分定規塩酸一滴ニ由テ紅色ヲ呈シ之ニ二分定規カリ液一滴ヲ添加スルニ其紅色褪消セサルヘカラス

Solutio Methylis rubri メチルロート溶液

ヂメチルアミノアゾベンゾールカルボン酸 [14] ( $\text{CH}_2)_2\text{N}_2\text{C}_6\text{H}_4\text{N}_2\text{N}_2\text{C}_6\text{H}_4\text{CO}_2\text{H}$  [12]) 〇・二分ヲ稀アルコール百分ニ溶解スヘシ

Solutio Natrii aceticus 醋酸ソーダ溶液

正條ノ醋酸ソーダ一分ヲ水四分ニ溶解スヘシ

Solutio Natrii bicarbonici 重碳酸ソーダ溶液

用ニ臨ミテ正條ノ重碳酸ソーダ」ノ粉末一分ヲ輕ク搖動シツツ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Natrii bisulfurici 重亞硫酸ソーダ溶液

純重亞硫酸ソーダ ( $\text{NaHSO}_3$ ) 約 30 g ヲ含ムモノナリ

Solutio Natrii carbonici 炭酸ソーダ溶液

正條ノ炭酸ソーダ一分ヲ水四分ニ溶解スヘシ

Solutio Natrii chlorati 食塩溶液

食塩一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Natrii hypochlorosi 次亞塩素酸ソーダ溶液

晒粉二分ヲ水十五分ト共ニ研和シ之ニ正條ノ炭酸ソーダ三分ヲ水五分ニ溶解シタルモノヲ攪拌シツツ混和シ濾過シテ製スヘシ

本液ハ殆ト無色又ハ微ニ類黄色ヲ帶フル澄明ノ液ナリ

本液 2 g ヲ水 10 cc ニテ稀釋シ「ヨードカリ 0.5 g 及塩酸 2 cc ヲ和シタルモノヲ脱色スルニ至ルニハ十分定規チオ硫酸ソーダ液少クモ 14 cc ヲ費ササルヘカラス(標示薬澱粉溶液)」

用ニ臨ミテ製スヘシ

Solutio Natrii nitrosi 亞硝酸ソーダ溶液

用ニ臨ミテ亞硝酸ソーダ一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Natrii phosphorici 燐酸ソーダ溶液

正條ノ燐酸ソーダ一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Natrii sulfurati 硫化ソーダ溶液

結晶硫化ソーダ ( $\text{Na}_2\text{S} + 9\text{H}_2\text{O}$ ) 5 g ヲ水 10 cc 及グリセリン 30 cc ノ混液ニ溶解スヘシ此溶液ハ塚中ニ容レ密栓シ二三日間放置シタル後必要アラハ水ヲ以テ濡ホシタル脱脂綿ヲ用ヒテ濾過シ小滴塚中ニ貯フヘシ

本液三滴ヲ水 5 cc 及醋酸三滴ノ混液ニ和スルニ十分以内ニ變化スヘカラス

本液ニ由テ重金属ノ試験ヲ行フニハ特別ノ規定アルモノノ他ハ本液ヲ滴加シテ半分以内ニ觀察スヘシ

Solutio Natrii sulfurosi 亞硫酸ソーダ溶液

用ニ臨ミテ結晶亞硫酸ソーダ ( $\text{Na}_2\text{SO}_3 + 7\text{H}_2\text{O}$ ) 一分ヲ水九分ニ溶解スヘシ

Solutio Natrii thio sulfurici チオ硫酸ソーダ溶液

十分定規液ヲ用フヘシ

Solutio Phenoli 石炭酸溶液

用ニ臨ミテ正條ノ石炭酸一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Phenolphthaleini フェノールフタレイン溶液

正條ノ「フェノールフタレイン」一分ヲ稀アルコール九十分ニ溶解セル無色ノ液ナリ

Solutio Platini chlorati 塩化白金溶液

塩化白金水素酸 ( $\text{H}_2\text{PtCl}_6 + 6\text{H}_2\text{O}$ ) 一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Plumbi aceticus 醋酸鉛溶液

正條ノ醋酸鉛一分ヲ水十九分ニ溶解スヘシ

Solutio Pyrogalloli ピロガロール溶液

用ニ臨ミテ正條ノ「ピロガロール」ノ溶液 (2.5 + 7.5) 10 g ヲ苛性カリ溶液 (60 + 40) 100 g ニ混和スヘシ

Solutio Resorcini hydrochlorica レゾルシン塩酸溶液

レゾルシン一分ヲ發煙塩酸九十分ニ溶解スヘシ

Solutio Stanni chlorati 塩化第一錫溶液

錫屑一分ヲ塚中ニ取り之ニ塩酸三分ヲ和シ重湯煎上ニ於テ熱シテ「ガス」ノ發生殆ト熄ミ其濾液ノ比重約 1.45 トナルニ至リ之ニ乾燥塩酸ガス」ヲ通シテ飽和セシムヘシ

Solutio Stibii trichlorati chloroformica 三塩化アンチモンクロホルム溶液

三塩化アンチモン ( $\text{SbCl}_3$ ) 三分ヲ「クロホルム」七分ニ溶解スヘシ

Solutio Zincis iodatis cum Amylo ヨード亜鉛澱粉溶液

定規液

溶性澱粉四分及正條ノ塩化亜鉛二十分ヲ熱湯百分ニ溶解セ  
ル殆ト澄明ノ溶液ニ豫メ亜鉛屑一分及水十分ニ「ヨード二  
分ヲ加ヘ濾過シテ得タル無色ノ液ヲ混和シ水ヲ以テ千分ト  
ナシ濾過シタルモノナリ

Spiritus cum Aethere エーテルアルコール

正條ノ「エーテル精ヲ用フヘシ

Stannum raspatum 錫屑

Tinctura Curcumae クルクマチンキ

クルクマ末十分ニ「アルコール七十五分ヲ加ヘ反復搖動シ  
ツツ微温ニ於テ二十四時間浸出シ濾過シタルモノナリ

Tragacantha pulverata トラガント細末

正條ノ「トラガント」ヲ細末トナシタルモノナリ

Zincum pulveratum 亜鉛末

Zincum purum 純亜鉛

砒素ヲ含有セサルモノナリ

Zincum raspatum 亜鉛屑

Solutiones volumetricae normales

定規液

Acidum hydrochloricum volumetricum nor-  
male

定規塩酸

「(中塩化水素(HCl=36.46) 36.46gヲ含有スル液ニシテ其  
10ccハ純重炭酸カリ(KHCO<sub>3</sub>=100.11) 1.001gノ水溶液ヲ  
中和スヘシ(標示薬メチルオレンジ溶液)  
本液 1ccハ

アンモニア	NH <sub>3</sub>	0.0170 g
グリセロ磷酸カルシウム	C <sub>3</sub> H <sub>5</sub> O <sub>6</sub> PCa	0.2101 g
水酸化カルシウム	Ca(OH) <sub>2</sub>	0.0370 g
苛性カリ	KOH	0.0561 g
酒石酸カリソーダ	KNaC <sub>4</sub> H <sub>4</sub> O <sub>6</sub> +4H <sub>2</sub> O	0.1411 g
重炭酸カリ	KHCO <sub>3</sub>	0.1001 g
炭酸カリ	K <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>	0.0691 g
酒石酸カリ	K <sub>2</sub> C <sub>4</sub> H <sub>4</sub> O <sub>6</sub> +3H <sub>2</sub> O	0.1176 g
炭酸リチウム	Li <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>	0.0369 g
炭酸ソーダ	Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub> +10H <sub>2</sub> O	0.1431 g
炭酸ソーダ	Na <sub>2</sub> CO <sub>3</sub>	0.0570 g
水酸化ナトリウム	NaOH	0.0400 g
酸化水銀	HgO	0.1083 g
シアン水銀	Hg(CN) <sub>2</sub>	0.1263 g
乳酸石灰	CaC <sub>4</sub> H <sub>4</sub> O <sub>6</sub>	0.1091 g
ニ適應ス		

Acidum hydrochloricum  
volumetricum seminormale

二分定規塩酸

「(中塩化水素 18.23gヲ含有スル液ニシテ其 10ccハ純重  
炭酸カリ 0.501gノ水溶液ヲ中和スヘシ(標示薬メチルオレンジ  
溶液)

本液 1ccハ

塩化カルシウム

CaCl<sub>2</sub> 0.02775 g

ニ適應ス

Acidum hydrochloricum  
volumetricum decinormale

十分定規塩酸

「(中塩化水素 3.616gヲ含有スル液ニシテ其 10ccハ純重  
炭酸カリ 0.100gノ水溶液ヲ中和スヘシ(標示薬メチルオレンジ  
溶液)

本液 1ccハ

キナアルカロイド

$\frac{C_{20}H_{21}N_3O_2 + C_{19}H_{21}N_2O}{2}$

0.03052 g

ヘメチン

C<sub>20</sub>H<sub>16</sub>N<sub>2</sub>O<sub>4</sub>

0.02402 g

定規液

石榴皮アルカロイド

$\frac{C_7H_{15}NO + C_9H_{11}NO}{2}$

0.01481 g

ヒドラスチン

C<sub>21</sub>H<sub>27</sub>NO<sub>6</sub>

0.03332 g

ヒヨスチアミン

C<sub>17</sub>H<sub>23</sub>NO<sub>2</sub>

0.02392 g

モルヒネ

C<sub>17</sub>H<sub>19</sub>NO<sub>2</sub>

0.02352 g

ホミカアルカロイド

$\frac{C_9H_9N_2O_2 + C_9H_9N_2O_4}{2}$

0.03342 g

ニ適應ス

Acidum hydrochloricum  
volumetricum centinormale

百分定規塩酸

「(中塩化水素 0.3646gヲ含有スル液ニシテ用ニ臨ミテ十分  
定規塩酸 100ccヲ水ヲ以テ 1ccニ稀釋スヘシ

Solutio Kali volumetrica normalis

定規カリ液

「(苛性カリ(KOH=56.11) 56.11gヲ含有スル液ニシテ其

定規液

10cc ハ定規塩酸 10cc ヲ中和スヘシ (標示薬メチルオレンヂ溶液)  
本液 1cc ハ

醋酸	C <sub>2</sub> H <sub>4</sub> O <sub>2</sub>	0.0600 g
塩化水素	HCl	0.0365 g
乳酸	C <sub>3</sub> H <sub>4</sub> O <sub>3</sub>	0.0900 g
硝酸	HNO <sub>3</sub>	0.0630 g
磷酸	H <sub>3</sub> PO <sub>4</sub>	0.0490 g
硫酸	H <sub>2</sub> SO <sub>4</sub>	0.0490 g
重石炭酸カリ	KC <sub>2</sub> H <sub>3</sub> O <sub>2</sub>	0.1881 g

ニ適應ス

Solutio Kali volumetrica seminormalis

二分定規カリ液

1ℓ 中苛性カリ 28.055 g ヲ含有スル液ニシテ其 10cc ハ二分定規塩酸 10cc ヲ中和スヘシ (標示薬メチルオレンヂ溶液)

Solutio Kali volumetrica decinormalis

十分定規カリ液

1ℓ 中苛性カリ 5.611 g ヲ含有スル液ニシテ其 10cc ハ十分定規塩酸 10cc ヲ中和スヘシ (標示薬フェニールフタレイン溶液)

本液 1cc ハ

カンフル酸 C<sub>10</sub>H<sub>6</sub>O<sub>4</sub> 0.01001 g  
トリクロル醋酸 C<sub>2</sub>HCl<sub>3</sub>O<sub>2</sub> 0.01634 g  
ニ適應ス

Solutio Kali spirituosae volumetrica seminormalis

アルコール性二分定規カリ液

1ℓ 中苛性カリ 28.055 g ヲ含有スル無色或ハ微ニ淡類黄色ノ「アルコール溶液ナリ」

用ニ臨ミテ測定スルニ其 10cc ハ二分定規塩酸 10cc ヲ中和スヘシ (標示薬フェニールフタレイン溶液)

Solutio Kali spirituosae volumetrica decinormalis

アルコール性十分定規カリ液

1ℓ 中苛性カリ 5.611 g ヲ含有スル無色或ハ微ニ淡類黄色ノ「アルコール溶液ナリ」

用ニ臨ミテ測定スルニ其 10cc ハ十分定規塩酸 10cc ヲ中和スヘシ (標示薬フェニールフタレイン溶液)

Solutio Ammonii sulfocyanici volumetrica decinormalis

十分定規ロダンアンモン液

十分定規ロダンアンモン液

1ℓ 中ロダンアンモン (NH<sub>4</sub>CNS = 76.11) 7.611 g ヲ含有スル液ニシテ十分定規硝酸銀液 10cc ニ硝酸 0.3cc 及鉄明礬溶液 0.5cc ヲ加ヘ之ニ本液ヲ適加シテ赤色ヲ呈スルニハ其 10cc ヲ費スヘシ  
本液 1cc ハ

銀

Ag 0.01079 g

ヨード鉄

FeI<sub>2</sub> 0.01549 g

水銀

Hg 0.01003 g

ヨード

I 0.01269 g

ニ適應ス

Solutio Argenti nitrici volumetrica decinormalis

十分定規硝酸銀液

1ℓ 中硝酸銀 (AgNO<sub>3</sub> = 169.89) 16.989 g ヲ含有スル液ニシテ十分定規食塩液 10cc ニ「クロム酸カリ溶液二滴ヲ加ヘ之ニ本液ヲ滴加シテ類赤色ヲ呈スルニハ其 10cc ヲ費スヘシ」  
本液 1cc ハ

硫シアンアリル

C<sub>12</sub>H<sub>4</sub>N<sub>4</sub>S 0.00496 g

ブロムアンモン

NH<sub>4</sub>Br 0.00980 g

ヨード鉄

FeI<sub>2</sub> 0.01549 g

シアン水素

HCN 0.00540 g

定規液

ブロムカリ KBr 0.0110 g  
ヨードカリ KI 0.0160 g  
ブロムナトリウム NaBr 0.01029 g  
ヨードナトリウム NaI 0.01499 g  
ニ適應ス

Solutio Jodi volumetrica decinormalis

十分定規ヨード液

1ℓ 中ヨードカリ 20 g ノ補助ニ由テ溶解シタル「ヨード」(J = 126.83) 12.683 g ヲ含有スル液ニシテ其 10cc ハ十分定規チオ硫酸ソーダ液 10cc ニ由テ脱色スヘシ (標示薬澱粉溶液)  
本液 1cc ハ

亞砒酸

As<sub>2</sub>O<sub>3</sub> 0.00495 g

鉄

Fe 0.00558 g

ホルムアルデヒド

CH<sub>2</sub>O 0.00150 g

サリチル酸水銀

HgC<sub>7</sub>H<sub>5</sub>O<sub>2</sub> 0.01683 g

吐酒石

C<sub>12</sub>H<sub>10</sub>O<sub>7</sub>SbK + 1/2H<sub>2</sub>O 0.01670 g

ニ適應ス

Solutio Kali permanganici volumetrica decinormalis

十分定規過マンガン酸カリ液

十分定規過マンガン酸カリ液

1/ 中過マンガン酸カリ ( $KMnO_4 = 153.03$ ) 3.16 g ヲ含有スル液ニシテ本液 10 cc ヲ水 100 cc ・稀硫酸 10 cc 及ヨードカリ溶液 5 cc ノ混液ニ加ヘ善ク攪拌シタルモノニ十分定規チオ硫酸ソーダ液ヲ滴加シ脱色スルニハ其 10 cc ヲ費スヘシ (標示薬澱粉溶液)

本液 1 cc  $\times$

亞硝酸ソーダ

$NaNO_2$

0.00345 g

ニ適應ス

Solutio Natrii chlorati

volumetrica decinormalis

十分定規食塩液

純食塩 ( $NaCl = 58.45$ ) 5.845 g ヲ水ニ溶解シ 1 l トナシ製ス

$\times$   $\times$

本液 1 cc  $\times$

硝酸銀

$AgNO_3$

0.01699 g

ニ適應ス

Solutio Natrii thiosulfurici

volumetrica decinormalis

十分定規チオ硫酸ソーダ液

1/ 中チオ硫酸ソーダ ( $Na_2S_2O_3 + 5H_2O = 248.19$ ) 24.819 g ヲ

含有スル液ニシテ純重クロム酸カリ ( $K_2Cr_2O_7$ ) ヲ水ニ溶解シ 500 cc トナシタル溶液 10 cc ニ「ヨードカリ溶液 5 cc ・水 5 cc 及塩酸 5 cc」ヲ加ヘ振盪シ三分間放置シタルモノニ本液ヲ滴加スルニ其 10 cc ヲ費スヘシ (標示薬澱粉溶液)

本液 1 cc  $\times$

塩素

Cl

0.003546 g

ニ適應ス

鉄

Fe

0.005584 g

ヨード

I

0.012693 g

ニ適應ス

Solutio Natrii arsenicosi

volumetrica vicinormalis

二十分定規亞砒酸ソーダ液

1/ 中亞砒酸 ( $As_2O_3 = 197.92$ ) 2.474 g ヲ含有スル液ニシテ亞砒酸 2.474 g 及苛性ソーダ 1.3 g ニ少許ノ水ヲ加ヘテ重湯煎上ニ加温溶解シ之ニ「フェニールフタレイン溶液四滴ヲ和シ稀硫酸ヲ滴加シテ其紅色消失スルニ至リ重炭酸ソーダ 20 g ヲ水 400 cc ニ溶解セルモノヲ加ヘ水ヲ以テ全容量ヲ 1 l トナシタルモノナリ本液 10 cc ハ澱粉溶液一二滴ヲ和シタル後十分定規ヨード液ヲ滴加シテ藍色ヲ呈スルニハ其 5 cc ヲ費ス

Solutio Kalii bromici  
volumetrica vicinormalis

二十分定規ブロム酸カリ液

1/ 中ブロム酸カリ ( $KBrO_3 = 167.0$ ) 1.392 g ヲ含有スル液ニシテ二十分定規亞砒酸ソーダ液 10 cc ・水 40 cc ・硫酸 10 cc 及メチルオレンジ溶液 0.1 cc ノ混液ヲ煮沸シ之ニ本液ヲ滴加シテ微ニ紅色ヲ止ムルニ至リ更ニ「メチルオレンジ溶液 0.1 cc」ヲ追加シ再ヒ煮沸シテ本液ヲ滴加シ其紅色消失スルニ至ルニハ其 10 cc ヲ費ス

本液 1 cc  $\times$

砒素

As

0.001874 g

ニ適應ス



1 (中過マンガン酸カリ (KMnO<sub>4</sub> = 153.03) 3.16 g ヲ含有スル液ニシテ本液 10 cc ヲ水 100 cc・稀硫酸 10 cc 及ヨードカリ溶液 5 cc ノ混液ニ加ヘ善ク攪拌シタルモノニ十分定規チオ硫酸ソーダ液ヲ滴加シ脱色スルニハ其 10 cc ヲ費スヘシ (標示薬澱粉溶液)

本液 1 cc ハ

亞硝酸ソーダ NaNO<sub>2</sub> 0.00345 g  
ニ適應ス

Solutio Natrii chlorati  
volumetrica decinormalis

十分定規食塩液

純食塩 (NaCl = 58.45) 5.845 g ヲ水ニ溶解シ 1 (トナシ製ス

クシ

本液 1 cc ハ

硝酸銀 AgNO<sub>3</sub> 0.01699 g  
ニ適應ス

Solutio Natrii thiosulfurici

volumetrica decinormalis

十分定規チオ硫酸ソーダ液

1 (中チオ硫酸ソーダ (Na<sub>2</sub>S<sub>2</sub>O<sub>5</sub> + 5H<sub>2</sub>O = 248.19) 24.819 g ヲ

含有スル液ニシテ純重クロム酸カリ (245) g ヲ水ニ溶解シ 500 cc トナシタル溶液 10 cc ニ「ヨードカリ溶液 5 cc・水 50 cc 及塩酸 5 cc」ヲ加ヘ振盪シ三分間放置シタルモノニ本液ヲ滴加スルニ其 10 cc ヲ費スヘシ (標示薬澱粉溶液)

本液 1 cc ハ

塩素 Cl 0.003546 g  
鉄 Fe 0.005584 g  
ヨード J 0.012693 g  
ニ適應ス

Solutio Natrii arsenicosi

volumetrica vicinormalis

二十分定規亞砷酸ソーダ液

1 (中亞砷酸 (As<sub>2</sub>O<sub>3</sub> = 197.92) 2.474 g ヲ含有スル液ニシテ亞砷酸 2.474 g 及苛性ソーダ 1.3 g ニ少許ノ水ヲ加ヘテ重湯煎上ニ加温溶解シ之ニ「フェノールフタレイン溶液四滴ヲ和シ稀硫酸ヲ滴加シテ其紅色消失スルニ至リ重炭酸ソーダ 20 g ヲ水 400 cc ニ溶解セルモノヲ加ヘ水ヲ以テ全容量ヲ 1 (トナシタルモノナリ本液 10 cc ハ澱粉溶液一二滴ヲ和シタル後十分定規ヨード液ヲ滴加シテ藍色ヲ呈スルニハ其 5 cc ヲ費ス

Solutio Kalii bromici

volumetrica vicinormalis

二十分定規ブロム酸カリ液

1 (中ブロム酸カリ (KBrO<sub>3</sub> = 167.0) 1.392 g ヲ含有スル液ニシテ二十分定規亞砷酸ソーダ液 10 cc・水 40 cc・硫酸 10 cc 及メチルオレンジ溶液 0.1 cc ノ混液ヲ煮沸シ之ニ本液ヲ滴加シテ微ニ紅色ヲ止ムルニ至リ更ニ「メチルオレンジ溶液 0.1 cc」ヲ追加シ再ヒ煮沸シテ本液ヲ滴加シ其紅色消失スルニ至ルニハ其 10 cc ヲ費スヘシ

本液 1 cc ハ

砒素 As 0.001874 g  
ニ適應ス

(第一表) 常備藥表

藥局ニ於テ常ニ貯藏スルヲ要スル藥品

アセトアニリド	硫酸アトロピン	麥角エキス	リンゲル液
硼酸	次硝酸蒼鉛	還元鉄	マグネシア
稀塩酸	次サリチル酸蒼鉛	デギタリス葉	硫酸マグネシア
サリチル酸	生石灰	センナ葉	ミグレニン
タンニン酸	カンフル	ウワウルシ葉	塩酸モルヒネ
酒石酸	エチル炭酸キニーネ	ホルマリソ	重炭酸ソーダ
アルコール	塩酸キニーネ	グリセリン	ブロムナトリウム
アミノピリン	抱水クロラール	炭酸グアヤコール	食塩
イヒチオールスルホン酸アン	塩酸コカイン	アラビアゴム	サリチル酸ソーダ
モ	安息香酸ソーダカフェイン	ヘキサメチレンテトラミン	カカオ脂
亞砒酸解毒劑	キノ皮	昇汞	肝油
アンチピリン	クレオソート	甘汞	オレフ油
アンモニア水	硫酸銅	ヨードホルム	ヒマシ油
杏仁水	塩酸チアセチルモルヒネ	重酒石酸カリ	白檀油
蒸溜水	ヂアスターゼ	ブロムカリ	胡麻油
石炭酸水	龍膽エキス	塩素酸カリ	阿片末
硝酸銀	ロートエキス	ヨードカリ	フェナセチン
アスピリン		塩化第二鉄液	石炭酸
		過酸化水素水	防疫用石炭酸
		醋酸カリ液	醋酸鉛
		亞砒酸カリ液	ドーフル散

亞鉛華

(第二表) 毒藥表

此種ノ藥品ハ猛烈ナル作用ヲ有シ所謂毒藥ニ屬ス黒地ニ白梓白字ヲ表ハセル藥名ヲ附シ他藥ト區別シ鎖鑰ヲ備ヘタル場所ニ藏メ最モ注意シテ貯フヘシ

龍膽	亞砒酸	硫酸亞鉛	亞砒酸カリ液
吐根	塩酸アポモルヒネ	オキシシアン水銀	塩酸モルヒネ
甘草	アルゼノベンゾール	黄降汞	ネオアルゼノベンゾール
大黃	アルゼノベンゾールナトリウム	赤降汞	強ネオアルゼノベンゾール
乳糖	硫酸アトロピン	サリチル酸水銀	巴豆油
人工カルルス塩	塩酸チアセチルモルヒネ		黄磷
サントニン	塩酸エメチン		塩酸ピロカルピン
ヂフテリア血清	サリチル酸エゼリン		亞砒酸丸
ヨード鉄シロップ	硫酸エゼリン		ブロム水素酸スコポラミン
シロップ	ブロム水素酸ホマトロピン		硝酸ストリキニーネ
ヨードチンキ	昇汞		昇汞錠
苦味チンキ	赤色ヨード汞		オキシシアン水銀錠
叶根チンキ			
阿片チンキ			
ストロファンツスチンキ			
ホミカチンキ			
吉草チンキ			
水銀軟膏			
單軟膏			
亞鉛華軟膏			
黄色ワセリン			

(第三表) 劇藥表

此種ノ藥品ハ劇藥ニ屬ス白地ニ赤梓赤字ヲ表ハセル藥名ヲ附シ他藥ト區別シ注意シテ貯フヘシ

アセトアニリド	硝酸
無水クロム酸	發煙硝酸
塩酸	ピクリン酸

硫酸 トリクロル醋酸 アミノ安息香酸エチル ブロムエチル クロルエチル 塩酸エチルモルヒネ アガリチン 阿片アルカロイド塩酸塩 アミノピリン 亞硝酸アミル アンチピリン サリチル酸アンチピリン 杏仁水 硝酸銀 硝酸銀加硝石 溶性硝酸銀 バルビタール 溶性バルビタール ブロムヂエチルアセチル尿素 ブロム ブロムワレリル尿素	海葱 ブロムカンフル カンタリス 四塩化炭素 修酸セリウム 抱水クロラール クロロホルム 麻醉用クロロホルム 塩酸コカイン 磷酸コデイン カフェイン 安息香酸ソーダカフェイン サリチル酸ソーダカフェイン カンタリスコロヂオン 塩化コタルニン クレオソート 銅礬 クエン酸銅 硫酸銅 ヂウレチン 塩酸エフエドリソ	印度大麻エキス 綿馬エキス ヒドラスチス流動エキス ヒヨスエキス 阿片エキス ロートエキス 麥角エキス 麥角流動エキス ホミカエキス ヂギタリス葉 ヒヨス葉 ロート葉 マンガラ葉 ホルマリソ 乾燥甲狀腺 グアヤコール 印度大麻草 甘朮 蒸氣製甘朮 黄色ヨード朮 オレイン酸水銀	白降朮 ヨードホルム ヨード 苛性カリ 塩素酸カリ ヨードカリ ラクチルフェネチヂン 塩酸エビレナミン液 カリ滴液 ルゴール液 次醋酸鉛液 塩酸ロベリン メチルスルホナール ミグレニン 鉛丹 亞硝酸ソーダ 苛性ナトロン ヘノボチ油 揮發芥子油 阿片末 フェナセチン
---	---	--	--

フェノバルビタール 溶性フェノバルビタール フェノールフタレイン 石炭酸 液状石炭酸 防疫用石炭酸 醋酸鉛 一酸化鉛 塩酸プロカイン ドーフル散 吐根 ヤラツパ脂 牽牛子脂 綿馬根 ロート根 サントニン 麥角 ストロファンツス子 ホミカ ヂフテリア血清 破傷風血清	ヨードチンキ 吐酒石 スルホナール 塩酸コカイン錠 甘朮錠 ヨードカリ錠 塩酸モルヒネ錠 阿片吐根錠 テオフィリン 印度大麻チンキ カンタリスチンキ ヂギタリスチンキ 吐根チンキ 阿片チンキ 阿片安息香チンキ ロートチンキ ストロファンツスチンキ ホミカチンキ 塩酸トロパコカイン ヤラツパ根 ツペルクリン	強發泡膏 塩化亞鉛 硫酸亞鉛 吉草酸亞鉛	<p>(第四表) 極量表</p> <p>大人ニ對スル藥品内服一回及一日ノ極量 醫師其極量ヲ超エテ處方スル場合ニハ處方 箋中藥品分量ノ下ニ注意標！ヲ附スヘシ</p>
藥品名	一回ノ極量 (g)	一日ノ極量 (g)	
アセトアニリド	0.3	1.0	
亞砒酸	0.005	0.015	
塩酸エチルモルヒネ	0.03	0.10	
アガリチン	0.1	0.10	
阿片アルカロイド塩酸塩	0.03	1.0	
アミノピリン	0.3	1.0	
亞硝酸アミル	0.2	0.5	
アンチピリン	1.0	3.0	
サリチル酸アンチピリン	1.0	3.0	
塩酸アポモルヒネ	0.02	3.0	
杏仁水	2.0	6.0	
硝酸銀	0.03	0.10	

硫酸アトロピン	0.001	0.003	ヒヨスエキス	0.1	0.3
バルビタール	0.5	1.0	阿片エキス	0.1	0.3
溶性バルビタール	0.5	1.0	ロートエキス	0.05	0.15
海葱	0.2	1.0	麥角エキス	0.3	1.0
ブロムカンフル	0.3	1.0	麥角流動エキス	1.0	5.0
カンタリス	0.03	0.10	ホミカエキス	0.05	0.10
四塩化炭素	4.0 (g/cc)		デギタリス葉	0.2	1.0
蓼酸セリウム	0.3	1.0	ヒヨス葉	0.3	1.0
抱水クロラル	2.0	6.0	ロート葉	0.15	0.50
塩酸コカイン	0.05	0.15	マンダラ葉	0.2	0.6
磷酸コデイン	0.1	0.3	乾燥甲狀腺	0.3	0.6
クレオソート	0.5	1.5	グアヤコール	0.3	1.0
硫酸銅	1.0		ブロム水素酸ホマトロピン	0.001	0.003
塩酸ジアセチルモルヒネ	0.005	0.015	昇汞	0.02	0.06
ヂウレチン	1.0	3.0	赤色ヨード汞	0.02	0.06
塩酸エメチン	0.05		甘汞	0.1	
塩酸エフェドリン	0.05 (F.T.H.M.)	0.15	蒸氣製甘汞	0.1 (F.T.H.M.)	
サリチル酸エゼリン	0.001	0.003	黄色ヨード汞	0.02 (F.T.H.M.)	0.06
硫酸エゼリン	0.001	0.003	オキシシアン水銀	0.01	0.03
印度大麻エキス	0.05	0.15	サリチル酸水銀	0.02	0.06
綿馬エキス		10.0			

ヨードホルム	0.2	0.6	牽牛子脂	0.5	1.5
ラクチルフェネチン	0.7	2.0	ロート根	0.1	0.3
塩酸エビレナミン液	1.0 (F.T.H.M.)	1.5	サントニン	0.1	0.3
亞砒酸カリ液	0.5 (F.T.H.M.)	0.10	ブロム水素酸スコボラミン	0.0005	0.0015
塩酸ロベリン	0.02	0.10	麥角	1.0	5.0
メチルスルホナル	1.0	2.0	ホミカ	0.1	0.2
ミグレニン	1.0	3.0	ヨードチンキ	0.2	0.6
塩酸モルヒネ	0.03	0.10	吐酒石	0.1	0.3
亞硝酸ソーダ	0.3	1.0	硝酸ストリキニーネ	0.005	0.010
ヘノボチ油		1.0	スルホナル	1.0	2.0
巴豆油	0.05	0.15	テオフィリン	0.5	1.5
阿片末	0.15	0.50	印度大麻チンキ	1.0	3.0
フェナセチン	1.0	3.0	カンタリスチンキ	0.2	0.6
フェノバルビタール	0.25	0.50	デギタリスチンキ	1.5	5.0
溶性フェノバルビタール	0.25	0.50	阿片チンキ	1.5	5.0
石炭酸	0.1	0.3	ロートチンキ	1.0	3.0
黄燐	0.001	0.003	ストロファンツスチンキ	0.5	1.5
塩酸ピロカルピン	0.02	0.04	ホミカチンキ	1.0	2.0
醋酸鉛	0.1	0.3	塩酸トロパコカイン	0.1	0.3
ドーフル散	1.0	3.0	硫酸亜鉛	1.0	
ヤラップ脂	0.5	1.5			

(第五表) 重要ナル元素ノ記號及原子量表  
千九百二十九年萬國原子量表ニ據ル

原 素	名	記 號	原 子 量				
Aluminium	アルミニウム	Al	26.97	Jodum	ヨード	J	126.93
Argentum	銀	Ag	107.880	Kalium	カリウム	K	39.104
Arsenicum	砒素	As	74.96	Lithium	リチウム	Li	6.940
Barium	バリウム	Ba	137.36	Nagesium	マグネシウム	Mg	24.32
Bismutum	蒼鉛	Bi	209.00	Manganum	マンガン	Mn	54.93
Borun	硼素	B	10.82	Natrium	ナトリウム	Na	22.997
Bromum	ブロム	Br	79.916	Nitrogenium	窒素	N	14.008
Calcium	カルシウム	Ca	40.07	Oxygenium	酸素	O	16.000
Carbonium	炭素	C	12.000	Phosphorus	磷	P	31.02
Cerium	セリウム	Ce	140.13	Plumbum	鉛	Pb	207.21
Chlorum	塩素	Cl	35.457	Stannum	錫	Sn	118.70
Chromium	クロム	Cr	52.01	Sibium	アンチモン	Sb	121.76
Cuprum	銅	Cu	63.57	Sulfur	硫黄	S	32.03
Ferum	鉄	Fe	55.84	Zincum	亜鉛	Zn	65.38
Hydargyrum	水銀	Hg	200.61				
Hydrogenium	水素	H	1.0078				

内務省衛生局 日本藥局方調査會 囑託 鏑木靜夫編纂

日本藥局方藥品應用一覽

# 目次

一 凡例 ..... 自二

一 日本薬局方藥品 (區別、別名、應用、常用量、極量、貯藏法) 應用一覽 ..... 自六一

一 附 表 ..... 自六九

朝陽會長 杉 精 三



## 凡例

### 第五改正 日本薬局方藥品應用一覽

本表ハ第五改正日本薬局方藥品ニ就テ、毒劇藥ノ區別ヨリ起シ、法定藥品名及ビ別名ヲ掲ゲ。之ニ次デ應用欄ニ其ノ藥品ノ生理作用ニヨル分類或ハ適應症等ヲ示シ、常用量欄ニハ普通用ヒラルル使用量(藥品ニヨリ簡易用法ヲ記ス)ヲ擧ゲ。極量欄ニハ第五改正日本薬局方規定ノ極量ヲ記入シ。貯藏欄ニハ第五改正日本薬局方所定ノ貯藏法等ヲ參考資料トシテ、閱覽上ノ便ニ供スル爲メ第五改正日本薬局方藥品名ヲ五十音順ニ併列シテ一覽表ニ編成シタルモノナリ。

**A 區別** 欄中ノ×印ハ特ニ第五改正日本薬局方ニ新タニ收載セラレタル藥品ヲ示シ、藥局方第一表藥局ニ常備ヲ要スル藥品ニハ○印ヲ附シ、毒藥ニハ毒ノ一字ヲ記シ、劇藥ニハ劇ノ一字ヲ記シ、何等記載ナキ藥品ハ毒劇藥ニ非ル藥品ナリ。

**B 藥品名** 欄中ノ藥品名及別名ハ第五改正日本薬局方ノ法定藥品名ヲ五十音順ニ排列セリ。但シ藥局方ニ收載セラレタル製劑ノ意義即チ「エキス」劑、丸劑、硬膏劑、坐劑、擦劑、散劑、涎劑、酒精劑、酒劑、錠劑、シロップ劑、浸劑、煎劑、茶劑、チンキ劑、軟膏劑、乳劑、バスタ劑、粉末藥、飽和劑、油糖劑、流動エキス劑等ハ省略ス。

**C 別名** 欄中ニハ日本薬局方法定藥品名ノ別名ヲ掲グ。

**D 應用** 欄中ニハ藥効ニヨル分類或ハ主タル適應症等ヲ舉ゲ、内外用ニ區別シ内用ニハ(内用)、外用ニハ(外用)ト示シ。範圍ハ醫療用ニ止メ、醫藥用以外ノ用途即チ工業用ノ方面ニ及ブモノハ之レガ記入ヲ除外ス。

**E 常用量** 欄中ニハ應用欄中ノ下ニ(内用)ニハ内用ノ分量ヲ、(外用)ニハ外用ノ分量ヲ記シ、——ハ乃至ノ記號ニシテ、一日何回何々量トアルハ一日三回若ハ數回分ヲ示シ。其ノ下ニ記入セル分量ハ一日分ノ大人グラム量ニシテ、特ニ一回量又ハ小兒量トアルハ其ノ「グラム」量ヲ示シタルモノナリ。

小兒量ハ年齢ニ應ジテ用フベキコト勿論ナリ。其他(内用)分量ノ傍ニ附記セル括弧内ノ水、散、丸劑等トアルハ調劑ニ使用スル場合ノ應用ヲ示シタルモノニシテ、(外用)分量ノ傍ニ附記セル擦、軟膏料等トアルハ外用ノ應用法ヲ示シタルモノニシテ、概シテ其ノ要旨ニ止メタリ。

**F 極量** 欄中ノ分量ハ第五改正日本藥局方第四表極量表ニ就キ毒藥、劇藥一回或ハ一日ノ極量ニ就キ其ノ「グラム」量若ハ立方センチメートル數ヲ示シタルモノナリ(例之ハ一回〇・一トアルハ一回分ノ極量〇・一「グラム」ニシテ一「デシグラム」ノ意ナリ)。

**G 貯藏法** 欄中ノ貯藏法ハ第五改正日本藥局方ノ所定ニ據リタルモノヲ示シ、毒藥ハ「最。注。意。シ。テ。貯。フ。ヘ。シ。」トアルヲ「最。注。意。シ。テ。貯。フ。ヘ。シ。」トアルヲ「注意」ト略記セリ、「密閉或ハ密栓シテ貯フヘシ」トアルヲ「密閉」或ハ「密栓」ト略記シ、「光ヲ遮リ貯フヘシ」トアルヲ「遮光」ト略記ス。

**第五改正日本藥局方藥品(區別、別名、應用、極量、貯藏法)應用一覽**

【ア】

區別	藥品名	別名	應用	常用量	極量	貯藏法
○	亞鉛華	酸化亞鉛	小兒テタニ(内用)創面、潰瘍、表皮剝離、濕疹、糜爛(外用)濕疹、痒疹、火傷(外用)	一日三回〇・〇三—〇・一劑、塗擦料		
×	亞鉛華オレフ油		濕疹、創傷(外用)	患部へ貼用		
	亞鉛華ゴム絆創膏		濕疹、糜爛、汗疹等(外用)	撒布料		
	亞鉛華澱粉		濕疹、糜爛、潰瘍、擦傷等(外用)	塗布料		
○	亞鉛華軟膏		濕疹、糜爛、潰瘍、擦傷等(外用)	塗布料		
劇	アガリチン		制汗(内用)	一回〇・〇〇五—〇・一(散丸劑)	一回〇・一	注。意。

ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
アギチンキ	ア硝酸アミル	アセトアニリド	アセトニリン	アセチルサリチル酸	アセチルサリチル酸	アセチルサリチル酸	アセチルサリチル酸	アセチルサリチル酸	アセチルサリチル酸
・		アンチフェブリン		サリチル酸錠	サリチル酸錠				
神経強壯藥、ヒステリー、痙攣(内用)	偏頭痛、癲癇、狭心症、喘息(外用)	解熱、ロイマチス藥(内用)	解熱、鎮痛藥(内用)	解熱、鎮痛藥(内用)	解熱、鎮痛藥(内用)	解熱、鎮痛藥(内用)	解熱、鎮痛藥(内用)	解熱、鎮痛藥(内用)	解熱、鎮痛藥(内用)
一日數回〇・二―一〇(丸、乳劑)	一日數回一〇―一三(單用又ハ他藥ニ配伍)	一日三回一回〇・五	一回一―二個	一日三回〇・二―一〇(散、錠劑)	一日三回〇・二―一〇(散、錠劑)	一日三回一回〇・五	一回一―二個	一日三回一回〇・五	一日三回一回〇・五
〇・二―一〇	〇・二―一〇	〇・五	〇・二	〇・二	〇・二	〇・五	〇・二	〇・五	〇・五
壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓

ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア	ア
アニス實	ア砒酸	ア砒酸カリ液	ア砒酸解毒劑	ア砒酸カリ液	ア砒酸カリ液	ア砒酸カリ液	ア砒酸カリ液	ア砒酸カリ液	ア砒酸カリ液
		ホ		ホ					
興奮、驅風、祛痰、矯臭、矯味藥(内用)	皮膚病、神經病諸症、結核、惡性マラリア(内用)	變質強壯藥(内用)	急性砒素中毒(内用)	變質強壯藥(内用)	變質強壯藥(内用)	變質強壯藥(内用)	變質強壯藥(内用)	變質強壯藥(内用)	變質強壯藥(内用)
一日數回〇・五―二(散、浸煎劑)	一日三回一回〇・〇	一日三回一回〇・〇	一日三回一回〇・〇	一日三回一回〇・〇	一日三回一回〇・〇	一日三回一回〇・〇	一日三回一回〇・〇	一日三回一回〇・〇	一日三回一回〇・〇
〇・五	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇	〇・〇
金屬性容器中ニ壓縮充填、冷處	最。注。意。	最。注。意。	最。注。意。	最。注。意。	最。注。意。	最。注。意。	最。注。意。	最。注。意。	最。注。意。





○	アンモニア水	神經痛、ロイマチス打撲症、捻坐(外用)	塗布料、其他毒虫ノ螫傷ニ貼用	○・一〇・五ヲ水ニ和シテ塗布用	壇中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉冷處
---	--------	---------------------	----------------	-----------------	-----------------

【イ】

劇	イチゴシロップ	着色矯味藥(内用)	酸性水劑又ハ「リモナーデ」ニ配伍シ飲用	注。	意。
劇	一酸化鉛密陀僧	鉛醋、單鉛硬膏製造用	五―一〇―二〇軟膏(塗布料、坐劑) 一―三%液尿道注入料	注。	意。
○	イヒチオールスルホン酸アンモン	鎮痛、消炎、防腐藥(外用)	一日〇・〇三―〇・一〇%擦劑又ハ軟膏料	注。	意。
×	イヒチオールスルホン酸アンモン軟膏	同(外用)	一日〇・二―一・五	注。	意。
劇	イリス根	芳香性矯臭藥	一日數回五―二〇滴單用又ハ白糖ニ混和	注。	意。
劇	印度大麻エキス	催眠、鎮痛、鎮痙藥	一日〇・〇三―〇・一〇%擦劑又ハ軟膏料	注。	意。
劇	印度大麻草	催眠、鎮痛藥(内用)	一日〇・二―一・五	注。	意。
劇	印度大麻チンキ	催眠、鎮痛、鎮痙藥(内用)	一日數回五―二〇滴單用又ハ白糖ニ混和	注。	意。

【ウ】

○	茵香	健胃、驅風、祛痰藥	五・〇―一〇・〇ヲ一テ用フ	壇中ニ容レ密栓
○	茵香水	祛痰合劑(内用)	點眼料ニ配伍シテ用フ	
○	茵香精	健胃、驅風、祛痰藥	一日一〇―三〇他ノ水劑ニ配伍シテ用フ	
○	茵香油	健胃、驅風、祛痰藥	一回一―三滴	
○	ウイキンソン軟膏	慢性、寄生性皮膚疾患(外用)	塗布料	
○	ウイルソン軟膏	皮膚疾患、潰瘍、糜爛(外用)	塗布料	
○	ウワウルシ葉	尿防腐藥(内用)	一日數回一〇%(煎劑)	

【エ】

○	液狀石炭酸	石炭酸ト同様	本品十一分ハ石炭酸十分ニ該當	遮光、注。
○	エチル炭酸キニーネ	強解熱藥、百日咳藥(内用)	一回〇・五―一・〇マラリアニハ一日一〇・二―二〇ニ一日三回〇・一―二〇	

×劇	×	劇	劇	劇	毒	劇	○	○
塩化コタルニン	塩化カルシウム液	塩化カルシウム	塩化アンモン	塩化カリ	塩化第二鉄液	塩化アポモルヒネ	塩化第二鉄液	塩化第二鉄
			礫	砂			過クロル鉄液	過クロル鉄
子宮出血、月經過多 (内用) (外用)	咯血、痙攣性疾患、 止血薬	消炎、止血薬(内用)	變質、利尿薬(内用)	祛痰薬(外用)	腐蝕薬、收斂性 防腐殺菌薬(外用)	興奮(虚脱) 神經鎮静薬(内用)	興奮薬(外用)	麻酔、興奮薬(内用)
一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)	一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)	一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)	一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)	一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)	一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)	一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)	一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)	一日一回〇・一〇〇・三 〇(水劑)
壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。

○	×	毒	×劇	×劇	劇	毒	劇	○
塩酸キニーネ	塩酸加石炭酸水	塩酸エメチン	塩酸エフェドリン	塩酸エビレナミン液	塩酸エチルモルヒネ	塩酸アポモルヒネ	塩酸	塩化第二鉄液
				塩酸オルトチオキシ フェニルエタノール メチルアミン液				過クロル鉄液
強壯薬(内用)	マラリア薬(内用)	結核豫防用	喘息(内用)	成分應用範圍ノ諸 症ニ用フ	眼科、婦人科、泌尿器 科、齒科等一般副腎	鎮痛、鎮静薬(外用)	祛痰薬(内用)	止血薬(外用)
一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五	一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五	一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五	一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五	一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五	一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五	一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五	一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五	一日一回〇・一〇〇・三 〇(豫防)一日五 數回〇・三〇〇・五
壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。	壺中ニ容レ密栓 注。意。



○	劇	×毒	×毒	毒	○	劇	
オ レ フ 油	オ レ イ ン 酸 水 銀 油	オ レ イ ン 酸	オ キ ン シ ア ン 水 銀 錠 (一錠中主藥○・五)	黄 連 エ キ ス	黄 連	黄 色 ワ セ リ ン	黄 蜀 葵 シ ロ ッ ブ 黄 蜀 葵 舍 利 別
	油				燐		
	酸						
	汞						
灌腸料製造用	乳劑、膏劑、塗擦劑	微毒、皮膚病、腺病(外用)	驅 微 藥	微毒	苦味健胃藥(內用)	軟膏基礎藥	腸カタル、氣管支カタル(內用)
	オレイン酸水銀製造用				苦味健胃藥(內用)	骨質諸症、佝僂病	毒(內用) 毒(外用)
					一日三回○・五(浸煎劑)	一回○・〇〇〇五(丸、乳劑)	一日五・〇〇一(水劑ニ配伍)
					一日數回○・三—○・六(散、丸劑)	一回○・〇〇〇二	一日二—三回○・〇二— 一〇・〇三(散、丸劑) 二—一〇%軟膏
					微毒一%液○・五—一cc 注射	一回 〇〇〇三	一回 〇〇〇二
					二—五倍ノ脂肪ヲ加ヘテ軟膏料		一回 〇〇〇六
							遮光、注意。
							水ヲ滿セル壺中ニ沈メ硝子栓ヲ以テ密閉、鐵葉器中ニ納メ、最注、意。
							遮光、最注、意。
							壺中ニ容レ密栓遮光、最注、意。
							壺中ニ容レ密栓遮光、注意。

【カ】

○	○	劇					
莪 朮	過 酸 化 水 素 水	カ カ オ 脂	海 葱	海 人 草	芥 子 精	芥 子	オ レ ン ジ 油
							遠 志 シ ロ ッ ブ
							遠 志 舍 利 別
							祛 痰 藥(內用)
							祛 痰 藥(內用)
							矯 臭、矯 味 藥
							皮膚引赤藥(外用) 揮發芥子油製造用
							皮膚引赤藥(外用) 皮膚引赤藥(外用)
							蛔虫驅除藥(內用)
							利尿、祛痰藥(內用)
							肛門、尿道、膣、坐 劑、乳劑製造基礎藥
							殺菌消毒藥(外用)
							芳香性健胃藥(內用)
							芥子泥トシテ用フ
							二〇—三〇滴ヲ濾紙 ニ濡シ局部ニ貼用
							一日一〇—二〇—四 〇(煎劑)
							一日三回○・〇二— 〇・二(丸、浸、煎劑)
							一回 一〇・二
							壺中ニ容レ密栓
							密閉、注、意。
							密閉、遮光、冷處
							壺中ニ容レ密栓 冷、暗處



×劇	乾燥炭酸ソーダ	乾燥硫酸ソーダ	乾燥硫酸亞酸化鉄	劇	カンタリスチンキ	劇	コロンチオリス	劇	カンタリス	寒天	含糖炭酸鉄	含糖ベプシン	含糖ヨーロド鉄					
	パセドウ氏病、粘液水腫 (内用)	制酸變質藥 (内用) 炭酸ソーダ (外用) 人工カルルス塩製造用	ロカイ鉄丸製造用	皮膚刺戟藥 (外用) 硬膏、發泡膏、チンキ製造用	發泡用 (外用)	禿頭病 (外用)	粘滑性包攝藥 其他細菌培養基製造用	貧血、萎黃病 (内用)	消化不良、消化機能衰弱症 (内用)	補血、腺病、貧血症 (内用)	強心、興奮藥 (内用) 急性虚脱、場合ロイマチス、神經痛 (外用)	興奮藥、ロイマチス、神經痛、凍瘡 (外用) 制汗藥 (内用) 喉頭氣管支炎 (外用) 咽喉カタル (外用)	ロイマチス、神經痛 凍瘡、捻挫 (外用) ロイマチス、神經痛、打撲、凍傷、靴傷 (外用)	乳劑製造用	滋養強壯藥 (内用)	滋養強壯藥 (内用)	滋養強壯藥 (内用)	
	一日三回、一回〇〇・五	一日三回〇・二〇、平一〇〇・五%含嗽、吸入、洗浣料		患部ニ貼用	一日二―五滴塗布料	一日三回〇・二―〇・五 (散、丸)	一日三回〇・五―一 (水、散、丸劑)	一日三回〇・二―一 (散、丸劑)	一日三回〇・二―一 (散、丸劑)	一日一回〇・二―〇・六	一日一回〇・二―〇・六	一日一回〇・二―〇・六	一日一回〇・二―〇・六	一日一回〇・二―〇・六	一日一回〇・二―〇・六	一日一回〇・二―〇・六	一日一回〇・二―〇・六	一日一回〇・二―〇・六
	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓

【キ】

稀アルコール	肝油乳劑	肝油	甘扁桃	カンフル軟膏	カンフル精	カンフル酸樟腦	カンフルオレフ油	○	○
エキス、チンキ劑	滋養強壯藥 (内用)	滋養強壯藥 (内用)	乳劑製造用	打撲、凍傷、靴傷 (外用)	凍瘡、捻挫 (外用)	ロイマチス、神經痛	喉頭氣管支炎 (外用)	咽喉カタル (外用)	強心、興奮藥 (内用) 急性虚脱、場合ロイマチス、神經痛 (外用)
	一日一―三食匙	一日一―三食匙	塗	塗	塗	塗	塗	塗	一日一回〇・二―〇・六
	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓	壺中ニ容レ密栓





劇	強發泡膏	引赤性誘導藥(外用)	患部ニ貼用	注。意。
	稀ヨードチンキ	「ヨードチンキ」ト同様	五―一五滴ヲ糖水一〇〇ニ和シ「リモナイデ」トシテ用フ	壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉
	稀硫酸	清涼止渴藥(内用)		壺中ニ容レ硝子栓ヲ以テ密閉

【ケ】

劇	グアヤク脂	微毒、痛風(内用)	一日〇・三―一・〇(散、丸劑)	壺中ニ容レ密栓
	グアヤクチンキ	瘰癧木チンキ	一日數回〇・一〇滴	壺中ニ容レ密栓
	グアヤコール	同	一日三回〇・一〇	壺中ニ容レ密栓
	グアヤコール	肺結核、腺病(内用)	〇・五ヲ糖水一〇〇ニ和シ「リモナイデ」トナシテ用フ	壺中ニ容レ密栓
	スルホン酸カリ	鎮痛藥(外用)	一日三回〇・一〇	壺中ニ容レ密栓
	クエン酸	清涼止渴藥(内用)	一日三回〇・一〇	壺中ニ容レ密栓
	クエン酸鉄	補血藥(内用)	一日三回〇・一〇	壺中ニ容レ密栓
	クエン酸鉄アンモン	補血藥(内用)	一日三回〇・一〇	壺中ニ容レ密栓

○	クエン酸鉄液	補血藥(内用)	一日三回〇・一〇	壺中ニ容レ密栓
	クエン酸鉄キニーネ	補血強壯藥(内用)	一日三回〇・一〇	壺中ニ容レ密栓
×劇	クエン酸銅	トラホーム、慢性結膜炎	五―一〇%グリセリン澱粉ニ混和軟膏劑トシテ塗擦料	壺中ニ容レ注意
	クエン酸リモナイデ	清涼止渴藥(内用)	一日一〇〇・〇ヲ數回ニ分服	壺中ニ容レ密栓
	グッタベルカ液	創面、凍傷、火傷(外用)	被蓋塗布料	壺中ニ容レ密栓
	葛澱粉	錠劑賦形藥		
	クベバ實華	利尿防腐藥(内用)	一日三回一・〇―三・〇(丸、散、舐劑)	
	苦木エキス	苦味健胃藥(内用)	一日數回一・〇―二・〇(散、浸劑)	
	苦木チンキ	同	一日三回〇・二―一・〇(水、散、丸劑)	
	苦味チンキ	健胃藥(内用)	一日三回一・〇―二・〇(健胃性合劑ニ配合シテ用フ)	

クリサロビン	精製ゴア末	寄生性皮膚病(外用)	一〇—二〇%軟膏(塗布料)		
グリセリン		ヒム、アカギレ、火傷面、口唇、便秘(外用)	塗劑又ハ灌腸料		
グリセリンカリ液		皮膚荒症(外用)	塗劑又ハ灌腸料		
グリセリン坐劑 (一箇中主藥約三〇)		瀉下促進用(外用)	市販ベルツ水ニ同		
グリセリン軟膏		緩和性軟膏基礎藥	一日一個ヲ肛門ニ挿入		
× グリセロ燐酸石灰		神經榮養藥(内用)	一日三回、一回〇・二—〇・五		
○劇 クレオソート		肺結核、胃腸酸酵	一日三回〇・〇三—〇・三、一日〇・二至〇・三(丸、「カプセル」劑)	一回	壺中ニ容レ密栓遮光、注意
クレオソート丸 (二丸中主藥〇〇・五)		同	綿球挿入	一日三回、一回一—二丸ツツ漸次増量	
クレゾール水		防腐、消毒、殺菌藥(外用)	創面洗滌料 器具、排泄物、衣服(消毒用)		
クレゾール石鹼液		同	創面洗滌料三%液 痰、衣服、家具並ニ 二%液ヲ手指、外科器械消毒用		壺中ニ容レ密栓遮光

【ケ】

× クロラミン		消毒殺菌藥 眼科、泌尿科應用(外用)	一—二%水溶液 眼科、膀胱洗滌料〇・一—〇・二%		壺中ニ容レ密栓冷暗處
劇 クロルエチル		局處麻酔藥	普通括弧付硝子管ニ容レ使用ニ際シ噴出セシメ小切開術ニ用フ		硝子器中ニ密閉遮光、冷暗處注意
劇 クロロホルム		鎮痛藥、吸入麻酔藥(内用)	一回二—一〇滴塗擦劑トシテ皮膚ニ用ヒ其他齒痛ニ用フ		壺中ニ密レ密栓遮光、注意
劇 クロロホルム擦劑		ロイマチス、神經痛(外用)	塗劑		
劇 クロロホルム精		胃痛、下劑、船暈(内用)	五—二〇滴ヲ糖水ニ和シテ用フ		
劇 クロロホルム油		ロイマチス、神經痛(外用)	塗劑		
桂皮		芳香性健胃、驅風、矯臭、矯味藥(内用)	一日〇・五—二・〇(煎、散、丸劑)		
桂皮シロップ		芳香性矯味藥(内用)	他ノ合劑ニ配伍シテ用フ		
桂皮舍利別		健胃性矯味藥(内用)	一日四回一〇—一・五		

桂皮精	健胃性矯臭、 矯味藥 (内用)	一回一〇一・五ヲ他ノ 水劑ニ配伍シテ用フ		
桂皮チンキ	芳香性健胃、 矯味藥 (内用)	一日三回一〇一・三〇		
桂皮油	健胃、驅風、 矯味藥 (内用)	一回二―三滴ヲ白糖 ニ和シ油糖劑トシテ 用フ		
健胃散	健胃藥(内用)	一日數回三〇一・五〇		
健胃錠	同 上(内用)	一日三回、一回二―五個		
牽牛子	「アサガラ」ノ種子ニ シテ峻下劑(内用)	一回一〇一・三〇	一回	
牽牛子脂	峻下劑(内用)	一回一〇一・〇三	一回	注。
ゲンチアナエキス	苦味健胃藥(内用)	一日數回〇・五―二・ 〇(水、丸劑)		
ゲンチアナ根	同 (内用)	一日數回〇・二五― 一・〇(散劑)		
ゲンチアナチンキ	同 (内用)	一日數回一・五―三・〇 五・〇(浸劑)		意。

壺中ニ容レ密栓

【コ】

胡椒	芳香性矯味藥(内用)	一日〇・五		
コニアク	興奮性飲料 (衰弱、虚脱状態)	一回一五・〇―三〇・ 〇(卵「ブラン」又ハ 「メントールブラン」 トシテ用フ)		
コパイババルサム	尿防腐藥(内用)	一日三、四回一回〇・五 ―三・〇(「カプセル」、 丸、乳劑トシテ用フ)		
五倍子	收斂藥(内用)	一日數回〇・五―二・ 〇(散、丸、浸劑)		
五倍子チンキ	齒内炎、齒齦炎 (外用)	五―一〇%含嗽料		
五倍子油	腸收斂藥(内用)	一日數回一〇一・三〇		
五倍子粉	凍瘡、潰瘍(外用)	塗 擦 料		
小麥澱粉	軟膏、擦劑製造用			
小麥澱粉	散、丸劑賦形藥			
ゴム	散、丸劑賦形藥			
ゴム絆創膏	創傷被蓋藥(外用)	患部ニ貼用		
米澱粉	散、丸劑賦形藥			

コロイド銀	防腐殺菌藥(外用)	〇・五—二〇・〇%液ヲ 靜脈、三%液ヲ皮下 注射五—一五%軟膏 注入料	遮光
コロイド銀軟膏	敗血症、濃血症 創傷面ノ炎症(外用)	塗布料	遮光
コロチオン	創傷被蓋藥(外用)	患部ニ貼用	冷 罎中ニ容レ密栓 處
コロホニウム	硬膏製造用		
コロシボ根	慢性下痢(内用)	〇(散、浸、煎劑) 一日三回〇・五—二	
コロシボチンキ	同(内用)	〇(散、浸、煎劑) 一日三回一〇—二	
酵母エキス	丸劑賦形藥	一日三回一〇〇— 三〇〇	
コンヅランゴ酒	苦味健胃藥(内用)	〇(浸劑) 一日數回三〇—五	
コンヅランゴ皮	健胃藥(内用)	〇(浸劑) 一日數回二〇—三〇	
コンヅランキン スゴ	苦味健胃藥(内用) 慢性胃疾患	滴	

【サ】

醋酸アルミニウム液	收斂性消毒藥(外用)	〇二—五—一〇糖 水ニ和シテ用フ 塗布料	冷 罎中ニ容レ密栓 處
醋酸アンモン液	發汗、利尿藥(外用)	耳鼻、子宮洗滌料 二〇—五倍ニ薄メテ 用フ) 二〇%液罎法料	
醋酸エチル	興奮藥(内用)	〇(水劑) 二—五%液含嗽、罎 法、塗擦、嗅引料	冷 罎中ニ容レ密栓 處
醋酸カリ液	利尿藥(内用)	一回五—一〇滴 五—二〇滴、嗅入料	
醋酸ソーダ	利尿藥(内用)	〇(水劑) 一日數回二〇—一	
醋酸鉛	腸出血(内用) 收斂藥(外用)	〇(水劑) 一日三回〇・一—〇・五 入料) 一〇—五%液尿道注 入料) 一〇—三〇%液罎法料	注 罎中ニ容レ密栓
サフラン	健胃、通經、鎮痙藥(内用)	〇(散、丸、浸劑) 一日數回〇・三—一	密閉、遮光
サフランチンキ	同(内用)	五	



×劇	四塩化炭素	十二指腸虫驅除藥	一回一〇—二〇cc (「カンブセル」劑)	一回四〇—二五cc	壺中ニ容レ遮光
止	血綿	血	綿栓トシテ用フ		注。壺中ニ容レ密栓 被包、容器密閉
劇	次醋酸鉛液鉛	醋收斂藥(外用)	五—一〇%脂油又ハ軟膏(火傷、凍傷)〇・五—一〇%鞣法科		注。壺中ニ容レ密栓
〇	次サリチル酸蒼鉛	收斂藥(外用)	一日三回一五—三〇%澱粉ニ和シ撒布料		遮光
〇	次硝酸蒼鉛	制瀉藥(外用)	一日三回一五—三〇%軟膏又ハ撒布料		
	次硝酸蒼鉛錠 (一錠中主藥〇・三五)	緩和收斂藥(外用)	一回二—四個		
×	次炭酸蒼鉛	賦香料(外用)	一日三回一五—三〇%アルコール液患部塗布		
	シトロナ花	防虫劑(外用)	一日三回、一回一〇—三〇%散、舐劑)		
	シトロナ花	蛔虫驅除藥(外用)	創傷面ニ撒布又ハ一〇%軟膏		壺中ニ容レ密栓 遮光
ヨ	次没食子鉛酸	無臭無刺戟防腐收斂藥(外用)			

弱發泡膏	引赤性誘導藥(外用)	患部ニ貼用			
朱	赤色硫化汞丸衣トシテ用フ				
劇	蓚酸セリウム	鎮靜藥(外用)	一回〇〇—五〇—二	一回	注。
〇	重酒石酸カリ	鎮吐藥(外用)	緩下劑一回三〇—五〇 利尿劑一日數回〇・五—二〇%水、舐劑)	一日	意。
〇	重炭酸カリ	制酸、變質藥(外用)	一日數回〇・五—一〇%液吸入料		
〇	重炭酸ソーダ	制酸、變質藥(外用)	一日數回二〇—三〇%水、錠劑) 〇・五—一二%液含嗽又ハ吸入料		
〇	酒石酸	清涼止渴藥	〇・五—一〇%糖水二〇—三〇%和シ「リモナ」デレトシテ用フ		壺中ニ容レ密栓
〇	酒石酸カリ	利尿、緩下藥(外用)	一日數回二〇—三〇%散、丸劑)		
〇	酒石酸カリソーダ	利尿、緩下藥(外用)	一日數回〇・五—三〇%散、丸劑)		壺中ニ容レ密栓
〇	酒石酸鉄カリ	補血藥(外用)	一日數回〇・二—一〇%水、丸劑)		壺中ニ容レ密栓 遮光



○	シロップ	單	舍利別	矯味藥、其他シロップ劑製造用	水劑、紙劑ニ配伍シテ用フ		
○	人工カルルス塩			緩下藥(内用)	一回五〇―八〇― 一〇〇(水劑)		

【ス】

水	水銀膏	水銀製劑原料	水銀製劑原料	腺腫、微毒性硬結又ハ潰瘍(外用)	布片ニ延展シテ患部ニ貼布		
水	水銀軟膏	微毒性疾患(外用)	慢性炎症、毛虱	身體各部へ塗擦			
○	水性大黃チンキ	健胃藥(内用)	緩下藥(内用)	杉脂硬膏製造用	一日一〇―三〇 一日三〇―六〇		
杉	杉脂	創縁接合用、其他膏劑製造用					
杉	杉脂硬膏	「グリセリン」坐劑製造用					
ステアリン酸	ステアリン酸	強心利尿藥(内用)	催眠鎮靜藥(内用)				
劇	ストロファンツ子						注。

注。意。

【セ】

○	劇	ストロファンツキツ	強心利尿藥(内用)	一日三回〇・五―一・	一回	一〇・五	注。
劇	スルホナール	催眠鎮靜藥(内用)		一回〇・五―一・〇	一回	二〇・〇	注。

精製グッタベルカ	齒科	填齒、齶齒充填料	一回五〇―二〇〇 ○(煎劑)				
精製タマリンド	緩下藥(内用)						
精製タルク	精製滑石「タルク」ニ同ジ						
精製テレピン油	慢性氣管支カタル、膀胱炎(内用)	一日數回〇・ニ―〇・五					
精製蜂蜜	矯味藥、紙、丸、蜜劑製造用	(乳、丸、カプセル)劑三倍脂油ニ和シ塗擦料					
精製パラゴム	ゴム絆創膏製造用						
精製硫黄	緩下藥(内用)	慢性皮膚病(外用)	一回一〇―三〇 (振盪合劑、散、丸劑) 一〇―三〇%軟膏				

注。意。





粗製クレゾール		【ソ】	センナシロップ	センナ舍利別緩下藥(内用)	乳兒一日四〇、小兒八〇、大人一五〇。ヲ其他ノ瀉下性合劑ニ配伍シテ用フ
造用		クレゾール石鹼液製	【タ】	大 黃	一日數回〇・三―一〇〇散、丸、煎劑
大風子油	大 豆 油	大 黃 エキス	大 黃 シロ ッ プ	大 黃 舍 利 別 緩 下 藥 (内 用)	一回〇〇・一―一〇〇五(水、散、丸、劑)
癩 病 (内 用)	カカリ石鹼及クレゾール石鹼液製造用	健胃、瀉下藥(内用)	緩 下 藥 (内 用)	健 胃 下 藥 (内 用)	一日四・〇單用又ハ他ノ健胃瀉下性合劑ニ配伍シテ用フ
		緩 胃 下 藥 (内 用)	緩 下 藥 (内 用)	軟膏基礎藥	一日數回二〇―五〇
		緩 胃 下 藥 (内 用)	緩 下 藥 (内 用)	綿緞帶材料	一日三回一回〇・三―一〇五丸(カブセル劑)其他皮下注射料

○	炭酸グアヤコール丸(二丸中主藥〇・〇五)	炭酸カリ	炭酸アンモン	單鉛硬膏	タールパスタ	タール	タマリンド	脱水ラノリン	脱脂綿	脱脂芥子	×
					參	滑			精製綿	芥子	
					硫	石			製綿	芥子	
					膏	石			緞帶材料	芥子	
同	胃腸結核(内用)	肺結核(内用)	尿酸結石、イマチス(外用)	祛痰藥(内用)興奮藥(外用)	硬膏劑基礎藥	濕疹、疥癬(外用)	慢性皮膚病、擦傷(外用)	緩下藥(内用)	軟膏基礎藥	綿緞帶材料	神經痛、ロイマチス、胃痛、肋膜炎、失神(外用)
	一日三回一回一―三丸ツツ漸次増量	一日三回〇・二―一〇五液吸入料	一日數回〇・二―一〇	一日數回〇・三―一〇	塗布料	皮膚滑澤用料	撒布料	一回五〇―二〇〇(煎劑)		綿布、リント布ニ芥子泥トシテ延展シ患部ニ貼用	
											壺中ニ容レ密栓
											壺中ニ容レ密栓
											壺中ニ容レ密栓
											壺中ニ容レ密栓



チ モ ー ル	十二指腸蟲驅除藥 (内用)	一回二〇—四〇。	密
丁 子	芳香性健胃藥(内用) 防腐制臭藥(外用)	〇—二%含嗽料、五—一〇% アルコール液洗滌料 一日數回〇—三—〇。	閉
丁 子 油	芳香性健胃藥(内用) 鱈 ロイマチス(外用)	油糖劑トシテ用フ綿 花ニ浸シ塗擦又ハ 患部ニ挿入 一日數回一〇—三。	
沈降炭酸石灰	制酸藥(内用) 濕疹、火傷、潰瘍	〇 撒布料	
沈降硫黃	緩下藥(内用) 瘡(外用)	一回一〇—二〇。	
沈降磷酸石灰	骨軟化症、佝僂病、 腺病(内用)	〇 一日數回一〇—五。	

【ツ】

椿 油	パスタ劑、軟膏劑、 基礎藥	射	冷暗處、注。 一年ヲ超ユヘカ ラス
劇 ツベルクリン	結核診斷、結核治療 用蓄類結核診斷用	注	

【テ】

テ オ フ イ リ ン	劇 ×	一回〇—一〇—二 一日〇—八	遮光、注。 意。
鉄 酒	補血強壯藥(内用) 貧血諸症	一日三回五〇—一〇〇。	
鉄 粉	同 (内用)	一日數回〇—一〇— 〇〇—五—〇—二(散、 丸、錠劑)	
デルマトール	制瀉藥(内用) 無息、乾燥性防腐 藥(外用)	一日數回〇—五—一— 五 撒布料又ハ五—一— 〇 %軟膏	
テレピンチーナ	硬膏劑製造用	一日數回〇—二—一〇— 五 (カプセル劑) 塗擦料、塗布料	壘中ニ殆ト全滿 密栓、遮光
テレピン油	肺懷疽、急性磷中毒 ロイマチス、神經痛 鉛毒(外用)	一日數回〇—二—一〇— 五 (カプセル劑) 塗擦料、塗布料	
デキストリン	利尿藥(内用) 散劑、賦形藥	一回〇—一〇—二 一日〇—八	

【ト】

橙 花 水	矯臭、矯味藥		
橙 花 油	矯臭、矯味藥		